福島町教育委員会の権限に属する事務の管理及び 執行状況の点検並びに評価に関する報告書

(令和6年度事務事業分)

令和7年8月 福島町教育委員会

目 次

\Diamond	4	令和6年度分	教育に関する事業の点検・評価表(施策項目)	
1		学校教育		2~21
2	2	学校給食		22~23
3	3	生涯学習		24~49

点 検 評 価 結 果 表

整理	<i>i</i>				項目	別評価	点数		項目別	担当課	二次	最終
番号	係 名		事務事業名	必要性	有効性	達成度	効果性	合計	評価	評価	評価	評価
1	学校教育	1	教育関係団体·大会参加助成費	5	3	1	4	13	Α	Α	Α	Α
2	高校魅力化	2	高校魅力化推進事業費	4	3	1	2	10	Α	Α	Α	Α
3	"	3	青少年交流センター施設管理費	5	3	1	1	10	Α	Α	Α	Α
4	学校教育	4	ALT招致費	4	3	1	3	11	Α	Α	Α	Α
5	"	⑤	児童生徒輸送費	6	3	1	2	12	Α	Α	Α	Α
6	"	6	奨学資金貸付費	4	3	1	4	12	Α	Α	Α	Α
7	"	7	教育用コンピュータ整備事業費	5	1	0	2	8	Α	Α	Α	Α
8	"	8	教員住宅管理費	3	2	0	2	7	Α	Α	Α	Α
9	"	9	小学校管理費	7	3	1	1	12	Α	Α	Α	Α
10	"	10	中学校管理費	7	3	1	1	12	Α	Α	Α	Α
11	学校給食	1	学校給食センター費	4	3	1	1	9	Α	Α	Α	Α
12	生涯学習	1	社会教育総務費	3	2	0	2	7	Α	Α	Α	Α
13	"	2	読書活動費	5	3	1	2	11	Α	Α	Α	Α
14	"	3	成人教育費	3	2	0	2	7	Α	Α	Α	Α
15	"	4	青年教育費	3	2	-1	3	7	Α	Α	Α	Α
16	"	5	少年教育費	4	2	1	2	9	Α	Α	Α	Α
17	"	6	芸術·文化費	3	2	0	3	8	Α	Α	Α	Α
18	"	7	友好町交流事業費	2	2	1	2	7	Α	Α	Α	Α
19	"	8	文化財保護費	3	2	0	3	8	Α	Α	Α	Α
20	"	9	保健体育総務費	2	2	1	3	8	Α	Α	Α	Α
21	"	10	総合体育館運営費	3	2	1	3	9	Α	Α	Α	Α
22	"	11)	町民プール運営費	4	2	0	2	8	Α	Α	Α	Α
23	"	12	ファミリースポーツ公園管理費	3	2	-1	1	5	В	В	В	В
24	"	13	福祉センター運営費	4	2	1	2	9	Α	Α	Α	Α

#	**	## 2	## 3				基本方向 04 学比合い、たくましい人を育てる(教育・文化) 施策コード 33 33131102 法 の 本 の 公 表 の 本		基本方向 04 早び合い、たくましい人を育てる(教育・文化)	令和	1	年	ļ	1	日 作成			担	当課	学校教育	係			
## 1 37 幼児教育、学校教育	技 的 根拠等	## 項 目 37 幼児教育、学校教育 法 的 規模 括 的 規模 技 的	接触 接触 接触 接触 接触 接触 接触 接触	項目 37	### 1 37 効果教育、学校教育 法 的 接 会 来 例 ○ その他 接換等 接換等 表 的 接換等 接換等 接換等 接換等 表 的 接換等 表 的 接換等 表 的 接換等 表 的 表 所	### 1 37 効果教育、学校教育 法 的 接 会 来 例 ○ その他 接換等 接換等 表 的 接換等 接換等 接換等 接換等 表 的 接換等 表 的 接換等 表 的 接換等 表 的 表 所	# 1 37 効果教育、学校教育 法 的	## 項目 37 幼児教育、学校教育	現	事	務事	業名	教育	関係団体	 大会参加助成者 	費								
策 切 日 37 初先教育 大会参加助成費	大大会参加助成費		# 第 日 37 別元教育、子校教育	関係名称 教育関係団体・大会参加助威費	大き 1 3 3 3 3 3 3 3 3 3	大き 1 3 3 3 3 3 3 3 3 3	接換・	(基	本方向	04	学び合い	、たくましい人	を育てる	(教育・	文化	;)	施策コー	· ド	3313110	2	
数	根拠等 振島町児童生徒の対外競技等参加経費補助要編外 実施 方 法 文教育に関する研究活動に助成して、活動を側面から援助する。 2	財務名称	財務各称 教育関係団体・大会参加助成費	数	財務名称 教育関係団体・大会参加助成表	財務名称 教育関係団体・大会参加助成表	財務名称	#	野務名称 教育関係国体・大会参加助成費		項	目	37	幼児教育	 、学校教育					法的	法令	条例	O その	他
事業の ②全道・全国大会に出場する児童生徒及び引率者の参加費用を学校若しくは団体に助成する。 ②全道・全国大会に出場する児童生徒及び引率者の参加費用を学校若しくは団体に助成する。 ②全道・全国大会に出場する児童生徒及び引率者の参加費用を学校若しくは団体に助成する。 ②を積大会参加助成金・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	大方法 大方式 大	実施	### ### ### ### ### ### ### ### ### ##	# 集 施			大き 大き 大き 大き 大き 大き 大き 大き	# ① 教職員で特別する団体の学校教育に関する研究活動に助成して、活動を側面から提助する。 ②全道・全国人会に出場する児童生徒及び引率者の参加費用を学校若しくは団体に助成し、活動の元実・強化を図るとともに、大会 ① 教育関係団体等助成金・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	### 2		財	務名称		教育関係	団体・大会参加	助成費					福島町児童生	徒の対外競技等参	加経費補助要	綱外
■ ①教職員で構成する団体の学校教育に関する研究活動に助成して、活動を側面から接助する。 ②全道・全国大会に出場する児童生徒及び引率者の参加費用を学校若しくは団体に助成する。 (3) 手段(どのような手法、手順で行っているのか) ①教育関係団体等助成金・・・福島アカデミー 外1団体 ②各種大会参加助成金・・・小体連、中体連、全道・全国大会 参加助成 ②意図(対象をどのような状態にしたいのか) ②教育関係団体等助成金・・・教職員の資質の向上を図る。 ②を額大会参加助成金・・・小体連、中体連、全道・全国大会に参加して、体力向上と団体活動の体験をし、人格の験成を図 ②作品で、体力向上と団体活動の体験をし、人格の験成を図 ②作品で、体ので、体ので、大き、音楽ので、音楽ので、音楽ので、音楽ので、音楽ので、音楽ので、音楽ので、音楽ので	次教育に関する研究活動に助成して、活動を側面から援助する。	# 1	# * **	# 3	2	2		①教職員で構成する団体の学校教育に関する研究活動に助成して、活動を側面から援助する。 ②全道・全国大会に出場する児童生産及び引車者の参加費用を学校者しくは団体に助成する。 ②・教育関係団体等助成金・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	少数機員で構成する団体の学校教育に関する研究活動に助成して、活動を側面から援助する。 ②全追・全国大会に出場する児童生産及び分率者の参加費用を学校者しくに団体に助成する。 ②多様と、何を対象としているのか ②多様と、何を対象としているのか ③手段(どのような手法・手順で行っているのか)											宝 施	〇 直 営	委託	その	他
②全道・全国大会に出場する児童生徒及び引率者の参加費用を学校若しくは団体に助成する。 (1)対象(誰を、何を対象としているのか) ①教育関係団体等助成金・・・福島アカデミー 外1団体 ②各種大会参加助成金・・・小体連、中体連、全道・全国大会 「参加り成金・・・活動運営費2団体 ②各種大会参加助成金・・・外職員の資質の向上を図る。 ②各種大会参加助成金・・・外職員の資質の向上を図る。 ②各種大会参加助成金・・・外体連、中体連、全道・全国大会 「参加して、体力同上と団体活動の体験をし、人格の酸成を図る。 ②各種大会参加助成金・・・小体連、中体連、全道・全国大会 「参加して、体力同上と団体活動の体験をし、人格の酸成を図る。 ②生活環境の確保等、町民生活に直結した事業で、当然の責務として町が行う必要がある事業か) 計 3 点 ①法令等で実施が義務付けられている事業。 ②生活環境の確保等、町民生活に直結した事業で、当然の責務として町が行う心き事業。 ②生活環境の確保等、町民生活に直結した事業で、当然の責務として町が行う心き事業。 ②生活環境の確保等、町民生活に直結した事業で、当然の責務として町が行う心き事業。 ②生活環境の確保等、町民生活に直結した事業で、当然の責務として町が行う心き事業。 ②自門の特性や魅力を生かした取り組みなど、戦略的な事業。 「最 ② ⑥産業振興及び地域活性化のために重要な事業 (点数対象外) ② ③社会的・経済的弱者の生活維持・安定のために不可欠な事業。 1点 (説明)関与の根拠に関し、内容を具体的に記入します。 ※確願は、所以下の同時か、てれてないに日正的に受けるい、では、国は出る当等が開発の主は行い、日日は、日日は、国は、国は出入国等が開発の主は行い、日日は、日日は、国は、国は出入国等が開発の主は行い、保護者の負担経域、「全債特別や町民ニーズの変化等計」2 点 ※法令等で実施内容や手法等が定められて、町の創意工夫が入る余地ない、(点数対象外) 1点 (説明)関与の程度、と、主導・国は人工を対象の一環 する。 ※法令等で実施内容や手法等が定められて、町の創意工夫が入る余地はない、(点数対象外) 1点 (説明)以内容を具体的に記入します。 (の新職員研究知識と、内容を具体的に記入します。 (の新職員研究知識と、内容を具体的に記入します。 (の新職員研究知識と、内容を具体的に記入します。	□ 宣生往及び引率者の参加費用を学校若しくは団体に助成する。 (3) 手段(どのような手法、手順で行っているのか) 「会団体に助成し、活動の充実・強化を図るとともに、大会に参加する費用を助成し、保護者の負担を軽減する。 「教育団体等助成金・・・活動運営費2団体 「会種大会参加助成金・・・活動運営費2団体 「会種大会参加助成金・・・・小、中体連や全道等参加費用の政職員の資質の向上を図る。 本連、中体連、全道・全国大会に「の体験をし、人格の餓成を図 「会事業か」計 3 点 「	(1)対象 (強き、何を対象としているのか) (3)手段 (どのような手法、手順で行っているのか) (3)手段 (どのような手法、一度を対しているのか) (3)手段 (どのような手法、一度を対した。 (本参加) (3)手段 (どのような手法、一度を対した。 (本参加) (3)手段 いいった (本参加) (4)を持ちいった (本参加) (4)を持ちいった (本参加) (4)を持ちいった (本参加) (4)を持ちいった (本参加) (4)を対したいった (本参加) (4)を持ちいった (本参加) (4)を持ちいいった (本参加) (4)を持ちいった (本参加) (4)を持ちいった (本参加) (4)を持ちいった (本参加) (4)を持ちいった (本参加) (4)を持ちいった	②全道・全国大会に出場する児童生徒及び引率者の参加費用を学校若しくは団体に助成する。 (1)対象(機を、何を対象としているのか) ①教育関係団体等助成金・・・福島アカデミー 外1団体 ②各種大会参加助成金・・・小体連、中体連、全道・全国大会 参加助成 ②を種大会参加助成金・・・小体連、中体連、全道・全国大会 参加助成金・・・教育関係団体等助成金・・・教職員の資質の向上を図る。 ②を極大会参加助成金・・・教職員の資質の向上を図る。 ②各種大会参加助成金・・・教職員の資質の向上を図る。 ②各種大会参加助成金・・・教職員の資質の向上を図る。 ②各種大会参加助成金・・・教職員の資質の向上を図る。 ②を付金をで実施が義務付われているす業。 ②生活環境の確保等、再度生活に直結した事業・「塩」参内部質患・運営等の事業。(点数対象外) 「10割助成 ②性治療の確保等、再度生活に直結した事業・「塩」参内部で患・経済を付いたれているす業。 ②生活環境の確保等、再度生活に直結した事業・「塩」参内部質患・運営等の事業。(点数対象外) 「20時間境の確保等、再度生活に直結した事業・「塩」参内部質患・運営等の事業。(点数対象外) 「塩」参内部質患・運営等の事業。(点数対象外) 「塩 (銀卵) 間与の機能に関し、内容を具体的に記入します。 「塩」を集みらたむいる。 「塩」の「20時間を関連した要素が重要性にした 日本 検索に関連し、力能を具体的に記入します。 「塩」を集りからたまを施が埋まれるが、サービスの確保が関連なため、可しまの表にできまたが、対しまり、「塩」のより、大会参加をするため、発展をの責宜的上が認及を図っ、一定の表に関連したを超けるため、作り、内容を具体的に記入します。 「塩」の事業の確認して記入します。 「塩」の事業の存在し間を企り、中でより、大会参加を主ないの発用を発している。 「塩、砂味食品の発養的食用の健康に関し、内容を具体的に記入します。 「塩・塩・砂味を通いとを通いため、作りの研究機関として必要である。 ②部活動の活発化や、小中学校のスポーツ・文化活動の展開によって、積極的な各種大会参加に繋がっている。 ②部活動の活発化や、小中学校のスポーツ・文化活動の展開によって、積極的な各種大会参加に繋がっている。 ②部活動の活発化や、小中学校のスポーツ・文化活動の展開によって、積極的な各種大会参加に繋がっている。 ②部活動の活発化や、小中学校のスポーツ・文化活動の展開によって、積極的な各種大会参加に繋がっている。 ②部活動の活発化や、小中学校のスポーツ・文化活動の展開によって、積極的な各種大会参加に繋がっている。 ②部高動の活発化や、小中学校のスポーツ・文化活動の展開によって、積極的な各種大会参加に繋がっている。 ②部業を確成するうえで、当該事業の資助度はない。 「塩」の、大会を具体的に記入します。 「カー検験の方をを表しるのは、大会を具体的に記入します。 「カー検験の方を、対し、大会を、対し、大会を、対し、大会を、対し、大会を、対し、大会を、対し、大会を、対し、大会を、対し、大会を、大会を、対し、大会を、大会を、大会を、大会を、大会を、大会を、大会を、大会を、大会を、大会を	②全道・全国大会に出場する児童生徒及び引率者の参加費用を学校若しくは団体に助成する。 (3)手段(どのような手法、手順で行っているのか) ①教育関係団体等助成金・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	②主道・全国大会に出場する児童生徒及び引率者の参加費用を学校若しくは団体に助成する。 (1) 対象(護を、何を対象としているのか) (2) 季度 (どのような手法、手順で行っているのか) (3) 季度 (どのような手法、 手順で行っているのか) (3) 季度 (どのような手法、 手順で行っている。 (3) 季度 (どのような手法、 手順で行っているの。(3) 季度 (おか加速で (4) 年間 (4)	②主道・全国大会に出場する児童生徒及び引率者の参加費用を学校若しくは団体に助成する。 (1) 対象(護を、何を対象としているのか) (2) 季度 (どのような手法、手順で行っているのか) (3) 季度 (どのような手法、 手順で行っているのか) (3) 季度 (どのような手法、 手順で行っている。 (3) 季度 (どのような手法、 手順で行っているの。(3) 季度 (おか加速で (4) 年間 (4)	②全道・全国大会に出場する児童生徒及び引率者の参加費用を学校育しくは団体に助成する。 (3) 手段(どのような手法、手順で行っているのか) ①教育開係団体等助成金・・・福高アカデミー 外1団体 ②各種大会参加助成金・・・小体連・中体連、全道・全国大会 参加助成 ②含種大会参加助成金・・・・小体連・中体連、全道・全国大会 参加助成 ②含種大会参加助成金・・・・小体連・中体連、全道・全国大会 参加助成 ②含種大会参加助成金・・・・小体連・中体連、全道・全国大会 ②各種大会参加助成金・・・・小体連・中体連、全道・全国大会 ②各種大会参加助成金・・・・小体連・中体連、全道・全国大会に 参加して、作力回上に団体を動かの体験とし、人格の触成を図 ス (1) 即間男の模態(前が行めを奏がある事業か) 計 3 点 ②性活動液の発酵を可止性活動が作動からな多がある事業か) 計 3 点 ②性活動液の発酵を可止性活動が作動からな多がある事業か) 計 3 点 ②性活動液の発酵を可止性活力を表がある事業か) 計 3 点 ②性活動液の発酵を可止性はなが、サービスの発酵が開産がため、町 点 ②用の特性や魅力を生かした設調かなど、影響的な事業 1点 ②用の特性や魅力を生かした設調かなど、影響的な事業 1点 ②用の特性や魅力を生かした設調かなど、影響的な事業 1点 ②用の特性や魅力を生かした設調かなど、影響的な事業 1点 ②に関節が見た見しても登録がの異している。 1点 2 対の影響を見入を持ている。 2 対の影響を見入を持ている。 2 対の影響を見入を持ている。 2 対の影響を見入を持ている。 2 対の影響を見入を持ている。 2 対の影響を見入を持ている。 2 対の影響を対している。 2 対の影響を見入を持ている。 2 対の影響を含みを発展の見ていたがの影響によって、アービス内容の一項に支すらない。(最初) 不利性のの最近に国立したを発出ったを発出った。 1点 2 対の影響を見入を発出したいる。 2 対の影響を見入を発出したいる。 2 対の影響を見入を発出したいる。 2 対の影響を含みがに関かっている。 2 対の影響を含みがに関かっている。 2 対の影響を含みがに関かっている。 2 対の影響を含みがに関かっている。 2 対域を含め、影響を含め、影響を含め、影響を含め、影響を含め、影響の大き化や、一が学校のみが表化や、一が学校のみが表化や、一が学校のみが表化や、一が学校のみが表化や、一が学校のみが表化や、一が学校のみが表化や、一が学校のみが表化や、一が学校のかが表化や、一が学校のからで多れた影がっている。 2 が影響を含め、音楽をの機能に引きるを発出したいる。 1点 2 が影響を変し、一般を変し、音楽を表し、一般を変し、音楽を変し、音楽を変し、音楽を含し、含し、音楽を含し、音楽を含し、表し、音楽を含し、含し、音楽を含し、音楽を含し、音楽を含し、表し、音楽を含し、含し、音楽を含し、音楽を含し、音楽を含し、音楽を含し、音楽を含し、音楽を含し、音楽を含し、音楽を含し、音楽を含し、含し、音楽を含し、含し、音楽を含し、音楽を含し	②全道・全国大会に出場する児童生後及び引車者の参加費用を学校若しくは団体に助成する。 (1) 対象(達を、何を対象としているのか) (3) 手段(どのような手法、手順で行っているのか) (4) 手間が開与の機といったが本法、中体連、全道・全国大会にいるが加助成金・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	②全道・全国大会に出場する児童生徒及び引筆者の参加費用を学校若しくは用体に助成する。 (1)対象(鎌金、何を対象としているのか) ①教育関係団体等助成金・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	자														
#要 (1)対象(誰を、何を対象としているのか) (3)手段(どのような手法、手順で行っているのか) ①教育関係団体等助成金・・・福島アカデミー 外1団体 (2)各種大会参加助成金・・・小体連、中体連、全道・全国大会に参加する費用を助成し、保護者の負担を軽減する。 (2)意図(対象をどのような状態にしたいのか) (2)意図(対象をどのような状態にしたいのか) (2)各種大会参加助成金・・・小体連、中体連、全道・全国大会に参加して、体力同上と団体活動の体験をし、人格の酸成を図え、(1)町関与の根拠(町が行う必要がある事業か) 計 3 点 (3)野関係団体等助成金・・・小体連、中体連、全道・全国大会に参加して、体力同上と団体活動の体験をし、人格の酸成を図え、(1)町関与の根拠(町が行う必要がある事業か) 計 3 点 (3)財関与の根拠(町が行う必要がある事業か) 計 3 点 (3)財関与の根拠(町が行う必要がある事業か) 計 3 点 (3)財関与の根拠(町が行う必要がある事業か) 計 3 点 (3)財関与の根拠(町が行う必要がある事業か 1点 ※内部管理・運営等の事業。(点数対象外) (3)社会的・経済的弱者の生活維持・安定のために不可欠な事業。 1点 (3)財関与の根拠に関し、内容を具体的に記入します。 ※大会の特性や魅力を生かした取り組みなど、戦略的な事業。 1点 (3)財関与の根拠に関し、内容を具体的に記入します。 (3)民間等による実施が望まれるが、サービスの確保が困難なため、町 1点 日々練習に励み、大会参加をするための費用を助成し、保護者の負担軽減 が実達・補完する事業。 (2)社会情勢や町民ニーズの変化等 計 2 点 ※法令等で実施内容や手法等が定められて、町の創意工夫が入る余地はない、(点数対象外) (3)国の制度の見直しや社会環境の変化によって、サービス内容の拡 1点 (3)財政・大会参加をするための費用を助成し、保護者の負担軽減 ※法令等で実施内容や手法等が定められて、町の創意工夫が入る余地はない、(点数対象外) (4)財政など、(点数対象外) (4)財政など、(4)財	(3) 手段(どのような手法、手順で行っているのか)	(1) 対象 (鎌を、何を対象としているのか) (3) 手段 (どのような手法、手順で行っているのか) (3) 手段 (どのような手法、手順で行っているのか) (3) 手段 (どのような手法、手順で行っているのか) (2) 参育関係団体等助成金・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	# 表	(1)対象 (誰を、何を対象としているのか) (3)手段 (どのような手法、手順で行っているのか) (3)手段 (どのような手法、手順で行っているのか) (3)手段 (どのような手法、手順で行っているのか) (4)教育関係団体等助成金・・・ 体癌、アカデミー 外1団体 (5)参加助成 (2)金圏 (対象をどのようなを懸にしたいのか) (2)金圏 (対象をどのようなを懸にしたいのか) (3)教育関係・一体・連、全道・全国大会 (5)教育関係・一体・連、全道・全国大会 (5)教育関係・一体・連、全道・全国大会 (5)教育関係・一体・連、全道・全国大会 (5)教育関係・一体・連、全道・全国大会 (5)教育関係・一体・連、全道・全国大会 (5)教育関係・一体・連、全道・全国大会 (6)教育関係・一体・連、全道・全国大会 (7)教育関係・一体・連、全道・全国大会 (7)教育関係・一体・連、全道・全国大会 (7)教育関係・一体・連、全道・全国大会 (7)教育関係・一体・連、全道・全国大会 (7)教育関係・一体・連、全道・全国大会 (7)教育関係・一体・連、全道・全国大会 (8)教育関係・一体・連、全道・全国大会 (8)教育関係・一体・連、全道・全国大会 (7)教育関係・一体・連、全道・全国大会 (8)教育関係・一体・連、全道・全国大会 (8)教育関係・一体・連、全道・全国大会 (8)教育関係・一体・連、全道・全国大会 (8)教育関係・一体・連、全道・全国大会 (8)教育関係・一体・連、全道・全国大会 (8)教育関係・一体・連、全道・全国大会 (8)教育関係・一体・連、全道・全国大会 (8)教育関係・一体・連、全道・全国大会 (8)教育の権態、(8)教育の基本による。 (8)教育、関係・経済を対象域の資質向上が関係・一体・変なな事業。(4)教育・企業・企業・企業・企業・企業・企業・企業・企業・企業・企業・企業・企業・企業・	(1) 対象(護を、何を対象としているのか) (3) 手段(どのような手法、手順で行っているのか) (3) 手段(どのような手法、手順で行っているのか) (3) 手段(どのような手法、手順で行っているのか) (3) 手段(どのような手法、手順で行っているのか) (3) 手段(どのような共産にしたいのか) (3) を経大会参加助成金・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	(1) 対象(護を、何を対象としているのか) (3) 手段(どのような手法、手順で行っているのか) (3) 手段(どのような手法、手順で行っているのか) (3) 手段(どのような手法、手順で行っているのか) (3) 手段(どのような手法、手順で行っているのか) (3) 手段(どのような共産にしたいのか) (3) を経大会参加助成金・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	(1) 対象 (謹を、何を対象としているのか)	(1)対象 (機を、何を対象としているのか) (2) 多有関係団体等助成金・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	### 2															
(1)対象(誰を、何を対象としているのか) ①教育関係団体等助成金・・・福島アカデミー 外1団体 ②各種大会参加助成金・・・・福島アカデミー 外1団体 ②各種大会参加助成金・・・小体連、中体連、全道・全国大会 ぶか加り成・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	番島アカデミー 外1団体 本連、中体連、全道・全国大会 に参加する費用を助成し、保護者の負担を軽減する。 ①教育団体等助成金・・・活動運営費2団体 ②各種大会参加助成金・・・バ・中体連や全道等参加費用の 数職員の資質の向上を図る。 本連、中体連、全道・全国大会にの体験をし、人格の譲成を図 る事業か) 計 3 点 いる事業。 1点 ② ⑥産業振興及び地域活性化のために重要な事業 1点 ※内部管理・運営等の事業。(点数対象外) - 一・・安定のために不可欠な事業。 1点 ※内部管理・運営等の事業。(点数対象外) - 一・・安定のために不可欠な事業。 1点 ※内部管理・運営等の事業。(点数対象外) - 一・・安定のために不可欠な事業。 1点 ※内部管理・運営等の事業。(点数対象外) - 一・・安定のために不可欠な事業。 1点 ※内部管理・運営等の事業の資質向上が図られてクラフに調が下が高速のを関係が困難なため、町 1点 日本練習に耐み、大会参加をするための費用を助成し、保護者の負担保護を図り、サービスの確保が困難なため、町 1点 日本練習に耐み、大会参加をするための費用を助成し、保護者の負担保護を図等等を測して、大会を変化でよって、サービス内容の拡 1点 ※法令等で実施内容や手法等が定められて、町の創意工夫が入る余 一地はない。(点数対象外) 1点 (説明) 妥当性に関し、内容を具体的に記入します。 2 ※法令等で実施内容や手法等が定められて、町の創意工夫が入る余 一地はない。(点数対象外) 1点 (説明) 妥当性に関し、内容を具体的に記入します。 1点 ②教職員研究組織は、児童生徒の健全な育成のための研究機関として必要である。 2 ②部活動の活発化や、小中学校のスポーツ・文化活動の展開によって、積極的な各種大会参加に繋がっている。	(1) 対象 (鎌老、何を対象としているのか) (3) 手段 (どのような手法、手順で行っているのか) (3) 手段 (どのような手法、手順で行っているのか) (3) 手段 (どのような手法、手順で行っているのか) (2) 倉種大会参加助成金・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	(1) 対象(鎌を、何を対象としているのか) (3) 手段(どのような手法、手順で行っているのか) ①教育関係団体等助成金・・・福島アカデミー 外1団体 ②各種大会参加助成金・・・小体連、中体連、全道・全国大会 参加助成 ①教育関係団体等助成金・・・・小体連、中体連、全道・全国大会 参加助成 ②各種大会参加助成金・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	(1) 対象(推を、何を対象としているのか) ①教育関係団体等助成金・・・福島アカデミー 外1団体 ②各種大会参加助成金・・・小体連、中体連、全道・全国大会 参加助成 ②き種大会参加助成金・・・小体連、中体連、全道・全国大会 「参加助成金・・・小体連、中体連、全道・全国大会 「参加助成金・・・小体連、中体連、全道・全国大会 「の教育関係団体等助成金・・・水体連、中体連、全道・全国大会 「の教育関係団体等助成金・・・水体連、中体連、全道・全国大会 「の教育関係団体等助成金・・・水体連、中体連、全道・全国大会 「の教育関係団体等助成金・・・水体連、中体連、全道・全国大会 「の教育関係団体等助成金・・・水体連、中体連、全道・全国大会 「参加して、体力同上と団体活動の体験をし、人格の職成を因 「(1) 町関ラの模拠(町が行うを要がある事業の) 計 3 点 「②生活環境の海保等。可氏生活に高結した事業、「自体の関域を因 「(1) 町関ラの模拠(町が行うを要がある事業の) 計 3 点 「②生活環境の海保等。可氏生活に高結した事業、「自体の関係が関連・経済教育・経済教育・経済教育・大学等、「自体の対象を対から事業・「自体の対象を関係を対象を対象を対象を対象を対象を対象を対象を対象を対象を対象を対象を対象を持つ、「自体の対象を関係を対象を対象を対象を対象を対象を対象を対象を対象を表している。」 1 点 (2 段明) 関ラの模型に関し、内容を具体的に記入します。 「対策・経済教育・公司・大学等・教験員の資質向上が紹介は、「大学教育と対象と対象を対象を対象を対象を表している。」 2 大学の学の内にかか、学音様表の対象と関係と関係を対象と、経済をの見経験は対象を対象があられている。	(1)対象 (雄を、何を対象としているのか) (2)教育関係団体等助成金・・・福島アカデミー 外1団体 ②各種大会参加助成金・・・小体連、中体連、全道・全国大会 参加助成 ②き種大会参加助成金・・・小体連、中体連、全道・全国大会 参加助成(②意図(対象をどのような時間にしたいのか) ①教育関係団体等助成金・・・水砂臓員の資質の向上を図る。 ②各種大会参加助成金・・・小体連、中体連、全道・全国大会 参加助成金・・・小体連、中体連、全道・全国大会 ②の名種大会参加助成金・・・小体連、中体連、全道・全国大会に 参加して、体力向上と団体に動の体験をし、人格の離滅を図 (1) 町関与の機態(町が行う必要がある事業か) 計	(1)対象 (雄を、何を対象としているのか) (2)教育関係団体等助成金・・・福島アカデミー 外1団体 ②各種大会参加助成金・・・小体連、中体連、全道・全国大会 参加助成 ②き種大会参加助成金・・・小体連、中体連、全道・全国大会 参加助成(②意図(対象をどのような時間にしたいのか) ①教育関係団体等助成金・・・水砂臓員の資質の向上を図る。 ②各種大会参加助成金・・・小体連、中体連、全道・全国大会 参加助成金・・・小体連、中体連、全道・全国大会 ②の名種大会参加助成金・・・小体連、中体連、全道・全国大会に 参加して、体力向上と団体に動の体験をし、人格の離滅を図 (1) 町関与の機態(町が行う必要がある事業か) 計	(1)対象(護を、何を対象としているのか) (1)教育関係団体等助成金・・・福島アカデミー 外1団体 (2)各種大会参加助成金・・・福島アカデミー 外1団体 (2)各種大会参加助成金・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	(3) 手段(どのような手族、手順で行っているのか) (3) 手段(どのような状態にしたいのか) (3) 素質 用を助成し、保護者の負担を軽減する。 (3) 事務 (2) 表別 力を乗います。 (4) を軽減する。 (4) 参育関係団体等助成金・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	(1) 対象 (雑金、何を対象としているのか) (3) 手段 (どのような手法、手種で行っているのか) (3) 事段 (どのような手法、手種で行っているのか) (3) 教育関係団体等助成金・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	概	0 1	-/		(-ш <i>",</i>	の元至土人の人) JI I II	-> > /VH)	27 / 13	c i Mac	У (ТОВПТ	/3/4/4 / 000			
■ 教育関係団体等助成金・・・福島アカデミー 外1団体 ②各種大会参加助成金・・・小体連、中体連、全道・全国大会 を加助成 ②各種大会参加助成金・・・・水体連、中体連、全道・全国大会 「教育団体等助成金・・・活動運営費2団体 ②各種大会参加助成金・・・・教職員の資質の向上を図る。 ②各種大会参加助成金・・・・水・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	 番島アカデミー 外1団体 本連、中体連、全道・全国大会 ①教育団体等助成と・・・活動運営費2団体 ②各種大会参加助成金・・・活動運営費2団体 ②各種大会参加助成金・・・・ハ、中体連や全道等参加費用の (数育団体等助成金・・・ハ、中体連や全道等参加費用の (数育団体等助成金・・・ハ、中体連や全道等参加費用の (数部) 財 3 点 本連、中体連、全道・全国大会にの体験をし、人格の酸成を図 る事業か) 計 3 点 (数明) 関与の根拠に関し、内容を具体的に記入します。 ※内部管理・運営等の事業。(点数対象外) ー は、 (説明) 関与の根拠に関し、内容を具体的に記入します。 ※本際のために不可欠な事業。 1点 (説明) 関与の根拠に関し、内容を具体的に記入します。 ※本際の作成の表別の登開を助成し、保護者の負担を譲返と図 ・サービスの確保が困難なため、町 1点 日本練習に耐み、大会を加をするための費用を助成し、保護者の負担保護を図 等 計 2 点 ・子育で世代の経済的負担の軽減化を図り、もって少子化対策の一環に資する。 ②変化によって、サービス内容の拡 1点 (説明) 妥当性に関し、内容を具体的に記入します。 ・町民ニーズが高まっている。 1点 (説明) 妥当性に関し、内容を具体的に記入します。 ①教職員研究組織は、児童生徒の健全な育成のための研究機関として必要である。 ②部活動の活発化や、小中学校のスポーツ・文化活動の展開によって、積極的な各種大会参加に繋がっている。 効性 計 3 点 	①教育関係団体等助成金・・・福島アカデミー 外1団体 ②各種大会参加助成金・・・福島アカデミー 外1団体 ②各種大会参加助成金・・・小体連、中体連、全道・全国大会 参加助成 ②各種大会参加助成金・・・教職員の資質の向上を図る。 ②各種大会参加助成金・・・教職員の資質の向上を図る。 ②各種大会参加助成金・・・教職員の資質の向上を図る。 ②各種大会参加助成金・・・教職員の資質の向上を図る。 ②各種大会参加助成金・・・教職員の資質の向上を図る。 ②各種大会参加助成金・・・教職員の資質の向上を図る。 ②各種大会参加助成金・・・教職員の資質の向上を図る。 ②生活環境の確保等・町民生活に直結した事業で、当然の責務とし 「加 関与の根拠(間が行う必要がある事業か) 計 3 点 ②生活環境の確保等・町民生活に直結した事業で、当然の責務とし 「	□教育関係団体等助成金・・・福島アカデミー 外1団体 ②各種大会参加助成金・・・小体連、中体連、全道・全国大会 参加助成 ②を種大会参加助成金・・・小体連、中体連、全道・全国大会 参加助成金・・・・小体連、中体連、全道・全国大会 参加助成金・・・・小体連、中域・全国・全国大会 参加助成金・・・・・小体連、中域・全道等参加費用の ①教育関係団体等助成金・・・・・小、中極連や全道等参加費用の ②金種大会参加助成金・・・・小、中華、自身、公園・会社会の事業・(点数対象外) □が高等の連接が一般を関係が開発の大き事業・自身、対策・国を持ついた。一会計画の工会のでは、大会をかかでもの対策・のででは、大会をかかでものが関邦の対策・対策・国を持ついたが、学が表す、他が関係の対域・大会をかかでものが、サービス内容の拡大の対策・国を持ついたが、大会をかかさりの費用の財産の場合に記入します。 ②対象者、利用者が増加するなと、町民ー・大が高まっている。 ②対象者、利用者が増加するなと、町民・工が高まっている。 ②対象者、利用者が増加するなと、町民・工が高まっている。 ②対象者、利用者が増加するなど、町民・工が高まっている。 ②対策・大のできている。 ②対策・大のできている。 ②ので、大会が関係を対域を対し、対域・大会を対応を対した、内容を具体的に記入します。 ②対策・協働に対する事業の有効性 計 3 点 ②が能量がの活発化や、小中学校のスポーツ・文化活動の展開によって、積極的な各種大会参加に繋がっている。 (説明)有効性に関し、内容を具体的に記入します。 「児童 生徒の学プカロ・学校のスポーツ・文化活動の展開によって、積極的な各種大会参加に繋がっている。 「地域にあった。発生の学の方にの大会を強力を強力が関係を強力を発力の対域を強力が関係を強力の対域を対し、対域を対域を強力の対域を対域を対域を対域を対域を対域を対域を対域を対域を対域を対域を対域を対域を対	● 教育関係団体等助成金・・・福島アカデミー 外1団体 ②各種大会参加助成金・・・小体連、中体連、全道・全国大会 参加助成 ②各種大会参加助成金・・・小体連、中体連、全道・全国大会 参加助成 ②各種大会参加助成金・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	①教育関係団体等助成金・・・福島アカデミー 外1団体 ②各種大会参加助成金・・・小体連、中体連、全道・全国大会 参加助成 ②各種大会参加助成金・・・小体連、中体連、全道・全国大会 参加助成金・・・活動運営費2団体 ②各種大会参加助成金・・・・ 教職員の資質の向上を図る。 ②各種大会参加助成金・・・・・ 教職員の資質の向上を図る。 ②各種大会参加助成金・・・・・・ 、中体連、全道・全国大会に 参加して、体刀向上と団体活動の保験をし、人格の職成を図る。 ①後令等で実験が義務付けられている事業 ②生語療気の強体等、同性生活に高結した事業で、当然の資務として、可が行うと事業 ② 側町の特性や魅力を生かした取削払みなど、戦略的な事業。 ② 会社会特が・経済的弱者の生活維持・安定のために不可欠な事業 ② 側町の特性や魅力を生かした取削払みなど、戦略的な事業。 ② の間の特性や魅力を生かした取削払みなど、戦略的な事業 ③ 信息制・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	①教育関係団体等助成金・・・福島アカデミー 外1団体 ②各種大会参加助成金・・・小体連、中体連、全道・全国大会 参加助成 ②各種大会参加助成金・・・小体連、中体連、全道・全国大会 参加助成金・・・活動運営費2団体 ②各種大会参加助成金・・・・ 教職員の資質の向上を図る。 ②各種大会参加助成金・・・・・ 教職員の資質の向上を図る。 ②各種大会参加助成金・・・・・・ 、中体連、全道・全国大会に 参加して、体刀向上と団体活動の保験をし、人格の職成を図る。 ①後令等で実験が義務付けられている事業 ②生語療気の強体等、同性生活に高結した事業で、当然の資務として、可が行うと事業 ② 側町の特性や魅力を生かした取助払みなど、戦略的な事業 1 点 ② 町の特性や魅力を生かした取助払みなど、戦略的な事業 1 点 ③ 町の特性や魅力を生かした取り組みなど、戦略的な事業 1 点 ③ 国民間等に比る実施が遅れるが、サービスの確保が国歌なため、町に関い、関与の展別に関し、内容を具体的に記入します。 「別に関いている」といい、エロニエは人主がの場合の実用を助成し、第番を具体的に記入します。 「別に関いている」といい、エロニエは人での場合の実際が見かられている。 ② 対金信勢や町民ニーズの変化等 1 点 「記を持つするかとの変化によって、サービス内育か財 1 点 「記を持つするが開からなど、可にニーズが高まっている。」 ② 対金信勢・利用をが指加するなど、可にニーズが高まっている。 ② 対金信勢・利用をが指加するなど、可にニースが高まっている。 「記を対象の利用を助成し、保護・対象の場合の変形に記入します。 ※法格令で実施的な手と手をが定められて、可の創意工夫が入る会 上地にない。 (記述表が集め) ラロには、 (記述人・宗護中等中生主を一を回い、もって少手が対象の一環で表している。 (記述表がなり、対象を具体的に記入します。 ② 対象を、利用をが指加するなど、可にニースが高まっている。 「は、観別・有効性に関し、内容を具体的に記入します。 ② 対象を通れてあるえて、、当底を強なするえるで、、当底、複種的な各種大会参加に繋がっている。 「は、観別・有効性に関し、内容を具体的に記入します。 ② 郷本の様庭として、大の高まの可以の向上が関わている。 「は、観別・有効性に関し、内容を具体的に記入します。 ② 郷本の様庭とした、、 (説明) な関係を選集として、 (記述、 (記述対象が) の形で機をして、 (記述対象が) の形で機をして、 (記述対象が) の形で機をして、 (記述対象が) の形で機をして、 (記述対象が) の形で機をして、 (記述対象が) の形で、 (記述対象が) の形が、 (記述対象が) の形が、 (記述対象が) の形が、 (記述対象が) の形式、 (記述対象が) の形式を	①教育関係団体等助成金・・・福島アカデミー 外1団体 ②全権大会参加助成金・・・小体連、中体連、全道・全国大会 ②参育関係団体等助成金・・・小体連、中体連、全道・全国大会 ②参育関係団体等助成金・・・小体連、中体連、全道・全国大会 ②参育関係団体等助成金・・・小体連、中体連、全道・全国大会 ②各権大会参加助成金・・・小体連、中体連、全道・全国大会 ③参育関係団体等助成金・・・小体連、中体連、全道・全国大会 ③参育関係団体等助成金・・・小体連、中体連、全道・全国大会 ③参育関係団体等助成金・・・小体連、中体連、全道・全国大会 ③参析の行う必要がある事業か 3 点 ②生活環境の確保等、再民生活に適結した事業で、当然の資務とし、人格の解放を図 ③生活環境の確保等、再民生活に適結した事業で、当然の資務として、「おかに対すっき事業」 点 ②生活環境の確保等、再民生活に適結した事業で、当然の資務として、「おかに対すっき事業」 点 ②生活環境の確保等、再民生活に適結した事業で、当然の資務として、「おかに対すっき事業」 点 ②を産業採異及び地域活性化のために重要な事業 1点 ②が表の事が行うる事業ので表した。ですったりに不可欠な事業 1点 ②を産業採異及び地域活性化のために重要な事業 1点 ②を産業採異及び地域活性化のために重要な事業 1点 ②を産業採異及び地域活性化のために重要な事業 1点 ②を産業採異及び地域活性化のために重要な事業 1点 ②を産業採業及び地域活性化のために重要な事業 1点 ②を産業が対する。 ②を産業が対する。 ②を産業が対する。 ②を産業が対する。 ②を産業が対する。 ②を産業が対する。 ②を産業が対する。 ②を産の事を制かを担いたまで、対策にあってもま。 ②を産の事を利用者が関するなど、再民ニーズが高速っている。 ②の事をの理した。国を企業を必要が関係関係として、対策を対する。 ②を産業の運動に関心、内容を具体的に記入します。 ②の事をの理能に対する事業の有効性 計 ③ 点 ③銀明・労働権は、児童主徒の使生な育成のための研究機関として必要である。 ②を定さる。 ②の事を表しまが表します。 ②の事を表しまが表します。 ②の事を表しまが表します。 ②の事を表しまが表します。 ②の事を表しまが表します。 ②の事を表しまが表します。 ②の事を表しまが表します。 ②の事を表しまが表します。 ②の事を表しまが表します。 ②の事を表しまが表しまが表します。 ②の事を表しまが表します。 ②の事を表しまが表しまが表します。 ②の事を表しまが表します。 ②の事を表しまが表しまが表します。 ②の事を表しまが表します。 ②の事を表します。 ②の事を表しまが表します。 ②の事を表しまが表します。 ②の事を表しまが表します。 ②の事を表しまが表します。 ②の事を表しまが表します。 ②の事を表しまが表します。 ②の事を表しまが表します。 ②の事を表します。	①教育関係団体等助成金・・・福島アカデミ・外1団体 ②各種大会参加助成金・・・・福島アカデミ・外1団体 ②各種大会参加助成金・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	①教育関係団体等助成金・・・福島アカデミー 外1団体 ②各種大会参加助成金・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	要														
事業のの目的	本連、中体連、全道・全国大会 に参加する費用を助成し、保護者の負担を軽減する。 ①教育団体等助成金・・・活動運営費2団体 ②各種大会参加助成金・・・小、中体連や全道等参加費用の 少職員の資質の向上を図る。 本連、中体連、全道・全国大会に の体験をし、人格の餓成を図 る事業か) 計 3 点 「いる事業。 1点 ○ ⑥産業振興及び地域活性化のために重要な事業 1点 直結した事業で、当然の責務とし 1点 ※内部管理・運営等の事業。(点数対象外) - ・・安定のために不可欠な事業。 1点 ※大会参加を一つため、学習指導の工夫改善や教職員の資質向上が図られ、プレノの活動でが配び回して、文型・工会・工会・工会・工会・工会・工会・工会・工会・工会・工会・工会・工会・工会・	②各種大会参加助成金・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	②各種大会参加助成金・・・・小体連、中体連、全道・全国大会 参加助成 ②を種大会参加助成金・・・・・・・・・・	2 合種大会参加助成金・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	②各種大会参加助成金・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	②各種大会参加助成金・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	②各種大会参加助成金・・・小体連、中体連、全道・全国大会参加助成金・・・活動運営費2団体 ②急極大会参加助成金・・・教職員の資質の向上を図る。 ②各種大会参加助成金・・・教職員の資質の向上を図る。 ③各種大会参加助成金・・・・教職員の資質の向上を図る。 ③各種大会参加助成金・・・・水連、中体連、全道・全国大会に参加の人で、体力向上と団体活動の体験をし、人格の機成を図えている。 ③の生活競技の強能等・可決生活に適能した事業で、当然の異常とした。 ②生活競技の強能等・可決生活に適能した事業で、当然の異常とした。 ②も生活競技の強能等・可決生活に適能した事業で、当然の異常とした。 ②は当時、治療的弱者の生活維持・安定のために不可欠か事業。 は、参内部産連・運営等の事業。係成対象外) 「	②各種大会参加助成金・・・・小体連、中体連、全道・全国大会 参加助成 ・・・・活動運営費2団体 ②各種大会参加助成金・・・活動運営費2団体 ②各種大会参加助成金・・・・活動運営費2団体 ②各種大会参加助成金・・・・・活動運営費2団体 ②各種大会参加助成金・・・・・・・・・・・	②各種大会参加助成金・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・		(1) 5	付象 (誰	を、何を	対象として	(いるのか)				(3)手段(どのような手	法、手順で行	っているのか)		
● 2 意図 (対象をどのような状態にしたいのか) ① 教育団体等助成金・・・活動運営費2団体 ② 各種大会参加助成金・・・外体連、中体連、全道・全国大会に 参加して、体力向上と団体活動の体験をし、人格の餓成を図 ス。 ② 各種大会参加助成金・・・小体連、中体連、全道・全国大会に 参加して、体力向上と団体活動の体験をし、人格の餓成を図 ス。 ② 生活環境の確保等、町民生活に直結した事業で、当然の責務とし て町が行うべき事業。 ② 生活環境の確保等、町民生活に直結した事業で、当然の責務とし て町が行うべき事業。 ③ 独会的・経済的弱者の生活維持・安定のために不可欠な事業。 ③ (説明) 関与の根拠に関し、内容を具体的に記入します。 ※ 本郷良で呼及する団体の、スを見から、現まれるが、サービスの確保が困難なため、町 お先導・補完する事業。 ② 社会情勢や町民ニーズの変化等 計 2 点 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	□助成 □教育団体等助成金・・・活動運営費2団体 ②各種大会参加助成金・・・小、中体連や全道等参加費用の 数職員の資質の向上を図る。 本連、中体連、全道・全国大会に の体験をし、人格の餓成を図 る事業か) 計 3 点 でいる事業。 1点 ○ ⑥産業振興及び地域活性化のために重要な事業 1点 直結した事業で、当然の責務とし 1点 ※内部管理・運営等の事業。(点数対象外) - 「・安定のために不可欠な事業。 1点 (説明)関与の根拠に関し、内容を具体的に記入します。 ・ 本版はて特成する回体が、てれてれた自主に野に展開し、双目切りを避したが、定額を発験員の資質向上が図られるシーノに到いて部店側を埋して、正国・王国人芸参加保甲に無実更初を目信して、日々練習に励み、大会参加をするための費用を助成し、保護者の負担軽減を図 等 計 2 点 ・子育で世代の経済的負担の軽減化を図り、もって少子化対策の一環に資する。 ②変化によって、サービス内容の拡 1点 ※法令等で実施内容や手法等が定められて、町の創意工夫が入る余 一地はない。(点数対象外) 1点 (説明) 妥当性に関し、内容を具体的に記入します。 次のでによって、サービス内容の拡 1点 ※法令等で実施内容や手法等が定められて、町の創意工夫が入る余 一地はない。(点数対象外) 1点 ②数職員研究組織は、児童生徒の健全な育成のための研究機関として必要である。 ②部活動の活発化や、小中学校のスポーツ・文化活動の展開によって、積極的な各種大会参加に繋がっている。 効性 計 3 点	# 参加助成	参加助成	# 参加助成 ①教育団体等助成金・・・活動運営費2団体 ②各種大会参加助成金・・・水職員の資質の向上を図る。 ②各種大会参加助成金・・・水職員の資質の向上を図る。 ②各種大会参加助成金・・・水職員の資質の向上を図る。 ②各種大会参加助成金・・・水職員の資質の向上を図る。 ③を養養機能の作う必要がある事業か 計 3 点 ② ②生活環境の確保等・再促生活に直結した事業で、当然の責務とし 点 ※内部管理・運営等の事業、(点数対象外) □ 2 会社会の・経済的弱者の生活維持・安定のために不可欠な事業 1点 ② 国社会の・経済的弱者の生活維持・安定のために不可欠な事業 1点 ② 国内的特性や魅力を生かした取り組みなど、戦略的な事業 1点 ② 国内的特性を魅力を生かした取り組みなど、戦略的な事業 1点 ② 国内的特性を魅力を生かした政党組みなど、戦略的な事業 1点 ② 国内的特性を関立した対策がある事業のが国際などめ、可由を推発に関し、内容を具体的に記入します。 2 会主をのが表す。 3 会主をのを対したが思うないである。 1点 ② 国内的使の見直しや社会環境の変化によって、サービス内容の拡 1点 ② 対象者、利用者が増加するため、種々の改善を行い、事業の動 1点 ② 対象者、利用者が増加するため、種々の改善を行い、事業の動 1点 ② 対象者、利用者が増加するため、種々の改善を行い、事業の動 1点 ② 教養者の選生を必要の確認しるため、種々の改善を行い、事業の動 1点 ② 教養者の選生を必要の確認しるため、種々の改善を行い、事業の動 1点 ② 教養者の選生を必要の確認したがある。 2 部務を実施の存むでも、2 の教養を強力を発力を表するいである。 2 の教養を達成するうえで、当該事業の有効性 計 3 点 ② 国施策を確成しまり、成果目標(事業の意図)の向上が期待できる。 1点 ② 国教経した事業との総合や連携を図る会地はない 1点 長 ○ ② 国教経した事業との総合のよりに対します。 2 定主を使わなといた財態のよりに認入します。 2 定主を使わなといる。 3 再発を見体的に記入します。 2 定主を使わなといる。 2 の教養を行い、事業の教養を行い、2 の教養を育成な、2 の教養を行い、2 の教養を行い、2 の教養を育成な、2 の教養を行い、2 の教養を行い、3 点 と 教養を育成ななどのなどのなどのなどのなどのなどのなどのなどのなどのなどのなどのなどのなどの	(2) 意図 (対象をどのような状態にしたいのか) (2) 意図 (対象をどのような状態にしたいのか) (3) 参育関係団体等助成金・・・教職員の資質の向上を図る。 (2) 各種大会参加助成金・・・教職員の資質の向上を図る。 (3) を育関係団体等助成金・・・教職員の資質の向上を図る。 (4) 町関与の根拠(町が行う必要がある事業か) (5) 多世会が・経済験別者の生活能に直結した事業で、当然の資務として、対応でいる。 (5) の財産の保保等・町民生活に直結した事業で、当然の資務として、対応等で、連済等の事業。(点数対象外) (5) の財産の保保等・町民生活に直結した事業で、当然の資務として、対応等で、対応のでは、対応する事業のは、対応では、対応で、対応で、対応で、対応で、対応で、対応で、対応で、対応で、対応で、対応で	(2) 意図 (対象をどのような状態にしたいのか) (2) 意図 (対象をどのような状態にしたいのか) (3) 参育関係団体等助成金・・・教職員の資質の向上を図る。 (2) 各種大会参加助成金・・・教職員の資質の向上を図る。 (3) を育関係団体等助成金・・・教職員の資質の向上を図る。 (4) 町関与の根拠(町が行う必要がある事業か) (5) 多世会が・経済験別者の生活能に直結した事業で、当然の資務として、対応でいる。 (5) の財産の保保等・町民生活に直結した事業で、当然の資務として、対応等で、連済等の事業。(点数対象外) (5) の財産の保保等・町民生活に直結した事業で、当然の資務として、対応等で、対応のでは、対応する事業のは、対応では、対応で、対応で、対応で、対応で、対応で、対応で、対応で、対応で、対応で、対応で	②素図 対象をどのような状態にしたいのか ②各種大会参加助成金・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	② 意図 (対象をどのような状態にしたいのか) ② 含種大会参加助成金・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	②素図 対象をどのような状態にしたいのか ②各様大会参加助成金・・・活動運営費2団体 ②各様大会参加助成金・・・小、中体連や全道等参加費用の ②各様大会参加助成金・・・小、中体連や全道等参加費用の ②各様大会参加助成金・・・小、中体連や全道等参加費用の ②各様大会参加助成金・・・小、中体連や全道等参加費用の ②各様大会参加助成金・・・小、中体連や全道等参加費用の ②を種大会参加助成金・・・・小、中体連や全道等参加費用の ②を種大会参加助成金・・・・小、中体連や全道等参加費用の ②を種大会参加助成金・・・・・・ ②		①参	女育関係	系団体等	学助成金・	・・福島アカデミ	ミー 外1	団体		各団体	に助成し、沿	舌動の充実・	強化を図るととも	っに、大会	
参加助成	②各種大会参加助成金・・・小、中体連や全道等参加費用の 数職員の資質の向上を図る。 本連、中体連、全道・全国大会に の体験をし、人格の酸成を図 る事業か) 計 3 点 「いる事業。 1点 ○ ⑥産業振興及び地域活性化のために重要な事業 1点 直結した事業で、当然の責務とし 1点 ※内部管理・運営等の事業。(点数対象外) - ー ・・安定のために不可欠な事業。 1点 ※内部管理・運営等の事業。(点数対象外) - ー ・・安定のために不可欠な事業。 1点 ※内部管理・運営等の事業。(点数対象外) ー ・・安定のために不可欠な事業。 1点 ※内部管理・運営等の事業。(点数対象外) ー ・・安定のために不可欠な事業。 1点 ※対象は、関し、内容を具体的に記入します。 ・ 文本職員で解放する理して、至は単・宝道人云参ル場中に数えずるとかり、サービスの確保が困難なため、町 1点 2 点 ・ プ育て世代の経済的負担の軽減化を図り、もって少子化対策の一環に資する。 ・ 次本職と「大会参加をするための費用を助成し、保護者の負担軽減を図等 計 2 点 ・ プ育て世代の経済的負担の軽減化を図り、もって少子化対策の一環に資する。 ・ 次法令等で実施内容や手法等が定められて、町の創意工夫が入る余 ー ・ 地はない、(点数対象外) に関し、内容を具体的に記入します。 ・ のでによって、サービス内容の拡 1点 ※法令等で実施内容や手法等が定められて、町の創意工夫が入る余 ー ・ と要である。 2 部活動の活発化や、小中学校のスポーツ・文化活動の展開によって、積極的な各種大会参加に繋がっている。 ・ 対策員研究組織は、児童生徒の健全な育成のための研究機関として必要である。 2 部活動の活発化や、小中学校のスポーツ・文化活動の展開によって、積極的な各種大会参加に繋がっている。	# 参加助成	# 参加助成	参加助成	# 参加助成	# 参加助成	変数 変数 変数 変数 変数 変数 変数 変数	② (2) 金屋 (対象をどのような状態にしたいのか) ② 合種大会参加助成金・・・ 不 中 体連 全道・零加費用の ② 合種大会参加助成金・・・ 小 体連、中 体連、全道・全国大会に 添加して、体 万同上と団体 (合動の体験をし、人格の (職政を)	(1) 数	車	②名	f 種大会	念参加助	力成金・・・	小体連、中体運	重、全道・	全国大	会	に参加す	る費用を助	成し、保護を	 皆の負担を軽減	する。	
日 (2) 意図 (対象をどのような状態にしたいのか)	数職員の資質の向上を図る。	② 含種大会参加助成金・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	2 意図 (対象をどのような状態にしたいのか)	② 含種大会参加助成金・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	□ 2 意図(対象をどのような状態にしたいのか) □ 教育関係団体等助成金・・・・教職員の資質の向上を図る。 □ 2 各種大会参加助成金・・・・水体連、全道・全国大会に参加して、体力向上と図名。 □ 2 各種大会参加助成金・・・・水体連、中体連、全道・全国大会に参加して、体力向上と図名。 □ 3 点 □ ① 公会等で実施が義務付けられている事業。	□ 2 意図(対象をどのような状態にしたいのか) □ 教育関係団体等助成金・・・・教職員の資質の向上を図る。 □ 2 各種大会参加助成金・・・・水体連、全道・全国大会に参加して、体力向上と図名。 □ 2 各種大会参加助成金・・・・水体連、中体連、全道・全国大会に参加して、体力向上と図名。 □ 3 点 □ ① 公会等で実施が義務付けられている事業。	②各種大会参加助成金・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	□ ② 意図(対象をどのような状態にしたいのか)	②各種大会参加助成金・・・外体連、中体連、全道・全国大会に参加助成金・・・小体連、中体連、全道・全国大会に参加助成金・・・外体連、中体連、全道・全国大会に参加した。(体力向上と団体治動の体験をし、人格の酸成を図え。(1)前関与の機機(新が行)必要がある事業か)計 3 点 ①社会帝で実施が遺跡付けられている事業。 1点 ②生活環境の確保等。可民生活に高速にた事業で、当然の責務として可が行うべき事業。 2生活環境の確保等。可民生活に高速にた事業で、当然の責務として可が行うべき事業。 2・可が行うべき事業。 1点 ③明の特性や魅力を生かした収別組みなど、観略的な事業 1点 ⑤見同常にお支援が望まれるが、サービスの確保が国職なため、可が集書・補密する主義人をかが担当したが、サービスの確保が国職なため、可が生産・研究で同じたが、学習指書の工夫演音を発展して関したが、等の場合を表の質別によるませい。 1点 2 割り 関与の機能に関し、内容を具体的に記入します。 2 対策書・神芸でよる事業の理なれるが、サービスの確保が国職なため、可以同じの関係の見による大きが望まれるが、サービスの確保が国職なため、可以の時におり、大会参加を生からため、資料を砂度し、実施であったがの質別を砂度し、保護者の気性極速を図り、大会参加を生からため、資料を砂度し、保護者の気性極速を図り、またが表がある。 1点 2 対策を表がある。 1点 2 対策を表がある。利用者が増加するなど、可以ニーズが高まっている。 1点 2 数別 条 利用者が増加するなど、可以ニーズが高まっている。 1点 2 数別 条 利用者が増加するなど、可以ニーズが高まっている。 1点 2 数別 条 利用者が増加するなど、可以上ーズが高まっている。 1点 2 数別 条 利用者が増加するなど、可以上ーズを表が上を図り、力は、対策を関係を見いないます。 2 数別 条 利用者が増加するなど、可以上のでは、大きなが出めいないます。 2 数別 条 利用者が増加するなど、可以上ーズが高まっている。 1点 2 数別 条 利用者が増加するなど、可以上のでは、大きな対策を見いながままります。 2 数別 条 利用者が増加するなど、可以上のでは、大きな対策を見います。 2 数別 条 利用者が増加するなど、可以上のでは、大きな対策を見いないます。 2 数別 条 利用 条 利	業				-	参加助成				①教育団	体等助成金	&••• 活動運	営費2団体		
 か	本連、中体連、全道・全国大会に の体験をし、人格の餓成を図	①教育関係団体等助成金・・・教職員の資質の向上を図る。 ②各種大会参加助成金・・・外体連、中体連、全道・全国大会に参加して、体力向上と団体活動の体験をし、人格の餓成を図える。 ②自活環境の確保等、可民生活に直結した事業で、当然の責務として町が行うべき事業。 1点 ○ ③産業振興及び地域活性化のために重要な事業 1点 ○ ③社会的・経済的弱者の生活維持・安定のために不可欠な事業。 1点 ○ ③産業振興及び地域活性化のために重要な事業 1点 ○ ③社会的・経済的弱者の生活維持・安定のために不可欠な事業。 1点 ○ ③社会的・経済的弱者の生活維持・安定のために不可欠な事業。 1点 ○ ③財会的・経済的弱者の生活維持・安定のために不可欠な事業。 1点 ○ ③財会的・経済的弱者の生活維持・安定のために不可欠な事業。 1点 ○ ③財会の・経済的弱者の生活維持・安定のために不可欠な事業。 1点 ○ ③財会の・経済的弱者の生活維持・安定のために不可欠な事業。 1点 ○ ③財会の・経済的弱者の生活維持・安定のために不可欠な事業。 1点 ○ ③財の対しため、学習指導の工夫改善や教職員の資質向上が図られている。 ②財の制度の見直しや社会環境の変化によって、サービス内容の拡充が求められている。 ②は食情勢や町民ニーズの変化等 計 2 点 「会議習に励み、大会参加をするための費用を助成し、保護者の提出を認定といる。 ②対象者、利用者が増加するなど、町民ニーズが高まっている。 ②対象者、利用者が増加するなど、町民ニーズが高まっている。 ②対象者、利用者が増加するなど、町民ニーズが高まっている。 ②教養養・利用者が増加するなど、町民ニーズが高まっている。 ②教養養・利用者が増加するなど、町民ニーズが高まっている。 ②教養養・利用者が増加するなど、町民ニーズが高まっている。 ②教養養・利用者が増加するなど、町民ニーズが高まっている。 ②教養養・利用者が増加するなど、町民ニーズが高まっている。 ②教養養・利用者が増加するなど、町民ニーズが高まっている。 ②教養養・利用者が増加するなど、町民ニーズが高まっている。 ②教養養・利用者が増加するなど、町民ニーズが高まっている。 ②教養養・利用者が増加するなど、町民ニーズが高まっている。 ②教養養・利用者が増加するなど、町民ニスが高まっている。 ②教養養・対したい、「財産を食べたい」とは、「大きない」とない、「大きない」とない、「大きない)とは、「大きない)とない、「大きない)とない、「大きない)とは、「大きない)とは、「大きない」とない、「大きない)とない、「大きない	①教育関係団体等助成金・・・教職員の資質の向上を図る。 ②各種大会参加助成金・・・水体連、中体連、全道・全国大会に 参加して、体力同上と団体活動の体験をし、人格の餓成を図 ②生活環境の確保等・町民生活に直結した事業で、当然の責務とし ②生活環境の確保等・町民生活に直結した事業で、当然の責務とし ○ ③社会的・経済的明者の生活維持・安定のために不可欠な事業	①教育関係団体等助成金・・・教職員の資質の向上を図る。 ②各種大会参加助成金・・・外体連、中体連、全道・全国大会に参加して、体刀同上と団体活動の体験をし、人格の餓成を図える。 (1) 町関与の根拠(町が行う必要がある事業か) 計 3 点 □ ②企会等で実施が義務付けられている事業。 1点 ② ③産業援興及び地域活性化のために重要な事業 1点 ② ②生活環境の確保等、町民生活に直結した事業で、当然の責務とし、「おが育う・さ事業。 1点 ② ③配業援興及び地域活性化のために重要な事業 1点 ② ③を含め・経済的剥者の生活維持・安定のために不可欠な事業 1点 ② ③配調等による実施が資金木のために不可欠な事業 1点 ② ③配調等による実施が設まれるが、サービスの確保が困難なため、町 ②民間等による実施が望まれるが、サービスの確保が困難なため、町 ②民間等による実施が望まれるが、サービスの確保が困難なため、町 「お生物・経済・動産する事業」 1点 □ 本練習に励っ、大会参加をするための費用を助成し、保護者の負担係越を図 2 社会情勢や町民ニーズの変化等 計 2 2 社会情勢や町民ニーズの変化等 1点 □ 未被習に励った大会参加をするための費用を助成し、保護者の負担係越を図 2 社会情勢・中国民 「中国と「の程済・的員担の程道化を図り、もって少子化対策の一環に資する。 ②対象者、利用者が増加するなど、町民ニーズが高まっている。 1点 □ 無対ない、(点数母外) ② ②の関係の見値化・固定化を避けるため、種々の改善を行い、事業の効果が強素がないてきている。 ② 事業の硬直化・固定化を避けるため、種々の改善を行い、事業の効果が強素が完かられて、町の創修工夫が入金余 1点 □ 無対ない、(点数母を具体的に記入します。 ② ② ② 部活動の活発化や、小中学校のスポーツ・文化活動の展開によって、(額様的な各種大会参加に繋がっている。 2 部活動の活発化や、小中学校のスポーツ・文化活動の展開によって、(額規度研究組織は、児童生徒の健全な育成のための研究機関として、必要である。 1点 ② ① ① 「能等を達成するうえで、当該事業の貢献度は高い。 1点 ② ② ② 部活動の活発化や、小中学校のスポーツ・文化活動の展開によって、「超域の性を強力を参加に繋がっている。 1点 ② ② ② 部活動の活発化や、小中学校のスポーツ・文化活動の展開になって、「2 ② の ② 部活動の活発化や、小中学校のスポーツ・文化活動の展開によって、「2 ② の ② 部活動の活発化を、小中学校のスポーツ・文化活動の展開によって、「2 ② の ② 第2 の 2 を 2 を 3 に 3 に 3 に 3 に 3 に 3 に 3 に 3 に 3 に 4 に 3 に 4 に 4	(1) 教育関係団体等助成金・・・教職員の資質の向上を図る。 (2) 各種大会参加助成金・・・外体連、中体連、全道・全国大会に参加して、体刀同上と団体活動の体験をし、人格の餓成を図える。 (1) 町関与の根拠(町が行う必要がある事象か) 計 3 点 (1) 町関与の根拠(町が行う必要がある事象か) 計 3 点 点 (2) 生活環境の確保等、町民生活に直結した事業で、当然の責務として町が行うべき事業。 1点 ※内部管理・運営等の事業。(高数対象外) ー (2) 砂計会的・経液的弱者の生活維持・安定のために不可欠な事業。 1点 ※内部管理・運営等の事業。(高数対象外) ー (2) 砂計会の経験部署を生活維持・安定のために不可欠な事業。 1点 (数期) 関与の根拠に関し、内容を具体的に記入します。 ※内部管理・運営等の事業。(高数対象外) ー (2) 砂計会の経験部署を生活維持・安定のために不可欠な事業。 1点 (数期) 関与の根拠に関し、内容を具体的に記入します。 ※内部管理・運営等の事業。(高数対象外) ー (2) 健国の特性や魅力を生かした取り組みなど、戦略的な事業。 1点 (数明) 関与の根拠に関し、内容を具体的に記入します。 ・ 大部ではのよりを表の外側を助成し、保護者の負担船域と図がりたり、申述報子にあったものの関係が関連なため、町がた場所のなどのから可能を関し、もってターでは養養の負担船域と図を表が求めらわている。 ・ 大者で世帯の事なが主なための財産物局上の機構をと図り、もってターで対策をの一環に資する。 ・ 大者で世界の確認を表しまままがよる。 ・ 大者で世界の事ながままがよっている。 ー (2) 企業を、ののは、と同性を発行るため、種々の改善を行い、事業の効果の要はは、関し、内容を具体的に記入します。 ・ 大部で主動のの活発機に関し、内容を具体的に記入します。 ・ 大部で実施内を発力のより、大部の実施を表している。 ・ 大部を表しのより、対域は、関連している。 ・ 大部を主体の概全があり、対域はない、関連的に記入します。 ・ 大部に関し、内容を具体的に記入します。 ・ 大型工作のでデカーに対し、内容を具体的に記入します。 ・ 大型工作のでデカーにある。 ・ 大型工作のでデカーに対し、内容を具体的に記入します。 ・ 大型工作のでデカーに対し、内容を具体的に記入します。 ・ 大型工作のでデカーに対し、内容を具体的に記入します。 ・ 大型工作のでデカーに対します。 ・ 大型工作のでデカーに対します。 ・ 大型工作のでデカーに対し、内容を具体的に記入します。 <th>(1) 教育関係団体等助成金・・・教職員の資質の向上を図る。 (2) 各種大会参加助成金・・・外体連、中体連、全道・全国大会に参加して、体刀同上と団体活動の体験をし、人格の餓成を図える。 (1) 町関与の根拠(町が行う必要がある事象か) 計 3 点 (1) 町関与の根拠(町が行う必要がある事象か) 計 3 点 点 (2) 生活環境の確保等、町民生活に直結した事業で、当然の責務として町が行うべき事業。 1点 ※内部管理・運営等の事業。(高数対象外) ー (2) 砂計会的・経液的弱者の生活維持・安定のために不可欠な事業。 1点 ※内部管理・運営等の事業。(高数対象外) ー (2) 砂計会の経験部署を生活維持・安定のために不可欠な事業。 1点 (数期) 関与の根拠に関し、内容を具体的に記入します。 ※内部管理・運営等の事業。(高数対象外) ー (2) 砂計会の経験部署を生活維持・安定のために不可欠な事業。 1点 (数期) 関与の根拠に関し、内容を具体的に記入します。 ※内部管理・運営等の事業。(高数対象外) ー (2) 健国の特性や魅力を生かした取り組みなど、戦略的な事業。 1点 (数明) 関与の根拠に関し、内容を具体的に記入します。 ・ 大部ではのよりを表の外側を助成し、保護者の負担船域と図がりたり、申述報子にあったものの関係が関連なため、町がた場所のなどのから可能を関し、もってターでは養養の負担船域と図を表が求めらわている。 ・ 大者で世帯の事なが主なための財産物局上の機構をと図り、もってターで対策をの一環に資する。 ・ 大者で世界の確認を表しまままがよる。 ・ 大者で世界の事ながままがよっている。 ー (2) 企業を、ののは、と同性を発行るため、種々の改善を行い、事業の効果の要はは、関し、内容を具体的に記入します。 ・ 大部で主動のの活発機に関し、内容を具体的に記入します。 ・ 大部で実施内を発力のより、大部の実施を表している。 ・ 大部を表しのより、対域は、関連している。 ・ 大部を主体の概全があり、対域はない、関連的に記入します。 ・ 大部に関し、内容を具体的に記入します。 ・ 大型工作のでデカーに対し、内容を具体的に記入します。 ・ 大型工作のでデカーにある。 ・ 大型工作のでデカーに対し、内容を具体的に記入します。 ・ 大型工作のでデカーに対し、内容を具体的に記入します。 ・ 大型工作のでデカーに対し、内容を具体的に記入します。 ・ 大型工作のでデカーに対します。 ・ 大型工作のでデカーに対します。 ・ 大型工作のでデカーに対し、内容を具体的に記入します。<th> ①教育関係団体等助成金・・・教職員の資質の向上を図る。 ②各種大会参加助成金・・・教職員の資質の向上を図る。 ②各種大会参加助成金・・・・教職員の資質の向上を図る。 ②と信漢を参加助成金・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・</th><td> ①教育関係団体等助成金・・・教職員の資質の向上を図る。 ②各種大会参加助成金・・・外体連、中体連、全道・全国大会に参加して、体力向上と団体活動の体験をし、人格の醸成を図えて、(1) 新聞与の根拠(南が行う必要がある事業か) 計 3 点 ② 公社会等で実施が義務付けられている事業。 1点 ② 公社会院を受験が経験等。可民生活に直結した事業で、当然の責務として可が行うべき事業。 1点 ② 公社会院・経済的弱者の生活維持・安定のために不可欠な事業。 1点 ② 公社会院・経済的弱者の生活維持・安定のために不可欠な事業。 1点 ② 公社会院・経済的弱者の生活維持・安定のために不可欠な事業。 1点 ② のの世会の・経済的弱者の生活維持・安定のために不可欠な事業。 1点 ② の同の特性や魅力を生かした取り組みなど、眼路的な事業。 1点 ② の同の特性や魅力を生かした取り組みなど、眼路的な事業。 1点 ② の関係を魅力を生かした取り組みなど、眼路的な事業。 1点 ② の民間等による実施が望まれるが、サービスの確保が困難なため、町 1点 ② 大会 教授を守む財産して、エリーエルス等の加速に応収ませらにして、アンスを作るが表す。 1点 ② の財産の見直しや社会機定の変化によって、サービス内容の拡 1点 ② 対象を表 利用者が増加するなど、町民ニーズが高まっている。 ② 対象を表 利用者が増加するなど、町民ニーズが高まっている。 ② 対象を表 利用者が増加するなど、町民ニーズが高まっている。 ② 対象を表 利用をが増加するなど、町民ニーズが高まっている。 ② 対象を表 利用を対象が加するなど、町民ニーズが高まっている。 ② 対象を表 利用をが増加するなど、町民ニーズが高まっている。 ② 対象を表 利用を対象が加するなど、町民ニーズが高まっている。 ② 対象を表 利用を表が増加するなど、町民ニーズが高まっている。 ② が表があられている。 ○ ② 対象を表 利加を対象が対象を合うできている。 ○ ② 対象を表 利用するを具体的に記入します。 ○ ② 事業の産医 他 恒 定化を受けるか。 ○ ② 財産 全権の中 定 と、 日本では、 日</td><th> ①教育関係団体等助成金・・教職員の資質の向上を図る。 ②各種大会参加助成金・・・水体連、中体連、全道・全国大会に参加して、体ブ川の上と団体活動の体験をし、人格の関域を図えて、(が)期間与の根拠側が行う必要がある事業か) 計 3 点 ② 法金属を今で実施が養務付けられている事業。 1点 ② ⑥産業展異及び地域活性化のために重要な事業 1点 ② 生産物の資料・対している事業。 1点 ② ⑥産業展異及び地域活性化のために重要な事業 1点 ② 金社会的・経的的著布の生活能力・安まで、1点 ② 銀工会的・経的的著布の生活能力・安まで、1点 ② 銀工会的・経的的著布の生活能力・安まで、1点 ② 銀工会の機能の対している。 1点 ② 銀元社会の経路の著名の生活能力・安まで、1点 ② 銀元社会の経路の著名の生活能力・安まで、1点 ② 銀元社会の経路の著名の生活能力・安まで、1点 ② 銀元社会が経路の著名の生活能力・安まで、1点 ② 銀元社会が経路の著名の生活能力・安まで、1点 ② 銀元社会が経路の対している。 1点 ② 東京 ※ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・</th><th></th><th>(2) 7</th><td>意図(対</td><td>象をどの</td><th>ような状態</th><th>にしたいのか)</th><td></td><td></td><td></td><td>②各種大</td><td>会参加助局</td><td>战金•••小、</td><td>中体連や全道等</td><td>参加費用0</td><td>り</td></th>	(1) 教育関係団体等助成金・・・教職員の資質の向上を図る。 (2) 各種大会参加助成金・・・外体連、中体連、全道・全国大会に参加して、体刀同上と団体活動の体験をし、人格の餓成を図える。 (1) 町関与の根拠(町が行う必要がある事象か) 計 3 点 (1) 町関与の根拠(町が行う必要がある事象か) 計 3 点 点 (2) 生活環境の確保等、町民生活に直結した事業で、当然の責務として町が行うべき事業。 1点 ※内部管理・運営等の事業。(高数対象外) ー (2) 砂計会的・経液的弱者の生活維持・安定のために不可欠な事業。 1点 ※内部管理・運営等の事業。(高数対象外) ー (2) 砂計会の経験部署を生活維持・安定のために不可欠な事業。 1点 (数期) 関与の根拠に関し、内容を具体的に記入します。 ※内部管理・運営等の事業。(高数対象外) ー (2) 砂計会の経験部署を生活維持・安定のために不可欠な事業。 1点 (数期) 関与の根拠に関し、内容を具体的に記入します。 ※内部管理・運営等の事業。(高数対象外) ー (2) 健国の特性や魅力を生かした取り組みなど、戦略的な事業。 1点 (数明) 関与の根拠に関し、内容を具体的に記入します。 ・ 大部ではのよりを表の外側を助成し、保護者の負担船域と図がりたり、申述報子にあったものの関係が関連なため、町がた場所のなどのから可能を関し、もってターでは養養の負担船域と図を表が求めらわている。 ・ 大者で世帯の事なが主なための財産物局上の機構をと図り、もってターで対策をの一環に資する。 ・ 大者で世界の確認を表しまままがよる。 ・ 大者で世界の事ながままがよっている。 ー (2) 企業を、ののは、と同性を発行るため、種々の改善を行い、事業の効果の要はは、関し、内容を具体的に記入します。 ・ 大部で主動のの活発機に関し、内容を具体的に記入します。 ・ 大部で実施内を発力のより、大部の実施を表している。 ・ 大部を表しのより、対域は、関連している。 ・ 大部を主体の概全があり、対域はない、関連的に記入します。 ・ 大部に関し、内容を具体的に記入します。 ・ 大型工作のでデカーに対し、内容を具体的に記入します。 ・ 大型工作のでデカーにある。 ・ 大型工作のでデカーに対し、内容を具体的に記入します。 ・ 大型工作のでデカーに対し、内容を具体的に記入します。 ・ 大型工作のでデカーに対し、内容を具体的に記入します。 ・ 大型工作のでデカーに対します。 ・ 大型工作のでデカーに対します。 ・ 大型工作のでデカーに対し、内容を具体的に記入します。 <th> ①教育関係団体等助成金・・・教職員の資質の向上を図る。 ②各種大会参加助成金・・・教職員の資質の向上を図る。 ②各種大会参加助成金・・・・教職員の資質の向上を図る。 ②と信漢を参加助成金・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・</th> <td> ①教育関係団体等助成金・・・教職員の資質の向上を図る。 ②各種大会参加助成金・・・外体連、中体連、全道・全国大会に参加して、体力向上と団体活動の体験をし、人格の醸成を図えて、(1) 新聞与の根拠(南が行う必要がある事業か) 計 3 点 ② 公社会等で実施が義務付けられている事業。 1点 ② 公社会院を受験が経験等。可民生活に直結した事業で、当然の責務として可が行うべき事業。 1点 ② 公社会院・経済的弱者の生活維持・安定のために不可欠な事業。 1点 ② 公社会院・経済的弱者の生活維持・安定のために不可欠な事業。 1点 ② 公社会院・経済的弱者の生活維持・安定のために不可欠な事業。 1点 ② のの世会の・経済的弱者の生活維持・安定のために不可欠な事業。 1点 ② の同の特性や魅力を生かした取り組みなど、眼路的な事業。 1点 ② の同の特性や魅力を生かした取り組みなど、眼路的な事業。 1点 ② の関係を魅力を生かした取り組みなど、眼路的な事業。 1点 ② の民間等による実施が望まれるが、サービスの確保が困難なため、町 1点 ② 大会 教授を守む財産して、エリーエルス等の加速に応収ませらにして、アンスを作るが表す。 1点 ② の財産の見直しや社会機定の変化によって、サービス内容の拡 1点 ② 対象を表 利用者が増加するなど、町民ニーズが高まっている。 ② 対象を表 利用者が増加するなど、町民ニーズが高まっている。 ② 対象を表 利用者が増加するなど、町民ニーズが高まっている。 ② 対象を表 利用をが増加するなど、町民ニーズが高まっている。 ② 対象を表 利用を対象が加するなど、町民ニーズが高まっている。 ② 対象を表 利用をが増加するなど、町民ニーズが高まっている。 ② 対象を表 利用を対象が加するなど、町民ニーズが高まっている。 ② 対象を表 利用を表が増加するなど、町民ニーズが高まっている。 ② が表があられている。 ○ ② 対象を表 利加を対象が対象を合うできている。 ○ ② 対象を表 利用するを具体的に記入します。 ○ ② 事業の産医 他 恒 定化を受けるか。 ○ ② 財産 全権の中 定 と、 日本では、 日</td> <th> ①教育関係団体等助成金・・教職員の資質の向上を図る。 ②各種大会参加助成金・・・水体連、中体連、全道・全国大会に参加して、体ブ川の上と団体活動の体験をし、人格の関域を図えて、(が)期間与の根拠側が行う必要がある事業か) 計 3 点 ② 法金属を今で実施が養務付けられている事業。 1点 ② ⑥産業展異及び地域活性化のために重要な事業 1点 ② 生産物の資料・対している事業。 1点 ② ⑥産業展異及び地域活性化のために重要な事業 1点 ② 金社会的・経的的著布の生活能力・安まで、1点 ② 銀工会的・経的的著布の生活能力・安まで、1点 ② 銀工会的・経的的著布の生活能力・安まで、1点 ② 銀工会の機能の対している。 1点 ② 銀元社会の経路の著名の生活能力・安まで、1点 ② 銀元社会の経路の著名の生活能力・安まで、1点 ② 銀元社会の経路の著名の生活能力・安まで、1点 ② 銀元社会が経路の著名の生活能力・安まで、1点 ② 銀元社会が経路の著名の生活能力・安まで、1点 ② 銀元社会が経路の対している。 1点 ② 東京 ※ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・</th> <th></th> <th>(2) 7</th> <td>意図(対</td> <td>象をどの</td> <th>ような状態</th> <th>にしたいのか)</th> <td></td> <td></td> <td></td> <td>②各種大</td> <td>会参加助局</td> <td>战金•••小、</td> <td>中体連や全道等</td> <td>参加費用0</td> <td>り</td>	①教育関係団体等助成金・・・教職員の資質の向上を図る。 ②各種大会参加助成金・・・教職員の資質の向上を図る。 ②各種大会参加助成金・・・・教職員の資質の向上を図る。 ②と信漢を参加助成金・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	①教育関係団体等助成金・・・教職員の資質の向上を図る。 ②各種大会参加助成金・・・外体連、中体連、全道・全国大会に参加して、体力向上と団体活動の体験をし、人格の醸成を図えて、(1) 新聞与の根拠(南が行う必要がある事業か) 計 3 点 ② 公社会等で実施が義務付けられている事業。 1点 ② 公社会院を受験が経験等。可民生活に直結した事業で、当然の責務として可が行うべき事業。 1点 ② 公社会院・経済的弱者の生活維持・安定のために不可欠な事業。 1点 ② 公社会院・経済的弱者の生活維持・安定のために不可欠な事業。 1点 ② 公社会院・経済的弱者の生活維持・安定のために不可欠な事業。 1点 ② のの世会の・経済的弱者の生活維持・安定のために不可欠な事業。 1点 ② の同の特性や魅力を生かした取り組みなど、眼路的な事業。 1点 ② の同の特性や魅力を生かした取り組みなど、眼路的な事業。 1点 ② の関係を魅力を生かした取り組みなど、眼路的な事業。 1点 ② の民間等による実施が望まれるが、サービスの確保が困難なため、町 1点 ② 大会 教授を守む財産して、エリーエルス等の加速に応収ませらにして、アンスを作るが表す。 1点 ② の財産の見直しや社会機定の変化によって、サービス内容の拡 1点 ② 対象を表 利用者が増加するなど、町民ニーズが高まっている。 ② 対象を表 利用者が増加するなど、町民ニーズが高まっている。 ② 対象を表 利用者が増加するなど、町民ニーズが高まっている。 ② 対象を表 利用をが増加するなど、町民ニーズが高まっている。 ② 対象を表 利用を対象が加するなど、町民ニーズが高まっている。 ② 対象を表 利用をが増加するなど、町民ニーズが高まっている。 ② 対象を表 利用を対象が加するなど、町民ニーズが高まっている。 ② 対象を表 利用を表が増加するなど、町民ニーズが高まっている。 ② が表があられている。 ○ ② 対象を表 利加を対象が対象を合うできている。 ○ ② 対象を表 利用するを具体的に記入します。 ○ ② 事業の産医 他 恒 定化を受けるか。 ○ ② 財産 全権の中 定 と、 日本では、 日	①教育関係団体等助成金・・教職員の資質の向上を図る。 ②各種大会参加助成金・・・水体連、中体連、全道・全国大会に参加して、体ブ川の上と団体活動の体験をし、人格の関域を図えて、(が)期間与の根拠側が行う必要がある事業か) 計 3 点 ② 法金属を今で実施が養務付けられている事業。 1点 ② ⑥産業展異及び地域活性化のために重要な事業 1点 ② 生産物の資料・対している事業。 1点 ② ⑥産業展異及び地域活性化のために重要な事業 1点 ② 金社会的・経的的著布の生活能力・安まで、1点 ② 銀工会的・経的的著布の生活能力・安まで、1点 ② 銀工会的・経的的著布の生活能力・安まで、1点 ② 銀工会の機能の対している。 1点 ② 銀元社会の経路の著名の生活能力・安まで、1点 ② 銀元社会の経路の著名の生活能力・安まで、1点 ② 銀元社会の経路の著名の生活能力・安まで、1点 ② 銀元社会が経路の著名の生活能力・安まで、1点 ② 銀元社会が経路の著名の生活能力・安まで、1点 ② 銀元社会が経路の対している。 1点 ② 東京 ※ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・		(2) 7	意図(対	象をどの	ような状態	にしたいのか)				②各種大	会参加助局	战金•••小、	中体連や全道等	参加費用0	り
②各種大会参加助成金・・・小体連、中体連、全道・全国大会に 参加して、体力向上と団体活動の体験をし、人格の髏成を図 ス。 (1) 町関与の根拠(町が行う必要がある事業か) 計 3 点 ①法令等で実施が義務付けられている事業。 1点 ○ ⑥産業振興及び地域活性化のために重要な事業 ②生活環境の確保等、町民生活に直結した事業で、当然の責務とし て町が行うべき事業。 1点 ※内部管理・運営等の事業。(点数対象外) ○ ③社会的・経済的弱者の生活維持・安定のために不可欠な事業。 1点 (説明) 関与の根拠に関し、内容を具体的に記入します。 ※内部管理・運営等の事業。(点数対象外) ○ ③町の特性や魅力を生かした取り組みなど、戦略的な事業。 1点 ② ・	本連、中体連、全道・全国大会に の体験をし、人格の餓成を図	②各種大会参加助成金・・・・・・	②各種大会参加助成金・・・・小体連、中体連、全道・全国大会に 参加して、体力向上とは体活動の体験をし、人格の餓成を図 (1) 町関与の根拠(町が行)必要がある事業か) 計 3 点 ②生活環境の確保等、町民生活に直結した事業で、当然の責務とし 1点 ※内部管理・運営等の事業。(点数対象外) - 「	②各種大会参加助成金・・・小体連、中体連、全道・全国大会に 参加して、体力同上と団体活動の体験をし、人格の饑成を図 2 (1) 町関与の模塊(町が行う必要がある事業か) 計 3 点 ②生活環境の確保等・町民生活に直結した事業で、当然の責務とし 1点 ② ⑥産業振興及び地域活性化のために重要な事業 1点 ② 1点 ② 8 対象が予かべき事業。 1点 ② 8 対象が予かとき事業。 2 は一間が行うべき事業。 2 は一間が行うべき事業。 2 は一間が行うべき事業。 2 は一間が行うべき事業。 3 は同じないよいにもロローエが、大力とないこ目が助したが、その音楽を異体的に記入します。 2 は一個の物性や魅力を生かした取り組みなど、製路的な事業。 1点 ② 1点 日本報告に励う、大会参加をするための費用を助成し、保護者の責任権機能を図り、 2 は全情勢や町民ニーズの変化等 計 2 点 2 がなずるが求められている。 ② 2 は全情勢や町民ニーズの変化等 計 2 点 ② 2 は全情勢や町民ニーズの変化等 計 2 点 2 がまが求められている。 ② 2 は全情等が応力するなど、町民ニーズが高まっている。 1点 (3 説明) 妥当性に関し、内容を具体的に記入します。 2 別報度の見値とや社会環境の変化によって、サービス内容の拡充が求められている。 ② 2 対象を第 利用者が増加するなど、町民ニーズが高まっている。 1点 (3 説明) 妥当性に関し、内容を具体的に記入します。 2 別報度は研究組織は、児童生徒の健全な育成のための研究機関として必要である。 ② ② 2 派活動の活発化や、小中学校のスポーツ・文化活動の展開によって、積極的な各種大会参加に繋がっている。 1点 ② 8 説明 す効性に関し、内容を具体的に記入します。 2 ② 2 が通報化によった、1 は極的な各種大会参加に繋がっている。 1点 2 説明 す効性に関し、内容を具体的に記入します。 2 ② 2 第項はたい、環がつている。 1点 2 説明 す効性に関し、内容を具体的に記入します。 2 ② 2 第項はたなってきている。 1点 2 説明 す効性に関し、内容を具体的に記入します。 1点 2 説明 す効性に関し、内容を具体的に記入します。 1点 2 説明 す効性に関し、内容を具体的に記入します。 1点 2 説明 す効性に関し、内容を具体的に記入します。 2 ② 3 第項はたますとの統合や連携を図る余地はない。 1点 2 説明 す効性に関し、内容を具体的に記入します。 1点 2 説明を企業のするのは関係である。 1点 2 説明に表加さなられている。 1 点 2 記 2 記 2 記 2 記 2 記 2 記 2 記 2 記 2 記 2	②各種大会参加助成金・・・・小体連、中体連、全道・全国大会に 参加して、体力同上と団体活動の体験をし、人格の餓成を図 (1) 町関与の根拠(町が行う必要がある事業か) 計 3 点 ① 砂を今等で実施が養務付けられている事業。 1点 ② ④産業振興及び地域活性化のために重要な事業 1点 ② ④産業振興及び地域活性化のために重要な事業 1点 ② ④産業振興及び地域活性化のために重要な事業 1点 ② ●産業振りの確保等、町民生活に直結した事業で、当然の責務とし 1点 ※内部管理・運営等の事業。(点数対象外) □ ・ ※ ※ ※ ※ ※ ※ ※ ※ ※ ※ ※ ※ ※ ※ ※ ※ ※ ※	②各種大会参加助成金・・・・小体連、中体連、全道・全国大会に 参加して、体力同上と団体活動の体験をし、人格の餓成を図 (1) 町関与の根拠(町が行う必要がある事業か) 計 3 点 ① 砂を今等で実施が養務付けられている事業。 1点 ② ④産業振興及び地域活性化のために重要な事業 1点 ② ④産業振興及び地域活性化のために重要な事業 1点 ② ④産業振興及び地域活性化のために重要な事業 1点 ② ●産業振りの確保等、町民生活に直結した事業で、当然の責務とし 1点 ※内部管理・運営等の事業。(点数対象外) □ ・ ※ ※ ※ ※ ※ ※ ※ ※ ※ ※ ※ ※ ※ ※ ※ ※ ※ ※	②各種大会参加助成金・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	②各種大会参加助成金・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	②各種大会参加別成金・・・小体連、中体連、全道・全国大会に参加して、体力向上と団体活動の体験をし、人格の酸成を図えて、		①参	か 音関係	系 団 体 等	· 動成金・	・・教職員の資	質の向ト	を図る。				10割財	ı Б		
参加して、体力向上と団体活動の体験をし、人格の醸成を図る。 (1) 町関与の根拠(町が行う必要がある事業か) 計 3 点 ①法令等で実施が義務付けられている事業。 1点 ② ⑥産業振興及び地域活性化のために重要な事業 ②生活環境の確保等、町民生活に直結した事業で、当然の責務として町が行うべき事業。 (点数対象外) ③社会的・経済的弱者の生活維持・安定のために不可欠な事業。 1点 (説明)関与の根拠に関し、内容を具体的に記入します。 ③は会的・経済的弱者の生活維持・安定のために不可欠な事業。 1点 (説明)関与の根拠に関し、内容を具体的に記入します。 ③民間等による実施が望まれるが、サービスの確保が困難なため、町	3	※加して、体力向上と団体活動の体験をし、人格の酸成を図える。	 参加して、体力向上と団体活動の体験をし、人格の酸成を図える。 (1) 町関与の根拠(町が行う必要がある事業か) 計 3 点 ①法令等で実施が義務付けられている事業。 ○生活環境の確保等、町民生活に直結した事業で、当然の責務として前が行う心を事業。 ○銀社会的・経済的弱者の生活維持・安定のために不可欠な事業。 ○銀社会的・経済的弱者の生活維持・安定のために不可欠な事業。 ○銀町の特性や魅力を生かした取り組みなど、戦略的な事業。 ○銀町の特性や魅力を生かした取り組みなど、戦略的な事業。 ○銀町等による実施が望まれるが、サービスの確保が困難なため、町が先導・補完する事業。 ②社会情勢や町民ニーズの変化等 計 2 宗育で世代の経済的負担の軽減化を図り、もって少子化対策の一環に資する。 ②対象者、利用者が増加するなど、町民ニーズが高まっている。 ○銀藤の東直化・固定化を避けるため、種々の改善を行い、事業の効果が顕著になってきている。 ○銀路がお助る活発化や、小中学校のスポーツ・文化活動の展開によって、積極的な各種大会参加に繋がっている。 (説明) 要3性に関し、内容を具体的に記入します。 ②対象者、利用者が増加するなど、町民ニーズが高まっている。 ○銀路高動の活発化や、小中学校のスポーツ・文化活動の展開によって、積極的な各種大会参加に繋がっている。 (説明) 要3性に関し、内容を具体的に記入します。 ②都に動かる活発化や、小中学校のスポーツ・文化活動の展開によって、積極的な各種大会参加に繋がっている。 (説明) 有効性に関し、内容を具体的に記入します。 ②都活動の活発化や、小中学校のスポーツ・文化活動の展開によって、積極的な各種大会参加に繋がっている。 (説明) 有効性に関し、内容を具体的に記入します。 ②の場所を達成するうえで、当該事業の貢献度は高い。 (説明) 有効性に関し、内容を具体的に記入します。 ②の場所は対する事業の存成できる。 ②の場所は対する事業が定める。 	②加して、体力向上と団体活動の体験をし、人格の酸成を図 (1) 町関与の根拠(町が行)必要がある事業か) 計 3 点 ②生活環境の確保等、町民生活に直結した事業で、当然の責務とし 点 ※内部管理・運営等の事業。(点数対象外)	参加して、体力同上と団体活動の体験をし、人格の酸成を図る。	参加して、体力同上と団体活動の体験をし、人格の酸成を図る。	参加して、体力同上と団体活動の体験をし、人格の触成を図 (1) 町関与の根拠(町が行う必要がある事業か) 計 3 点 (① (① (① (② (□ (□ (□ (□ (□ (□ (□ (□ (□ (□ (□ (□ (□	参加して、体力同上と団体活動の体験をし、人格の競技を図	参加して、体力同上と団体活動の体験をし、人格の機反を図								-					.,,,,,		
①法令等で実施が義務付けられている事業。 ②生活環境の確保等、町民生活に直結した事業で、当然の責務として町が行うべき事業。 ②生活環境の確保等、町民生活に直結した事業で、当然の責務として町が行うべき事業。 ③ ③社会的・経済的弱者の生活維持・安定のために不可欠な事業。 ③ ③社会的・経済的弱者の生活維持・安定のために不可欠な事業。 ③ ⑤民間等による実施が望まれるが、サービスの確保が困難なため、町が先導・補完する事業。 ② ②社会情勢や町民ニーズの変化等 計 2 点・子育て世代の経済的負担の軽減化を図り、もって少子化対策の一環方が未満を持ている。 ② ① ① ① 回の制度の見直しや社会環境の変化によって、サービス内容の拡充が求められている。 ② ② 対象者、利用者が増加するなど、町民ニーズが高まっている。 ② 取業の種直化・国宝化を避けるため、種々の改善を行い、事業の効果の対象を	1点 O ⑥産業振興及び地域活性化のために重要な事業 1点	①法令等で実施が義務付けられている事業。	① 送令等で実施が義務付けられている事業。	①法令等で実施が義務付けられている事業。	①法令等で実施が義務付けられている事業。	①法令等で実施が義務付けられている事業。	① 協会等で実施が義務付けられている事業。	①法令等で実施が義務付けられている事業。	① ②社合等で実施が義務付けられている事業															
①法令等で実施が義務付けられている事業。 ②生活環境の確保等、町民生活に直結した事業で、当然の責務として町が行うべき事業。 ②生活環境の確保等、町民生活に直結した事業で、当然の責務として町が行うべき事業。 ③ ③社会的・経済的弱者の生活維持・安定のために不可欠な事業。 ③ ③社会的・経済的弱者の生活維持・安定のために不可欠な事業。 ③ ⑤民間等による実施が望まれるが、サービスの確保が困難なため、町が先導・補完する事業。 ② ②社会情勢や町民ニーズの変化等 計 2 点・子育て世代の経済的負担の軽減化を図り、もって少子化対策の一環方が未満を持ている。 ② ① ① ① 回の制度の見直しや社会環境の変化によって、サービス内容の拡充が求められている。 ② ② 対象者、利用者が増加するなど、町民ニーズが高まっている。 ② 取業の種直化・国宝化を避けるため、種々の改善を行い、事業の効果の対象を	1点 O ⑥産業振興及び地域活性化のために重要な事業 1点	①法令等で実施が義務付けられている事業。	① 送令等で実施が義務付けられている事業。	①法令等で実施が義務付けられている事業。	①法令等で実施が義務付けられている事業。	①法令等で実施が義務付けられている事業。	① 協会等で実施が義務付けられている事業。	①法令等で実施が義務付けられている事業。	① ②社合等で実施が義務付けられている事業		る。 (1) 「		10 thn /m		101- 		0	_						
②生活環境の確保等、町民生活に直結した事業で、当然の責務として町が行うべき事業。 〇 ③社会的・経済的弱者の生活維持・安定のために不可欠な事業。 〇 ④町の特性や魅力を生かした取り組みなど、戦略的な事業。 「点 (説明)関与の根拠に関し、内容を具体的に記入します。 「教職員で構放する回体が、それでれば、日主力に展開し、教育研究を通じ、資質向上が図が先導・補完する事業。 ② 社会情勢や町民ニーズの変化等 「記 回の制度の見直しや社会環境の変化によって、サービス内容の拡充が求められている。 ② 対象者、利用者が増加するなど、町民ニーズが高まっている。 ② するの関連化・国常化を避けるため、種々の改善を行い、事業の効果の理算化・国常化・国常化を関け、とは、これでは、自身に関し、大容を具体的に記入します。 ※法令等で実施内容や手法等が定められて、町の創意工夫が入る余地はない。(点数対象外)	1点 ※内部管理・運営等の事業。(点数対象外) 一 ※安定のために不可欠な事業。 1点 (説明) 関与の根拠に関し、内容を具体的に記入します。 1点 (記明) 関与の根拠に関し、内容を具体的に記入します。 1点 (記明) 関与の根拠に関し、内容を具体的に記入します。 1点 (記明) 関与の根拠に関し、内容を具体的に記入します。 1点 (記明) 変担しい、主国・主通人芸参加原理に取来和を目指して目々練習に励み、大会参加をするための費用を助成し、保護者の負担軽減を図えて 1点 (記明) 変担によって、サービス内容の拡 1点 (記明) 変担に関ロの経滅化を図り、もって少子化対策の一環に資する。 ※法令等で実施内容や手法等が定められて、町の創意工夫が入る余 1点 (説明) 変当性に関し、内容を具体的に記入します。 (説明) 変当性に関し、内容を具体的に記入します。 (記明) 変当性に関し、内容を具体的に記入します。 (記述) ②部活動の活発化や、小中学校のスポーツ・文化活動の展開によって、積極的な各種大会参加に繋がっている。 (記述) 日本の報告によって、積極的な各種大会参加に繋がっている。 (記述) 日本の報告によって、対域を対し、対域に対し、対域を対し、対域を対し、対域を対域を対し、対域を対域を対し、対域を対域を対域を対域を対域を対域を対域を対域を対域を対域を対域を対域を対域を対	②生活環境の確保等、町民生活に直結した事業で、当然の責務として町が行うべき事業。 □ ※内部管理・運営等の事業。(点数対象外) □ ○ ③社会的・経済的弱者の生活維持・安定のために不可欠な事業。 □ (説明) 関与の根拠に関し、内容を具体的に記入します。 ※表に関し、内容を具体的に記入します。 ○ ③町の特性や魅力を生かした取り組みなど、戦略的な事業。 □ □ □ □ □ □ □ □ □	②生活環境の確保等。町民生活に直結した事業で、当然の責務として町が行うべき事業。 1点 ※内部管理・運営等の事業。(点数対象外) 1点 ②社会的・経済的弱者の生活維持・安定のために不可欠な事業。 1点 (説明) 関与の根拠に関し、内容を具体的に記入します。 ※本郷具、特成する国籍の責負したが、受害指導の工夫改善や教職員の資質向上が図られて、たべれには日主助に展開し、東日町元を囲して、元の変化等 1点 金土後の学習指導の工夫改善や教職員の資質向上が図られて、方つノに動へ市品のなの費用を助成し、保護者の負担軽減を図が、光導・補完する事業。 2 (記動へ前に動を理して、生は・玉組人芸参加をするための費用と助成し、保護者の負担軽減を図とり、社会情勢や町民ニーズの変化等 1点 ※注令等で実施内容や手法等が定められて、町の創意工夫が入る余 1点 (説明) 要当性に関し、内容を具体的に記入します。 ※注令等で実施内容や手法等が定められて、町の創意工夫が入る余 1点 (説明) 要当性に関し、内容を具体的に記入します。 2 (説明) 要当性に関し、内容を具体的に記入します。 2 (説明) 要当性に関し、内容を具体的に記入します。 2 (説明) 要当性に関し、内容を具体的に記入します。 2 (説明) 事業の確定化・固定化を避けるため、種々の改善を行い、事業の効果が顕著になってきている。 1点 (説明) 要当性に関し、内容を具体的に記入します。 2 (説明) 有効性に関し、内容を具体的に記入します。 1点 (説明) 有効性の表述を表述を表述を表述を表述を表述を表述を表述を表述を表述を表述を表述を表述を表	②生活環境の確保等。町民生活に直結した事業で、当然の責務として町が行うべき事業。	②生活環境の確保等、町民生活に直結した事業で、当然の責務とし て町が行うべき事業。 ○ ③社会的・経済的弱者の生活維持・安定のために不可欠な事業。 □ ③町の特性や魅力を生かした取り組みなど、酸略的な事業。 □ ⑤民間等による実施が望まれるが、サービスの確保が困難なため、町が先導・補完する事業。 ② 社会情勢や町民ニーズの変化等 計 2 点 塩性係の学力向上のため、学習精神の工夫は等や教験員の資質向上が図られた光導・補完する事業。 ② 社会情勢や町民ニーズの変化等 計 2 点 一次経済的負担の軽減化を図り、もって少子化対策の一環に資力を決定している。 ② 対象者、利用者が増加するなど、町民ニーズが高まっている。 ○ ③事業の硬直化・固定化を避けるため、種々の改善を行い、事業の効果が顕著になってきている。 ○ ④限られた財源の中にわっても、実施の緊急性、優先性は高い。 □ ① 国際を達成するうえで、当該事業の貢献度は高い。 ○ ②事業の継続により、成果目標(事業の意図)の向上が期待できる。 □ ② 事業の継続により、成果目標(事業の意図)の向上が期待できる。 □ (説明) 有効性に関し、内容を具体的に記入します。 □ (説明) 要当性に関し、内容を具体的に記入します。 □ (説明) 有効性に関し、内容を具体的に記入します。 □ (記述) (記述) (記述) (記述) (記述) (記述) (記述) (記述)	②生活環境の確保等、町民生活に直結した事業で、当然の責務とし て町が行うべき事業。 ○ ③社会的・経済的弱者の生活維持・安定のために不可欠な事業。 □ ③町の特性や魅力を生かした取り組みなど、酸略的な事業。 □ ⑤民間等による実施が望まれるが、サービスの確保が困難なため、町が先導・補完する事業。 ② 社会情勢や町民ニーズの変化等 計 2 点 塩性係の学力向上のため、学習精神の工夫は等や教験員の資質向上が図られた光導・補完する事業。 ② 社会情勢や町民ニーズの変化等 計 2 点 一次経済的負担の軽減化を図り、もって少子化対策の一環に資力を決定している。 ② 対象者、利用者が増加するなど、町民ニーズが高まっている。 ○ ③事業の硬直化・固定化を避けるため、種々の改善を行い、事業の効果が顕著になってきている。 ○ ④限られた財源の中にわっても、実施の緊急性、優先性は高い。 □ ① 国際を達成するうえで、当該事業の貢献度は高い。 ○ ②事業の継続により、成果目標(事業の意図)の向上が期待できる。 □ ② 事業の継続により、成果目標(事業の意図)の向上が期待できる。 □ (説明) 有効性に関し、内容を具体的に記入します。 □ (説明) 要当性に関し、内容を具体的に記入します。 □ (説明) 有効性に関し、内容を具体的に記入します。 □ (記述) (記述) (記述) (記述) (記述) (記述) (記述) (記述)	②生活環境の確保等、町民生活に直結した事業で、当然の責務とし	②生活環境の確保等、町民生活に直結した事業で、当然の資務とし 1点 ※内部管理・運営等の事業、(点数対象外) - (3社会的・経済的弱者の生活維持・安定のために不可欠な事業。 1点 (2版明の中性や魅力を生かした政制品など、戦略的な事業。 1点 (2版明の中性や魅力を生かした政制品など、戦略的な事業。 1点 公児間等による実施が選生れるが、サービスの確保が困難なため、町 1点 とのであり、学習指導の工夫改善・契能員の資質向上が図られている。 2の (3) 事業の確認し、大会参加をするための費用を助成し、保護者の負担軽減を図り、もって少子化対策の一環に養生化の学力向上のため、学習指導の工夫改善・契能員の資質向上が図られている。 1点 (2を持勢や町民ニーズの変化等 計 2 点 字も	②生活環境の確保等、町民生活に直結した事業で、当然の責務として町が行うべき事業。		(1)					計	3							
□ ○ ③社会的・経済的弱者の生活維持・安定のために不可欠な事業。	京内部官理・連宮等の事業。(思数対象外)	で町が行うべき事業。	□ ② ① ② 注 会的・経済的弱者の生活維持・安定のために不可欠な事業。	□ ○ ②社会的・経済的弱者の生活維持・安定のために不可欠な事業。	□ ○ ②社会的・経済的弱者の生活維持・安定のために不可欠な事業。	□ ○ ②社会的・経済的弱者の生活維持・安定のために不可欠な事業。	で町が行うべき事業。	ですが行うべき事業。	で町が行うべき事業									1点	〇 ⑥産	業振興及び地域	或活性化のため	に重要な事業		1点
○ ④町の特性や魅力を生かした取り組みなど、戦略的な事業。	*水麻貝 (特成 y の回体が、それてれた日主的に展開し、教育研究を囲して、発電生徒の学力向上のため、学習指導の工夫改善や教職員の資質向上が図られる。	1	1	1 1 1 2 2 3 3 3 3 3 3 3 3	□ ① ①町の特性や魅力を生かした取り組みなど、戦略的な事業。	□ ① ①町の特性や魅力を生かした取り組みなど、戦略的な事業。	□ ② ●町の特性や魅力を生かした取り組みなど、戦略的な事業。	□ ③町の特性や魅力を生かした取り組みなど、戦略的な事業。	○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○						活に直結した事業	で、当然の〕	責務とし	1点	※内部	部管理•運営等	の事業。(点数	対象外)		_
○ ① ① 即の特性や魅力を生かした取り組みなど、戦略的な事業。	1点 童生徒の学力向上のため、学習指導の工夫改善や教職員の資質向上が図られる。	□ ②町の特性や魅力を生かした取り組みなど、戦略的な事業。	1	1	□ ② ②町の特性や魅力を生かした取り組みなど、戦略的な事業。 □ ③民間等による実施が望まれるが、サービスの確保が困難なため、町が先導・補完する事業。 ② 社会情勢や町民 — ズの変化等 計 2	□ ② ②町の特性や魅力を生かした取り組みなど、戦略的な事業。 □ ③民間等による実施が望まれるが、サービスの確保が困難なため、町が先導・補完する事業。 ② 社会情勢や町民 — ズの変化等 計 2	□ ○ ○ ●町の特性や魅力を生かした取り組みなど、戦略的な事業。	□ ●町の特性や魅力を生か止た取り組みなど、戦略的な事業。	□ ① ④町の特性や魅力を生かした取り組みなど、戦略的な事業。		0	③社会的	的·経済的	弱者の生活	維持・安定のために	二不可欠な事	事業。	1点					1	
少 要 (2) 社会情勢や町民ニーズの変化等 計 2 点 ・子育て世代の経済的負担の軽減化を図り、もって少子化対策の一環 かっている。	1点 日々練習に励み、大会参加をするための費用を助成し、保護者の負担軽減を図 **・子育て世代の経済的負担の軽減化を図り、もって少子化対策の一環に資する。 ②変化によって、サービス内容の拡	少式 中による実施が呈まれるが、サービスの確保が困難なたの、 1点 日々練習に励み、大会参加をするための費用を助成し、保護者の負担軽減を図が先導・補完する事業。	日々練習に励み、大会参加をするための費用を助成し、保護者の負担軽減を図が先導・補完する事業。	公式に寄による事業。	おいまり 日々練習に励み、大会参加をするための費用を助成し、保護者の負担軽減を図 1点 日々練習に励み、大会参加をするための費用を助成し、保護者の負担軽減を図 1点 日々練習に励み、大会参加をするための費用を助成し、保護者の負担軽減を図 2	おいまり 日々練習に励み、大会参加をするための費用を助成し、保護者の負担軽減を図 1点 日々練習に励み、大会参加をするための費用を助成し、保護者の負担軽減を図 1点 日々練習に励み、大会参加をするための費用を助成し、保護者の負担軽減を図 2	図と氏調を達すべきつきが、当まれるが、サービスの機能体の関係である。	図式商・日本の表別のではより表別のできまれるが、リートのが確保が高級をはした。	日々練習に励み、大会参加をするための費用を助成し、保護者の負担軽減を図が、デ育て世代の経済的負担の軽減化を図り、もって少子化対策の一環に資する。		0	④町の特	寺性や魅力	力を生かした	取り組みなど、戦略	的な事業。		1点	童生徒の学	力向上のため、	、学習指導の工	夫改善や教職員の資	f質向上が図ら	れ
② 大会情勢や町民ニーズの変化等 計 2 点 ・子育て世代の経済的負担の軽減化を図り、もって少子化対策の一環する。 ① 国の制度の見直しや社会環境の変化によって、サービス内容の拡充が求められている。 1点 ※法令等で実施内容や手法等が定められて、町の創意工夫が入る余地はない。(点数対象外) ② 対象者、利用者が増加するなど、町民ニーズが高まっている。 1点 (説明) 妥当性に関し、内容を具体的に記入します。	表 は なる。 ②変化によって、サービス内容の拡 1点 ※法令等で実施内容や手法等が定められて、町の創意工夫が入る余 ー地はない。(点数対象外) 、町民ニーズが高まっている。 1点 (説明) 妥当性に関し、内容を具体的に記入します。 ため、種々の改善を行い、事業の効 1点 ①教職員研究組織は、児童生徒の健全な育成のための研究機関として必要である。 ②部活動の活発化や、小中学校のスポーツ・文化活動の展開によって、積極的な各種大会参加に繋がっている。 動の経験がっている。	必要性性 (2) 社会情勢や町民ニーズの変化等 計 2 点 ・子育て世代の経済的負担の軽減化を図り、もって少子化対策の一環に資する。 ①国の制度の見直しや社会環境の変化によって、サービス内容の拡充が求められている。 1点 ※法令等で実施内容や手法等が定められて、町の創意工夫が入る余 ー地はない。(点数対象外) 一 ②対象者、利用者が増加するなど、町民ニーズが高まっている。 1点 (説明) 妥当性に関し、内容を具体的に記入します。 一 ○ ③事業の硬直化・固定化を避けるため、種々の改善を行い、事業の効果が顕著になってきている。 1点 ①教職員研究組織は、児童生徒の健全な育成のための研究機関として必要である。 ②部活動の活発化や、小中学校のスポーツ・文化活動の展開によって、積極的な各種大会参加に繋がっている。 (1) 成果・協働に対する事業の有効性 計 3 点 ② ① ①施策を達成するうえで、当該事業の貢献度は高い。 1点 (説明) 有効性に関し、内容を具体的に記入します。 4 ○ ②事業の継続により、成果目標(事業の意図)の向上が期待できる。 1点 ・児童生徒の字刀同上や生活指導等、児童生徒が健やかに放力します。	必要性性 (2) 社会情勢や町民ニーズの変化等 計 2 点 ・子育て世代の経済的負担の軽減化を図り、もって少子化対策の一環に資する。 ①国の制度の見直しや社会環境の変化によって、サービス内容の拡充が求められている。 1点 ※法令等で実施内容や手法等が定められて、町の創意工夫が入る余 ー地はない。(点数対象外) ②対象者、利用者が増加するなど、町民ニーズが高まっている。 1点 (説明) 妥当性に関し、内容を具体的に記入します。 〇 ③事業の硬直化・固定化を避けるため、種々の改善を行い、事業の効果が顕著になってきている。 1点 ①教職員研究組織は、児童生徒の健全な育成のための研究機関として必要である。 〇 ④限られた財源の中にあっても、実施の緊急性、優先性は高い。 1点 ②部活動の活発化や、小中学校のスポーツ・文化活動の展開によって、積極的な各種大会参加に繋がっている。 (1) 成果・協働に対する事業の有効性 計 3 ロ ① ①施策を達成するうえで、当該事業の貢献度は高い。 1点 (説明) 有効性に関し、内容を具体的に記入します。 ロ ②事業の継続により、成果目標(事業の意図)の向上が期待できる。 1点 ・児童生徒のデフロ上や生活指導等、児童生徒が健やかに放しる。 ロ ③類似した事業との統合や連携を図る余地はない。 1点 していくために有効な団体助成事業である。	必要性性 (2) 社会情勢や町民ニーズの変化等 計 2 点 ・子育て世代の経済的負担の軽減化を図り、もって少子化対策の一環に資する。 ①国の制度の見直しや社会環境の変化によって、サービス内容の拡充が求められている。 1点 ※法令等で実施内容や手法等が定められて、町の創意工夫が入る余 ー地はない。(点数対象外) ②対象者、利用者が増加するなど、町民ニーズが高まっている。 1点 (説明) 妥当性に関し、内容を具体的に記入します。 ②事業の硬直化・固定化を避けるため、種々の改善を行い、事業の効果が顕著になってきている。 1点 ②郭活動の活発化や、小中学校のスポーツ・文化活動の展開によって、積極的な各種大会参加に繋がっている。 ② ① 印度・およりでする事業の有効性 計 3 点 ② ① ①施策を達成するうえで、当該事業の貢献度は高い。 1点 (説明) 有効性に関し、内容を具体的に記入します。 ② ②事業の継続により、成果目標(事業の意図)の向上が期待できる。 1点 (説明) 有効性に関し、内容を具体的に記入します。 ② ②事業の継続により、成果目標(事業の意図)の向上が期待できる。 1点 (説明) 有効性に関し、内容を具体的に記入します。 ② ③類似した事業との統合や連携を図る余地はない。 1点 (記明) 有効性に関し、内容を具体的に記入します。 ② ③類似した事業との統合や連携を図る余地はない。 1点 (記明) 有効性に関し、内容を具体的に記入します。 ② ②類似した事業との統合や連携を図る余地はない。 1点 (記明) 有効性に関し、内容を具体的に記入します。 ② ③類似した事業との統合や連携を図る余地はない。 1点 (記明) 有効性に関し、内容を具体的に記入します。 ② ③類似した事業との統合や連携を図る余地はない。 1点 (記明) 有効性に関し、内容を具体的に記入します。 ② ② 事業の総統により、成果目標(事業の意図)の向上が関待できる。 1点 (記明) 有効性に関し、内容を具体的に記入します。 ② ③類似した事業との統合や連携を図る余地はない。 1点 (記明) 有効性に関し、内容を具体的に記入します。	必要性性 (2) 社会情勢や町民ニーズの変化等 計 2 点 ・子育で世代の経済的負担の経済化を図り、もって少子化対策の一環に資する。 ① 国の制度の見直しや社会環境の変化によって、サービス内容の拡充が求められている。 1点 ※法令等で実施内容や手法等が定められて、町の創意工夫が入る余 ー 地はない。(点数対象外) - ② 対象者、利用者が増加するなど、町民ニーズが高まっている。 1点 (説明) 妥当性に関し、内容を具体的に記入します。 ② 事業の硬直化・固定化を避けるため、種々の改善を行い、事業の効果が顕著になってきている。 1点 ①教職員研究組織は、児童生徒の健全な育成のための研究機関として必要である。 ② 部活動の活発化や、小中学校のスポーツ・文化活動の展開によって、積極的な各種大会参加に繋がっている。 2部活動の活発化や、小中学校のスポーツ・文化活動の展開によって、積極的な各種大会参加に繋がっている。 (1) 成果・協働に対する事業の有効性 計点 (説明) 有効性に関し、内容を具体的に記入します。 (1) 成果・協働に対する事業の貢献度は高い。 1点 (説明) 有効性に関し、内容を具体的に記入します。 ・児童生徒のデフリロ上や生活指導等、児童生徒が健やかに放りませいに対している。 1点 (3 類似した事業との統合や連携を図る余地はない。 1点 していくために有効な団体助成事業である。 (4) 運成度の測定 計点 1点	必要性性 (2) 社会情勢や町民ニーズの変化等 計 2 点 ・子育で世代の経済的負担の経済化を図り、もって少子化対策の一環に資する。 ① 国の制度の見直しや社会環境の変化によって、サービス内容の拡充が求められている。 1点 ※法令等で実施内容や手法等が定められて、町の創意工夫が入る余 ー 地はない。(点数対象外) - ② 対象者、利用者が増加するなど、町民ニーズが高まっている。 1点 (説明) 妥当性に関し、内容を具体的に記入します。 ② 事業の硬直化・固定化を避けるため、種々の改善を行い、事業の効果が顕著になってきている。 1点 ①教職員研究組織は、児童生徒の健全な育成のための研究機関として必要である。 ② 部活動の活発化や、小中学校のスポーツ・文化活動の展開によって、積極的な各種大会参加に繋がっている。 2部活動の活発化や、小中学校のスポーツ・文化活動の展開によって、積極的な各種大会参加に繋がっている。 (1) 成果・協働に対する事業の有効性 計点 (説明) 有効性に関し、内容を具体的に記入します。 (1) 成果・協働に対する事業の貢献度は高い。 1点 (説明) 有効性に関し、内容を具体的に記入します。 ・児童生徒のデフリロ上や生活指導等、児童生徒が健やかに放りませいに対している。 1点 (3 類似した事業との統合や連携を図る余地はない。 1点 していくために有効な団体助成事業である。 (4) 運成度の測定 計点 1点	必要性性 (2) 社会情勢や町民ニーズの変化等 計 2 点 ・子育て世代の経済的負担の軽減化を図り、もって少子化対策の一環に資金の変化によって、サービス内容の拡充が求められている。 1点 ※法令等で実施内容や手法等が定められて、町の創意工夫が入る余 ー 地はない。(点数対象外) 一 ②対象者、利用者が増加するなど、町民ニーズが高まっている。 1点 (説明) 妥当性に関し、内容を具体的に記入します。 ①教職員研究組織は、児童生徒の健全な育成のための研究機関として必要である。 ② 銀像られた財源の中にあっても、実施の緊急性、優先性は高い。 1点 ①教職員研究組織は、児童生徒の健全な育成のための研究機関として必要である。 ②部活動の活発化や、小中学校のスポーツ・文化活動の展開によって、積極的な各種大会参加に繋がっている。 (1) 成果・協働に対する事業の有効性 計 3 点 (1) 成果・協働に対する事業の育就度は高い。 1点 (説明) 有効性に関し、内容を具体的に記入します。 (2) 少能策を達成するうえで、当該事業の貢献度は高い。 1点 (説明) 有効性に関し、内容を具体的に記入します。 (2) ②類似した事業との統合や連携を図る余地はない。 1点 (説明) 有効性に関し、内容を具体的に記入します。 (3) 類似した事業との統合や連携を図る余地はない。 1点 (説明) 有効性に関し、内容を具体的に記入します。 (1) 達成度の測定 計 1 点 (1) 達成度の測定 計 1 点 (1) 達成度の測定 計 4 R5実績 R6実績 R6当初計画 (1) 達成度の測定 小中学生全道大会出場人数 人 14人/32人 31人/33人 33人/33人	② 社会情勢や町民ニーズの変化等 計 2	② 社会情勢や町民ニーズの変化等 計 2 点 ・子育て世代の経済的負担の軽減化を図り、もって少子化対策の一環に資	1					るが、サービスの確	保が困難な	ため、町	1点						
1	の変化によって、サービス内容の拡 1点 ※法令等で実施内容や手法等が定められて、町の創意工夫が入る余 ー 地はない。(点数対象外) 1点 (説明) 妥当性に関し、内容を具体的に記入します。 ため、種々の改善を行い、事業の効 1点 必職員研究組織は、児童生徒の健全な育成のための研究機関として必要である。 ②部活動の活発化や、小中学校のスポーツ・文化活動の展開によって、積極的な各種大会参加に繋がっている。 効性 計 3 点	①国の制度の見直しや社会環境の変化によって、サービス内容の拡充が求められている。 1点 ※法令等で実施内容や手法等が定められて、町の創意工夫が入る余 一 ※法令等で実施内容や手法等が定められて、町の創意工夫が入る余 一 2対象者、利用者が増加するなど、町民ニーズが高まっている。 1点 ①教職員研究組織は、児童生徒の健全な育成のための研究機関として果が顕著になってきている。 1点 ①教職員研究組織は、児童生徒の健全な育成のための研究機関として必要である。 ②部活動の活発化や、小中学校のスポーツ・文化活動の展開によって、積極的な各種大会参加に繋がっている。 1点 (説明) 有効性に関し、内容を具体的に記入します。 1点 (記明) 有効性に関し、内容を具体的に記入します。 1点 (記述) 有効性に関し、内容が定述 1点 (記述) 有効性に関し、内容が定述 1点 (記述) ((性) ①国の制度の見直しや社会環境の変化によって、サービス内容の拡充が求められている。 1点 ※法令等で実施内容や手法等が定められて、町の創意工夫が入る余 ー が法が求められている。 一 ②対象者、利用者が増加するなど、町民ニーズが高まっている。 1点 (説明) 妥当性に関し、内容を具体的に記入します。 ○ ②事業の硬直化・固定化を避けるため、種々の改善を行い、事業の効果が顕著になってきている。 1点 ②教職員研究組織は、児童生徒の健全な育成のための研究機関として必要である。 ②部活動の活発化や、小中学校のスポーツ・文化活動の展開によって、積極的な各種大会参加に繋がっている。 2の活動の活発化や、小中学校のスポーツ・文化活動の展開によって、積極的な各種大会参加に繋がっている。 (1)成果・協働に対する事業の有効性 計 3 点 点 ②事業の継続により、成果目標(事業の意図)の向上が期待できる。 1点 (説明) 有効性に関し、内容を具体的に記入します。 ○ ②事業の継続により、成果目標(事業の意図)の向上が期待できる。 1点 ・児童生徒の字刀向上や生活指導等、児童生徒が健やかに成長していくために有効な団体助成事業である。	①国の制度の見直しや社会環境の変化によって、サービス内容の拡	 ①国の制度の見直しや社会環境の変化によって、サービス内容の拡充が求められている。 ②対象者、利用者が増加するなど、町民ニーズが高まっている。 ○ ③事業の硬直化・固定化を避けるため、種々の改善を行い、事業の効果が顕著になってきている。 ○ ① 限られた財源の中にあっても、実施の緊急性、優先性は高い。 ② 即限られた財源の中にあっても、実施の緊急性、優先性は高い。 (説明) 妥当性に関し、内容を具体的に記入します。 ② 部活動の活発化や、小中学校のスポーツ・文化活動の展開によって、積極的な各種大会参加に繋がっている。 ② 部活動の活発化や、小中学校のスポーツ・文化活動の展開によって、積極的な各種大会参加に繋がっている。 (説明) 有効性に関し、内容を具体的に記入します。 ② 部活動の活発化や、小中学校のスポーツ・文化活動の展開によって、積極的な各種大会参加に繋がっている。 ① ① 施策を達成するうえで、当該事業の貢献度は高い。 ○ ②事業の継続により、成果目標(事業の意図)の向上が期待できる。 ○ ③類似した事業との統合や連携を図る余地はない。 □ (説明) 有効性に関し、内容を具体的に記入します。 ・児童生徒の字刀同上や生活指導等、児童生徒が健やかに成長していくために有効な団体助成事業である。 ① ③類似した事業との統合や連携を図る余地はない。 □ 自治意識の向上が図られている。 (1) 達成度の測定 計 自 	 ①国の制度の見直しや社会環境の変化によって、サービス内容の拡充が求められている。 ②対象者、利用者が増加するなど、町民ニーズが高まっている。 ○ ③事業の硬直化・固定化を避けるため、種々の改善を行い、事業の効果が顕著になってきている。 ○ ① 限られた財源の中にあっても、実施の緊急性、優先性は高い。 ② 即限られた財源の中にあっても、実施の緊急性、優先性は高い。 (説明) 妥当性に関し、内容を具体的に記入します。 ② 部活動の活発化や、小中学校のスポーツ・文化活動の展開によって、積極的な各種大会参加に繋がっている。 ② 部活動の活発化や、小中学校のスポーツ・文化活動の展開によって、積極的な各種大会参加に繋がっている。 (説明) 有効性に関し、内容を具体的に記入します。 ② 部活動の活発化や、小中学校のスポーツ・文化活動の展開によって、積極的な各種大会参加に繋がっている。 ① ① 施策を達成するうえで、当該事業の貢献度は高い。 ○ ②事業の継続により、成果目標(事業の意図)の向上が期待できる。 ○ ③類似した事業との統合や連携を図る余地はない。 □ (説明) 有効性に関し、内容を具体的に記入します。 ・児童生徒の字刀同上や生活指導等、児童生徒が健やかに成長していくために有効な団体助成事業である。 ① ③類似した事業との統合や連携を図る余地はない。 □ 自治意識の向上が図られている。 (1) 達成度の測定 計 自 	①国の制度の見直しや社会環境の変化によって、サービス内容の拡充が求められている。	①国の制度の見直しや社会環境の変化によって、サービス内容の拡充が求められている。	(1) 成果・協働に対する事業の貢献度は高い。		(2) 1	1				計	2	点		:代の経済的負	担の軽減化を	図り、もって少子(上対策の一環に	こ資
元が水められている。	地にない。(点数対象外) 大町民ニーズが高まっている。	ではない。(点数対象外)	記述ない。(点数対象外)	②対象者、利用者が増加するなど、町民ニーズが高まっている。 ②す業の硬直化・固定化を避けるため、種々の改善を行い、事業の効果が顕著になってきている。 ②都職員研究組織は、児童生徒の健全な育成のための研究機関として必要である。 ②都活動の活発化や、小中学校のスポーツ・文化活動の展開によって、積極的な各種大会参加に繋がっている。 ②都活動の活発化や、小中学校のスポーツ・文化活動の展開によって、積極的な各種大会参加に繋がっている。 ②部活動の活発化や、小中学校のスポーツ・文化活動の展開によって、積極的な各種大会参加に繋がっている。 ②部活動の活発化や、小中学校のスポーツ・文化活動の展開によって、積極的な各種大会参加に繋がっている。 ②部活動の活発化や、小中学校のスポーツ・文化活動の展開によって、1点	対象者、利用者が増加するなど、町民ニーズが高まっている。 1点 (説明) 妥当性に関し、内容を具体的に記入します。 ①教職員研究組織は、児童生徒の健全な育成のための研究機関として果が顕著になってきている。 1点 (説明) 妥当性に関し、内容を具体的に記入します。 ①教職員研究組織は、児童生徒の健全な育成のための研究機関として必要である。 ②部活動の活発化や、小中学校のスポーツ・文化活動の展開によって、積極的な各種大会参加に繋がっている。 1点 (説明) 有効性に関し、内容を具体的に記入します。 ○ ①施策を達成するうえで、当該事業の貢献度は高い。 1点 (説明) 有効性に関し、内容を具体的に記入します。 ○ ②事業の継続により、成果目標(事業の意図)の向上が期待できる。 1点 (説明) 有効性に関し、内容を具体的に記入します。 ○ ⑦事業の継続により、成果目標(事業の意図)の向上が期待できる。 1点 (説明) 有効性に関し、内容を具体的に記入します。 ○ ②事業の継続により、成果目標(事業の意図)の向上が期待できる。 1点 (説明) 有効性に関し、内容を具体的に記入します。 ○ ①類似した事業との統合や連携を図る余地はない。 1点 (記明) 有効性に関し、内容を具体的に記入します。 ○ ②事業の継続により、成果目標(事業の意図)の向上が期待できる。 1点 (説明) 有効性に関し、内容を具体的に記入します。 ○ ①類似した事業との統合や連携を図る余地はない。 1点 (記明) 有効性に関し、内容を具体的に記入します。 ○ ①取得を対象が関係では、のでは、のでは、のでは、のでは、のでは、のでは、のでは、のでは、のでは、の	対象者、利用者が増加するなど、町民ニーズが高まっている。 1点 (説明) 妥当性に関し、内容を具体的に記入します。 ①教職員研究組織は、児童生徒の健全な育成のための研究機関として果が顕著になってきている。 1点 (説明) 妥当性に関し、内容を具体的に記入します。 ①教職員研究組織は、児童生徒の健全な育成のための研究機関として必要である。 ②部活動の活発化や、小中学校のスポーツ・文化活動の展開によって、積極的な各種大会参加に繋がっている。 1点 (説明) 有効性に関し、内容を具体的に記入します。 ○ ①施策を達成するうえで、当該事業の貢献度は高い。 1点 (説明) 有効性に関し、内容を具体的に記入します。 ○ ②事業の継続により、成果目標(事業の意図)の向上が期待できる。 1点 (説明) 有効性に関し、内容を具体的に記入します。 ○ ⑦事業の継続により、成果目標(事業の意図)の向上が期待できる。 1点 (説明) 有効性に関し、内容を具体的に記入します。 ○ ②事業の継続により、成果目標(事業の意図)の向上が期待できる。 1点 (説明) 有効性に関し、内容を具体的に記入します。 ○ ①類似した事業との統合や連携を図る余地はない。 1点 (記明) 有効性に関し、内容を具体的に記入します。 ○ ②事業の継続により、成果目標(事業の意図)の向上が期待できる。 1点 (説明) 有効性に関し、内容を具体的に記入します。 ○ ①類似した事業との統合や連携を図る余地はない。 1点 (記明) 有効性に関し、内容を具体的に記入します。 ○ ①取得を対象が関係では、のでは、のでは、のでは、のでは、のでは、のでは、のでは、のでは、のでは、の	担訴ない。に無数対象外別	近か来められている。	おかぶあられている。			①国の制	訓度の見直	直しや社会環	境の変化によって、	サービス内			※法			められて、町の創意	工夫が入る余	
② 東業の種直化・国宝化を避けるため、種々の改善を行い、東業の効	ため、種々の改善を行い、事業の効 1点 ①教職員研究組織は、児童生徒の健全な育成のための研究機関として 必要である。 ②部活動の活発化や、小中学校のスポーツ・文化活動の展開によって、 積極的な各種大会参加に繋がっている。	O ③事業の硬直化・固定化を避けるため、種々の改善を行い、事業の効果が顕著になってきている。 1点 O ④限られた財源の中にあっても、実施の緊急性、優先性は高い。 1点 (1) 成果・協働に対する事業の有効性 計 3 2 〇 ①施策を達成するうえで、当該事業の貢献度は高い。 1点 (説明) 有効性に関し、内容を具体的に記入します。 1点 (説明) 有効性に関し、内容を具体的に記入します。 1点 (シ里業の継続により、成果目標(事業の意図)の向上が期待できる。 1点 (記明) 有効性に関し、内容を具体的に記入します。 1点	O ③事業の硬直化・固定化を避けるため、種々の改善を行い、事業の効果が顕著になってきている。 1点 O ④限られた財源の中にあっても、実施の緊急性、優先性は高い。 1点 (1) 成果・協働に対する事業の有効性 計 3 (1) 成果・協働に対する事業の有効性 計 3 (2) ① ① 施策を達成するうえで、当該事業の貢献度は高い。 1点 (説明) 有効性に関し、内容を具体的に記入します。 (2) ②事業の継続により、成果目標(事業の意図)の向上が期待できる。 1点 (説明) 有効性に関し、内容を具体的に記入します。 (別期) 有効性に関し、内容を具体的に記入します。 1点 ・児童生徒の字刀同上や生活指導等、児童生徒が健やかに成長 (図) ③類似した事業との統合や連携を図る余地はない。 1点 していくために有効な団体助成事業である。	○ ③事業の硬直化・固定化を避けるため、種々の改善を行い、事業の効果が顕著になってきている。 1点 ○ ④限られた財源の中にあっても、実施の緊急性、優先性は高い。 1点 ②部活動の活発化や、小中学校のスポーツ・文化活動の展開によって、積極的な各種大会参加に繋がっている。 (1)成果・協働に対する事業の有効性 計 3 点 ○ ①施策を達成するうえで、当該事業の貢献度は高い。 1点 ○ ②事業の継続により、成果目標(事業の意図)の向上が期待できる。 1点 ○ ③類似した事業との統合や連携を図る余地はない。 1点 ④町民参加と自治意識の向上が図られている。 1点	○ ③事業の硬直化・固定化を避けるため、種々の改善を行い、事業の効果が顕著になってきている。 1点 ○ ④限られた財源の中にあっても、実施の緊急性、優先性は高い。 1点 ②都活動の活発化や、小中学校のスポーツ・文化活動の展開によって、積極的な各種大会参加に繋がっている。 (1) 成果・協働に対する事業の有効性 計 2 ○ ①施策を達成するうえで、当該事業の貢献度は高い。 1点 (説明) 有効性に関し、内容を具体的に記入します。 ・児童生徒の字刀向上や生活指導等、児童生徒が健やかに放長していくために有効な団体助成事業である。 (到類似した事業との統合や連携を図る余地はない。 1点 ④町民参加と自治意識の向上が図られている。 1点 (1) 達成度の測定 計	○ ③事業の硬直化・固定化を避けるため、種々の改善を行い、事業の効果が顕著になってきている。 1点 ○ ④限られた財源の中にあっても、実施の緊急性、優先性は高い。 1点 ②都活動の活発化や、小中学校のスポーツ・文化活動の展開によって、積極的な各種大会参加に繋がっている。 (1) 成果・協働に対する事業の有効性 計 2 ○ ①施策を達成するうえで、当該事業の貢献度は高い。 1点 (説明) 有効性に関し、内容を具体的に記入します。 ・児童生徒の字刀向上や生活指導等、児童生徒が健やかに放長していくために有効な団体助成事業である。 (到類似した事業との統合や連携を図る余地はない。 1点 ④町民参加と自治意識の向上が図られている。 1点 (1) 達成度の測定 計	○ ③事業の硬直化・固定化を避けるため、種々の改善を行い、事業の効果が顕著になってきている。 1点 ○ ④限られた財源の中にあっても、実施の緊急性、優先性は高い。 1点 ②部活動の活発化や、小中学校のスポーツ・文化活動の展開によって、積極的な各種大会参加に繋がっている。 (1)成果・協働に対する事業の有効性 計 3 点 ○ ①施策を達成するうえで、当該事業の貢献度は高い。 1点 (説明) 有効性に関し、内容を具体的に記入します。 ○ ②事業の継続により、成果目標(事業の意図)の向上が期待できる。 1点 ○ ③類似した事業との統合や連携を図る余地はない。 1点 ④町民参加と自治意識の向上が図られている。 1点 (1)達成度の測定 計 1 本 1点 区分 指標(算式) 単位 R4実績 R5実績 R6実績 R6当初計画 1(1)を表した。 1(1)を表した。 <t< th=""><th>○ ③事業の硬直化・固定化を避けるため、種々の改善を行い、事業の効果が顕著になってきている。 1点 ○ ④限られた財源の中にあっても、実施の緊急性、優先性は高い。 1点 (1)成果・協働に対する事業の有効性計算極的な各種大会参加に繋がっている。 1点 (1)成果・協働に対する事業の有効性計算極的な各種大会参加に繋がっている。 1点 (1)成果・協働に対する事業の貢献度は高い。</th><th>○ ③事業の硬直化・固定化を避けるため、種々の改善を行い、事業の効果が顕著になってきている。 1点 ①教職員研究組織は、児童生徒の健全な育成のための研究機関として必要である。 ○ ④限られた財源の中にあっても、実施の緊急性、優先性は高い。 1点 ②部活動の活発化や、小中学校のスポーツ・文化活動の展開によって、積極的な各種大会参加に繋がっている。 (1)成果・協働に対する事業の有効性 計 3 点 ○ ①施策を達成するうえで、当該事業の貢献度は高い。 1点 (説明) 有効性に関し、内容を具体的に記入します。 ○ ②事業の継続により、成果目標(事業の意図)の向上が期待できる。 1点 ・児童生徒の学力回上や生活指導等、児童生徒が健やかに放射を開から、 ○ ③類似した事業との統合や連携を図る余地はない。 1点 していべために有効な団体助成事業である。 (1)達成度の測定 計 1 (1)達成度の測定 計 1 (1)達成度の測定 計 1 (3動指標 ※具体的な活動の内容 指標(算式) 単位 R4実積 R5実績 R6実績 R6当初計画 1 本校生の25%に当たる人数が出場響線と具体的な活動の内容 (算式) 本校生の25%に当たる人数が出場報と具体的な活動の内容 人 14人/32人 31人/33人 36人/33人 33人/33人</th><th></th><th></th><th></th><th></th><th></th><th></th><th></th><th></th><th></th><th></th><th></th><th></th><th></th><th></th><th></th></t<>	○ ③事業の硬直化・固定化を避けるため、種々の改善を行い、事業の効果が顕著になってきている。 1点 ○ ④限られた財源の中にあっても、実施の緊急性、優先性は高い。 1点 (1)成果・協働に対する事業の有効性計算極的な各種大会参加に繋がっている。 1点 (1)成果・協働に対する事業の有効性計算極的な各種大会参加に繋がっている。 1点 (1)成果・協働に対する事業の貢献度は高い。	○ ③事業の硬直化・固定化を避けるため、種々の改善を行い、事業の効果が顕著になってきている。 1点 ①教職員研究組織は、児童生徒の健全な育成のための研究機関として必要である。 ○ ④限られた財源の中にあっても、実施の緊急性、優先性は高い。 1点 ②部活動の活発化や、小中学校のスポーツ・文化活動の展開によって、積極的な各種大会参加に繋がっている。 (1)成果・協働に対する事業の有効性 計 3 点 ○ ①施策を達成するうえで、当該事業の貢献度は高い。 1点 (説明) 有効性に関し、内容を具体的に記入します。 ○ ②事業の継続により、成果目標(事業の意図)の向上が期待できる。 1点 ・児童生徒の学力回上や生活指導等、児童生徒が健やかに放射を開から、 ○ ③類似した事業との統合や連携を図る余地はない。 1点 していべために有効な団体助成事業である。 (1)達成度の測定 計 1 (1)達成度の測定 計 1 (1)達成度の測定 計 1 (3動指標 ※具体的な活動の内容 指標(算式) 単位 R4実積 R5実績 R6実績 R6当初計画 1 本校生の25%に当たる人数が出場響線と具体的な活動の内容 (算式) 本校生の25%に当たる人数が出場報と具体的な活動の内容 人 14人/32人 31人/33人 36人/33人 33人/33人															
■ □ □ □ □ □ □ □ □ □	「点 必要である。 ②部活動の活発化や、小中学校のスポーツ・文化活動の展開によって、積極的な各種大会参加に繋がっている。 効性 計 3 点	2 ① ① ① (1) 成果・協働に対する事業の有効性 計 3 点 2 (1) 成果・協働に対する事業の有効性 計 3 点 4 (記明) 有効性に関し、内容を具体的に記入します。 1点 (説明) 有効性に関し、内容を具体的に記入します。 5 (記明) 有効性に関し、内容を具体的に記入します。 1点 (記明) 有効性に関し、内容を具体的に記入します。 6 (記明) 有効性に関し、内容を具体的に記入します。 1点 (記明) 有効性に関し、内容を具体的に記入します。	 ○ 果が顕著になってきている。 ○ ① ① 限られた財源の中にあっても、実施の緊急性、優先性は高い。 1点 ② 部活動の活発化や、小中学校のスポーツ・文化活動の展開によって、積極的な各種大会参加に繋がっている。 ② 1点 ② 1点 ② ① ① 施策を達成するうえで、当該事業の貢献度は高い。 ○ ② 事業の継続により、成果目標(事業の意図)の向上が期待できる。 ○ ② 事業の継続により、成果目標(事業の意図)の向上が期待できる。 ○ ② 類似した事業との統合や連携を図る余地はない。 1点 ○ ② 類似した事業との統合や連携を図る余地はない。 	○ 果が顕著になってきている。 1点 ○ ③限られた財源の中にあっても、実施の緊急性、優先性は高い。 1点 (1) 成果・協働に対する事業の有効性 計 3 点 ○ ①施策を達成するうえで、当該事業の貢献度は高い。 1点 ○ ②事業の継続により、成果目標(事業の意図)の向上が期待できる。 1点 ○ ③類似した事業との統合や連携を図る余地はない。 1点 ④ 町民参加と自治意識の向上が図られている。 1点	○ 果が顕著になってきている。 1点 ○ ③限られた財源の中にあっても、実施の緊急性、優先性は高い。 1点 (1) 成果・協働に対する事業の有効性 計 3 点 ○ ①施策を達成するうえで、当該事業の貢献度は高い。 1点 ○ ②事業の継続により、成果目標(事業の意図)の向上が期待できる。 1点 ○ ③類似した事業との統合や連携を図る余地はない。 1点 ④町民参加と自治意識の向上が図られている。 1点 (1) 達成度の測定 計 「説表していくために有効な団体助成事業である。 (1) 達成度の測定	○ 果が顕著になってきている。 1点 ○ ③限られた財源の中にあっても、実施の緊急性、優先性は高い。 1点 (1) 成果・協働に対する事業の有効性 計 3 点 ○ ①施策を達成するうえで、当該事業の貢献度は高い。 1点 ○ ②事業の継続により、成果目標(事業の意図)の向上が期待できる。 1点 ○ ③類似した事業との統合や連携を図る余地はない。 1点 ④町民参加と自治意識の向上が図られている。 1点 (1) 達成度の測定 計 「説表していくために有効な団体助成事業である。 (1) 達成度の測定	O 果が顕著になってきている。 「無い要である。 〇 ①限られた財源の中にあっても、実施の緊急性、優先性は高い。 1点 ②部活動の活発化や、小中学校のスポーツ・文化活動の展開によって、積極的な各種大会参加に繋がっている。 (1) 成果・協働に対する事業の有効性 計点 〇 ①施策を達成するうえで、当該事業の貢献度は高い。 1点 〇 ②事業の継続により、成果目標(事業の意図)の向上が期待できる。 1点 〇 ③類似した事業との統合や連携を図る余地はない。 1点 ① ③類似した事業との統合や連携を図る余地はない。 1点 ②即民参加と自治意識の向上が図られている。 1点 (1) 達成度の測定 計 計標(算式) 単位 R4実績 R5実績 R6実績 R6当初計画 Tを財化機 小中学生全道大会出場人数 人 14人/32人 31人/33人 33人/33人	○ 果が顕著になってきている。 1点 ○ ②限られた財源の中にあっても、実施の緊急性、優先性は高い。 1点 ②部活動の活発化や、小中学校のスポーツ・文化活動の展開によって、積極的な各種大会参加に繋がっている。 ② 部活動の活発化や、小中学校のスポーツ・文化活動の展開によって、積極的な各種大会参加に繋がっている。 (1) 成果・協働に対する事業の有効性 計点 ○ ②事業の継続により、成果目標(事業の意図)の向上が期待できる。 1点 ○ ②事業の継続により、成果目標(事業の意図)の向上が期待できる。 1点 ○ ②事業の継続により、成果目標(事業の意図)の向上が期待できる。 1点 ○ ③類似した事業との統合や連携を図る余地はない。 1点 ②即民参加と自治意識の向上が図られている。 1点 (1) 達成度の測定 計 点 区分 指標(算式) 事位 R4実績 R5実績 R6実績 R6当初計画 指標(算式) 中位 R4実績 R5実績 R6実績 R6当初計画 活動指標 ※具体的な活動の内 (算式) 在校生の25%に当たる人数が出場 人 14人/32人 31人/33人 36人/33人 33人/33人	図・果が顕著になってきている。			0.4.4.4	- , , , , , , , ,					1点					n 711 ofer 1466 BB 1	1
Rが顕著になってきている。	対性 計 3 点	(1) 成果・協働に対する事業の有効性 計 3 点	(1) 成果・協働に対する事業の有効性 計 3 点 2	(1) 成果・協働に対する事業の有効性 計 3 点	(1) 成果・協働に対する事業の有効性	(1) 成果・協働に対する事業の有効性	Image: Constraint of the property	(1) 成果・協働に対する事業の有効性	1 積極的な各種大会参加に繋がっている。		0				けるため、種々の改	善を付い、	争業の効	1点	必要である	5.				
	効性 計 3 点	(1) 成果・協働に対する事業の有効性 計 3 点 2 〇 ①施策を達成するうえで、当該事業の貢献度は高い。 1点 (説明) 有効性に関し、内容を具体的に記入します。 有 〇 ②事業の継続により、成果目標(事業の意図)の向上が期待できる。 1点 ・児童生徒の字刀向上や生活指導等、児童生徒が健やかに成長	(1) 成果・協働に対する事業の有効性 計 3 点 2 〇 ①施策を達成するうえで、当該事業の貢献度は高い。 1点 (説明) 有効性に関し、内容を具体的に記入します。 有 効性 〇 ②事業の継続により、成果目標(事業の意図)の向上が期待できる。 1点 ・児童生徒の字刀同上や生活指導等、児童生徒が健やかに成長 〇 ③類似した事業との統合や連携を図る余地はない。 1点 していくために有効な団体助成事業である。	(1) 成果・協働に対する事業の有効性 計 3 点 2 〇 ①施策を達成するうえで、当該事業の貢献度は高い。 1点 (説明) 有効性に関し、内容を具体的に記入します。 有効性 〇 ②事業の継続により、成果目標(事業の意図)の向上が期待できる。 1点 〇 ③類似した事業との統合や連携を図る余地はない。 1点 していくために有効な団体助成事業である。 ④町民参加と自治意識の向上が図られている。 1点	(1) 成果・協働に対する事業の有効性 計 3 点 ○ ①施策を達成するうえで、当該事業の貢献度は高い。 1点 (説明) 有効性に関し、内容を具体的に記入します。 ○ ②事業の継続により、成果目標(事業の意図)の向上が期待できる。 1点 ・児童生徒の字刀向上や生活指導等、児童生徒が健やかに成長 していくために有効な団体助成事業である。 1点 していくために有効な団体助成事業である。 1点 していくために有効な団体助成事業である。 1点 していくために有効な団体助成事業である。 1点 していくために有効な団体助成事業である。 1点 していくために有効な団体助成事業である。 1点 していき成度の測定 計 1 点	(1) 成果・協働に対する事業の有効性 計 3 点 ○ ①施策を達成するうえで、当該事業の貢献度は高い。 1点 (説明) 有効性に関し、内容を具体的に記入します。 ○ ②事業の継続により、成果目標(事業の意図)の向上が期待できる。 1点 ・児童生徒の字刀向上や生活指導等、児童生徒が健やかに成長 していくために有効な団体助成事業である。 1点 していくために有効な団体助成事業である。 1点 していくために有効な団体助成事業である。 1点 していくために有効な団体助成事業である。 1点 していくために有効な団体助成事業である。 1点 していくために有効な団体助成事業である。 1点 していき成度の測定 計 1 点	2 (1) 成果・協働に対する事業の有効性 計 3 点 有 効性性 ○ ②事業の継続により、成果目標(事業の意図)の向上が期待できる。 1点 (説明) 有効性に関し、内容を具体的に記入します。 (②事業の継続により、成果目標(事業の意図)の向上が期待できる。 1点 ・児童生徒の字刀同上や生活指導等、児童生徒が健やかに成長していくために有効な団体助成事業である。 (1) 達成度の測定 計 1 点 (1) 達成度の測定 計標(算式) 単位 R4実績 R5実績 R6実績 R6当初計画 (大野林に標本) (大野林に標本) 小中学生全道大会出場人数 人 14人/32人 31人/33人 36人/33人 33人/33人	(1) 成果・協働に対する事業の有効性 計 3 点 ○ ① ①施策を達成するうえで、当該事業の貢献度は高い。 1点 (説明) 有効性に関し、内容を具体的に記入します。 ○ ②事業の継続により、成果目標(事業の意図)の向上が期待できる。 1点 長 ① ③類似した事業との統合や連携を図る余地はない。 1点 ② ① 類似した事業との統合や連携を図る余地はない。 1点 ② ① 1点 ② ② 取り ② の 1点 ② ② 取り ②	(1) 成果・協働に対する事業の有効性 計 3		0	④限られ	に財源の	中にあって	も、実施の緊急性、	優先性は高	い。	1点					の展開によっ	って、
INCENSE EXCEPTION SET US	<u> </u>	2 〇 ①施策を達成するうえで、当該事業の貢献度は高い。 1点 (説明) 有効性に関し、内容を具体的に記入します。 有 〇 ②事業の継続により、成果目標(事業の意図)の向上が期待できる。 1点 ・児童生徒の字刀向上や生活指導等、児童生徒が健やかに成長	2 O ①施策を達成するうえで、当該事業の貢献度は高い。	2 ○ ①施策を達成するうえで、当該事業の貢献度は高い。 1点 (説明)有効性に関し、内容を具体的に記入します。 6 ○ ②事業の継続により、成果目標(事業の意図)の向上が期待できる。 1点 ・児童生徒の字刀向上や生活指導等、児童生徒が健やかに成長していくために有効な団体助成事業である。 0 ③類似した事業との統合や連携を図る余地はない。 1点 していくために有効な団体助成事業である。 ④町民参加と自治意識の向上が図られている。 1点	2 ○ ①施策を達成するうえで、当該事業の貢献度は高い。	2 ○ ①施策を達成するうえで、当該事業の貢献度は高い。	2 〇 ①施策を達成するうえで、当該事業の貢献度は高い。 1点 (説明)有効性に関し、内容を具体的に記入します。 イカカ性性 〇 ②事業の継続により、成果目標(事業の意図)の向上が期待できる。 1点 ・児童生徒の字刀向上や生活指導等、児童生徒が健やかに成長していくために有効な団体助成事業である。 〇 ③類似した事業との統合や連携を図る余地はない。 1点 していくために有効な団体助成事業である。 (1)達成度の測定 計	2	2										IXIEH V IX			3 0		
(1)成果・協働に対する事業の有効性 計 3 点	後の貢献度は高い。 1点 (説明) 有効性に関し、内容を具体的に記入します。	1	有 効性 ○ ②事業の継続により、成果目標(事業の意図)の向上が期待できる。 1点 ・児童生徒の字刀同上や生活指導等、児童生徒が健やかに成長 ○ ③類似した事業との統合や連携を図る余地はない。 1点 していくために有効な団体助成事業である。	1	1点 (記明) 有効性に関じ、内容を具体的に記べてより。 1点 (記明) 有効性に関じ、内容を具体的に記べてより。 1点 (記明) 有効性性 (事業の継続により、成果目標(事業の意図)の向上が期待できる。 1点 (記明) 有効性である。 1点 (記明) 有効性である。 1点 (記明) 有効性である。 1点 (記明) 有効性で関いている。 1点 (記述) 有効な団体助成事業である。 1点 (記述) 記述を関いている。 1点 (記述) 記述を可能的では、 1点 (記述) 記述を 1点 (記述) 記述と 1点 (記述) 記述を 1点 (記述) 記述と 1点	1点 (記明) 有効性に関じ、内容を具体的に記べてより。 1点 (記明) 有効性に関じ、内容を具体的に記べてより。 1点 (記明) 有効性性 (事業の継続により、成果目標(事業の意図)の向上が期待できる。 1点 (記明) 有効性である。 1点 (記明) 有効性である。 1点 (記明) 有効性である。 1点 (記明) 有効性で関いている。 1点 (記述) 有効な団体助成事業である。 1点 (記述) 記述を関いている。 1点 (記述) 記述を可能的では、 1点 (記述) 記述を 1点 (記述) 記述と 1点 (記述) 記述を 1点 (記述) 記述と 1点	1	1	1		(1) ,	<u> </u>	弱働に対	 する事業の	 の有効性	計	3	点						
2 ① ①施策を達成するうえで、当該事業の貢献度は高い。 1点 (説明) 有効性に関し、内容を具体的に記入します。		カ U ②事業の継続により、成未日標(事業の息図)の内上が期待できる。 I 点 長	1	有効 ○ ③類似した事業との統合や連携を図る余地はない。 1点 ○ ③類似した事業との統合や連携を図る余地はない。 1点 ④町民参加と自治意識の向上が図られている。 1点	1	1	対 対	日本の	日本	2	0	①施策を	を達成する	うえで、当該	変事業の貢献度は高	らい。		1点	(説明)有	効性に関し、	内容を具体的	に記入します。		
 有 () (2)事業(7)継続() 17 N 来日標(事業(7)日区(7)四下7)即任(*3△ 1	* 羊()) 目 以) () 1 1 1 1 1 1 1 1 1	効	効性 O ③類似した事業との統合や連携を図る余地はない。 1点 していくために有効な団体助成事業である。	効性 長していくために有効な団体助成事業である。 ④町民参加と自治意識の向上が図られている。 1点	効性 O ③類似した事業との統合や連携を図る余地はない。 1点 ① 明民参加と自治意識の向上が図られている。 1点 (1)達成度の測定 計 1 点	効性 O ③類似した事業との統合や連携を図る余地はない。 1点 ① 明民参加と自治意識の向上が図られている。 1点 (1)達成度の測定 計 1 点	効性 O ③類似した事業との統合や連携を図る余地はない。 1点 長していくために有効な団体助成事業である。 4町民参加と自治意識の向上が図られている。 1点 点 区分 指標(算式) 単位 R4実績 R5実績 R6実績 R6当初計画 1大野状に振り 小中学生全道大会出場人数 人 14人/32人 31人/33人 36人/33人 33人/33人	効性 点 ②類似した事業との統合や連携を図る余地はない。 1点 ④町民参加と自治意識の向上が図られている。 1点 (1)達成度の測定 計 1 点 区分 指標(算式) 単位 R4実績 R5実績 R6実績 R6当初計画 活動指標 ※具体的な活動の内 (算式) 在校生の25%に当たる人数が出場 人 14人/32人 31人/33人 36人/33人 33人/33人	数 である。 1点 では、	有	0	②事業の	り継続によ	り、成果目標	票(事業の意図)の向	り上が期待 ⁻	できる。	1点		定の字力回	上や生活指	導等、児童生徒	が健やかに	_成
				④町民参加と自治意識の向上が図られている。 1点	④町民参加と自治意識の向上が図られている。 1点 (1)達成度の測定 計 1 点	④町民参加と自治意識の向上が図られている。 1点 (1)達成度の測定 計 1 点	④町民参加と自治意識の向上が図られている。	 ④町民参加と自治意識の向上が図られている。 (1)達成度の測定 店 区分 指標(算式) 増位 R4実績 R5実績 R6当初計画 指標① 小中学生全道大会出場人数 (算式) 在校生の25%に当たる人数が出場 	(3) 重成度の測定 計 1 点 (1) 達成度の測定 計 1 点 区分 指標(算式) 単位 R4実績 R5実績 R6実績 R6当初計画 活動指標 ※具体的な活動の内容 作標② 小中学生全道大会出場人数 (算式) 在校生の25%に当たる人数が出場 指標② 人 14人/32人 31人/33人 36人/33人 36人/33人 3 (算式) 作校生の25%に当たる人数が出場 指標② (算式)		0	(3)類(())	た事業と	の統合や連	携を図る余地はない	١_		1点		- めに有効が	で団体助成3	車 坐である		
	OCCUPATION OF A CONS.				(1)達成度の測定 計 1 点	(1)達成度の測定 計 1 点	(1)達成度の測定 計標(算式) 単位 R4実績 R5実績 R6実績 R6当初計画 イスサイル標	(1)達成度の測定 計 1 点 区分 指標(算式) 単位 R4実績 R5実績 R6実績 R6当初計画 活動指標 ※具体的な活動の内 ※具体的な活動の内 (算式) 在校生の25%に当たる人数が出場 人 14人/32人 31人/33人 36人/33人 33人/33人	(1)達成度の測定 計 1 点	II						0				200 (C F) 793.	ъ <u>⊡ (Т-9</u> 3/%).∃	F / (U) U ₀		
	16.4 ている	1 0 0 0 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1					区分 指標(算式) 単位 R4実績 R5実績 R6実績 R6当初計画 指標① 小中学生全道大会出場人数 人 14人/32人 31人/33人 36人/33人 33人/33人	区分 指標(算式) 単位 R4実績 R5実績 R6当初計画 指標① 小中学生全道大会出場人数 人 14人/32人 31人/33人 36人/33人 活動指標 ※具体的な活動の内 たけでの おります。 大けでの おります。 大けでの おります。 14人/32人 31人/33人 36人/33人	区分 指標(算式) 単位 R4実績 R5実績 R6実績 R6当初計画 活動指標 ※具体的な活動の内容 位算式) 本校生の25%に当たる人数が出場 指標② 人 14人/32人 31人/33人 36人/33人 33人/33人 3 14人/32人 31人/33人 36人/33人 36人/33人 36人/33人		(1):			1.忠戦♥月り工	-M-MM-M-CV 1/30	≘ ∔	1							
			(1) 建成皮∪側足		4 ┃		指標① 小中学生全道大会出場人数 人 14人/32人 31人/33人 36人/33人 33人/33人	指標① 小中学生全道大会出場人数 活動指標 ※具体的な活動の内	指標① 小中学生全道大会出場人数 14人/32人 31人/33人 36人/33人 33人/33人 36人/33人 3		(1),				指標 (質寸		I		R4実	績	R5実績	R6実績	R6当初計	·画
指標① 小中学生全道大会出場人数	計 1 点	(1)達成度の測定 計 1 点		、		指標① 小中学生全道大会出場人数	活動指揮	活動指標 (算式) 在校生の25%に当たる人数が出場	活動指標 (算式) 在校生の25%に当たる人数が出場					指標①										
	計 1 点 指標(算式) 単位 R4実績 R5実績 R6実績 R6当初計画 中学生全道大会出場人数	(1)達成度の測定 計 1 点 区分 指標(算式) 単位 R4実績 R5実績 R6実績 R6当初計画 指標(1) 小中学生全道大会出場人数	区分 指標(算式) 単位 R4実績 R5実績 R6実績 R6当初計画 指標() 小中学生全道大会出場人数	指標① 小中学生全道大会出場人数	指標① 小中学生全道大会出場人数	人 14人/32人 31人/33人 36人/33人 33人/33人			3 名 (算式)				動の中	(算式)	在校生の25%に	当たる人数	が出場	人	14人/3	52人	31人/33人	36人/33人	33人/33	人
	計 1 点 指標(算式) 単位 R4実績 R5実績 R6実績 R6当初計画 中学生全道大会出場人数 人 14人/32人 31人/33人 36人/33人 33人/33人	(1)達成度の測定 計 1 点	区分 指標(算式) 単位 R4実績 R5実績 R6実績 R6当初計画 指標① 小中学生全道大会出場人数 人 14人/32人 31人/33人 36人/33人 活動指標 (算式) 在校生の25%に当たる人数が出場 人 14人/32人 31人/33人 36人/33人	指標① 小中学生全道大会出場人数	活動指標	石刬垣保	容					ተመነረት/፱	ᆀᄱ	指標②		·	·		-		-			
	計 1 点 指標(算式) 単位 R4実績 R5実績 R6実績 R6当初計画 中学生全道大会出場人数 人 14人/32人 31人/33人 36人/33人 33人/33人	(1)達成度の測定 計 1 点 区分 指標(算式) 単位 R4実績 R5実績 R6実績 R6当初計画 活動指標 ※具体的な活動の内容 (算式) 在校生の25%に当たる人数が出場 指標② 人 14人/32人 31人/33人 36人/33人 33人/33人	区分 指標(算式) 単位 R4実績 R5実績 R6実績 R6当初計画 活動指標 ※具体的な活動の内容 指標② 小中学生全道大会出場人数 人 14人/32人 31人/33人 36人/33人 33人/33人	指標① 小中学生全道大会出場人数 活動指標 ※具体的な活動の内容	活動指標 ※具体的な活動の内容 指標②				#EL## (4) I Linta CA GA O MARIL O THE EL WE AN ARMAD A	3													1	
	計 1 点 指標 (算式) 単位 R4実績 R5実績 R6実績 R6当初計画 中学生全道大会出場人数 E校生の25%に当たる人数が出場	(1)達成度の測定 計 1 点	区分 指標(算式) 単位 R4実績 R5実績 R6実績 R6当初計画 活動指標 ※具体的な活動の内容 指標① 小中学生全道大会出場人数 (算式) 人 14人/32人 31人/33人 36人/33人 33人/33人 14標② (算式) (算式) (算式) (算式) (算式) (算式) (日本会社会社会社会社会社会社会社会社会社会社会社会社会社会社会社会社会社会社会社	指標① 小中学生全道大会出場人数 14人/32人 31人/33人 36人/33人 33人/33人 36人/33人 3	活動指標 ※具体的な活動の内容 (算式) 在校生の25%に当たる人数が出場 指標② 人 14人/32人 31人/33人 36人/33人 33人/33人	活動指標 (算式) 在校生の25%に当たる人数が出場			達 ct = 1 ts + 1		成里	. 指煙						%	43%	S	93%	109%	100%	
W Lintitorは用が用	計 1 点 指標 (算式) 単位 R4実績 R5実績 R6実績 R6当初計画 中学生全道大会出場人数 E校生の25%に当たる人数が出場 人 14人/32人 31人/33人 36人/33人 33人/33人	(1)達成度の測定 計 1 点	区分 指標(算式) 単位 R4実績 R5実績 R6実績 R6当初計画 活動指標 ※具体的な活動の内容 (算式) 本校生の25%に当たる人数が出場 指標② 人 14人/32人 31人/33人 36人/33人 33人/33人 達 (算式) 「算式) (算式) (算	指標① 小中学生全道大会出場人数 14人/32人 31人/33人 36人/33人 33人/33人 38人/33人 33人/33人 38人/33人 3	活動指標 ※具体的な活動の内容 3	A 製	達	達 ct = 1 ts + 1	1 11 mm		※ど	れだけのタ	成果が現		出場人数/在	(父生/ 店事	川 信 標							
	計 1 点 指標(算式) 単位 R4実績 R5実績 R6実績 R6当初計画 中学生全道大会出場人数 人 14人/32人 31人/33人 36人/33人 33人/33人 日学生全道大会出場人数の割合 日学生全道大会出場人数の割合 日本人/32人 31人/33人 36人/33人 33人/33人	(1)達成度の測定 計	区分 指標 (算式) 単位 R4実績 R5実績 R6実績 R6当初計画 指標① 小中学生全道大会出場人数 (算式) 在校生の25%に当たる人数が出場 指標② (算式) 小中学生全道大会出場人数の割合 成果指標 ※どれだけの成果が現 大き事の 出場人数/在校生/活動指標 大き事の 出場人数/在校生/活動指標 大き事の 日の% 日の	指標① 小中学生全道大会出場人数 14人/32人 31人/33人 36人/33人 33人/33人 36人/33人 3	活動指標 ※具体的な活動の内容 (算式) 在校生の25%に当たる人数が出場 指標② (算式) 指標① (算式) は場人数の割合 成果指標 ※どれだけの成果が現 (算式) 出場人数/在校生/活動指標 % 43% 93% 109% 100%	活動指標 (算式) 在校生の25%に当たる人数が出場 指標② 「	達成成 度 ※どれだけの成果が現 (算式) 出場人数/在校生/活動指標 (事式) (算式) 出場人数/在校生/活動指標 (事式) 43% 93% 109%	達 成果指標 (算式) 出場人数/在校生/活動指標 % 43% 93% 109% 100% 100% 100%	W. W. Erit (Language Market) Market (Langu	^	れた	ימ		(算式)										
^皮 れたか 指標②	計 1 点 指標 (算式) 単位 R4実績 R5実績 R6実績 R6当初計画 中学生全道大会出場人数 E校生の25%に当たる人数が出場 人 14人/32人 31人/33人 36人/33人 33人/33人	(1)達成度の測定 計	区分 指標 (算式) 単位 R4実績 R5実績 R6実績 R6当初計画 指標① 小中学生全道大会出場人数 (算式) 在校生の25%に当たる人数が出場 指標② (算式) (算式) 指標② (算式) 出場人数/在校生/活動指標 (算式) 出場人数/在校生/活動指標 (算式) 出場人数/在校生/活動指標 (算式) 出場人数/在校生/活動指標 (算式) 出場人数/在校生/活動指標 (算式) 出場人数/在校生/活動指標 (算式) 日初 (算式) 日初 日初 日初 日初 日初 日初 日初 日	指標① 小中学生全道大会出場人数 14人/32人 31人/33人 36人/33人 33人/33人 36人/33人 33人/33人 36人/33人 3	活動指標 ※具体的な活動の内容	活動指標 (算式) 在校生の25%に当たる人数が出場 指標② (算式) 指標② (算式)	達成度 指標① 小中学生全道大会出場人数の割合 (算式) % 43% 93% 109% 技術でいたけの成果が現れたか 指標② 指標②	達成度 成果指標 (算式) 出場人数/在校生/活動指標 (算式) % 43% 93% 109% 100% は標② 指標②	後 ※どれだけの成果が現れたか 指標②		0	①期待1	た通りの		 た。(達成度80%以	L)		1点	(説明) 成	果・効果や達	成度に関し、		します。	
指標(2) (算式) (目表現 (記述) (記述) (目表現 (記述) (記述) (目表現 (記述)	計 1 点 指標 (算式) 単位 R4実績 R5実績 R6実績 R6当初計画 中学生全道大会出場人数 E校生の25%に当たる人数が出場 人 14人/32人 31人/33人 36人/33人 33人/33人 33人/33人 109% 100%	(1)達成度の測定	区分 指標(算式) 単位 R4実績 R5実績 R6実績 R6当初計画 指標(算式) 小中学生全道大会出場人数 (算式) 在校生の25%に当たる人数が出場 14人/32人 31人/33人 36人/33人 33人/33人 14人/32人 31人/33人 36人/33人 36人/33人 14人/32人 31人/33人 36人/33人 36人/33人 109% 100	指標① 小中学生全道大会出場人数 14人/32人 31人/33人 36人/33人 33人/33人 36人/33人 3	活動指標 ※具体的な活動の内容	活動指標 (算式) 在校生の25%に当たる人数が出場 指標② (算式) (非議②	達成度 指標① 小中学生全道大会出場人数の割合 成果指標 ※どれだけの成果が現れたか (算式) 出場人数/在校生/活動指標 指標② 指標② (算式)	確成度 成果指標 ※どれだけの成果が現れたか (算式) 出場人数/在校生/活動指標 指標② % 43% 93% 100% (算式) (算式) (算式) (算式) (算式)	※どれだけの成果が現 1		H									.,,,,,,		=		
はたか 指標② (算式) (算式) 1点 (説明)成果・効果や達成度に関し、内容を具体的に記入します。	計 1 点 指標 (算式) 単位 R4実績 R5実績 R6実績 R6当初計画 中学生全道大会出場人数 E校生の25%に当たる人数が出場	(1)達成度の測定 計	区分 指標(算式) 単位 R4実績 R5実績 R6実績 R6当初計画 指標① 小中学生全道大会出場人数 人 14人/32人 31人/33人 36人/33人 33人/33人 (算式) 在校生の25%に当たる人数が出場指標② 上標② (算式) 14人/32人 31人/33人 36人/33人 33人/33人 (算式) 上標② (算式) 出場人数/在校生/活動指標指標② % 43% 93% 109% 100% (算式) 出場人数/在校生/活動指標指標② (算式) 上場人数/在校生/活動指標 % 43% 93% 109% 100% (算式) (算式) 上場人数/在校生/活動指標 (算式) (第式) (第式)<	指標① 小中学生全道大会出場人数 (算式) 在校生の25%に当たる人数が出場 (算式) 在校生の25%に当たる人数が出場 指標② (算式) 指標② (算式) 指標② (算式) 出場人数/在校生/活動指標 ※どれだけの成果が現れたか 指標② (算式) 出場人数/在校生/活動指標 指標② (算式) 日場人数/在校生/活動指標 指標② (算式) 日島 (説明)成果・効果や達成度に関し、内容を具体的に記入します。	活動指標 ※具体的な活動の内容		達成度 が果指標 (算式) 小中学生全道大会出場人数の割合 (算式) % 43% 93% 109% 100% が果指標 ※どれだけの成果が現れたか 指標② (算式) 出場人数/在校生/活動指標 100% 100% 100% 100% 100% 100% 100% 100	成果指標 ※どれだけの成果が現れたか (算式) 出場人数/在校生/活動指標 指標② (算式) % 43% 93% 109% 〇 ①期待した通りの成果があった。(達成度80%以上) 1点 (説明) 成果・効果や達成度に関し、内容を具体的に記入します。	機度 ※どれだけの成果が現れたか 指標② (算式) (算式) 〇 ①期待した通りの成果があった。(達成度80%以上) 1点 (説明) 成果・効果や達成度に関し、内容を具体的に記入します。										・陸上や	相撲など、1	2大会に参加	加した。		
NK NK I I I I I I I I I I I I I I I I I I	計 1 点 指標 (算式) 単位 R4実績 R5実績 R6実績 R6当初計画 中学生全道大会出場人数 E校生の25%に当たる人数が出場 人 14人/32人 31人/33人 36人/33人 33人/33人 33人/33人 109% 109% 100%	(1)達成度の測定 計	区分 指標(算式) 単位 R4実績 R5実績 R6実績 R6当初計画 活動指標 ※具体的な活動の内容 指標① 小中学生全道大会出場人数 指標② 人 14人/32人 31人/33人 36人/33人 33人/33人 建 作用を標準 小中学生全道大会出場人数の割合 り、中学生全道大会出場人数の割合 り、中学生全道大会出場人数の割合 り、中学生全道大会出場人数の割合 り、 % 43% 93% 109% 100%	指標① 小中学生全道大会出場人数 (算式) 在校生の25%に当たる人数が出場 指標②	活動指標 ※具体的な活動の内容 (算式) 在校生の25%に当たる人数が出場 指標② (算式) 指標② (算式) 指標① 小中学生全道大会出場人数の割合 ** *** *** *** *** *** *** *** *** ***	A 製	達	達 ct = 1 ts + 1					成果が現		出場人数/在	校生/活動	加指標						1	
	計 1 点 指標 (算式) 単位 R4実績 R5実績 R6実績 R6当初計画 中学生全道大会出場人数 E校生の25%に当たる人数が出場 人 14人/32人 31人/33人 36人/33人 33人/33人 33人/33人 109% 109% 100%	(1)達成度の測定 計	区分 指標 (算式) 単位 R4実績 R5実績 R6実績 R6当初計画 指標① 小中学生全道大会出場人数 (算式) 在校生の25%に当たる人数が出場 指標② (算式) 小中学生全道大会出場人数の割合 成果指標 ※どれだけの成果が現 大きの 出場人数/在校生/活動指標 大きの	指標① 小中学生全道大会出場人数 14人/32人 31人/33人 36人/33人 33人/33人 33人/33人 34人/33人 36人/33人 3	活動指標 ※具体的な活動の内容	活動指標 (算式) 在校生の25%に当たる人数が出場 指標② (算式) (有量) (算式) (有量) (達成成	達 成果指標 (算式) 出場人数/在校生/活動指標 % 43% 93% 109% 100% 100% 100%	MC WE United the Control of th	戊	れた	か		指標(2)										
^皮 れたか 指標②	計 1 点 指標(算式) 単位 R4実績 R5実績 R6実績 R6当初計画 中学生全道大会出場人数 人 14人/32人 31人/33人 36人/33人 33人/33人 中学生全道大会出場人数の割合 % 43% 93% 109% 100%	(1)達成度の測定 計	区分 指標 (算式) 単位 R4実績 R5実績 R6実績 R6当初計画 指標① 小中学生全道大会出場人数 (算式) 在校生の25%に当たる人数が出場 指標② (算式) (100% 100%	指標① 小中学生全道大会出場人数 14人/32人 31人/33人 36人/33人 33人/33人 33人/33人 34人/33人 36人/33人 33人/33人 36人/33人 3	活動指標 ※具体的な活動の内容	Taulfies (算式) 在校生の25%に当たる人数が出場 指標② (算式) 指標② (算式) (算式) (算式) (算式) (算式) (算式) (100%	達成度 指標① 小中学生全道大会出場人数の割合 (算式) 出場人数/在校生/活動指標	達成度 成果指標 (算式) 出場人数/在校生/活動指標 (算式) % 43% 93% 109% 100% は標② 指標②	後 ※どれだけの成果が現れたか 指標② 指標②	1				(算式)										
指標(2)	計 1 点 指標(算式) 単位 R4実績 R5実績 R6実績 R6当初計画 中学生全道大会出場人数 E校生の25%に当たる人数が出場 人 14人/32人 31人/33人 36人/33人 33人/33人 中学生全道大会出場人数の割合 出場人数/在校生/活動指標 % 43% 93% 109% 100%	(1)達成度の測定 計	区分 指標(算式) 単位 R4実績 R5実績 R6実績 R6当初計画 指標(算式) 小中学生全道大会出場人数 14人/32人 31人/33人 36人/33人 33人/33人 14人/32人 31人/33人 36人/33人 36人/33人 36人/33人 36人/33人 14人/32人 14人/32人 14人/32人 31人/33人 36人/33人 36人/33人 109% 100	指標① 小中学生全道大会出場人数 14人/32人 31人/33人 36人/33人 33人/33人 33人/33人 36人/33人 33人/33人 36人/33人 3	活動指標 ※具体的な活動の内容	活動指標 (算式) 在校生の25%に当たる人数が出場 指標② (算式) (非議②	達成度 指標① 小中学生全道大会出場人数の割合 成果指標 ※どれだけの成果が現れたか (算式) 出場人数/在校生/活動指標 指標② 指標② (算式)	確成度 成果指標 ※どれだけの成果が現れたか (算式) 出場人数/在校生/活動指標 指標② % 43% 93% 100% (算式) (算式) (算式) (算式) (算式)	※どれだけの成果が現 1	1	0	①期待し	た通りの	成果があった	た。(達成度80%以_	上)		1点	(説明)成	果・効果や達	成度に関し、	内容を具体的に記え	しします。	
指標(2)	計 1 点 指標(算式) 単位 R4実績 R5実績 R6実績 R6当初計画 中学生全道大会出場人数 E校生の25%に当たる人数が出場 人 14人/32人 31人/33人 36人/33人 33人/33人 中学生全道大会出場人数の割合 出場人数/在校生/活動指標 % 43% 93% 109% 100%	(1)達成度の測定 計	区分 指標(算式) 単位 R4実績 R5実績 R6実績 R6当初計画 指標(算式) 小中学生全道大会出場人数 14人/32人 31人/33人 36人/33人 33人/33人 14人/32人 31人/33人 36人/33人 36人/33人 36人/33人 36人/33人 14人/32人 14人/32人 14人/32人 31人/33人 36人/33人 36人/33人 109% 100	指標① 小中学生全道大会出場人数 14人/32人 31人/33人 36人/33人 33人/33人 33人/33人 36人/33人 33人/33人 36人/33人 3	活動指標 ※具体的な活動の内容	活動指標 (算式) 在校生の25%に当たる人数が出場 指標② (算式) (非議②	達成度 指標① 小中学生全道大会出場人数の割合 成果指標 ※どれだけの成果が現れたか (算式) 出場人数/在校生/活動指標 指標② 指標② (算式)	確成度 成果指標 ※どれだけの成果が現れたか (算式) 出場人数/在校生/活動指標 指標② % 43% 93% 100% (算式) (算式) (算式) (算式) (算式)	※どれだけの成果が現 1			②概ね其	期待した通	りの成果があ	あった。(50%以上8	30%未満)		0点	7± 1 à		04.42=4			
はたか 指標② (算式) (算式) 1点 (説明)成果・効果や達成度に関し、内容を具体的に記入します。	計 1 点 指標(算式) 単位 R4実績 R5実績 R6実績 R6当初計画 中学生全道大会出場人数 E校生の25%に当たる人数が出場 人 14人/32人 31人/33人 36人/33人 33人/33人 中学生全道大会出場人数の割合 出場人数/在校生/活動指標 % 43% 93% 109% 100% 造成度80%以上) 1点 (説明)成果・効果や達成度に関し、内容を具体的に記入します。 た。(50%以上80%未満) 0点	(1)達成度の測定 計	区分 指標(算式) 単位 R4実績 R5実績 R6実績 R6当初計画 3 達成度 放果指標 ※どれだけの成果が現れたか 指標① 小中学生全道大会出場人数の割合 (算式) 人 14人/32人 31人/33人 36人/33人 33人/33人 3 成果指標 ※どれだけの成果が現れたか (算式) 出場人数/在校生/活動指標 指標② % 43% 93% 109% ○ ①期待した通りの成果があった。(達成度80%以上) 1点 (説明) 成果・効果や達成度に関し、内容を具体的に記入します。 ②概ね期待した通りの成果があった。(50%以上80%未満) 0点	指標① 小中学生全道大会出場人数 (算式) 存校生の25%に当たる人数が出場 人 14人/32人 31人/33人 36人/33人 33人/33人 36人/33人 36	活動指標 ※具体的な活動の内容		注標の	び果指標 ※どれだけの成果が現れたか (算式) 出場人数/在校生/活動指標 指標② % 43% 93% 109% 100% 〇 ①期待した通りの成果があった。(達成度80%以上) 1点 (説明) 成果・効果や達成度に関し、内容を具体的に記入します。 ②概ね期待した通りの成果があった。(50%以上80%未満) 0点	機度 ※どれだけの成果が現れたか 指標② 〇 ①期待した通りの成果があった。(達成度80%以上) 1点 (説明) 成果・効果や達成度に関し、内容を具体的に記入します。 ②概ね期待した通りの成果があった。(50%以上80%未満) 0点			③成果が	が少なく今	後も向上する	る見込みがない。(5	60%未満)		-1点	・隆上や	™汚なと、1	2人会に参り	ルレだ。		

	(1) 🖣	事業費の推移			計	1	点									
	Σ	ヹ 分	単位	R4決算額	R5決算額	R6決算	額	R6事業費	の内訳及	ひ金額		単位コス	7	0	一般財源	原額
		事 業 費	千円	1,871	2, 463		2, 398	(金額の	上位 2 酮	費用他)	0	達成度を	下げずに	低下さ	らせた	1点
	。 財	国・道費	千円					区分		金 額		変わりない・上 に説明できる	昇している	理由を明	確かつ具体	0点
4	源	地方債	千円					各種大会参加助品	え 金	1, 622	2	上昇してい	る			-1点
杰	内訳	その他	千円					教育関係団体等即	力成金	77						
効果	\smile	一般財源	千円	1,871	2, 463		2, 398				説明					
性	(2) =	手法の効率化			計	3	点	(説明)手法	よの効率	化に関し	、内容	を具体的に	記入し	,ます。		
	0	がないほどの水 ②現在の手法! の高い水準にな	<準にた は効率 なってい 執行方	よっている。 的な事務執行と受 いる。 法の工夫により、対	して事業費を削減 益者に対するサー 対象範囲を変えずり	ビス満足度	1点 1点 1点	・補助要綱定している		基づき、衤	甫助申	□請書を	審査の	うえ、	補助金	を決
項目別点数による評価		項目別点数による評価結果		1 必 2 有 3 達	数表 頁目 点数 要性 5 効性 3 成度 1 果性 4	3		低	1	2 3	性 十 7	3 6 A B B	7	8~	6 5 4 3 2 1 0 -1	高 達成度十効果生 氐
	A	担当課評価	***		!果を参考に、事 変のA~Dにより		して、	他施策との陽	関係等を	含め総合的	的視点	から評価し	ます。			
	0	現状のままで事	事業を糾	*************************************				事業を	拡充して	継続						
	В	事業の進めた	ちの改	善により継続												
		事業の簡素化、	、効率化	とによる改善				執行体	制の見画	直し(外部す	託等)	による改善				
_		事業手法の見し	直しに。	 よる改善				住民参	加等の持	生進によるご	女善					
次評		事業内容の一部						その他	効果的・	効率的手法	よの検討	 対による改 詞	É			
価	С			の見直しの検討												
担				面的な見直しを検討				対象範	囲の見画	直し、受益者	新 負担(「入を検	 討		
当課		必要性等を再札	検証し	事業規模、計画等	の見直しを検討			他の事	業、類化	事業への	売合・車	- 換を検討				
評		計画期間の延ん	伸、事	業費平準化等を検	<u></u>			その他								
価	D	事業の抜本的														
		廃止	عم و در	統合	縮	小		凍結			新た	な事業への	転換			
	% I		能性や	・廃止することに		廃止	可能		整えば厚	医止検討可	1	Y	:は困難		そのも	也
					え方を具体的に記	~ -		今後の改善領					, .,		<u> </u>	
	説明	・各教育団(上に努めて	体に』 いる。 の出り	り学力向上、	小中連携等を	進め、学		・保護者や[がある。 ・各団体でのおける会計 ・教育関係[カデミーを記 指導する。	団体の約 の会計類 及び監 団体につ	経済的負担 を を を を を を を を を	担を軽 いて疑 が を が に れ ま れ ま れ ま れ ま れ れ ま れ れ ま れ ま れ ま れ	減するたる 義が生じるよう、引きての複数	ることが き続き 団体を	ないよ 指導す 一体(さう、各国 ける。 化させた	団体に
				A 現状にて事	業を継続または	広充 B	事業の	 の進め方の改	善・検討	討が必要	С	事業規模	、内容の	の見直	しが必要	Ę.
		庁内委員会	Ì	D 事業の抜本	的見直しの検討	⇒	廃止	統合	ì	縮小		凍結	新	たな事	業への	転換
二次評価		評 A]	説 一次評価明	「の内容により	事業推進	のこ	<u>د</u> .								
				A 現状にて事	業を継続または	広充 B	事業	の進め方の改		討が必要	С	事業規模	、内容の	の見直	しが必要	Ę
最終評価		最終評価		説	的見直しの検討 欠評価を念頭(廃止	事業を推進		縮小		凍結	新	たな事	「業への」	転換

令和	1	年	ı J	∄ 1	日 作成	ĺ	担	当課	高校魅力	化支援係	Ę.				
事	務事	業名	高校	魅力化推定	進事業										
	基本	本方向	04	学び合い	、たくましい人	を育てる(教	女育・文化	5)	施策コー	・ド		331	31103		
施策	項	目	37	幼児教育	、学校教育				法的	法	令	条	例	O その	他
の	財和	 络名称		高校魅力	化推進事業費				根拠等	北海道	立福島商	商業高等学	校等京	大学費助成	要綱
体系									実施	〇直	営	委	託	その	他
"									方 法			'			
事業概要					を定した高等教 や各種資格受								励金な	で付及び追	重学
	(1) 対	対象(誰	を、何を	対象として	(いるのか)			(3)手段	(どのような手	法、手順	で行って	(いるのか)	1		
+	(1),	入学奨	励金(2)通学補具	助(3)教育振興	!会補助		(1)入学	奨励金として	て、1人1	.00千円	を交付			
事業	(4)	運転免	許取得	助成金(5	5)各種大会参加	叩助成金			骨補助金として						(当
の目									振興会より相						
的	(2) 意	意図 (対	象をどの	ような状態	にしたいのか)				員試験講習、						包除
		養者の経 り高校			域を図り、町内外	トを問わず入	、学促進		免許取得助 大会参加費		•		を交	付	
	(1)田	丁関与の	根拠(町	が行う必要	がある事業か)	計 2	点	(0) 日 1主	74974	713-2101	11000	~			
		①法令等	節で実施だ	ぶ義務付けら	れている事業。		1点	〇 ⑥産	業振興及び地場	或活性化 <i>0</i>	ために重	重要な事業			1点
			環境の確保		活に直結した事業	で、当然の責務	^{とし} 1点	※内	部管理•運営等	の事業。(点数対象	9外)			_
					維持・安定のために	工不可欠な事業。	1点	(説明)関	見与の根拠に関	し、内容	を具体的	りに記入し	ます。	ļ	
	0	④町の朱	・ 性や魅力	りを生かした	取り組みなど、戦略	的な事業。	1点		高校がある。						
1			による実 補完する		るが、サービスの確何	保が困難なため	1点		を減が図られ	ふととも	(こ、田) 0	の活性化	にも景	響がある。	0
必要	(2) ネ	1		ェーズの変		計 2	点								
性	0		度の見画 られてい		境の変化によって、	サービス内容の	つ拡 1点		令等で実施内? ない。(点数対象		手が定めら	っれて、町の	創意工	夫が入る余	_
					など、町民ニーズが	高まっている。	1点	l '	当性に関し、		体的に記	己入します。	,		
				固定化を避きている。	けるため、種々の改	善を行い、事業	の効 1点		の経済的負						
	0				も、実施の緊急性、(優先性は高い。	1点	可外に対である。	†する入学支	(抜束と	し (<i>0)</i> を	5年を延	O CV	べつえ ぐ业	/安
	(1) 万	└───── 戊果・協	働に対	する事業の	 D有効性	計 3	点								
2	0	①施策を	達成する	うえで、当該	変事業の貢献度は高	jv.	1点	(説明)有	対性に関し、	内容を具	体的に記	己入します。	,		
有	0	②事業の	継続によ	り、成果目標	票(事業の意図)の向	可上が期待できる	る。 1点		比職に有効と る。令和6年						実
効性	0	③類似し	た事業と	の統合や連	携を図る余地はない) °	1点	旭してい	ე∘ ΉΩΉ ΈΩΠ ∖ ΕΓ	・侵は延	~92泊	が文神し	/ (V 1/2	ο,	
		④町民参	*加と自治	意識の向上	:が図られている。		1点								
	(1)追	達成度の	測定			計 1	7	ı							
		区分			指標(算式	;)	単位	R4実	績	R5実績		R6実績		R6当初計	画
	ィモ	+F: +m		指標①	入学者数		人	10)		9人		29人		20人	
		哲標 体的な活	動の内	(算式)	実人数										
	容			指標②											
3				(算式)	1 学录										
達	成里	指標		指標① (算式)	入学率 実入学者÷募集停止	更件(9nを)	%	509	6	45%		145%		100%	
成度	※どオ	れだけのタ	成果が現	指標②	ハハコロ・炉米げ上										
	れたが	J.		(算式)											
	0	①期待し	た通りの		 - -。(達成度80%以_	Ł)	1点	(説明)成	え果・効果や達	成度に関	し、内容	字を具体的!	こ記入	します。	
		②概ね其	月待した 通	的の成果が	あった。(50%以上8	80%未満)	0点		い留学への	参画、	青少年	交流セン	ターの	整備が功	た
		③成果カ	ぶ少なく今	後も向上する		0%未満)	-1点	奏した。							

	(1) =	事業費の推移			計	1 点									
		区 分	単位	R4決算額	R5決算額	R6決算額	Т	6事業費の	中間 ひがん	全 255	単位コ	スト	0	一般財源	額
			千円	18, 256	23, 450	22, 33	- ,	(金額の上位)) 達成度	を下げっ	<u> </u> ずに低下	させた	1点
	<u></u>	国・道費	千円	7, 865	6, 436	6, 98	-	巫 分	金	額	変わりない	上昇して		月確かつ具体的	
4	財源	地方債	千円	5, 596	0, 100			・補助及び交付:		8, 465	上昇して				-1点
	内訳	その他	千円	4, 795		2, 33		4及び賃借料		1, 881	2,70				. 7110
効果	ار ا	一般財源	千円	,	17, 014	13, 01	+				明				
性	(2)	 手法の効率化			計	1 点	(説	明)手法の	D効率化に	関し、内	容を具体的	りに記え	します	•	
				より、経済性を考慮	して事業費を削減	できる余地 1,	· 補	助要綱等	等に基づ	き、補助	申請書	を審査	のうえ	、補助金	を決
	_	がないほどのオ		ぶっている。 的な事務執行と受	益者に対するサー	14つ油口店	定l	ている。	また、高	校とも十	一分な連打	隽を図	り事務	を進めて	V)
	0	の高い水準に	なってい	いる。		1)	なる。								
		③外部委託や 削減する余地		`法の工夫により、タ ネい。	対象範囲を変えずに	_事業費を │ 1,	Ħ.								
		•				<u>'</u>									
項				項目別点数	数表	_		低			⊢有効性		高		
目		-= D D)	_	Į Į	点数 点数			0	1 2	3 4	1 5	6 7	7 8~	高	
別点		項目別点数に よる評価結果		1 必	要性 4				6			A		達 5 成	
数		_	1		7	'							5	成 度	
によ		ΙΑ		2 有	効性 3		\Rightarrow							2 対	
る			1	3 達	成度 1 3	,	•		D			В		 	
評価				4 効	果性 2	'								<u>-1</u> 性	
						_								2 143	
		担当課評価													
			1	※上記の結	果を参考に、事業	第担当課として	他施:	策との関係	筝を含め	総合的視	点から評価	ਜi.≢ਰ	۲.		
		A			次のA~Dにより		. 1026		.,	40 H F 3 120	M. 7 2 11 12	200,	0		
		<u></u>	<u> </u>	VII III 197	NOA DICK.	7676									
	A	現状にて事業	単 を 継	続または拡充											
	0	現状のままで事						事業を拡	充して継続						
	<u> </u>			<u></u> :善により継続											
		事業の簡素化	、効率	とによる改善				執行体制	の見直し(タ	外部委託等	等) による改	善善善善			
<u></u>		事業手法の見	直しに。	よる改善				住民参加	等の推進に	こよる改善					
次評		事業内容の一	部見直	しによる改善				その他効果	果的·効率	的手法の	食討による				
価	С	事業規模・内	内容等	の見直しの検討	1										
担		制度·事業内容	学の全直	面的な見直しを検討	-			対象範囲	の見直し、	受益者負	担の見直し	・導入を	検討		
当課		必要性等を再	検証し	事業規模、計画等の	の見直しを検討			他の事業、	、類似事業	への統合	・転換を検討	Ħ			
評		計画期間の延	伸、事	業費平準化等を検	討			その他							
価	D	事業の抜本的	内見直	しを検討											
		廃止		統合	縮	小		凍結		新	たな事業へ	の転換			
	*	事業廃止の可	能性	や廃止することに	よる影響 🕏	廃止可能		条件が整	えば廃止権	討可能	房	を止は 困	難	その他	
				価)の内容や考え				の改善策等				+		I+ I >	-
	,			対育の充実と安定 咸少によって存紀				種対策の もの確保:			高校と教	(育委)	貝会が	協力し、	人字
	説	ため必要な事	事業で	ある。			•福				興会にて	、さら	なる魅	力向上の	ため
	明			の発信により、令 っている。 引き続き			『の協	協議を進る	めていく	ことが必	要である	0			
				みらい留学と連携	巻を図りながら積	極的に発信し [*]									
		いく必要があ	v'a) o							1					
					業を継続または扱			方の改善	・検討が』	必要 (事業規	模、内	容の見直	重しが必要	
=		庁内委員会 ※		D 事業の抜本	的見直しの検討	☆ 廃」	Ė	統合	縮	小	凍結		新たな	事業への転	換
次		評 価	i	説											
評価		Δ			iの内容により	事業推進のこ	.ع								
		_ ′ `		明	·										
				Λ 担保にて市	業を継続または拡	t 本	<u></u>	か方の改善	・	λ亜 /	 こ 事業規	措 宀	突の目で	11 が必亜	
_					果を継続またはが 的見直しの検討			統合		小	凍結	1天、IA		もしか必要 事業への転	換
最終		最終評価		- +×××××		.	_	1450 11	1445	-	NAM	1		,> TA	
評		Λ		説	石部 体ナ 今年で	ーナンニキャ	╆₩	t.## # _	h+1.						
価		\Box		明 一次•二次	欠評価を念頭に	-さりに事務	争耒	で推進さ	イレノこしゝ						
			-												
-	_		_	·	·					_		_			_

令和	П	年	,	1	日 作成			担当	当課 :	高校魅力	化支援係					
事	務事	業名	青少	年交流セン	ンター施設管理	事業			•							
	基本	本方向	04	学び合い	、たくましい人	を育てる	(教育・	文化	,)	施策コー	۲		33131	103		
施策	項	目	37	幼児教育	、学校教育					法的	法	令	条 例	J	その	他
の	財和	 络名称		青少年交	流センター施設	と管理費				根拠等				,		
体系										実施	直	営〇	委 訊	;	その	他
										方 法	入札による		•	·	•	
事業概要					集開始に伴い 町の魅力を感								三に関連	まする	事業を原	展開
	(1) 対	対象(誰	を、何を	対象として	(いるのか)				(3)手段(どの	のような手	法、手順で	うっている	のか)			
_	·全[国から茅	で町する	苦者					令和3年度	青少年	交流センタ	一実施記	2計			
事業	·体	験移住、	体験額	見光の利用	用者				令和4年度	青少年	交流センタ	一建築				
の目									((建築、電	気、機械	没備、備	品)			
的	(2) 意	意図(対	象をどの	ような状態	(にしたいのか)				令和5年度	施設運営	営を開始					
					皆者の受入れ	A 3 MM = A	SH . 1 we		令和6年度				、機械	、太陽	·光、備。	品)
					者に町民と触れ	合り機会を			令和7年度	増築棟道	軍営を開始	<u>,</u>				
	(1) ⊞	け関与の	根拠(町	が行う必要	がある事業か)	計	3	点								
					れている事業。			1点	〇 ⑥産業振	興及び地域		めに重要な	事業			1点
	0		境の確保		活に直結した事業	で、当然の責	務とし	1点	※内部管	理•運営等	の事業。(点着	数対象外)				-
					維持・安定のために	こ不可欠な事	業。	1点	(説明)関与(の根拠に関	し、内容を.	具体的に記	入します	- 。	l	
	0	OTT OH	- ##-\$-##-	うなみよう た	取り組みなど、戦闘	ないかませ		1点	青少年交流	布センター	ーによって	若者の	生活環	境の	充実が図	対 ら
1	0				が、サービスの確		÷ »Λ ⊞Τ	,	れるとともに	、移住•兌	官住や交流					
必		が先導・			2/4 / E > (4) PH	1000円米配って	C 60 (P)	1点	も良い影響	が出てき	ている。					
要	(2) ネ			ニーズの茤		計	2	点								
性	0	①国の制 充が求め	度の見直	重しや社会環 る。	境の変化によって	、サービス内	容の拡	1点		で実施内容 。(点数対象	ドや手法等が き外)	定められて	、町の創え	意工夫	が入る余	1
					など、町民ニーズだ	ぶ高まっている	5.	1点				内に記入し				
					けるため、種々の改			1点	・町民の人口	1減少が	加速してお	らり、若者	の生活	環境	の確保な	や人
		果が顕著	になって	きている。				一点	材育成を図					>K 26	· PEPI	,,,
	0	④限られ	た財源の	中にあって	も、実施の緊急性、	優先性は高い	, ,°	1点								
	(1) 万	成果・協	働に対	する事業の	り有効性	計	3	点								
2	0	①施策を	達成する	うえで、当該	変事業の貢献度は7	- 高い。		1点	(説明)有効物	生に関し、	内容を具体に	的に記入し	ます。			
有	0	②事業の	継続によ	り、成果目標	票(事業の意図)の	向上が期待で		1点	生活環境の							
効性	0	③類似し	た事業と	の統合や連	携を図る余地はなり	<i>⟨</i> `₀		1点	により就業体 役割を担っ		字生とのフ	ィールド	ワーク研	州修施	一設として	ての
11		4)町民参	加と自治	音識の向上	 :が図られている。			1点	区間で匹う	CV .Do						
	(1) 1	産成度の				計	1	点								
	(1)	区分					-	単位	R4実績		R5実績	R	6実績		R6当初計	画
				指標①	個室利用者数											
	活動	指標		(算式)	実人数			人	0人		5人		19人		20人	
	※具(容	体的な活動	動の内	指標②	ゲストルーム利用	日数(180日>	<4部屋)									
3				(算式)	実日数			日	0日		281日	2	208日		720日	
				指標①	利用率			6/	, -1		0.00%		0.50		40	
達成		指標	£ m , ^	(算式)	実利用者÷全個	室(24部屋)		%	0%		63%		95%		100%	
度	※どれ れたが	れだけの原 か	X朱が垷	指標②	利用率			п	0%		20%		201/		1000/	
				(算式)	実利用日数÷180	日(住宅民泊	事業法)	日	U%		39%		29%		100%	
	0	①期待し	た通りの	成果があった	上。(達成度80%以	上)		1点	(説明)成果	・効果や達	成度に関し	内容を具	体的に記	込しる	 ます。	
		②概ね期	待した通	りの成果がる	あった。(50%以上	80%未満)		0点	当該年度は	の新入居	者が19人	となり、期	待した	通りの	成果が	3
		③成果が	少なく今	後も向上する	る見込みがない。(50%未満)		-1点	あった。							

	(1) =	事業費の推移			計	0	点								
	[2	区 分	単位	R4決算額	R5決算額	R6決算額	額	R6事業費の	内部及7	(全額		単位コスト) 一般財源	原額
		 事 業 費	千円	378, 473	3 221, 336	379	9, 700	(金額の上				達成度を下げ	ずずに低	下させた	1点
		国・道費	千円	161, 957			2, 480	区分	金	額	0	変わりない・上	昇している		
	対				,		2, 100					具体的に説明			-
4	源	地方债	千円	193, 400)			工事請負費		326, 766		上昇している)		-1点
	内訳	その他	千円		4, 328	11	1, 738	備品購入費		24, 858		主小た大学	たよい、カ	199 855 - L	# /# //- 1.
効果)	/									説明	青少年交流入居者人数			手夫 他と
性		一般財源	千円	23, 116	213, 510	348	5, 482								
	(2) =	手法の効率化			計	1	点	(説明) 手法(
		①業務等の見ばがないほどのオ			態して事業費を削減	できる余地	1点	個室入居者					手供給と	こ、ゲストバ	レーム
				-	受益者に対するサー	ビス満足度	1点	の清掃業務	を外部	美百へ	安計	にている。			
		の高い水準に			対象範囲を変えずに	マ市 光 弗 ナ									
	0	削減する余地に			州 家 配 団 と 友 ん す に	- 尹未貝で	1点								
項				項目別点	数表	_		低 0	1 2		生十本 4	∮効性 5 6	7 8~		高
目別		項目別点数に	.	;	項目 点数				1 2	3	4	3 0	7 0~		主
点		よる評価結果		1 业	必要性 5				- 6			A		- 1 5 F	戓
数に			1	2 4		<u></u>								 	芰 十
ょ		A			3 3	_							() ' 3	边
る 評				3	達成度 1 2	,			D			В			果 生
価				4 交	助果性	-								'	氐
											<u> </u>				2.
		担当課評価													
			1	※上記の総	^{吉果を参考に、事第}	美担当課とし	、て、	他施策との関係	条等を含む	め総合的	視点	から評価しま	ミす 。		
		A			次のA~Dにより			10,0011 - 11 12 12 12			,,,,,,,,,,,				
			1	☆ 計画は、	XVX DICK	7670									
	Α	1141111111111111111111111111111111111	とた纠	<u> </u> 続または拡充											
	0	現状のままで事						事業を拡	去〕て継						
		2-0.	,,,,					予末と1		INF					
		事業の簡素化						執行体制	の見直し	(外部委	託等)	による改善			
<u> </u>		事業手法の見						住民参加				, 0.091			
次評		事業内容の一						1 11			-	付による改善			
価	С			の見直しの検	 討			C 1 12//	,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,	, ,		7, 0,03(1			
担		1		面的な見直しを検				対象範囲	の見直し	、受益者	負担0	 り見直し・導 <i>フ</i>	を検討		
当				事業規模、計画等	•							換を検討	_ 5,,		
課評				業費平準化等を検				その他	1 / 2 (12 . 1						
価	D														
		廃止		統合	縮	小		凍結			新たた	な事業への転	換		
	※ =		能性な	や廃止することに	こよる影響 🕏	廃止す	可能	条件が整	えば廃止	検討可能	L 能	廃止に	は困難	そのイ	也
					え方を具体的に記	-		今後の改善策等							
		・個室、ゲス	トル	ームともに、多	くの利用希望者	がいるた	め、	•個室入居	人数とク	・ストル	ーム	利用人数	を安定し	て確保で	するた
	説	現状のまま	で事	業を継続させ	る 。			め、当施設の	の魅力を	を発信	するこ	ことが必要	となる。		
	00														
	明														
		L		Δ 羽件にてる		t 在	事 學	 の進め方の改善	. 垛計4	(心) 声	_	事業規模、	内突の目	直 が心電	<u> </u>
		cate			₱未を極続またはが ● 本的見直しの検討		事 未 (廃止	が進め方の改善統合		縮小		事未祝侯、 凍結		は事業への!	
=		庁内委員会 評 価		□ → → 未の扱う	ruj元旦しの快刊	7	涉止	机造		4個八,		/本中口	利 /こ/	ゅず未への!	和授
次評		, m	1	説											
価		A		一次評価	■の内容により	事業推進	のこ	<u></u> ೬。							
				明											
				Δ 羽状にて雪	事業を継続または扱	☆ □	車業/	の進め方の改善	- 給計4	心運	_	事業規模、	内突の目	直 が必理	Ę
					#未で極続またはが ************************************		事 未 廃止	が進め方の改善 統合		縮小		東結		な事業への!	
最終		最終評価							1		<u> </u>	1	1		
評		Λ		説	ケ 証 体を合って	ーナとに声	※	車業を推准さ	:h +-1 \						
価					次評価を念頭に	こでりに事	133 " =	サ未で推進さ	・イレノこし、	•					

☆和		年	,	∃ [日 作成		担論	当課 学校	 教育係				
事	務事	業名	ΑL	T招致費				l					
	基本	本方向	04	学び合い	 、たくましい人を育て	る(教育・	· 文化	:) 施策	ミコード		33131105		
施	項	目	37	幼児教育	 、学校教育			法	的法	令	条例	O その	他
策の	財利			ALT招致	7費			根拠		算等を行う	 う外国青年招	 致事業	
体系								実	施 〇 直	営	委託	その	他
713									法				
事業概要					致し、町内の子供達・ となっている。	や一般町	民の国	国際的感覚の向_	上を図る。				
	(1) 対	対象(誰	を、何を	対象として	(いるのか)			(3)手段(どのよう	うな手法、手順	で行ってい	(るのか)		
	町	内保育	所·幼科	惟園,小学	校、中学校、一般町目	Ę		(1)福島小学	や校と福島中	学校に在	籍し、TT指	導をする。	
事								(2) 保育所・	幼稚園に出向	うき指導で	する。(月1回	I)	
業								(3) 吉岡小学	ዾ校に週2回と	出向き指	導する。		
の目	(2) 意	意図(対	象をどの	ような状態	にしたいのか)			(外国語)	舌動・総合学	習外)			
的					り、国際的感覚の向	上を図る。							
	(2)	英語力	か 同上	を図る。									
	(1) 🖽	丁関与の	根拠(町	「が行う必要	がある事業か) 計	2	点						
		①法令等	で実施が	ぶ義務付けら	れている事業。		1点	⑥産業振興及	び地域活性化の	ために重要	な事業		1点
			境の確保		活に直結した事業で、当然	の責務とし	1点	※内部管理·與	軍営等の事業。(/	点数対象外	.)		_
					維持・安定のために不可欠	な事業。	1点	 (説明)関与の根据		を具体的に			
	0				取り組みなど、戦略的な事業		1点	英語に対する				の英語力[向上
1					るが、サービスの確保が困難			が図られることか	ら、今後も必	要である			
必	0	が先導・			A C S TO S MEDIUM PLAN	E 67C-7(-1	1点						
要	(2) ネ			ニーズの茤		2	点						
性	0	①国の制 充が求め			境の変化によって、サービ	ス内容の拡	1点	※法令等で実 地はない。(点	施内容や手法等 数対象外)	が定められ	て、町の創意工	夫が入る余	_
		②対象者	f、利用者	が増加する	など、町民ニーズが高まって	こいる。	1点	(説明)妥当性に関	関し、内容を具	本的に記入	、します。		
				固定化を避っている。	けるため、種々の改善を行い	、事業の効	1点	・児童生徒への					
	0				。、実施の緊急性、 優 先性に	t高い。	1点	催などによる、 <i>会</i> ・小学生の英語					
			70,710,142	- 1 (=0) > €(八八世 小	×IHI ()	1 711	有効な活用策と			(1121100	,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,	-100
	(1) 万	丈果・協	働に対	する事業の	D有効性 計	3	点	T					
2	0	①施策を	達成する	うえで、当該	事業の貢献度は高い。		1点						
有	0	②事業の	継続によ	り、成果目標	票(事業の意図)の向上が期	待できる。	1点	・幼稚園児からり					.国
効 性	0	③類似し	た事業と	の統合や連	携を図る余地はない。		1点	・外国人と臆する					戏に
		④町民参	加と自治	お意識の向上	が図られている。		1点	有効である。					
	(1) 道	上 達成度の	測定			1	点	<u> </u>					
		区分			指標(算式)		単位	R4実績	R5実績		R6実績	R6当初計	一画
				指標①	指導学校等数		学校	_	_		_		
	活動			(算式)	学校数(幼、保含む)+	生涯学習	数等	5	5		5	6	
	※具f 容	体的な活動	助の内	指標②	指導時間数		n±.88	606	605		775	600	
3				(算式)	年間600時間		時間	636	605		775	600	
達				指標①	指導学校等数の達成率		%	83%	83%		83%	100%	
	成果	指標 れだけの原	も里 が耳	(算式)	実績/施設数等/活	動指標	/0	0.0/0	03/0		O 0 /0	100%	
又	れたが		*本が現	指標②	指導時間数の達成率		%	106%	101%		129%	100%	
				(算式)	実績/活動指	票	/0	100/0	101/0		140/0	100/0	
	0	①期待し	た通りの	成果があった	上。(達成度80%以上)		1点	(説明)成果・効果	果や達成度に関	し、内容を	具体的に記入	します。]
		②概ね期	 待した通	りの成果が	あった。(50%以上80%未満	<u> </u>	0点	・吉岡小学校が、		て授業に	こ参加するこ	とが増えた	こた
		③成果が	少なく今	後も向上する	5見込みがない。(50%未満	j)	-1点	め、大幅に増加	U/C0				

	(1) 특	事業費の推移			計	0	点							
	Σ	区 分	単位	R4決算額	R5決算額	R6決算客	Ą	R6事業費のF	力訳及71《全類	0	単位コスト		一般財源額	Ą
		事 業 費	千円	903	350		362	(金額の上位			達成度を下	げずに低	下させた	1点
	_	国・道費	千円					区分	金 額	0	変わりない・上昇に説明できる	早している理由	を明確かつ具体的	0点
4	財源	地方債	千円					負担金補助及び交	184		上昇してい	る		-1点
4	内							付金			傷害保険		にトス一曲	. 700
効	訳	その他	千円	0.00	252			報償費	120	説明		117 7 7 4日 155	ハーサット目	
果性	(0) =	一般財源	千円	903	350	0	362	(=V==)1 -	+1 "					
	(2) =	手法の効率化		-N 紅泫州な老庫1	計 レて事業費を削減で	3 シェスタ・地	点	(説明) 手法の ・年間の指導	効率化に関し、				• •	· 往.
	0	がないほどの水	く準にな	っている。			1点	・午间の指導 を主にした英					がり児里生	.1疋
	0	②現在の手法にの高い水準に対			益者に対するサービ	ぶ満足度	1点							
	0	③外部委託や 削減する余地/			象範囲を変えずに	事業費を	1点							
項目別点数による評価		項目別点数による評価結果	<u>.</u>	項目別点数 項 1 必到 2 有效 3 達用				低 0	必要 1 2 3	生十2	有効性 5 6 4 4 4 4 4 4 4 4 4 4 4 4 4 4 4 4 4 4	7 8~		
		I		※評価は、2	果を参考に、事業欠のA~Dにより		,τ,			的視点	から評価し	ます。		
	_	現状のままで事		-				事業を拡充	たして継続					
	В	T		善により継続										
		事業の簡素化、							の見直し(外部委	• /	による改善			
次		事業手法の見							等の推進による改		-1			
評価	_	事業内容の一						その他効果	果的·効率的手法	:(/)(検i	討による改善	•		
担	С			の見直しの検討 				为 免效用/	の見直し、受益者	- A +u	の日志に道	1 ナ.+ヘラ+		
当		17/2017		野な見直しを使的 実規模、計画等の					類似事業への総		7	八を快削		
課評				学来 現代 東京 東京 東京 東京 東京 東京 東京 東京 東京 東				その他	知以爭未 107%	L 🖂 *#	<u> </u>			
価	D	事業の抜本的			<u>''</u>			ての順						
		事業の扱本に 廃止	ルルロ	統合	縮小	`		凍結		新た	な事業への軸	层掛		
	※ I		能性や			· 廃止っ	T能		たば廃止検討可	1		は困難	その他	
	/•\ =	. ,,,,,,,	.,	,· -	方を具体的に記り		. ,,⊔	今後の改善策等					10010	
	説明				の来日はなかっ			•ALT2名体	制の継続と、 ・近隣町との	生涯連携	学習事業			
			П	A 現状にて事業	業を継続または拡	充 B	事業の	の進め方の改善	・検討が必要	С	事業規模、	内容の見	直しが必要	
_		庁内委員会	ļ	D 事業の抜本的	内見直しの検討	⇒	廃止	統合	縮小		凍結	新たな	よ事業への転換	
一次 評価		評 価		説 一次評価(明	の内容により事	事業推進(のこ	<u> </u>						
			\neg	A 現状にて事業	業を継続または拡	充 B	事業の	の進め方の改善	・検討が必要	С	事業規模、	内容の見	直しが必要	
最終評価		最終評価]	説	^{内見直しの検討} な評価を念頭に		廃止務∙⋾	事業を推進さ	縮小 れ <i>た</i> い		凍結	新たな	よ事業への転 担	 奥

令和	Π	 年	月	日 作成		担	当課	学校教育	係					
事	務事業名	児童	生徒輸送	費	•									
	基本方	句 04	学び合い	、たくましい人	人を育てる(教育	・文化	5)	施策コー	- F		3313110)6		
施策	項	∄ 37	幼児教育	、学校教育				法的	法	令	条 例	0	その	他
の	財務名	称	児童生徒	輸送費				根拠等	福島町児	見童生徒(の対外競技等参	加経費	補助要	綱
体系								実施	〇直	営	委 託		その	他
<i></i>								方法						
事	児童生	徒の通学	利用のほ	か、幼稚園・学	学校行事、各種大	会参	加等や生涯	学習事業	等で活	用されて	ている。			
業概														
要														
	(1)対象	(誰を、何る	を対象として	(いるのか)			(3)手段(ど	のような手	法、手順	で行って	(いるのか)			
	•各小中	学校、児	童生徒											
事											の下校につい)ス
業の											業務委託にや中学校部			大
目				[にしたいのか]			会参加等は	、主に、	学校用额	务員が追	軍行対応して	いる。	用務員	員
的				事等での児童	生徒の輸送。 Dクラブ活動や中	بين .					ス、山崎ハイ ハイヤーへ			
			が用りなり		クグノノ 百野で中	子	いる。(H26		11.00	A [,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,	
					おける利活用。	_								
	(1) 町関-	∮の根拠(℡	けが行う必要	がある事業か)	計 4	点	ı ı						Ī	
	①法	令等で実施	が義務付けら	れている事業。		1点	⑥産業振	興及び地域	或活性化♂	ために重	重要な事業			1点
		活環境の確か が行うべき事		活に直結した事業	巻で、当然の責務とし	1点	※内部管	理•運営等	の事業。(点数対象	9外)			_
	O ③社	会的·経済的	的弱者の生活	維持・安定のため	に不可欠な事業。	1点	(説明)関与(の根拠に関	し、内容	を具体的	りに記入します。	,		
	0 ④町	の特性や魅	力を生かした	取り組みなど、戦闘	路的な事業。	1点	・遠距離通常							
1				るが、サービスの硝	権保が困難なため、町	1点	・各小学校の 参加等の対				部活動にお	ける各	種大	会
必要	· ·	導・補完する	^{事業。} ニーズの変		計 2	点	≥ 20t 41.02 VI	<i>,</i> ,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,	(2).9	(0)00				
性			_		、サービス内容の拡	+	※法令等	で実施内容	タや手法等	が定めら	かれて、町の創意	工夫がフ	へる余	
		求められてい				1点	l	。(点数対象						
				など、町民ニーズ		1点						10177	ł <i>h</i>	
	()	業の便直化 顕著になって		げるため、種々のは	改善を行い、事業の効	1点	・子仪 机発行	子寺によっ	の児里生	での追	通学手段の確	1末(二)。	よ、火	/) 4
	〇 ④限	られた財源の	の中にあって	も、実施の緊急性、	優先性は高い。	1点	ことのできな	い事業で	である。					
							・小学校のク要。	ラブ活動	かや中学	校の部	『活動の大会	参加等	学に必	`
	(1)成果	・協働に対	する事業の	の有効性	計 3	点								
2	O ①施	策を達成する	るうえで、当該	亥事業の貢献度は	高い。	1点	(説明)有効	生に関し、	内容を具	体的に記	己入します。			
有	O ②事	業の継続に	より、成果目標	票(事業の意図)の	向上が期待できる。	1点	•通学利用、	小学校	クラブ活	動及び	中学校部活	動の大	会参	加
効 性	〇 ③類	似した事業と	の統合や連	携を図る余地はな	<i>ا</i> ر ان	1点	等で利活用	が図られ	ている。					
	④町	民参加と自治	台意識の向上	上が図られている。		1点	・小学校の交	流学習等	や各学校	行事に	利用されている)。		
	(1)達成原	度の測定			計 1	点								
	Σ	☑分		指標(算:	<u></u>	単位	R4実績		R5実績		R6実績	R6	当初計	画
			指標①	スクールバス児童	重生徒輸送人数		2,636人		1,976人		2,014人		2, 300人	
	活動指標 ※具体的な		(算式)		〒岡地区児童生徒のス 女(100%利用)210日×		2, 030 /		1, 910/		2,014)	2	2, 3007	
	容	いロヨリリンドリ	指標②		事・大会)の輸送人数	人	616人		386人		1,276人		900人	
3			(算式)	バス利用人数(年度 妙に異なる)	により行事・大会数は微		320/		-00/		-, -, -, \	4	/ •	
達	b == · · · ·		指標①	スクールバス児童		%	78%		78%		87%		100%	
成度	成果指標※どれだけ	の成果が現			/R6当初計画	1								
	れたか		指標②	登下校以外輸送		%	68%		42%		141%		100%	
	0 0 0	<i>(</i> 4)) :=:	(算式)		/R6当初計画		/=W==\ \ \ \ =	41 50 000						
				た。(達成度80%以		1点					序を具体的に記。 が図られており、学			
				あった。(50%以上		0点	運行体制を整えて ・部活動の拠点校	いる。			戸 フォッ くすりり、寸		.w / / /	,
	③成	果が少なく	徐も向上す.	る見込みがない。((50%未満)	-1点								

	(1) 事	事業費の推移	,		計	0	点									
	Σ	区 分	単位	R4決算額	R5決算額	R6決算	額	R63	業費の内	力記 ひび	全頦		単位コスト	0 -	-般財源額	Ą
ŀ		事業費	千円	4, 613	4, 452		4, 829		経額の上位				達成度を下げずる	こ低下さ	せた	1点
	~	国・道費	千円					区	分	金	額	0	変わりない・上昇している に説明できる	5理由を明確	かつ具体的	0点
4	財源	地方債	千円					委託料			3, 661		上昇している			-1点
4	内	その他	千円					需用費			833		児童生徒輸送り	こおける	単価の増	 曽
効 果	訳	一般財源	千円	4 612	4 459		4 990					説明				
性	(0) =			4, 613	4, 452		4, 829 	-	\ T \ T \ T	> ## ## ## ## ## ## ## ## ## ## ## ## ##	- 88 1	42.25	<i>+</i> 目 /+ // / - ₹1 3 . I	++		
ŀ		F法の効率化 ①業務等の目		- n 経済性を考慮	計 して事業費を削減	2 できろ全地	点	旧五					を具体的に記入し		(由田)	涯
	0	がないほどのオ	k準にな	っている。			1点		路を地方					/ \ <u>/</u> /~	灰用し、	建
		②現在の手法の高い水準に			益者に対するサー	ビス満足度	1点									
					対象範囲を変えずり	こ事業費を	1点									
		削減する余地に	は王ノは	. V '0												
項				項目別点数	数表				低			_	可効性	高		
目別	١,	項目別点数に	_	Į	点数 点数				0	1 2	3	4	5 6 7	8~	一高	
点		頃日が点数に よる評価結果		1 必	要性 6	\Box				-6			A		<u>5</u>	
数に		۸		2 有	効性 3	9 _		_						0	3 2 性 +	:
ょ		A		3 達	成度 1			√							1 効	
る 評					;	3			+	D			В		0 -1	:
価				4 30	果性 2										-2 低	
		担当課評価	-													
	ı	担目味評価	a l	₩ I =3 o #±	田 ナ 	#*+D 1/ =B 1		/16 1/- ///	L 0 88 /5	- M- + A U	1 601 A 44					
		ΙAΙ			果を参考に、事		L'C.	他施束	との関係	寺を召り	の総合的]倪点:	から評価します。			
				※評価は、	次のA~Dによ	ります。										
ŀ	^	田小にて声が	比 士 如	 続または拡充												
								-	F-44-2-44-	+1 - 00V 6	di:					
ŀ		現状のままで引						-	事業を拡え	允して継続	元					
	В			善により継続					:+ /= /+ /+ II	の日本に	(日如子	<i>⇒</i>	ファレブルギ			
_		事業の簡素化											による改善			
次評		事業手法の見							主民参加	, ,			いっトフルギ			
価	_	事業内容の一			1				との他効力	果的•纫举	於的手法	が使き	対による改善			
へ 担				の見直しの検討				T.	4. #4. /s/r IIII /	の日本)	双头虫	A 40 /	か日本) 満また枠	-3-1		
当		1770		前的な見直しを検討	•								の見直し・導入を検 	[計]		
課 評				事業規模、計画等(***					7 //((、類似争刻	美への前	で台・東	公換を検討 			
価				と サイン と	到				その他							
		事業の抜本的	N兄直		7.1.	.t.			±			+y >	公本 类 ~ ** **			
ļ		廃止	حاداط	統合		小			東結	> 10-t- 1	₩-1:		な事業への転換		マヘバ	
ļ	※ •			P廃止することに		廃止			条件が整		540.4		廃止は困難	Ė	その他	
					え方を具体的に証 運行について				改善策等				す。 数の推移を把打	据1 章	十画的ナ	・齢
	説	間企業へ委	託す	ることにより、資	重転手の確保。	という点だ			行う必要			L NE	%人v27世7ダで 1日1	圧し、百	「同れかか	4491
	1,50				まにも繋がって		1.7						は、西部四町で	で連携	をとりなか	ぶら
	明				る児童生徒の に実施してい		v , (円/育	な運行を	とりつ火	ひ安かる	める。				
					<u></u>	-										
\dashv				A 現状にて事	業を継続または	拡充 B	事業の	の進め	ちの改善	検討が	必要	С	事業規模、内容の	の見直し	が必要	
		庁内委員会	ŀ	D 事業の抜本	 的見直しの検討	⇒	廃止		統合	á	縮小		凍結 新	たな事	業への転換	 奂
二 次		評価	ŀ				1						1 1			
評		Α	1	説 4-5-7-		— ale 12 · · ·										
価		A		明 一次評価	の内容により	事業推進	のこ	と。								
	L		ן ע													
				A 現状にて事	業を継続または	広充 B	事業	の進め	ちの改善	検討が	必要	С	事業規模、内容	の見直し	が必要	
最		最終評価		D 事業の抜本	的見直しの検討	⇒	廃止		統合	ń	縮小		凍結新	たな事	業への転換	<u></u> 奂
終		おと小さり上間	, [===												
評価		Δ		説 一次・二》	欠評価を念頭に	こさらに事	■務•□	事業を	推進さ	れたい						
·~		_ / \	<u> </u>	明		- · •										
!																

上		年	<u> </u>	3 1	日 作成			坦士	当課		区					\neg
	務事		•	了 <u> </u>				1E =	1 px	于仅仅有	ITK					_
						+ 7	7 (*4- 🛧	÷ //-	. 1	施策コー	18		221	31108		
施	項	本方向			、たくましい人 、学校教育	、で用しる	3 (叙目)	· X1L	.)		· г	法令	т т.		その作	(th
策の		目 第名称	37	郊児教育 奨学資金						法 的 根拠等	2 #	本 〒 業で条例		ניפר	\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\	쁘
体	只才	91年 11年 11年 11年 11年 11年 11年 11年 11年 11年		哭子貝立	貝別賃						_			÷r	そのイ	(th
系										実 施 方 法	0	直営	委	証	ての1	민
ion -t-	477	\-\-\-\-\-\-\-\-\-\-\-\-\-\-\-\-\-\-\-	1.1-1.1	·	. 1 224 12 1 2	+ <i>(+</i>)/_ -	+) - +b 324 :	· » ++	*			المساد العطا	-1. 3\4. \/ 	2 (P)	/1.13 -	. III
概事 要業		済町埋1 材を育			大学、短大、『	界修字 校	に就字	沙凼果	雑な字生に	对し、字質	·(/)—	部として	沈字貸金	を貸し	付けし、有	用
				⁾ 対象として	(いるのか)				(3) 手段 (どのような手	·	三順で行っ:	ているのか)		-
		学資金			. 0 - 0 0 7 13 - 7					金貸付事業					· · · · · · · · · · · · · ·	と仮[
					La NII				を改正し、	貸付け限	度額、	一時金貨	貸付を創ま	殳し、2	26年度から	<u>`</u>
事	(2)/J	笠原美	奨字質	金貸付事	事業					いては貸付 万円 短大						
業の	③花	田俊勝	奨学金	貸付事業	É				円)	刀门 短人	、守门	多子仪.7		可守、	同仪,30人	,
目					(にしたいのか)					らの通学者						
的	HP 4日	ずれの質	金貨	付事業に	ついても、学生 1、保護者負担	が安心の辞学	して学業	にない		実奨学資タ 医療分野の						
		活用され			-、休喪日 只担	♥ノ那(一子)	(世の)	口りこ	③花田俊	勝奨学金貨	 	¥ …	月額30	,000	円	
										短大、専修 生を対象	学校	専門課程	₹(3年以上	ニ) にフ	、学又は在	:学
	/1\ =	一門ヒの	+H +hn / m-	-1847 = 20 FF	 がある事業か)	計	1	点	C (1.2)	一生で刈水						-
						ĒΙ	ı		@ * * #	· Les Geb T7 ~ W U.C. L	ANT UL	11. m + 12.1=1	手 三 人 本 學			1 F
	0				れている事業。	V/ Alb or	\事761.1	1点	6) 座業	振興及び地域	或活性/	12のために	里安な争業			1点
		②生活境で町が行			活に直結した事業	で、当然の)頁務とし	1点	※内部	8管理•運営等	の事業	。(点数対象	象外)			-
		③社会的	•経済的	弱者の生活	維持・安定のために	こ不可欠な	事業。	1点	(説明)関-	与の根拠に関	し、巾	容を具体	的に記入し	ます。		
		④町の特	性や魅力	を生かした	取り組みなど、戦略	子的な事業	n	1点		里由により、						
1		⑤民間等	による実	施が望まれ	るが、サービスの確	保が困難な	なため、町	1占	し付け、妄 的な負担	いして学						一時
必		が先導・衤							11/4 台记	<u> 年刊</u>	اسدار	-0 2,44		,于未	(W) J ₀	_
要性	(2)社			ニーズの変		計	3	点	I best A	##	1			A.I. other		
1	0	①国の制 充が求め			境の変化によって	、サービス	内谷の拡	1点		*等で実施内? い。(点数対象		去等か定め	られて、町の	別意工.	天か人る余	-
		②対象者	、利用者	が増加する	など、町民ニーズカ	ぶ高まってい	いる。	1点	(説明) 妥:	当性に関し、	内容を	具体的に	記入します	0		
	0	③事業の	硬直化・	固定化を避	けるため、種々の改	女善を行い、	、事業の効	1点		堂金条例						
	0	果が顕著			し、実施の緊急性、		直い	1点		設けて、本	人や1	呆護者が	利用しや	すい俳	削度とした。	
			C#11///	1 (00) 5 (1	0、天地少汞心压、	及/山口(本)	H14 0	1 AM								
	(1) 項	は果・協	働に対	する事業の	り有効性	計	3	点	1							
2	0	①施策を	達成する	うえで、当該	変事業の貢献度は高 でする。	事い。		1点		効性に関し、				-		
有	0	②事業の	継続によ	り、成果目標	票(事業の意図)の	向上が期待 ———	宇できる。	1点		空資金貸付 る。経済的						
効 性	0	③類似し	た事業と	の統合や連	携を図る余地はない	, ' ₀		1点	無利子の							
		④町民参	加と自治	意識の向上	:が図られている。			1点	る。							
	(1) 這	産成度の	測定			計	1	点	ļ							
		区分			指標(算式	t)		単位	R4実約	責	R5実	績	R6実績	i	R6当初計	画
				指標①	就学資金貸付対	象人数		,	4 1 /4		/ ·	- 1	0.1.70	r	0.1./0.1	
	活動			(算式)	(福中3年+福高	8年)の15%	, o	人	4人/4	^	7人/		6人/6/	^	3人/3人	`
	※具(容	本的な活動	ルの内	指標②	一時金貸付人数	(H26年度/	31B)	1	0.1		7 1		1.1		0.1	
3				(算式)				人	3人		7人		4人		3人	
達				指標①	就学資金貸付実行	行率		0/	100%		100	0/	000%		1000/	
成	成果		÷⊞⊥⊱∓₽	(算式)	実数/活動指標			- %	100%)	100	70	200%		100%	
度	※とれ れたが	れだけの成 か	(未か現	指標②	一時金貸付金額	(H26年度)	から)	千円	2, 400		5, 80)0	2, 100			
				(算式)				1 17	2, 400	,	υ, δί	,,,	۷, 100			
	0	①期待し	た通りの	成果があった	上。(達成度80%以	上)		1点	(説明) 成	果・効果や達	成度に	関し、内容	容を具体的	に記入	<u></u> します。	
		②概ね期	待した通	りの成果が	あった。(50%以上	80%未満)		0点	・申請者に	は6人で全員	貸し	付け決定	ごとなって	いる。		
		③成果が	少なく今	後も向上する	 る見込みがない。(50%未満)		-1点								

	(1) 事	事業費の推移			計	1	点									
	Σ	Ӡ 分	単位	R4決算額	R5決算額	R6決算	額	R6事	業費の内	内訳及び	金額		単位コスト	0	一般財源	額
		事 業 費	千円	9, 420	10, 062		7, 428	(金	額の上位	立2費用	他)	0	達成度を下げ	ずに低下	「させた	1点
	財	国・道費	千円					区	分	金	額		変わりない・上昇し ⁻ に説明できる	ている理由を	明確かつ具体的	0点
4	源	地方債	千円					奨学資	金貸付金	È	5, 118		上昇している			-1点
効	内 訳	その他	千円					福島町/ 学金貸付	卜笠原実奨 寸金	!	1, 440	= 24 00	概ね、横ば	いで推	移している。	0
果)	一般財源	千円	9, 420	10, 062		7, 428					説明				
性	(2) 引	手法の効率化			計	3	点	(説明)手法の)効率化(に関し、	内容	を具体的に記	入します	•	
	0	①業務等の見 がないほどの力			して事業費を削減	できる余地	1点		:は将来	受賞還が	ぶあるこ	ことか	ら、一般財活	原の支	消には当	たら
	0	②現在の手法	は効率	的な事務執行と受	益者に対するサー	ビス満足度	1点	ない。								
	_	の高い水準に			対象範囲を変えずい	こ事業費を										
	0	削減する余地に	は全くた	ない。			1点									
				1五日 叫 上	** =				/155		心面心	v+ ı z	ᆕᄼᆉᆘ	ᇂ		
項目				項目別点	<u>釵衣</u> 頁目 点数	1			低 0	1 2		<u> </u>	9効性 5 6	月 7 8~	高	:
別		項目別点数に												0	達 5	
点数	(よる評価結果	<u> </u>	1 必	要性 4	,				-6-			A		4 成	
によ		Α		2 有	効性 3			\rightarrow							3 + 効	
る				3 達	成度 1			V		D			В		十二 果	:
評価				4 効	果性 4										-1 性	
1												<u> </u>			低	,
		担当課評価														
		Δ.		※上記の結	果を参考に、事業	業担当課と	して、	他施策	との関係	等を含む	め総合的	視点	から評価しま ^っ	す。		
		A		※評価は、	次のA~Dにより	ります。										
	L		1													
	Α	現状にて事業	業を継	続または拡充の	支映											
	0	現状のままで事	事業を終	 迷続				=	事業を拡充	たして継糸	壳					
	В	事業の進めた	ちの改	善により継続												
		事業の簡素化	、効率の	化による改善				幸	執行体制の	の見直し	(外部委	託等)	による改善			
次		事業手法の見	直しに。	よる改善				ſ	主民参加等	等の推進	による改	善				
評価		事業内容の一	/ = /					Ä	その他効果	果的・効≥	率的手 法	の検討	付による改善			
担	С			の見直しの検討												
当				面的な見直しを検言	*								り見直し・導入	を検討		
課評			-	事業規模、計画等(7					類似争	美へのお	で合・転	:換を検討			
価	_	事業の抜本的		業費平準化等を検	引			1	その他							
	U	事業の扱本ロ	リた坦	統合	縮	ıls.		l ly	東結			蛇たが	な事業への転換	řů		
	₩ I		能性な				:可能	ļ	***ロ	えば廃止	検討可能	I	廃止は		その他	
	/•\ =				え方を具体的に記				改善策等		54	_		7/1/4	C 47 1E	
					、貸付事務を行								・。 公要である。			
	説															
	明															
					and a second						—	1				
					業を継続または <u> </u> 		1	の進めた	ちの改善			С	事業規模、内	1		
=		庁内委員会 評 価		□ 事業の抜本	的見直しの検討	→	廃止		統合	;	縮小		凍結	新たな	事業への転	換
次評	Ī	HT M	1	説												
価		Α		一次評価	の内容により	事業推進	≛のこ	೬。								
		_		明												
				 A 現状にて事	業を継続または抗	広充 □ B	事業	の進めて	ちの改善	検討が	必要	С	事業規模、内	容の見す	直しが必要	
最		里纳亚压			的見直しの検討		廃止		統合		縮小	<u> </u>	凍結	1	事業への転	
終		最終評価	.	=#			1		1	1 1			<u> </u>	1		
評価		Δ			次評価を念頭(こさらに	事務∙∶	事業を	推進さ	れたい						
		, ,		明												
$oxed{\Box}$																

令和	Π	年		∃ [日 作成		担:	当課	学校	教育係					
事	務事	業名	教育	———— 用コンピ <i>=</i>	ュータ整備事業	<u> </u>									
	基之	本方向	04	学び合い	、たくましい人	 .を育てる(教育	・文化		施策	コード	1				
施	項	<u></u> 目	37		、学校教育				法	<u>ф</u> О	法令	条	例	その	他
策の	財法	—— <u>—</u> 務名称			<u>・・・・・・・・・</u> ンピュータ整備				根拠	h)		 情報化の推進	生に関・	 する法律	
体	~	2 4 13		22/17/13	-	777			実	施	直営	0 委		その	佃
系										法 —		1 0 12	,,		
事	GI	GAスク	ール構	想により、	児童生徒に1/	人1台の端末や	デジタ	ル教材な	よどを活月	ー したICT	`教育が持	生進され、 名	各学校	における	教
業	員の	ICTを	舌用した	授業が行	うわれている。小	小学校及び中学	校でに	まプログ	ラミング学	習が必修	化された				
概要	業の	補助や	、児童:	生徒に対	しても専門的な	知識を持ったIC	T支护	受員によ	る指導等	が行われ	ている。				
Ê	(1) 🕏	付免 (誰	た 何た	·対象として	こいろのか)			(3) 壬 邸	(ドのト	うか手法	チ順で行っ	ているのか)	١		
			及び教		((((((((((((((((((((重生徒への		ット等の繋	\$借
۱_	, ,		X 0 1/13					各学校	なへのIC′	T推進員	の派遣(デジタル教			
事業								た授業	の補助及	び推進等	等)				
の	(2) =	圣团 (#	色たじの	トンナッド能	にしたいのか)										
目的					-	び教員がICT機	哭を								
			庭学習				ann c								
	(1) F	け関与の	1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1	が行る必要	 がある事業か)	計 3	点								
						н О	-		大米村田工	7 V 444 dt. V	1100241	チェンキャ			1 =
	0	0 11 1		******	れている事業。	マ 単分主要し	1点	O 6	E 美饭與及	〇地域活性	:1E07/E07(重要な事業			1点
			R児の唯写 うべき事		.佰に且結しに事業	で、当然の責務とし	1点	% F	内部管理•道	運営等の事	業。(点数対	象外)			-
		③社会的	的·経済的	弱者の生活	維持・安定のために	こ不可欠な事業。	1点	(説明)	関与の根拠	心に関し、	内容を具体	めに記入し	ます。		
	0	④町の集	5性や魅力	力を生かした	 取り組みなど、戦略		1点			ール構想	に基づい	ているため	, ICT	機器の整	備
1						保が困難なため、町		を行って	ている。						
必		が先導・	補完する	事業。			1点								
要	(2) ネ			ニーズの変		計 2	点								
性	0		別度の見正 うられてい		境の変化によって	、サービス内容の拡	1点		去令等で実 はない。(点		法等が定め	られて、町の	創意工	夫が入る余	-
		②対象者	4、利用者	が増加する	など、町民ニーズが	「高まっている。	1点	<u> </u>			を具体的に	記入します。	0		
					けるため、種々の改	(善を行い、事業の努	力 1点	小学校	及び中学	校ではご	プログラミ	ング学習が	必修と	なってお	り、
	_	_		きている。			- 7	教員だ	けでなく耳	専門的な	知識を持	った人材が	必要	となってい	る。
	0	(4)限られ	た財源の	甲にあって	ら、実施の緊急性、	優先性は高い。	1点								
	(1) <u>F</u>	成果・協	働に対	する事業の	D有効性	計 1	点								
2		①施策を	達成する	うえで、当該	(事業の貢献度は高	影い。	1点	(説明)	有効性に関	 引し、内容	を具体的に	記入します。	•		
 有	0	②事業()継続に1	・り 成果目標	票(事業の意図)の[カトが期待できる	1点	ICT支	援員の配	置により、	教員及	び児童生徒	も を を で に に	T機器活戶	刊に
効					携を図る余地はない		1点		熟度が高	まってい	る。				
性						0									
				意識の同上	:が図られている。		1点								
	(1) j	達成度の			lla lee debe l	計 1	点								_
		区分		15.17	指標(算式		単位	K4	実績	R5ョ	美積	R6実績	į	R6当初計	画
	江玉	+6.4m		指標①	各小学校へのICT		一回	7.	1回	46	□	68回		84回	
	活動※具	扫信 体的な活	動の内	(算式)		美等を除き毎週1回×2校)								
١,	容			指標②	中学校へのICT支			38	8回	34	回	42回		42回	
3				(算式)		木業等を除き毎週1回)								
達成	成果	指揮		指標①	各小学校へのICT		- %	8	4%	55	%	81%		100%	
	※どオ	れだけのタ	成果が現	(算式)		票/成果指標									
	れた	ρ ν		指標②	中学校へのICT支		%	g	0%	81	%	100%		100%	
	_	O.Hr.). \~··	(算式)		票/成果指標		/5V == :		B 16 5-4 5			== -		
	0	山期待し	た通りの	成果があった	上。(達成度80%以.	上)	1点	10m++40				容を具体的			9-11-
		②概ね其	併した通	的の成果がる	あった。(50%以上8	80%未満)	0点		負は毎週 への指導や			訪問し、授業 る。	の補助	J及い教員 ³	ヤ児
		③成果カ	シンなく今	後も向上する	る見込みがない。(5	50%未満)	-1点				-	-			

	(1) 3	事業費の推移	;		計	Г	1	点								
	-	区 分	単位	R4決算額			R6決算	額	DC#	**	han 자 18 슈 호	0	単位コス	F	一般財	源額
		事業費	千円	12, 102	6, 50	6		5, 914			内訳及び金額 立2費用他)	0	達成度を	トげずに(氐下させた	1点
		国・道費	千円	661	78'	7		966	区		金額	Ť	変わりない・上説明できる	昇している理E	由を明確かつ具体	
4	財源	地方債	千円						委託料		4, 77	1	上昇してい	いろ		-1点
	内訳	その他	千円							及び賃借		-	1.77 CV			1 ////
効果	一			10 100	F 71			4 040	料		99.	説明	1			
性	(2) :	一般財源	千円	12, 102	5, 71	+		4, 948 	/ = # 00) エ:ナの) 		2 + B + 60 t			
	(Z) -	手法の効率化 ①業務等の見		り、経済性を考慮	計して事業費を削り		1きる余地	点)効率化に関し る授業のみで					ラミング
		がないほどのフ	水準にな					1点			教室を並行し			7/((240	. ().)	, , ,
	0	の高い水準に	なってい	る。				1点								
		③外部委託や 削減する余地		法の工夫により、st い。	†象範囲を変えず	で事	業費を	1点								
		•						•								
項				項目別点数		. 1	Ī			低 0	<u>必要</u> 1 2 3	性十 ²	有効性 5 6	7 8	<u>高</u>	高
目別		項目別点数に	_	Į.	[目 点数	Į.						Ė				達
点数		よる評価結果		1 必	要性 5	6					+		A		5	成 度
に		Α		2 有:	効性 1	١						-	0		3	+
よる]	3 達	成度 1		_						В		1	効 果
評価				4 効	果性 2	3									-1	性
ІШ				. 200		ļ									-2	低
		担当課評価		※上記の結	果を参考に、事	業担	当課と	して、	他施策	との関係	等を含め総合的	的視点	から評価し	<i>,</i> ます。		
				※評価は、	次のA~Dによ	りま	₹す。									
	Α	1		続または拡充												
	0	現状のままで							=	事業を拡え	たして継続					
	В	1		善により継続					1	h 仁 什也	の日本1 /月初月	こうく かた)	リェトフルギ			
-		事業の簡素化事業手法の見									の見直し(外部す 等の推進によるご		ルトキの以音			
次評		事業内容の一	-								果的•効率的手治		計による改善			
価	С			の見直しの検討						- ,,,			.,,			
担		制度·事業内容	学の全面	i的な見直しを検討	t				Ż	対象範囲の	の見直し、受益を	皆負担	の見直し・導	入を検討	<u> </u>	
当課		必要性等を再	検証し事	¥規模、計画等@	の見直しを検討				fl	也の事業、	類似事業への	統合・輔	伝換を検討			
評価		計画期間の延	伸、事業	美費平準化等を検	討				Ä	その他						
픨)	D	事業の抜本的	的見直	- "							T	1.				
				統合							> 1 " Hz . 1 . 1 . 1 1 1 1					
	**			・廃止することに (集) の中容や者:			廃止				えば廃止検討可			:は困難	その	他
				価)の内容や考え TCT支援員と							まを具体的に記述			十画的な	入巷祭た	·行う
	説	な授業の補	助や、	助言を行って	いる。				・教員	向けの	ICT活用研	修等?	を開催する	5。		
	明	・学校教育	だけで	なく、社会教育	育と並行した!	事業	展開を	竹つ			ホームペー: 等の助言を行		可効活用"	するため	に、各教	負に対
	-91	ψ, Ψ ₀							ر کری	123 124 .	, , , , , , , , , , , , , , , , , , , ,	70				
		<u> </u>		A 現状にて事	業を継続または	拡充	В	事業の	の進めフ	の改善	・検討が必要	С	事業規模	、内容の	見直しが必	 要
_		<u></u>	-	D 事業の抜本	的見直しの検討		>	廃止		統合	縮小		凍結	新た	:な事業への	転換
次		評 価	.													
価		Α		説 一次評価 明	の内容により	事	業推進	თこと	- 0							
			\dashv	A 現状にて事	業を継続または	拡充	Е В	事業(の進めフ	うの改善	・検討が必要	С	事業規模	、内容の	見直しが必	要
最		最終評価	<u> </u>	D 事業の抜本	的見直しの検討		>	廃止		統合	縮小		凍結	新た	:な事業への	(転換
終評価		A		説 一次・二次 明	欠評価を念頭	にさ	らに事	務∙⋾	事業を	推進され	h <i>t</i> =い					

令和	1	年		∃ E	日 作成			担	当課	学校教育	育係					
事	務事	業名	教員	住宅管理費	ŧ											
	基	本方向	04	学び合い、	、たくましい人	を育てる	(教育・)	文化	5)	施策コー	ード		3313	31110		
施策	項	目	37	幼児教育、	、学校教育					法的	0	法 令	条	例	その	他
の	財	務名称		教員住宅	整備事業費					根拠等	へき	地教育振	興法		I	
体 系										実施	0	直営	委	託	その	他
										方 法					I	
事	教	[員が町	内で教	育指導を流	隹める上におレ	いて、生活の	の拠点と	なる	住宅環境	を整備・管	理する	5 。				
業概																
要																
	(1);	対象(誰	を、何を	対象として	いるのか)				(3)手段(どのような	手法、引	手順で行っ	ているのか)			
	福	島町立	小中学	校に勤務	する教職員等だ	が入居する	教員住	包					主宅の充足			
事													善計画につ 逐次、実施			一総
業の										Æ - C ()	DYBIE		X2000 00m		. 20	
目目	(2)	意図(対	象をどの	ような状態	にしたいのか)											
的	適	切な維持	特管理	を進め、快	や適な居住空間	を確保する	る。									
						_										
	(1)	町関与の	根拠(町	が行う必要を	がある事業か)	計	2	点								
	0	①法令等	等で実施だ	ぶ義務付けら	れている事業。			1点	⑥産業	美振興及び地	地域活性	化のために	重要な事業			1点
	0		環境の確保		活に直結した事業	で、当然の責	務とし	1点	※内部	『管理・運営	等の事業	き。(点数対	象外)			-
					維持・安定のために	こ不可欠な事	業。	1点	(説明)関・	 与の根拠に	 関し、p	内容を具体	的に記入しる	 ます。		
		+						1点					、教職員に		る住宅の	建
1					取り組みなど、戦略 るが、サービスの確		e vit. More		設をはじぬ	りとした、礼			必要な措			
必			補完する		J//・/ リ L ハッ/唯	休川・四乗/よバ	_ (Ø) (M)	1点	められてい	る。						
要	(2)	社会情勢	や町民	ニーズの変	变化等	計	1	点								
性			リ度の見正 られてい		境の変化によって	、サービス内	容の拡	1点		う等で実施内 い。(点数対		法等が定め	られて、町のク	創意工	夫が入る余	_
					など、町民ニーズカ	ぶ高まっている	5.	1点	l '			と具体的に	 記入します。			
					けるため、種々の改	女善を行い、事	事業の効	1点	・教職員に	こ対する健	全な生	上活環境	の保持のた	<u>-</u> め、	数員住宅を	と維
	_	1	-	きている。					持管理して	ていくことに	は必要	である。				
	0	(4)限られ	た財源の	中にあっても	。、実施の緊急性、	優先性は高い	,,	1点								
	(1),	成果・協	働に対	する事業σ	O有効性	計	2	点								
2	0	①施策を	達成する	うえで、当該	(事業の貢献度は高	高い。		1点	(説明)有:	効性に関し	、内容を	上具体的に	記入します。			
有	0	②事業の	継続によ	り、成果目標	票(事業の意図)の	向上が期待で	ごきる。	1点			-		を進めてレ			点
効性		③類似し	た事業と	の統合や連打	携を図る余地はない	/\` _o		1点	である住宅	E環境の約	推持・整	整備は有効	効な事業で	である。		
		④町民参		意識の向上	 が図られている。			1点								
	(1)	」 達成度の	測定			計	1	点								
		区分			指標(算式	. (t)	-	単位	R4実糸	責	R5実	績	R6実績		R6当初計	·画
				指標①	教員住宅入居戸	 数										
		指標		(算式)	入居戸数/	/全戸数=100°		戸	25戸/31	1戸	20戸/2	27戸	23戸/27月		27戸/27	F
	※具 容	体的な活	動の内	指標②												
3				(算式)												
達				指標①	入居率			0/	012		E	,	0.5%		1000/	
成		指標	÷⊞ <u>↓</u> ⋛₹₽	(算式)	入居戸数/全	È戸数/活動:		%	81%		749	0	85%		100%	
度	※と れた	れだけの! か	以来が切	指標②												
				(算式)												
	0	①期待し	た通りの	成果があった	_。(達成度80%以	上)		1点	(説明)成:	果・効果や	達成度に	関し、内	容を具体的に	記入	 」ます。	
		②概ね其	月待した 通	的の成果があ	あった。(50%以上	80%未満)		0点					・儀なくされています。			-
		③成果が	ぶ少なく今	後も向上する		50%未満)	-	1点	・守和5年度め、4戸減と		双貝仕 3	□と生職≯	て化財貯蔵属	凡こし (.16用りる/	_

	(1) 🛚	事業費の推移				計		0	点													
	[⊠ 分	単位	R4決算額	頁 R	決算額		R6決算額	顏	R6	事業費の	内訳	及び金額			単位:	コスト		0	一般則	源額	
		事 業 費	千円	4,	, 417	2, 27	8	2	2, 400	(5	金額の上	位 2 費	貴用他)			達成月	度を下げ	ずずに	低下	させた		1点
	対	国・道費	千円							区	分	3	金額			変わりな説明でき		ている理	E由を明	確かつ具体	本的に	0点
4	源	地方債	千円							需用費	ť		1, 83	2		上昇し	ている)			-	1点
杰	内訳	その他	千円	4,	, 417	2, 27	8	2	2, 400	委託米	ł		52									
効果	-	一般財源	千円		0		0		0					1	说明							
性	(2)	 手法の効率化				計	T	2	点	(説り	引) 手法(の効率	化に関し	, I	内容:	を具体	的に言	己入し	ます。	>		
	0	①業務等の見			と考慮して事	「業費を削	咸でき	る余地	1点	•総台	計画及	支び旅		命	化氰	計画に	こ基へ	づき進	めて	いる。		
		がないほどのオ ②現在の手法			うと受益者に	ご対するサ	ービス	満足度	1 =													
	0	の高い水準に			L10 41 42 66	m	2) - dr	本事を	1点													
		③外部委託や 削減する余地/			より、対家軸	囲を変えす	に事	美賀を	1点													
項				項目別	別点数表						<u>低</u>	1	<u>必要</u> 2 3	性	<u>十</u> 春	<u> </u>	6	7	<u>高</u> 8~	Ī	高	
目別		項目別点数に	-		項目	点数	女				0		2 3	t	4	J	0	,	0~		同 達	
点		よる評価結果 よる評価結果		1	必要性	3						-	>	-			A			5 4	成	
数に			1	2	有効性	2	5	_		_						0				3	度 十	
ょ		A								\nearrow				+						2	効	
る評			ı	3	達成度	1	3					D)	1			В			0	果 性	
価				4	効果性	2								+						-1 -2	低	
							-				, 											
		担当課評価																				
		lacksquare		※上記	己の結果を	参考に、事	業担	当課とし	て、	他施策	との関係	系等を	含め総合	的礼	見点力	から評	価しま	きす。				
		A		※評価	≣は、次の.	A∼DIこよ	りま	す。														
		<u> </u>	Ŋ																			
	Α	現状にて事業	美を組	と続または扱	広充																	
	0	現状のままで乳	事業を終	継続							事業を拡	:充して	継続									
	В	事業の進めフ	ちのさ	産ー より組	 迷続																	_
		事業の簡素化	、効率	化による改善							執行体制	の見画	直し(外部	委託	〔等〕〔	によるこ	改善					
一次		事業手法の見	直しに	よる改善							住民参加	等の	生進による	改割								
評		事業内容の一	部見直	しによる改善	<u> </u>						その他効	果的・	効率的手	法の)検診	けによる	6改善					
価	С	事業規模・阝	内容等		 D検討																	_
担		制度·事業内容									対象範囲	の見画	直し、受益	者負	負担の)見直1	し・導入	を検討	討			
当課		必要性等を再	検証し	事業規模、計	·画等の見直	 〔しを検討					他の事業	. 類似	 ↓事業への	統合	今∙転	換を検)					
評		計画期間の延	伸、事	 業費平準化等							その他											
価	D	」 事業の抜本的	勺見直	[しを検討																		_
		廃止		統合		á	宿小				凍結			亲	折たな	事業・	への転	換				
	*	- 事業廃止の可	能性な	や廃止するこ	ことによる氰	≶響 🗅	.	廃止。	 可能		条件が整	えば屋	 経止検討可	「能			廃止に	は困難		その)他	
		一次評価(担											体的に記	_	しまっ					-		\dashv
		•総合計画								·教員	住宅0	り現り	犬を的確	に	把握	遣し、 着	総合言	計画	<u>への</u>	登載等	笋、施	没
	説												基に事業					L 11	الد ما	4- /1 . ht	T 10 12 1	<u>.</u>
	明												芒が3年 利活用						、小花	尤1七寺	*071土	七
										,,,,,						,		- 0				
				A 現状に	こて事業を	継続または	拡充	В	事業	の進め	方の改善	・検	討が必要		С	事業規	見模、	内容0)見直	しが必	要	
_		庁内委員会		D 事業の)抜本的見ī	直しの検討	† ⇒		廃止		統合		縮小			凍結		新	たな事	■業へ0	D転換	
次		評 価																				
評価		Λ		説	気体のよ		古 쏴	¥ اللائك	n – ı	L												
11111		A		一次; 明	評価の内	合により	争系	∈推進(ハーと	-0												
			4																			
				A 現状に	て事業を	継続または	拡充	В	事業の	の進め	方の改善	・検討	討が必要		С	事業規	規模、	内容の)見直	しが必	要	
最		最終評価		D 事業の)抜本的見ī	直しの検討	† ⇒	•	廃止		統合		縮小			凍結		新	たな事	業への	D転換	
終評			1	説																		
一個		A		一次	·二次評	西を念頭	にさ	らに事	務・■	事業を	推進さ	れた	い									
			1	明																		
$\overline{}$																						

令和	П	年		∄	日 作成	担	当課	学校	教育係				
事	務事	業名	小学	校管理費									
	基本	本方向	04	学び合い	、たくましい人を育てる(教育・文	化)	施策	ニード		331	31112	
施策	項	目	37	幼児教育	、学校教育			法	的〇	法 令	条	例	その他
の	財利			小学校管	理費			根拠	trir				
体系								実	施〇	直営	委	託	その他
									法	_ I			
#					ける適正な管理運営を行うたる								
事業					施設等について、必要に応じ :ICT教育に必要なインターネ						の維持整備	を図る	0
概要					・1C1教育に必要なイングーイ 反接員を配置し、要介助児童の				(7)床 17 目	生で行う。			
女					交冷房設備設置に係る電気設								
	(1)女	寸象 (誰	を、何を	対象として	(いるのか)						ているのか)		
					営繕事業費 費 ④特別支援員配置事業								応じて修繕、改 校教育環境を
<u> </u>			アフェーク 没置事業		賃 银符別又按貝配但事果		維持整備		- CV/UIE	1 10146	~ X _ C / C	四,4,1	NAN HARRIE
事業	(2) 意	意図 (対	象をどの	ような状態	にしたいのか)		- ①学校管	理費 ••	 各児童 	が教育を	受ける環境刺	整備及	び管理運営
の目					教育を受ける環境を整備。	31		·+÷ A 246	4 - 1	++ ^	維持管理、	hr v± kk	19,048千円
的					教育施設の充実を図るため 整備を実施。		, , , , ,						2,593千円 R守手数料及び
					費・・・ICT教育に必要なインタ 整備等を実施。	ターネット	④特別支	接昌和 5			レタリング等係 員の配置	も用料	504千円 2,013千円
	4特5冷	別支援! 房設備!	員配置事 投置事業	∓業:特別支 ≹・・・小学校	え援員を配置。 交冷房設備設置に係る電気設	備改修工			ap Ac 指設置事業				18,480千円
	事												
						4 点		- AUG L- (12) T-	- 10 late 14 hr 14	. //	- 		
	0				れている事業。	1,					重要な事業		1点
	0		表現の雑り うべき事		活に直結した事業で、当然の責務	^{务とし} 1点				業。(点数対 ノ、内容 を	」家クトノ と具体的に言	己人し	<u> -</u> ます。
	0	③社会的	的·経済的	弱者の生活	維持・安定のために不可欠な事業	意。 1点					費負担)に	.基づ	き、学校設
	0	④町の特		力を生かした	取り組みなど、戦略的な事業。	1,4		ン(袵負	で負担を	9 So			
1					るが、サービスの確保が困難なたぬ	め、町 1点	_ i						
必	(2)ネ		補完する	^{事業。} ニーズの₹	変化等 計	3 点							
要 性	0	①国の制	度の見画	重しや社会環	環境の変化によって、サービス内容		- ※法			法等が定め	られて、町の	創意工	夫が入る余 _
			られてい		よい mrロ - デルテナ		地(J	ない。(点		5 m + 8 f	+ <i>461</i> =7-3-1	++	
	0			** *	など、町民ニーズが高まっている。 けるため、種々の改善を行い、事業						本的に記入し		。 <u>と</u> 備を行うこ
				きている。	けるため、怪べい以音を目で、ずる	1.	」とが必要			ても適め	ルチ白塚!	見り当	ぎ畑を11フェ
	0	④限られ	た財源の	中にあって	も、実施の緊急性、優先性は高い。	. 1.		• 設備 <i>Œ</i>	経年劣	化等に対	応した改作	修整值	前が必要であ
							- る。						
	(1) 万	大果・協	働に対	する事業の	の有効性 計	3 点							
2	0	①施策を	達成する	うえで、当該	を事業の貢献度は高い。	1.	点(説明)	有効性に関	間し、内容	を具体的に	記入します。	,	
有	0	②事業0)継続によ	り、成果目標	票(事業の意図)の向上が期待でき	きる。 1.	115				•		対育を遂行す
効性	0				携を図る余地はない。		 るための 童の充乳					環境0)確保は、児
II	_					1.		たしたす	火工值	C 21211	۰,∽۰		
	(1) 湿	を成度の		1.6、19人。	計	1 点							
	(1/2	区分			指標(算式)	単作		·····································	R5∌	ミ 績	R6実績		R6当初計画
				指標①	教育用コンピュータ整備台数(経	年) 台	15台/	′15 Å	15台/	′15 J	15台/15	Į.	15台/15人
	活動※具	指標 本的な活	動の内	(算式)	台数/最大クラス人数=1009	%	10 Д/	10/0	10 Д/	10/0	10 🖂 / 10 /		10 [17 1070
3	容		- · · · •	指標②	特別支援員配置数	人)00/	1人/	1人	1人/	′1人	1人/1人		1人/1人
				(算式) 指標①	支援員数/要介助児童数=10 教育用コンピュータ整備台数率	70 /0							
,,,,	成果			(算式)	台数/最大クラス人数/活動		10	0%	10	0%	100%		100%
度	※どれ れたか	れだけの! か	返果が現	指標②	特別支援員配置数の達成率	%	10	0%	10	0%	100%		100%
	_	-		(算式)	支援員数/要介助児童数/活動	動指標							
	0				た。(達成度80%以上)	1,	#±. D.I.=				容を具体的 - 助 日 音 1 人		
		②概ね#	併待した通	りの成果が	あった。(50%以上80%未満)	0.	" し、児童				'助児里1人 :いよう配!		し1人配置 こ。
		③成果だ	i少なく今	後も向上する	る見込みがない。(50%未満)	-1,	点						

	(1) 事	事業費の推移			計	0	点								
	Σ	区 分	単位	R4決算額	R5決算額	R6決算	額	R6事業費の内				単位コスト	0	一般財源額	額
		事 業 費	千円	21, 674	30, 523	4	2,831	(金額の上位	12費用他) ———			達成度を下げず			1点
	。 財	国・道費	千円					区分	金 額	i	0	変わりない・上昇している 説明できる	理由を明	確かつ具体的に	0点
4	源	地方債	千円					工事請負費	18, 4	80		上昇している			-1点
杰	内 訳	その他	千円					需用費(学校管理費)	12,		¥ 55	小学校冷房設	備電気	(改修工事	ドによ
効果	\smile	一般財源	千円	21, 674	30, 523	4	2, 831			ā	兑明	る増		.,,,,	
性	(2)∃	手法の効率化			計	1	点	(説明)手法の	効率化に関	L.P	内容	を具体的に記入	します	0	
	0			いる。経済性を考慮	して事業費を削減	できる余地	1点					運営上必要な		運営予算	算は、
			は効率	的な事務執行と受	益者に対するサー	-ビス満足度	1点	学校と教育委・学校校舎の	受益について	携し	て負	所減に努めてい 学校租場と相	ハる。 「終」ヵ	っがら針面	前的
		の高い水準にな		いる。 法の工夫により、対	+毎笶田も亦みず	ア事業弗は	1 1 1	に実施するこ							ਜੀਸ਼ਹ
		削減する余地は			引家 配田で変ん 9 (に事果賃を	1点								
項				項目別点数				低 0	1 2	要性 ₹ Т	<u>十</u> 律	i <u>効性</u> 「5 6 7	高8~	高	
目別]	項目別点数に	_	Ij	頁目 点数			0	1 2		_	0 0 7	0.~	6 達	
点		よる評価結果		1 必	要性 7 7				-			A		成 成	
数に		Λ	1	2 有		0 _								度 +	
ょ		A				┥ -		\nearrow		+			0	対 効	
る 評	I.		•	3 達	成度 1	2			D			В		-1 0 -1	
価				4 効	果性 1									-2 低	
						 -		<u></u>							
		担当課評価	_												
				※上記の結	果を参考に、事	業担当課と	して、	他施策との関係	等を含め総合	含的初	見点 7	から評価します。			
		A		※評価は、	次のA~Dによ	ります。									
	ı	<u>, </u>	<u>u</u>												
	Α	現状にて事業	美を継	続または拡充											
	0	現状のままで事	事業を維					事業を拡充	だして継続						
	В	事業の進めた	ちの改	善により継続				· · · · · · · · · · · · · · · · · · ·							
		事業の簡素化、	、効率化	とによる改善				執行体制の	の見直し(外部	委託	等)	による改善			
一 次		事業手法の見る	直しに。	る改善				住民参加等	等の推進によ	る改善	į.				
評		事業内容の一部	部見直	しによる改善				その他効果	果的・効率的	三法の	検討	付による改善			
価	С	事業規模・内	内容等	の見直しの検討	寸			l l							
担		制度·事業内容	アの全面	前的な見直しを検討				対象範囲の	の見直し、受益	全者負	担0	つ見直し・導入を格	討		
当課		必要性等を再构	検証し	事業規模、計画等(の見直しを検討			他の事業、	類似事業への	り統合	計・転	換を検討			
評		計画期間の延ん	伸、事業	美費平準化等を検	討			その他							
価	D	 事業の抜本的	勺見直	 しを検討											
		廃止		統合	縮	小		凍結		弟	斤たた	よ事業への転換			
	※ :	事業廃止の可	能性や	・ 廃止することに	よる影響 ➡	廃止	可能	条件が整え	とば廃止検討	可能		廃止は困難	隹	その他	
		一次評価(担	当課評	価)の内容や考え	え方を具体的に言	<u></u> 己入します。		今後の改善策等	を具体的に	記入し	ンま [・]	す。		I	
				を繕・改修事業や	や、管理運営に係	半う整備を記	計画	校舎等の将来			-		長寿命	が化計画に	.基づ
	説	的に実施して・福島小には		友援員を1名配置	置した。			き、計画的な修 ・今後も状況に					助)員	の配置が	必要。
	明			福祉協議会へ多		爰学級への	特別	·ICT教育の更							2. +xL
		文援(介助)員	貝 を14	呂配置している。				・吉岡小学校に委も協力しなが				こって教職員数 化を図る必要が		かめるにぬ	り、教
													-		
	_			A 現状にて事	業を継続または	拡充 B	事業	の進め方の改善・	・検討が必要		С	事業規模、内容	の見直	[しが必要	
_		庁内委員会		D 事業の抜本	的見直しの検討	⇒	廃止	統合	縮小			凍結	fたな [™]	事業への転	換
次	_	評 価	, [
評価		Λ		説	の内容により	車業操業	ω = 1	_							
Щ		T		明	いいい合により	尹未班选	0) _(-0							
				A 現状にて事	業を継続または	拡充 B	事業	の進め方の改善・	・検討が必要		С	事業規模、内容	の見直	[しが必要	
最		最終評価	ļ	D 事業の抜本	的見直しの検討	\Rightarrow	廃止	統合	縮小			凍結	fたな₹	事業への転	換
終評			1	説											
価		A		一次・二次	欠評価を念頭に	こさらに事	務∙⋾	事業を推進され	<i>₁たい</i>						
				明											

上		年		∄ 1	日 作成	±B :	当課	学校教育	: 伭				
					口 1F/X	1 <u>H</u> :	 	子仪仪目	1ボ				
	務事		04		+-ノナ」いしナギマフ /*	5		施策コー	ı» I		201	21110	
施		本方向	• •		、たくましい人を育てる(教 	以育・又10	5)				331	31113	その他
策	項	目	37					法 的 根拠等	〇 法		宋	1911	ての他
体	財	務名称		中学校管	埋 貨 ————————————————————————————————————			以及守	学校教			=	7.00
系								実 施 方 法	〇直	営	委	託	その他
事業概要	②各 ③教 ④特	・学校校 対育用コ f別支援	舎営繕 ンピュ- 員配置	事業:学 -タ整備事 【事業:特別	こおける適正な管理運営を行校施設等について、必要に 軽業:ICT教育に必要なイン 別支援員を配置し、要介助 学校冷房設備設置に係る電	応じて修 /ターネッ 児童の学	繕、改修事業 ト環境の整 校生活を支	を実施。 業等を行い 備及び関 援する。					整備を図る。
	(1)女	対象(誰	を、何を	対象として	(いるのか)		(3)手段(と	ごのようなき	手法、手順	で行って	ているのか))	
事	③教 ⑤冷	育用コン 房設備記	ピュータ ひ置事業	整備事業	営繕事業費 費 ④特別支援員配置事業		修繕、改修 学校教育5 ①学校管理	を事業等を 環境を維持 理費・・・	行うこと	で、生徒 る。	走や教職	員の安	必要に応じて 全で快適な 情及び管理運
業の					にしたいのか)		営 10,81 ②各学校校	14千円 5条学第3	主光弗	17	大 金维性包	5 m /	女经位
目的	② 環 ③ 環 ③ 環 後 特	学校校会 整備を実 育用コン の整備及 別支援員	会営繕事 を施。 ピュータ ひPCが 員配置事	工業費 · · · · · · · · · · · · · · · · · · ·	教育を受ける環境を整備。 教育施設の充実を図るため、 費・・・ICT教育に必要なインタ を実施。 支援員を配置。 交冷房設備設置に係る電気設備	ーネット	873千円	コンピュー '千円 援員配置!	タ整備事 事業・・・4	・ 業費・ 特別支	・・機器の	保守	点検管理業務
	(1)田	打関与の	根拠(町	「が行う必要	がある事業か) 計 4	点							
	0	①法令等	で実施が	ぶ義務付けら	れている事業。	1点	⑥産業	振興及び地	域活性化σ)ために[重要な事業		1点
	0		境の確保		活に直結した事業で、当然の責務	^{とし} 1点	※内部説明)関					211	
	0				維持・安定のために不可欠な事業。	1点							ょり。 き、学校設
					取り組みなど、戦略的な事業。	1点	置者として	て経費を	負担する	0 0			
1					るが、サービスの確保が困難なため		-						
ıi).	/a\ 1	が先導・											
必要				ニーズの	変化等 計 3 対策の変化によって、サービス内容の	****		空で宝梅内:	京め手 辻学	なが定め	うれて、町の	創登工	土が18~
性	0	充が求め			(児の友性によりて、ケービス自分)	1点		い。(点数対		F/J+XE 0/7	240 C (110)	剧忌 丄	
	0	②対象者	广、利用者	が増加する	など、町民ニーズが高まっている。	1点	(説明)妥	当性に関	し、内容	を具体	的に記入し)ます	0
					けるため、種々の改善を行い、事業	の効 1点						環境を	と維持するた
	_			きている。	1 / / / / / / / / / / / / / / / / / / /	1 -	め、施設の					(女妻) は	前が必要であ
	0	生限られ	/こ月 / 原 (/)	甲にめつい	b、実施の緊急性、優先性は高い。 	一	- 旭良・3	宝浦 ひた	十分化司	F (- X) /		多金师	###公女(0)
							<u> </u>						
	(1) 万	成果・協	働に対	する事業の	D有効性 計 3	点							
2	0	①施策を	達成する	 らうえで、当該	変事業の貢献度は高い。	1点	(説明)有效	<u>———</u> 効性に関し、	内容を具	体的に言	<u></u> 記入します。	,	
 有	0	②事業の	継続によ	い、成果目標	票(事業の意図)の向上が期待できる	る。 1点							対育を遂行す
効	0				携を図る余地はない。		るための	基本とな	るものて	:、良如	好な教育!)確保は、生
性	\vdash						徒の充実	レに子仪:	土店にて	ハてかく	o.		
	/42.1			1.思識の同上	:が図られている。	1点							
	(1) 通	達成度の	測定		計 1	<i>/</i> ///		. 1	DE-+ ::	Т	==		Double In Trans
		区分			指標(算式)	単位	R4実績	İ	R5実績		R6実績		R6当初計画
	,- =	.+E.1==		指標①	教育用コンピュータ整備台数(経年	台	18台/18	人	18台/18人		17台/17	人	17台/17人
	活動※具	指標 体的な活動	動の内	(算式)	台数/最大クラス人数=100%	0							
3	容		-	指標②									
				(算式)			ļ						
達成		u		指標①	教育用コンピュータ整備台数率		100%		100%		100%		100%
度	成果※どオ	:指標 れだけの原	女果が現	(算式)	台数/最大クラス人数/活動指								
	れたが			指標②									
				(算式)									
	0	①期待し	た通りの	成果があった	亡。(達成度80%以上)	1点	(説明)成界	具・効果や過	権成度に関	し、内容	容を具体的に	こ記入	します。
		②概ね其	待した通	りの成果が	あった。(50%以上80%未満)	0点]		_	_			
		③成果カ	少なく今	後も向上する	る見込みがない。(50%未満)	-1点	1						

	(1)事	事業費の推移			計	0	点									
	Z	5 分	単位	R4決算額	R5決算額	R6決算	額		事業費の厚				単位コスト	0	一般財活	原額
		事 業 費	千円	14, 196	16, 807	2	2, 379	(5	を額の上位	2費用	他)		達成度を下け			1点
	財	国・道費	千円					区	分	金	額	0	変わりない・上昇し [*] 説明できる	ている理由を明	月確かつ具体的	り点
4	源	地方債	千円					工事請	負費		8, 382		上昇している			-1点
効	内 訳	その他	千円					需用費(学校管理費)		6, 666	= 24 00	中学校冷房 る増	設備電気	贰改修工	事によ
果)	一般財源	千円	14, 196	16, 807	2	2, 379					就明	の増			
性	(2) 手	≒法の効率化		'	計	1	点	(説明	手法の	効率化(こ関し、	内容	を具体的に記	入します		
	0	がないほどの水 ②現在の手法! の高い水準にな	準になるは効率的なっている執行方	っている。 内な事務執行と受 る。 法の工夫により、**	して事業費を削減 益者に対するサー け象範囲を変えずい	ビス満足度	ı III	学校 • 学校	と教育委 を校舎の	を 員会な 営繕に	が連携こつい	してí ては、	逐運営上必要 節減に努め 学校現場と こより、事業質	ている。 :相談し	ながら長	奏命
				-E-Dull-4	4-±				IT.		.v m.	b# ı ≂	는 첫 사	÷		
項目				項目別点数		7			0	1 2		<u>性十</u> 4	<u>有効性</u> │ 5 │ 6 │	<u>局</u> 78~	7 7	高
別		項目別点数に		<u> </u>	[目 点数	4									j	主
点数	•	よる評価結果	!	1 必	要性 7 7 1	0				•			A		4 7	或 变
に		Δ		2 有:	効性 3 '	Ĭ F		^						0	3 -	+
よる				3 達	成度 1	7 -		V						Ŭ	1 3	効 果
評					2	2				-			В		0 -1	生
価				4 効:	果性 1	_]										氐
	Α :	現状にて事業	美を継続		果を参考に、事 [‡] 次のA~Dによ [‡]		して、	他施策	との関係	等を含め	か総合的	的視点	から評価しま	す。		
	0	現状のままで事	手業を継	続					事業を拡充	乞して継糸	売					
	В	事業の進め方	の改	善により継続												
		事業の簡素化、	. 効率化	とによる改善					執行体制の	の見直し	(外部委	託等)	による改善			
— -		事業手法の見画	直しによ	る改善					住民参加等	等の推進	による改	女善				
次評		事業内容の一部	部見直l	しによる改善					その他効果	果的・効率	区的手法	の検討	討による改善			
価	С	事業規模・内	容等	の見直しの検討	†											
担		制度·事業内容	の全面	i的な見直しを検討	t				対象範囲の	の見直し	、受益者	負担の	の見直し・導入	を検討		
当課		必要性等を再材	食証し事	¥規模、計画等6	の見直しを検討				他の事業、	類似事	業への紛	充合•車	云換を検討			
評		計画期間の延伸	伸、事業	達費平準化等を検	討				その他							
価	D	事業の抜本的	り見直	しを検討												
		廃止		統合	縮	小			東結			新た	な事業への転打	<u></u>		
	 ₩≣	事業廃止の可	能性や	廃止することに	よる影響 🗘	廃止	可能		条件が整え	えば廃止	検討可能	能	廃止は	困難	そのイ	他
					え方を具体的に記				改善策等							
	説明	に実施してい・社会福祉が	ハる。 劦議会	ぐへ委託し、特	理運営に伴う 別支援学級へ 令和7年度は配	の特別支	援		き等の将 づき、修				等を把握すれていく。	るため、	長寿命	化計画
				A 現状にて事	業を継続または抗	広充 B	事業	<u>・</u> の進め	方の改善	・検討が	必要	С	事業規模、内	容の見画	重しが必要	要
_		庁内委員会	ļ	D 事業の抜本	的見直しの検討	⇒	廃止		統合	1	縮小		凍結	新たな	事業への	転換
二次評価		評 A		説 一次評価明	の内容により	事業推進	のこと	L 0	1							
				A 現状にて事	業を継続または抗	広充 B	事業	の進め	方の改善	・検討が	必要	С	事業規模、内	容の見画	直しが必要	要
最終評価		最終評価		説	的見直しの検討 欠評価を念頭(:		廃止	事業を	推進され	1 1	縮小		凍結	新たな	事業への	<u>—</u> 転換

令和		年		月	日 作成			担	当課	学校	教育係				
事	務事	業名	学校給	食センター	一費										
	基	本方向	04	学び合い	、たくましい人	を育てる	(教育•	文化)	施策	コード		331311	14	
施策	項	目	37	幼児教育	、学校教育					法	的 C	法令	〇 条 例	7	その他
の	財	務名称		学校給食	センター、施設	设維持管理	費			根拠	等学	交給食法・	学校給食共同	調理場設	置条例
体系										実	施 C	直営	委 託	4	その他
										方:	法直	営			
事	児重	重•生徒	への学	交給食の	充実、給食セン	ノター施設	:•設備等	り かんりゅう かんりゅう かんりゅう かんりゅう かんりょう かんり かんしゅう かんしゅう かんしゅう かんしゅう かんしょう かんしょう かんしょう かんしょう かんしょう かんしょう かんしょう しゅう かんしょう かんしょう かんしょう しゅうしょう かんしょう かんしょう かんしょう しゅうしょう しゅうしょう かんしょう しゅうしょう かんしょう しゅうしょう かんしょう しゅうしょう しゅうしゃ しゃ し	挂持管理						
業概															
要															
				対象として									ているのか)		
		N各小中)学校紿			寄業高校並び に	こ幼稚園の)児童生	徒	・調理員(学校給食				合食衛生管理	基準に基	づいて
事		ナイズが	良りが	一									応じた修繕や	改修を実	施す
業の									る。						
目					にしたいのか)										
的				適正な栄養 を理解する	養摂取による例 ス	建康の保持	芽•増進	及び							
	DQ IV	-K)) \(\oldots	IL.CV	企产 /平 7 ~	J ₀										
	(1) [1			がある事業か)	計	3	点							
	0				れている事業。			1点	〇 ⑥産	業振興及で	び地域活付	生化のために	工重要な事業		1点
			環境の確保 べき事業		活に直結した事業	をで、当然の責	責務として	1点	※内部	部管理·運	営等の事	業。(点数対	象外)		_
		③社会的	h·経済的	弱者の生活	維持・安定のため	に不可欠な事	業。	1点	(説明)関	与の根拠	に関し、	内容を具体	的に記入します。		
		(4)町の集	+性や魅っ	りを生かした		条的な事業。		1点	学校給:	食法で気	定められ	ている。			
1					るが、サービスの確		ため、町								
必	0		補完する					1点							
要性	(2)			ニーズの変		計	1	点							
II	0		削度の見正 れている。		環境の変化によって	、サービス内	容の拡充	1点		分等で実店 ない。(点数		-法等が定め	られて、町の創意	て工夫が入る	余 -
		②対象者	者、利用者	が増加する	など、町民ニーズフ	が高まっている	る。	1点	(説明)妥	当性に関	し、内容	を具体的に	記入します。		•
					けるため、種々のご	女善を行い、₹	事業の効	1点	•昭和424	年度より	実施され	ている。			
				きている。 o中にあっても	も、実施の緊急性、	優先性け高	L)	1点							
			77 CPC 105 V	/-(C0)-2 C	0、天旭v开心压、		v ·o	· ////							
	(1),	成果・協	働に対	する事業 <i>σ</i> .	D有効性	計	3	点							
2	0	①施策を	達成する	うえで、当該	亥事業の貢献度は,	高い。		1点	(説明)有	効性に関	し、内容	を具体的に	記入します。		
有	0	②事業の)継続によ	り、成果目標	票(事業の意図)の	向上が期待で	できる。	1点	1	徒の健	康が維	寺・管理さ	れている。食	育の一環	であ
効 性	0	③類似し	た事業と	の統合や連	携を図る余地はな	い。		1点	る。						
		④町民参	⇒加と自治	意識の向上	上が図られている。			1点							
	(1)	達成度の	測定			計	1	点	Į.						
		区分			指標(算:	式)		単位	R4実	績	R5	実績	R6実績	R6当	初計画
				指標①	実施回数			п	905/6	205	20.	/905	919/905	200	E /90E
	活動	指標		(算式)	実施回	数/予定回数	¢		205/2	205	204	/205	218/205	20:	5/205
	※具	体的な活	動の内容	指標②	提供食数			食	238/2	256	931	/256	256/256	25	6/256
3				(算式)	提供食物	数/予定食数	Ŕ	戍	230/2	200	231	, 400	200/200	201	0, 200
達				指標①	実施回数の達成	率		%	100	%	Ċ	9%	106%	1	.00%
成度		指標 れだけのF	成果が現	(算式)		/計画回数		, ,	1.00				5/8		• •
	れた			指標②	提供食数の達成			%	93%	6	ć	0%	100%	1	.00%
		_		(算式)		/計画食数									
	0	①期待し	た通りの	成果があった	た。(達成度80%以	.上)		1点	(説明)成	果・効果	や達成度	に関し、内	容を具体的に記え	入します。	
		②概ね其	明待した通	りの成果があ	あった。(50%以上	.80%未満)		0点							
		③成果が	ジ少なく今	後も向上する	る見込みがない。((50%未満)		-1点							

	(1)	事業費の推移			計	0	点								
	I	区分	単位	R4決算額	R5決算額	R6決算	額	R6事業費の内	記形71《全類		単位コスト	`	0 -	般財源額	į
		事業費	千円	33, 941	34, 652		12, 584	(金額の上位			達成度を下	・げずに	低下させ	た	1,5
	_	国・道費	千円					区分	金額	0	変わりない				0,
4	財源	地方債	千円					給食材料費等	18, 187		確かつ具体 上昇してい		明でざる		-1
効	内訳	その他	千円	3, 421	3, 335		3. 467	光熱水費	11, 869		社会情勢に		ど熱水費の	で食材が	
果	<u>.</u>	一般財源	千円	30, 520	31, 317		39, 117		11,000	説明	たため。				
性	(2) =	<u>│ </u>		00,020	計	1	点	(説明)手法の	<u> </u> 効率化に関し	内容?	 を具体的に	2 X I . 3	F d .		
	0	①業務等の見 がないほどの力②現在の手法は の高い水準に力	準になけるは効率的なっていい執行方法	的な事務執行と受益 る。 法の工夫により、対1	て事業費を削減で	でス満足度	1点 1点 1点	・現行では、「しても大幅な	∃額賃金制で	で 運営	さしており			之民間	委託
項目別点数による評価		項目別点数による評価結果		項目別点数 項 1 必要 2 有效 3 達成 4 効果	目 点数 要性 4 功性 3 艾度 1 2			低 0	必要 1 2 3	生十7	5 6 A B B	O	1		
	0	担当課評価 現状にて事業 現状のままで引 事業の進めた	事業を継	※評価は、か 続または拡充 続	そを参考に、事業 RのA~Dにより?		.て、f	也施策との関係等 事業を拡充		見点か	ら評価しま	す。			
	В	1						+1. /- / / / / / / /	> 무 국) / 시 # 주	31 kk)	マレマルギ				
_ [事業の簡素化、事業手法の見							の見直し(外部委		による収吾				
次 評									等の推進による改 		山っトフルギ				
価	_	事業内容の一						その他効果	具的·効率的手法	が使記	引による以書	•			
担	С	1		の見直しの検討				44.45.75 III a	7日本1 平大本	A 4n /	か日本に満	1 +.+ <u>\</u> =	-1		
当				i的な見直しを検討 	日古) た於計				D見直し、受益者 類似事業への紹	-		八で快す	1		
課評			· · · · · ·	** ** ** ** ** ** ** ** ** ** ** ** **				他の事業、	規以爭未,、(7)形	口口。积	4揆任快刊				
価	D	事業の抜本的]			~ v)™							
		廃止	,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,	統合	縮月			凍結		立たた。	な事業への	二協			
	**	1	久地沿				可能				·	は困難		その他	
	^	1		一 の内容や考え		~ -	1 42	今後の改善策等				,云四类	1	こうとに	
	説明	・町内児童・2 意義は大きい・児童生徒の・H30年度かた。	主徒等 、 給食費 ら幼稚	に対する食育を資 機無償化を継続す 園、R4年度から配 色のないよう注意し	性めるうえでも、糸 ⁻る。	合食の提合	始め	・衛生管理基準に沿を ・健康の保持増進を り給食の充実を図る ・地場産使用割合を い現状にある。 ・安心、安全な学校・ ・建設から13年経過	合った運営を進めて、図るだけではなく、 のるだけではなく、 であたいが、町内 給食の提供を行うが	いく。 できる。 での供 こめに詰	だけ温もりを感 給には限界が 聞理員の研修	あり、思う	ように使用 図る。	することが	でき
\neg		-		A 現状にて事業	きを継続または拡	充 B	事業の	の進め方の改善・	検討が必要	С	事業規模、	内容の	見直した	が必要	
_		<u></u>		D 事業の抜本的	り見直しの検討	⇒	廃止	統合	縮小		凍結	新	たな事業	への転換	į _
欠評価		評 価 人		説 一次評価の	の内容により事	罫業推 進	のこと	-0							
				A 現状にて事業	きを継続または拡	充 B	事業の	の進め方の改善・	検討が必要	С	事業規模、	内容の	見直した	が必要	
最		最終評価		D 事業の抜本的	り見直しの検討	⇒	廃止	統合	縮小		凍結	新	たな事業	への転換	F
終評価		Α		説 一次·二次	評価を念頭に	さらに事	暮務•≣	事業を推進さ れ	ぃたい						

一		7 年	1 8 <i>}</i>	15	日 作成		担主	当課			生》	王学習係			
事	務事	業名	社会	教育総務	 貴		<u>l</u>	<u> </u>							
	基本	本方向	04	学び合い	、たくましいん	人を育てる(教育・文化	;)	施策コー	· ド		3323	321308	3	
施	項	目	36	生涯学習	(推進体制)				法的	О	法令	O 条	例	O)他
策の	財利	务名称		社会教育	総務費				根拠等	社	会教育法	 等			
体系									実施	0	直営	委	託	その)他
水									方 法						
事業概要		会教育全 社会教)運営費 (2)ス	ポーツ・文化活	動の奨励技	長興を図るた	め、功績者	の表彰	(3)各	→種学級、請	觜座等	消耗品費	
	(1) 対	寸象 (誰	を、何を	対象として	(いるのか)			(3)手段(と	のような手	法、手	順で行っ	ているのか)		
事業の目的	(2) 意			ような状 態 進と振興を	ミにした いのか) 図る。			(1)社会教育 (2)スポーツ (3)各種学紀	•文化活動	の功績	責者へのま		会議研	修会出席加	旅費
	(1) H	1関与の	規 拠(町	が行う必要	がある事業か)	計	2 点								
						н		@##	는 朗 고 스ઠ카카	4)T.U.	1.02-1212:	手用いすや			1.5
	0	②生活環	環境の確保	R等、町民生	かている事業。 :活に直結した事業	業で、当然の責務	1点 ジン 1点		振興及び地場 一 管理・運営等						1点
			fうべき事 b・経済的		維持・安定のため	に不可欠な事業							 ます。		
	0				取り組みなど、戦		1点	社会教育法							
1	\vdash				るが、サービスの確										
必	(O) ±		補完する		- 11. M -	=1									
要性				ニーズの 11.や社会環	ど16 寺 境の変化によって	計 1. サービス内容	1 点 の拡	※ 法令	等で実施内容	マや毛	よ等が定め	られて、町の	創育工	去が入る余	
'-	0		られてい		()0.000		1点		、。(点数対象				476.3	.,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,	_
		②対象者	首、利用者	が増加する	など、町民ニーズ	が高まっている。	1点	(説明)妥当	性に関し、	内容を	具体的に	記入します。	0		
		③事業の果が顕著)硬直化・ そになって	固定化を避 きている。	けるため、種々のi	改善を行い、事業	きの効 1点	社会教育活加の機会を				の推進を通	して、ほ	町民へ均等	等に参
		_			も、実施の緊急性	、優先性は高い。	1点	・一方で、社	会環境の変			等において	住民	ニーズも変	化し
								多様になって	てきている。						
	(1) =	+ FB + +	1FL 1 - 44	十2亩米~	5 + + + ++	=1	0 =								
١,	_			する事業の			2 点	(=V==) +++							
2	0				変事業の貢献度は		1点	(説明) 有效 •文化的教養					-	町がなる	
有効	0				票(事業の意図)の		-	入口口はり代を	マサム回り	1.94	/·よ⁄飛/兄V>	・HX/J入(し分) ⁰	-ン・シ 北い	×_10,(0),°9°	
性		③類似し	た事業と	の統合や連	携を図る余地はな	:V \ ₀	1点								
		④町民参	≩加と自治	意識の向上	が図られている。		1点								
	(1)设	を成度の	測定			計	0 点								
		区分			指標(算	式)	単位	R4実績		R5実	績	R6実績	i	R6当初言	計画
	江新	+6.4番		指標①	社会教育委員会		常者	13人/2[田	22人/	3回	13人/2	口	27人/3	3回
		担信 本的な活	動の内	(算式)	計画=全員出席										
3	容			指標② (算式)	スポーツ文化賞を計画=当該年度		5%	15人		22 <i>)</i>		25人		27人	
١				指標①	出席率	/3□□両王数△IC	%								
達成	成果	指標		(算式)	実績/活動指数((2回)	70	43%		81%		48%		100%	6
		れだけの 原	成果が現	指標②	受質者数(個人の		数対 %								
		-		(算式)	<u>比</u> 実績/活動指数(当 15%)	該年度小中高生数	×	63%		92%		93%		100%	%
		①期待し	た通りの	成果があった	た。(達成度80%じ	(上)	1点	(説明)成果	・効果や達	成度に	関し、内	容を具体的	に記入	します。	
	0	②概ね其	明待した通	りの成果が	あった。(50%以上	-80%未満)	0点	スポーツ文実施により					-		
		③成果カ	ぶ少なく今	後も向上す	る見込みがない。	(50%未満)	-1点	, ,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,	/\ H -//E	. r. / * - / '					

	(1)	事業費の推移			計	0	点												
	[区 分	単位	R4決算額	R5決算額	R6⅓	央算額	R63	事業費の	内部	ひパタ	宛百		単位:	コスト		0	一般財	源額
		 事 業 費	千円	241	384		268		を額の上					達成月	度を下げ	げずに	低下	させた	1点
	(国・道費	千円					区	分		金	額	0					確かつ具体	
	財源	地方債	千円						及貨費 関質費			126			ss している				-1点
4	内	- 12 21								+				上升(~ (V %)			一一点
効 果	訳)	その他	千円						報酬	-		65	説明	管理	用備品	品購力	費の	減	
果 性		一般財源	千円	241		_	268												
'-	(2)	手法の効率化		No. Company to the chi	計	2	点) 手法									•	
	0	①業務等の見 がないほどのオ		より、経済性を考慮 なっている。	(して事業費を削減	できる余	^{注地} │ 1点	・スホ が そ	ーツ・文 の他は	化貨経営	(受貨す経費で	首数に	こよつ、	て報復	賃費(ト	ロフィ	一代	が増凋	びする
	0	②現在の手法(の高い水準に)	は効率	的な事務執行と受	:益者に対するサー	-ビス満足	^{L度} 1点		12.	.,			o						
				べる。 i法の工夫により、タ	対象範囲を変えず	に事業費	き 1 -												
		削減する余地に	は全くだ	ない。			1点												
				-7-00-5	alet —				1			N == 1		_ 41 14			_		
項目				項目別点		\neg			低 0	1	2	<u> 少要1</u> 3	生十 才 4	3 郊性 5	6	7	高 8~		高
別		項目別点数に	_		項目 点数														
点		よる評価結果		1 必	要性 3	_				С						Α		5 4	達 成
数に		Λ]	2 有	効性 2	5												ა	度 十
ょ		A				_								0				1	効
る 評			•	3 達	成度 0	2				D						П		U	果 性
価				4 対	1果性 2											В		-1	低
																·			
		担当課評価																	1
		Δ		※上記の結	果を参考に、事	業担当課	果として、	他施策	との関	係等を	と含め組	総合的]視点7	から評	価しま	ます。			
		A			次のA~Dによ														
		<u> </u>	J	7Kg pa 10.4	J. 2120.	, 0, , ,													
	Α	用掛にて車 割	とた糾	<u></u> ^退 続または拡充															
	<u>г</u>	現状のままで事							事業を拡	r#1 -	アが水が出								
									事果を加	ふ元し	C 附丕 的兄								
	В	1		(善により継続					+1.4- A-#	100	士) /5	1 40 ====	⇒< k/r \	- L-7	7/				
_		事業の簡素化							執行体制					による	改善				
次		事業手法の見							住民参加	•									
評価		事業内容の一							その他対	力果的	•効率的	内手法	の検討	すによる	5改善				
<u>+</u>	С	事業規模・厚	内容等	の見直しの検	討 —————														
担当課		制度·事業内容	アの全i	面的な見直しを検討	村 ————————————————————————————————————				対象範囲	目の見	直し、う	受益者	負担0)見直	し・導ノ	(を検	討		
課		必要性等を再	検証し	事業規模、計画等	の見直しを検討			,	他の事業	(類	以事業·	への紛	i合∙転	換を	負討				
評価		計画期間の延	伸、事	業費平準化等を検	討				その他										
ت	D	事業の抜本的	勺見直	しを検討															
		廃止		統合	維	小			東結				新たな	よ事業	への転	換			
	<u></u>	事業廃止の可	能性	や廃止することに	よる影響 🕏	房	8止可能		条件が整	をえば	廃止検	討可能	É		廃止に	は困難		その	他
		一次評価(担	当課部	平価)の内容や考	え方を具体的に記	己入しま	す。	今後の	改善策	等を具	具体的	に記り	しま	す。					
				長彰事業につい まきょく															があるた
	説			基準を緩和して 学校外での活動					町の選講座に									かめる。	
	明			年団や所属クラス	ブなどを通して行	「い、表」	彰対象												
		の漏れがない	より多	らめている。															
				A 現状にて事	業を継続または	拡充	B 事業(の進め	方の改善	・検	討が必	夢	С	事業	規模、	内容(の見直	しが必	要
_		庁内委員会		D 事業の抜本	的見直しの検討	\Rightarrow	廃止		統合		縮	小		凍結		新	たな事	事業への	転換
次		評 価																	
評価		Λ		説 一次評価	の内容により事	坐拼准 0	カニト												
ІЩ				明	ツァコロ にみり手:	不准性り	,, ₀												
			-																
				A 現状にて事	工業を継続または	拡充	B 事業(の進め	方の改善	・検	討が必	夢	С	事業	規模、	内容の	の見直	しが必	要
最		最終評価		D 事業の抜本	的見直しの検討	\Rightarrow	廃止		統合		縮	小		凍結		新	たな事	事業への	転換
終			7	 															
評価		A		│説│ │──│一次・二月	次評価を念頭に	こさらに	こ事務・国	事業を	推進さ	れた	را)								
		_ / \		明															

令和	П	7 年	8 F	∄ 15 I	日 作成		担	旦当部	課				4	涯学習	係		
事	務事	業名	読書	舌動費													
	基	本方向	04	学び合い	、たくましいノ	人を育てる(教	枚育・文4	比)		施策	[⊐−	ド			33232130	9	
施策	項	目	36	生涯学習	(推進体制)					法	的	0	法 令		条例	その他	,
の	財	務名称		読書活動	費					根拠	等	社	会教育	去等			
体系										実	施	0	直営		委託	その他	
										方	法						
事	•地址	或に広く	開放し、	幼児から一	般までの図書を	と常備し、貸出注	舌動や自	由閲	覧などを	行う。							
業																	
概要																	
	/1\ -	.1.45 /=#.	+ 17+	₩ ₩	1,704)			(2)	ハエ矶/	lio L	· 4. T.	+ -	w= - 4-	-1.76			\dashv
	· 全田		ድ. ሠድ	対象として	いるのか)				3) 手段 (で 福祉センタ							し・閲覧を実施	ű.
		124						そ	の他、各	小中学	校へ和	多動貨	資出等を	行ってい	る。		
事業									令和2年₿ ₹等を行う							、を介した蔵書 。	検
の	(2) 끝	手図 () 	争たじの	トンナッチ能	にしたいのか)				令和4年度	まに「第	3次子	ども記	売書活動	カ推進計i	画」を策定	し、令和5年度	芝
目的	, ,			- • • • • •	書や資料等を、	誰もが自由にフ	人手できる	_	ら令和9年	干及に、	わいし	. 計画	に則り手	・耒を展り	削している	0	
	ような	図書の	サービス	を行う。		,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,											
	(1) E	丁関与の	根拠(町	が行う必要を	がある事業か)	計	2 点	 į									\dashv
		①法令等	で実施か	ぶ義務付けら	れている事業。			点	6)産業	を振興及 しんしん	び地域	活性化	上のため!	こ重要な事	事業		1点
	_				活に直結した事業	業で、当然の責務	: Li て								- / -		
	0	町が行う	べき事業。				I.	点	※内部	官性•週	12 等(り争業	。(点数学	可家外)		-	
		③社会的	」•経済的	弱者の生活	維持・安定のため	に不可欠な事業	. 1.		(説明)関4								
1	0	④町の特	性や魅力]を生かした	取り組みなど、戦	略的な事業。	1.		行政として :事業であ		力教養	を高め	りることの	つできる雰	環境を醸成	するために必	要
1		⑤民間等 が先導・			るが、サービスの存	権保が困難なため)、町 1.	· s 点	· + / (Φ0							
必要	(2) 社			_{丼未。} ニーズの変	 E化等	計 ;	3 点	 į									\dashv
性	0	①国の制	度の見直	近しや社会環	境の変化によって	て、サービス内容の	ひ井	点					去等が定	められて、	町の創意エ	夫が入る余	\exists
	0	充が求め			など、町民ニーズ	が真まっている	-		地はな (説明) 妥当	い。(点			目体的に	- == 1 1 ±	: オ		\dashv
					けるため、種々のi		の効	. #								可欠であり、道	ίψ
	0			きている。	·/ •/>() = · · · ›	9,001, (1),	1.	川図	書館とも	連携し、	図書	室のま	充実に多	多めている	5.		
		④限られ	た財源の	中にあっても	も、実施の緊急性	、優先性は高い。	1.									こ進んでいる。 いる役割は増大	
								し	ている。								
	(1) 万	大果・協	働に対す	する事業σ) 有効性	計(3 点	į									П
2	0	①施策を	達成する	うえで、当該	な事業の貢献度は	高い。	1.	点((説明)有刻	効性に関	ll.F	内容を	具体的に	記入しま	す。		\neg
有	0	②事業の	継続によ	り、成果目標	票(事業の意図)の	向上が期待でき	る。 1.									を通して、ボラン	$\overline{}$
効性		③類似し	た事業と	の統合や連	携を図る余地はな	:v.	1.		イア団体 子ども読書							れている。 業の推進に努	; B
	0	④町民参	加と自治	意識の向上	:が図られている。		1.	— て 点	いる。								
	(1)達成度の測定					計	1 点	_ 									\exists
	区分				 指標(算	式)	単作		R 4 実績	績		R5実	績	Re	実績	R 6 当初計画	Đ
	活動指標 ※具体的な活動の内容	指標①	登録者数		人			400 [504.		504 [000			
		(算式)	計画=600人					422人			504人		521人	. 600	八		
		切の内	指標②	貸出冊数		H	ŀ	16	, 100冊		16	5, 296 ⊞		14, 950∰	13, 348	эш	
3				(算式)	計画=人口×4f	₩			10,	, 100		10), 290]		14, 950	15, 540	> [[[]
達				指標①	登録者数の人口	比	%)		70%			84%		879	100)%
成度		指標 hだけの _E	女果が現	(算式)	実績/活動指標	(600人)				• 0 /0			J 1/0			100	. , 0
	れた			指標②		数(4冊で100%)	%			111%			116%		1129	100)%
		1		(算式)	実績/人口×4f	₩		\perp		/0			, 0		110/		_
	0	①期待し	た通りのり	成果があった	と。 (達成度80%じ	从上)	1.		(説明) 成身								
		②概ね期	待した通	りの成果がる	あった。(50%以上	80%未満)	0	ж :	図書管理:						ランティア	団体及び各校	٤
		③成果が	少なく今	後も向上する	る見込みがない。	(50%未満)	-1.		,	1				₩ 0			

	(1) 3	事業費の推移			計		0	点										
	ı	区 分	単位	R4決算額	R5決算額	R	6決算	額	R6事	*費の内	訳及び金額			単位コスト		0	一般財源額	Ą
		事 業 費	千円	1, 722	1, 660	6	1	, 747			2費用他)			達成度を下	げずに	低下さ	せた	1点
	<u></u>	国・道費	千円						区	分	金 額			変わりない・上昇 説明できる	している理	由を明	確かつ具体的に	0点
4	財源	地方債	千円						備品財	非入費	80	00		上昇してい	5 5			-1点
<u></u>	内訳	その他	千円						委託	E料	55							
効 果	Ü	一般財源	千円	1, 522	1, 66	6	1	, 747				- 1	説明	事業費はおま	むね横り	ばいで	惟移している	0
性	(2)	 手法の効率化			計		2	点	(説明)	手法の刻	 効率化に関し	, p	内容を	上具体的に記	己入しま	ます。		
	0			より、経済性を考慮	して事業費を削減	或できる	余地	1点	•令和3	年度より	図書システ	ムを	:運用	月し、利用し	やすい	小環境	きを整備し	てい
		がないほどのオ ②現在の手法		こっている。 的な事務執行と受	益者に対するサー	ービス清	萬足度		る。									
	0	の高い水準に			4.4.2.か四と赤こよ) z 古 米	・曲・・	1点										
		3外部委託や 削減する余地/		法の工夫により、対 い。	可家範囲を変えす	に争業	き質を	1点										
項				項目別点数					ı	低 0	<u>必</u> 事	_	<u>+</u>	<u> </u>	7	高 8	高	
目別		項目別点数に	-	Ī	項目 点数	女				0	1 2 3		4	5 0	,	0	達	
点		よる評価結果		1 必	要性 5					С	;	-		Α			→ 成	
数に			1	2 有	効性 3	8										0	3 度	
ょ		A			-		_	\neg										
る 評			1	3 達	成度 1	3				1)			В			り 果	
価				4 効	1果性 2												-1 任	
				<u> </u>	'					<u>'</u>	'			'				
		担当課評価																
		_		※上記の結	果を参考に、事	業担当	課とし	て、作	也施策との	D関係等	を含め総合的	的視.	点か	ら評価しま [・]	す。			
		A		※評価は、	次のA~Dによ	ります												
		[<u> </u>															
	Α	現状にて事業	美を継	続または拡充														
	0	現状のままで事	事業を糾						事	業を拡充	して継続							
	В	事業の進めた	うの改	善により継続					l l									
		事業の簡素化	、効率化	上による改善					執	行体制の	見直し(外部	委託	〔等〕(こよる改善				
l -		事業手法の見	直しに。	よる改善					住.	民参加等	5の推進による	改割						
次評		事業内容の一	部見直	しによる改善					そ(の他効果	:的•効率的手	法の)検診	けによる改善				
価	С	事業規模・グ	内容等		 													
担		I		面的な見直しを検討					対	象範囲の	見直し、受益	者負	負担の	り見直し・導力	人を検討	寸		
当		必要性等を再	検証し	事業規模、計画等の	の見直しを検討				他	の事業、	類似事業への	統合	合·転	換を検討				
課評				と 大費平準化等を検					<i>Z</i> (<u></u> の他				•				
価	D	事業の抜本的							1 1									
		廃止		統合	糸	宿小			凍	 結				よ事業への転				
							廃止す		I I.								その他	
				価)の内容や考え			<u></u>				を具体的に記		します					
				一人当たりの貸出			-		-,	– .	読書活動推							•••
	説	・広報活動や 及を図ってい		管理システムの 活	古用により更なる	善図書	活動の	普	・図書管 う。	理シス	テムを活用し	<u>,</u>	叮民:	が利用しや	すい返	2書区	医の運営を	行
	明		J-0						/ 0									
	¹⁹⁵																	
	\vdash	I	I	A 現状にて車	業を継続または	拡充	R	事業/	の進め方の	の改善・	<u>検討が必要</u>	Ţ	C	事業規模、	内容の	見直	.が必要	
					: 的見直しの検討			廃止		統合	縮小	+		凍結			************************************	鱼
=		庁内委員会 評 価		- +AVIM		- y		.,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,		-,70 H	440.1.			-Pr47H	4717	- v T	-10 -07+41	
次評			ī l	説														
価		A		一次評価の	の内容により事	業推進	進のこ。	<u>L</u> 。										
			<u> </u>	明														
\vdash	\vdash			 A 現状にで車	業を継続または	拡充	В	事業(の進め方の	の改善・	検討が必要	7	С	事業規模、	内容の	見直	しが必要	
_					的見直しの検討			廃止		統合	縮小	\dagger		凍結			業への転	 奐
最終		最終評価	_			-	1				I				1			
評		^		説 _ 坎 - ン	欠評価を念頭	-+>	に重	淼.□	巨学なぜ	:准せか	1+-11							
一価				明	久計画で忍頭	1-05	ハー尹	7ガ * 弓	₽未ど11		U/20 '							
			•															

令和		, , 7 年	l 8 <i>}</i>	月 15	日 作成			担当	当課			生涯	学習係			
事	務事	業名	成人	教育費			ļ.									
	基本	本方向	04	学び合い	、たくましい人	を育てる	」(教育・	文化	() 施	策コード	•		3323	21310	1	
施策	項	目	38	社会教育	、青少年の育成				法	的	O 法	令	条	例	〇 その	他
の	財利	 络名称		成人教育	費				根	処等	社会教	教育法 等	等		,	
体系									実	施	O 直	営	委	託	その	他
									方	法	,					
事業概要	• 高歯	命者学級	等の開作	崔、ブックフ	スタート事業・各種	講座や地	地域生活学	級の	運営展開、ふくし	ま町女性	の会の	運営費	助成			
	(1) 対	付象 (誰	を、何を	対象として	(いるのか)				(3)手段(どのよ	うな手法	、手順	で行って	(いるのか)			
事業の	•181	歳以上の	町民						(1)各種講座や 会の充実など情: (2)高齢者を対す 安全な生活や現 (3)福島町女性(報提供を 象とした高 代社会〜	図る。 i齢者学 の対応	と級を開 などを	催し、健康 学ぶ。			
目					(にしたいのか)				(0) [[[[]]]	- 2(112)	~		,			
的					:学習機会の提供 が女性団体の活性			いと								
	(1)田	1関与の	根拠(町	「が行う必要	がある事業か)	計	2	点								
		①法令等	節で実施が	ぶ義務付けら	れている事業。			1点	⑥産業振興	及び地域活	5性化の	ために重	重要な事業			1点
	0		環境の確保		活に直結した事業	で、当然の	責務とし	1点	※内部管理・	運営等の	事業。()	点数対象	(外)			_
					維持・安定のために	不可欠な	事業。	1点	(説明)関与の根	拠に関し	、内容	を具体的	に記入しる	ます。		
	0	④町の特	対性や魅力	力を生かした	取り組みなど、戦略	的な事業。		1点	・行政として学習		供や情	新提供	の充実を	図り、自	学習環境を	整備
1					るが、サービスの確	保が困難な	ため、町	1点	するために必要	である。						
必要	(2) ±	が先導・ + 今/ 数		^{事業。} ニーズの逐	ケル笙	計	1	点								
性	(Z) T.				境の変化によって		-	-	※法令等で	主施内容や	9手法等	が定めら	れて 町の1	削音丁	去が入ろ余	
		充が求め	られてい	る。				1点	地はない。()	点数対象タ	k)					_
	0				など、町民ニーズが		_	1点								
				固定化を避 きている。	けるため、種々の改	善を行い、	事業の効	1点	・町民の趣味や教供、情報の提供が				春らしを文	スる字	習機会の	促
		④限られ	た財源の	中にあって	も、実施の緊急性、	優先性は高	高い。	1点								
	(1) 万	大果・協	働に対	する事業の	カ カ有効性	計	2	点								
2		①施策を	達成する	らうえで、当該	亥事業の貢献度は高	がい。		1点	(説明)有効性に	関し、内	容を具	体的に記	己入します。			
有	0	②事業の	継続によ	り、成果目標	票(事業の意図)の[句上が期待	できる。	1点	・高齢者学級におされている。	おいては、	健康~	づくりやれ	土会情勢に	関した	た事業等が	展開
効性		③類似し	た事業と	の統合や連	携を図る余地はない) ₀		1点	されている。							
	0	④町民参	≩加と自治	お意識の向上	:が図られている。			1点								
	(1) 這	上 達成度の	測定			計	0	点								
		区分			指標(算式			単位	R4実績	R	5 実績		R6実績		R 6 当初記	計画
				指標①	各種講座回数·参	加者数			115人/5回	87	人/4回		173人/8	回	234人/1	回0
	活動※具	指標 本的な活	動の内	(算式)	計画=人口×7%				110,0,0				1,0,0,0		2017 (71	, I
3	容			指標②	高齢者学級講座回				0人/0回	115	5人/3回	1	87人/2回	1	241人/4	4回
				(算式) 指標①	計画=会員数×1 各種講座参加数の		(4비)	%								
達成	成果	指標		(算式)	実績/人口の7%	/上/八干		/0	45%		36%		74%		100%	
	※どれ れたか	れだけの♬ か	戊果が現	指標②	高齢者学級参加	数の会員	数対比	%	201		. ==0'					,
		-		(算式)	参加人数/会員数	X			0%		47%		36%		100%	
		①期待し	た通りの	成果があった	た。(達成度80%以	L)		1点	(説明)成果・効	果や達成	度に関	し、内容	『を具体的に	こ記入	します。	
	0	②概ね其	月待した 通	50の成果が	あった。(50%以上8	80%未満)		0点	・令和4年度以降の ・生活講座は実施回							実施
		③成果が	ジ少なく今	後も向上する	る見込みがない。(5	0%未満)		-1点	回数・参加者数共り			> NH II 2	,.O. <u>H</u> /MH O/C	v (IHJ	EL T TIMES	/ / // E

	(1) 導	事業費の推移	,		計	0	点											
	Þ	区 分	単位	R4決算額	R5決算額	R6決	算額	R6.≢	業費の	内部	及び金額	T		単位コス	١	0	一般財源	頂
		事業費	千円	284	151		235	۵ (費用他)	ŀ		達成度を	下げずに	低下	させた	1点
		国・道費	千円					区	分		金 額		0	変わりない・上 説明できる	昇しているヨ	里由を明	確かつ具体的に	0点
4	財源	地方債	千円					報	償費		2	03	_	上昇してい				-1点
'	内	その他	千円						前助及び交付	寸金		28		2,70 (1				. 7110
効 果	訳	一般財源	千円	284	151		235			-			説明	生活講座実	施回数の	増によ	る報償費の増	Á
性	(2) =	<u> </u>		204	<u> </u>	2	点) チ注	の効果	変化に関!		内宓	 を具体的(- -	キオ		
				より、経済性を考慮	して事業費を削減	_	ih.							、年間を				、曹
	0	がないほどのオ	k準にた	さっている。			一				る必要があ			, , ,,,,,,,,		, ,,,,,,	,111	```
	0	②現任の手法の高い水準に			:益者に対するサー	ピス満足	度 1点											
					対象範囲を変えずり	こ事業費	환 1点											
		削減する余地	は至くる	۲۷۰٫														
擂				項目別点	数表				低		必	要性	- + 1	可効性		高		
項目					頁目 点数				0	1	2 3	_	4	5 6	7	8~	高	
別点		項目別点数に よる評価結果		1 🕠	要性 3					С		1			Α		<u></u> 達 成	
数		よる計価記録	: 1	1 1	;	5		1									+ 度	
によ		Α		2 有	効性 2									0			2	
る		_ ′ `]	3 達	成度 0					D		4			В		- 果	
評価				4 対	果性 2	2											-1 性	
"				. , ,,,,													-2 低	
		+n v =m == /=																
		担当課評価	a l	 - 64		W 10 50					+ A .1 40 4				.			
		А			果を参考に、事		として、	他施策	との関	条等で	を含め総合	3的	視点	から評価し	ノます 。			
			<u> </u>	※評価は、	次のA~Dによ	ります。												
	Α	T		続または拡充														
	0	現状のままで		-				THE STATE OF THE S	事業を拡	充し	て継続							
	В	事業の進めた	ちの改	善により継続														
l_		事業の簡素化	、効率の	とによる改善				幸	执行体制	りの見	上直し(外部	委託	壬等)	による改善				
次		事業手法の見	直しに。	よる改善				ſ	主民参加	旧等の	推進による	5改	善					
評価		事業内容の一	部見直	しによる改善				1	その他対	果的	」•効率的手	法の	り検討	付による改	-			
	С	事業規模・Γ	内容等	の見直しの検討	討			, ,										
担当		制度·事業内容	学の全面	面的な見直しを検討				×	対象範囲	目の見	直し、受益	者負	負担の	の見直し•導	算入を検	討		
当課		必要性等を再	検証し	事業規模、計画等	の見直しを検討			fi	也の事業	\$、類(似事業への	り統	合•転	換を検討				
評価		計画期間の延	伸、事	業費平準化等を検	討			Ä	その他									
ت	D	事業の抜本的	内見直	しを検討														
		廃止		統合	縮	小		Į.	東結			3	新たれ	な事業への	転換			
	※ ፤	事業廃止の可	能性を	や廃止することに	よる影響 🗅	廃	止可能	ś	を件が整	ミえば	廃止検討	可能	_	廃」	上は困難		その他	
		一次評価(担	当課評	価)の内容や考	え方を具体的に訂	入します	t	今後の	改善策	等を	具体的に記	乙	しま	す。				
		・コロナ禍に。学習の場のま			れ、より多くの町	民に対し	て生涯				等の協議加を図る			き、より魅	力ある	学習標	幾会の提供	共を推
	説				齢者学級に参加	口できる町	丁内会							かる。 「内文化サ	ークル	会員の	の講師とし	ての
	明	が減少してレ	る。					活用を	図る。									
					業を継続または					・検	討が必要		С	事業規模				
=		庁内委員会 		D 事業の抜本	的見直しの検討	⇒	廃止		統合		縮小			凍結	新	たな事	業への転	換
次 評		評価	a	説														
価		А		一次評価	の内容により事業	業推進の	こと。											
]	明														
\vdash				Λ 田朴にてき	業を継続または	·	o 事 要	ሰ ች ሥ-	ニのツギ	‡ <u>.</u> +△	計が必要	- 1		事業規模	中空/	カ目注	しがみ亜	
			ŀ		・美を継続または! :的見直しの検討		多 事業		が改善統合	1 使	経証が必要		U	事業規模			しか必要 薬 への転	
最終		最終評価	ŀ	- FAUMA		,	175.11		196		4.1G , 1 ,			-A-11	क्य	, こ ' み ヨ	- A -V/+A	
評		Λ	Ī	説	harte 4 스로	-4-> 1	市 25 -	+ ** +	W *# -1	اید								
価		\Box A		明	欠評価を念頭(こさらに	事務∙፟	事業を	推進さ	れた	こしり							

令和	口 7 年	8 .	月 15 1	日 作成		ŧ	旦当	課				生	涯学習	係			
事	務事業名	青年	教育費														
	基本方向	04	学び合い	、たくましい人	を育てる(教育・文	(化))	施策	⊐ — I				3323	321311		
施策	項 目	38	社会教育	、青少年の育成	<u> </u>				法		;	去令		条	例	そ	の他
の体	財務名称		青年教育	費					根拠	等				1			
系										施	O lī	直営		委	託	そ	の他
	- 李 子吕/	・土畑の	一丁歩お知	ご会及び実行委	旦△(一上告	テナ・知る合	1 +	四の出 夕		法	4 -(.)) (r.A.,					
事業	*教目安貝2	子土准ツ	一十級とか	□云及∪天11女	貝云(二丁兩	など仇り云、) 土:	惟の収八分	やリノ 刑]†±	E) E A -	刀刀又(。	E//J =					
概要																	
	(1)対象(計	きを、何を	<u>対象として</u>	(いるのか)			Т	(3) 手段(どのよう	な手法	、手	順で行	っている	のか))		
	•R6年度に	二十歳を	迎える福島	片町出身者				(1)二十歳									
事								(2)成人祭 する、「加冠						成する	5実行	委員会か	注催
業の																	
目				(にしたいのか)													
的	・社会人の目	覚を促	」、節目を意	意識付けさせる重	要な事業。												
	(1) 町関与(り根拠(甲	Tが行う必要	がある事業か)	計	2 5											
				かれている事業。	н	- "	、 点	6)産業	έ振雕及7	7ド州城)	壬性化	のため	に重要な	車業			1点
				が (で、当然の責利	改し!	点		で理・運					· · · · ·			
	(用力が	テうべき事					-										
				維持・安定のために			点	(説明) 関- ・行政として								<u></u>	事業と
1				取り組みなど、戦略 るが、サービスの確		A BT	灬	して必要で				- , -	,,,,,,,	.,.	,		. ,,,,
必	が先導	補完する	事業。				点										
要性	(2) 社会情勢			変化等 環境の変化によって	サービス内容	1 点	T	※注令	(等で宝)	布内容	>毛汁	筌が定	められて	町の	創音工	夫が入る	全
-		められてい		(元・ノ及)山によりで	. /	1	点		い。(点数			-4.%.VC		, -1 0>	石7心工		
				など、町民ニーズカ			点										
	U + ///		・固定化を避 できている。	けるため、種々の改	(書を行い、事)	業の効 1	点	•町出身の ⁻	青年のク	父流の	場とし	ての各	と割を担	ってい	い る。		
	○ ④限られ	1た財源の	中にあって	も、実施の緊急性、	優先性は高い	1	点										
	(1) 成果・†	協働に対	する事業の	の有効性	計	2 4	Į.										
2	①施策	を達成する	るうえで、当該	亥事業の貢献度は高	· 高い。	1	点	(説明)有	効性に関	し、内	容を	具体的	こ記入し	ます。	,		
有	〇 ②事業	の継続に。	より、成果目標	票(事業の意図)の[句上が期待でき	きる。 1		伝統儀式は、町内在									
効 性	〇 ③類似	した事業と	の統合や連	携を図る余地はない	,) 0	1		用されてい		,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,		12/242 1	> 13 1 -	- / (-> ///	.0 (11%	3(2)
	④町民	参加と自治	台意識の向上	上が図られている。		1	点										
	(1)達成度(D測定			計	-1 点	į										
	区分	`		指標(算式	t)	単	位	R 4 実績	績	F	5 実絹	責	R	6実績	į	R 6 当	刃計画
	V =1 +1-1=		指標①	二十歳を祝う会出		-		19人/5	5人	19	人/36	入	11,	人/33	人	25人/	′33人
	活動指標 ※具体的な活	動の内	(算式)	(出席率75%を指			-										
3	容		指標② (算式)	成人祭出席者/デー(出席率50%を指			-	12人/5	5人	19	人/36	人	7)	(/33)	人	17人/	'33人
			指標①	二十歳を祝う会出		5 9	6										
達成	成果指標		(算式)	(実績/活動指標)				46%			70%			44%		70	1%
度	※どれだけの れたか	成果が現	指標②	成人祭出席者数法	幸成率	9	6										
			(算式)	(実績/活動指標)	/出席率50%	,		44%			106%			41%		50)%
	①期待	した通りの	成果があった	た。(達成度80%以	上)	1	点	(説明) 成	果・効果	や達成	度に	関し、I	内容を具	体的	こ記入	します。	
	②概ね	期待した追	通りの成果が	あった。(50%以上:	80%未満)	0	ᄴ	・式典等がない状況下						ている	るが、均	九元在住	者が少
	〇 ③成果	が少なく今	後も向上する	る見込みがない。(50%未満)	-1		・年度によっ									

展		(1) 事	事業費の推移	;		計	0	点							
1		Z	☑ 分	単位	R4決算額	R5決算額	R6決算	額	R6事業費の	内訳及び金額		単位コスト	0	一般財源額	Ą
第一個			事 業 費	千円	240	235		209	(金額の上	位2費用他)		達成度を下げす	で低下	させた	1点
地方 (4 平月 10 11 12 12 13 14 13 14 14 15 15 15 15 15 15		(;	国・道費	千円					区 分	金 額	0		る理由を	明確かつ具体的	0点
### 1	4		地方債	千円					負担金・補助及び交付	付金 1	10				-1点
20			その他	千円					報償費						
1)			240	235		209			説明	明 事業費はおおむれ	はばい	で推移している。	0
□ の		(2) =					3	1	(説明) 手法	 の効率化に関し	. 内2	 	. l.≢đ		
お供いませんかという。 お供いませんが、					より、経済性を考慮										ごが、
図の場外が無になっている。						光孝 /アサーフル	ビュ港口庁		毎年継続して	[伝統行事を]	『施し	ている。			
項目別点数に		0				金石に刈りるリー	ころ個足及	1点							
項目別点数を 項目 点数 1 の要性 3 5 7 7 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1		0				対象範囲を変えずり	こ事業費を	1点							
項目 点数			円成りる赤地	は主べる	r v .º										
項目別点数による評価開展	項				項目別点	数表			_ 低	必	更性+	·有効性	高	_	
点数 よる評価結果	目				Iį	頁目 点数			0	1 2 3	4	5 6 7	8~		
A 現状にて事業を継続または拡充					1 1%	亜州 2				С		A		達 5 成	
日本	数	ı	かる計画相末	`			5 I _							度 2	
3 遠成度 1 2 日 日 日 日 日 日 日 日 日			Α		2 有	効性 2						0		2 対	
### ### #############################	る			J	3 達						-			果	
担当課評価					4 効		2			D		В		-1 性	
A 現状にて事業を観練または拡充	ІЩ				. ///	* T								2低	
A 現状にて事業を観練または拡充			+0 小 == == /=												
A 現状にて事業を継続または拡充		ſ	担当床計価	a l	\	·田 + + +	#+p V/=m I.		14世年1. の間	5年ナムは巛/	. Ab +B J	ヒムミ語体レナナ			
A 現状にて事業を継続または拡充 ○ 埋火のまだ・事業を継続または拡充 ○ 埋火のまだ・事業を継続または拡充 ○ 埋火のまだ・事業を継続または拡充 □ 事業の進め方の改善により継続 □ 事業の強め方の改善により継続 □ 事業の事務化、効率の高足による改善 □ 世民参加等の推進による改善 □ 本業内等の一部見直しによる改善 □ 本業内等の一部見直しによる改善 □ 本業規模・内容等の見直しの検討 □ お皮・事業内容の見直しを検討 □ と変性等を再検証と事業規域、計画等の見直とを検討 □ お皮・事業の基本の見直しを検討 □ 大学師 (担急護評価) □ 本業の技本的見直しを検討 □ 本業の技本的見直しを検討 □ 本業の技本的見直しを検討 □ 上 「			l A l					L'C.	他他束との関1	糸寺を宮め総合	的倪息	まから評価します	0		
□ 現状のままで事業を継続 ■ 事業の進め方の改善により継続 事業の進め方の改善により継続 事業の進め方の改善により継続 事業の直応に、なの改善 事業とはの見直にによる改善 中民の動薬的、効率的上による改善 本変内容の一部見直にによる改善 本変内容の一部見直にとな改善 本変内容の一部見直にとな改善 本変内容の一部見直にとな改善 本変内容の一部見直にとな改善 本変内容の一部の立見直と検討 が表範囲の見直し、受益者負担の見直し・導入を検討 が要を強力の表し、受益者負担の見直し・導入を検討 が表範囲の見直し、要なを検討 が表範囲の見直し、要なを検討 が表をいる。 「大の他 事業の技事的見直とを検討 が、事業を促生の可能性や廃止することによる影響 「大の他 本事を発生の可能性や廃止することによる影響 「大の理解・担当課料値)の内容や考え方を具体的に記入します。 ・地元在住者が少ない状況下で、参加者が主体となった実行委員会は協議運営による式典等が厳粛に行われている。 「大の妻員会辞師」 「大の妻員会辞師」 「大の妻員会辞師」 「大の妻員会辞師」 「大の妻」会はに日経調整を行うなど、参加対象者が少しても参加しやすい方法を検討する。・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・			, ,	<u> </u>	※評価は、	次のA~Dにより	ります。								
□ 現状のままで事業を継続 ■ 事業の進め方の改善により継続 事業の進め方の改善により継続 事業の進め方の改善により継続 事業の直応に、なの改善 事業とはの見直にによる改善 中民の動薬的、効率的上による改善 本変内容の一部見直にによる改善 本変内容の一部見直にとな改善 本変内容の一部見直にとな改善 本変内容の一部見直にとな改善 本変内容の一部見直にとな改善 本変内容の一部の立見直と検討 が表範囲の見直し、受益者負担の見直し・導入を検討 が要を強力の表し、受益者負担の見直し・導入を検討 が表範囲の見直し、要なを検討 が表範囲の見直し、要なを検討 が表をいる。 「大の他 事業の技事的見直とを検討 が、事業を促生の可能性や廃止することによる影響 「大の他 本事を発生の可能性や廃止することによる影響 「大の理解・担当課料値)の内容や考え方を具体的に記入します。 ・地元在住者が少ない状況下で、参加者が主体となった実行委員会は協議運営による式典等が厳粛に行われている。 「大の妻員会辞師」 「大の妻員会辞師」 「大の妻員会辞師」 「大の妻員会辞師」 「大の妻」会はに日経調整を行うなど、参加対象者が少しても参加しやすい方法を検討する。・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・															
田 事業の進め方の改善により継続 事業の協家化、効率化による改善 事業が容の一部見直による改善 事業が容の一部見直による改善 事業規模・内容等の見直しの検討 別で、事業規模・内容等の見直しの検討 本変の協変化、効率の見直しの検討 対象範囲の見直し、受益者負担の見直し・導入を検討 を受性等を再検証し事業規模・計画等の見直しを検討 を受性等を再検証し事業規模・計画等の見直しを検討 を受性等を再検証し事業規模・計画等の見直しを検討 原止 ※事業確止の可能性や廃止することによる影響 → 廃止可能 ※事業確止の可能性や廃止することによる影響 → 廃止可能 ※事業確止の可能性や廃止することによる影響 → 廃止可能 ※申載による式典等が厳粛に行われている。 「地元在住者が少ない状況下で、参加者が主体となった実行委員・・成人祭、二十歳を祝う会とに、日程調整を行うなど、参加対象者が少しても参加しやすい方法を検討する。・二十歳を祝う会の式典内容について更なる充実を図る。 「中内委員会 評価 「中内委員会 評価 「中内委員会 」 「中内委員会 「中華の技術的見直しの検討・中)原止 「競合 「編小 」 「東京															
本業の簡素化、効率化による改善 執行体制の見直し(外部委託等)による改善 本業の簡素化、効率化による改善 生民参加等の推進による改善 生民参加等の推進による改善 生民参加等の推進による改善 生の他効果的・効率的手法の検討による改善 生の他効果的・効率的手法の検討による改善 生の他効果的・効率的手法の検討による改善 生の他効果的・効率的手法の検討による改善 生の他効果的・効率的手法の検討による改善 大多範囲の見直しを検討 対象範囲の見直し、受益者負担の見直し・導入を検討 世の事業、類似事業への統合・転換を検討 中間側面の延伸、事業費平準化等を検討 生の他 本書を検討 をの他 本籍 新たな事業への転換 本事業の進本の見直しを検討 産止 接合 施小 本籍 またまま。 ・地元在住者が少ない状況下で、参加者が主体となった実行委員 ・成人祭、二十歳を祝う会ともに日程調整を行うなど、参加対象者が少しでも参加しやすい方法を検討する。 ・二十歳を祝う会の式典内容について更なる充実を図る。 ・二十歳を祝う会の式典内容について更なる充実を図る。 ・二十歳を祝う会の式典内容について更なる充実を図る。					**				事業を拉	充して継続					
中業子法の見直しによる改善		В							+1 t= 11 t	u - 	~				
事業内容の一部見直しによる改善	-											()による改善			
□ 日本業規模・内容等の見直しの検討)次 評											ショナリアトスコケギ			
制度・事業内容の全面的な見直しを検討 対象範囲の見直し、受益者負担の見直し・薄入を検討 必要性等を再検証し事業規模、計画等の見直しを検討 他の事業、類似事業への統合・転換を検討 その他 予業の抜本的見直しを検討 産止 総合 縮小 凍結 新たな事業への転換 ※事業廃止の可能性や廃止することによる影響 中変の改善策等を具体的に記入します。		_				'			ての一直外	1*11.30+114	120019	にいてその文章			
世界	担								対象統田	目の目直し 受力	: 去台北	日の目直1・道入を	給計		
計画期間の延伸、事業費平準化等を検討	当											7-7	12/11		
回 事業の抜本的見直しを検討	詳評										700 [IAIX CIXIII			
廃止 総合 総合 凍結 新たな事業への転換 ※事業廃止の可能性や廃止することによる影響 → 廃止可能 条件が整えば廃止検討可能 廃止は困難 その他 一次評価 (担当課評価) の内容や考え方を具体的に記入します。 ・地元在住者が少ない状況下で、参加者が主体となった実行委員会組織運営による式典等が厳粛に行われている。 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・		D							3 1,2						
※事業廃止の可能性や廃止することによる影響						縮	小		凍結		新た	とな事業への転換			
一次評価 (担当課評価) の内容や考え方を具体的に記入します。 今後の改善策等を具体的に記入します。 ・地元在住者が少ない状況下で、参加者が主体となった実行委員会組織運営による式典等が厳粛に行われている。 ・元十歳を祝う会ともに日程調整を行うなど、参加対象者が少しでも参加しやすい方法を検討する。 ・元十歳を祝う会の式典内容について更なる充実を図る。 ・元十歳を祝う会の式典内容について要なる充実を図る。 ・本語 新たな事業への転換 ・次・二次評価を念頭にさらに事務・事業を推進されたい				能性や			,	可能	ķ	************************************			難	その他	
説 会組織運営による式典等が厳粛に行われている。							 己入します。		今後の改善策	等を具体的に記	記入しる	ます。		ı	
- 二十歳を祝う会の式典内容について更なる充実を図る。 - 二 次評価							いた実行	委員	,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,				ど、参	加対象者が	少し
田		説	会組織連宮(こよる	式典等が厳粛に	行われている。						-	を図る	_	
一次評価 D 事業の抜本的見直しの検討 → 廃止 統合 縮小 凍結 新たな事業への転換 説明 一次評価の内容により事業推進のこと。 最終評価 A 現状にて事業を継続または拡充 B 事業の進め方の改善・検討が必要 C 事業規模、内容の見直しが必要 D 事業の抜本的見直しの検討 → 廃止 統合 縮小 凍結 新たな事業への転換 説の次・二次評価を念頭にさらに事務・事業を推進されたい		明								,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,	_ `	1,20.0,2,		0	
一次評価 D 事業の抜本的見直しの検討 → 廃止 統合 縮小 凍結 新たな事業への転換 説明 一次評価の内容により事業推進のこと。 最終評価 A 現状にて事業を継続または拡充 B 事業の進め方の改善・検討が必要 C 事業規模、内容の見直しが必要 D 事業の抜本的見直しの検討 → 廃止 統合 縮小 凍結 新たな事業への転換 説の次・二次評価を念頭にさらに事務・事業を推進されたい															
一次評価 D 事業の抜本的見直しの検討 → 廃止 統合 縮小 凍結 新たな事業への転換 説明 一次評価の内容により事業推進のこと。 最終評価 A 現状にて事業を継続または拡充 B 事業の進め方の改善・検討が必要 C 事業規模、内容の見直しが必要 D 事業の抜本的見直しの検討 → 廃止 統合 縮小 凍結 新たな事業への転換 説の次・二次評価を念頭にさらに事務・事業を推進されたい															
二次評価 A 説 一次評価の内容により事業推進のこと。 日 日 A 現状にて事業を継続または拡充 B 事業の進め方の改善・検討が必要 C 事業規模、内容の見直しが必要 D 事業の抜本的見直しの検討 中 原止 統合 縮小 凍結 新たな事業への転換 新たな事業への転換 説 一次・二次評価を念頭にさらに事務・事業を推進されたい					A 現状にて事	業を継続または	広充 B	事業	の進め方の改善	・検討が必要	С	事業規模、内容	容の見直	直しが必要	
A 説 田 一次評価の内容により事業推進のこと。 A 現状にて事業を継続または拡充 B 事業の進め方の改善・検討が必要 C 事業規模、内容の見直しが必要 D 事業の抜本的見直しの検討 ⇒ 廃止 統合 縮小 凍結 新たな事業への転換 説 一次・二次評価を念頭にさらに事務・事業を推進されたい	_				D 事業の抜本	的見直しの検討	⇒	廃止	統合	縮小		凍結	新たな	事業への転換	
 価	次	_	評 価 ———	_ [<u></u>					
明						の内容により事業	と推進のこ	٢							
 最終評価 経済 (本) (本)<td>Щ</td><td></td><td></td><td></td><td></td><td>いい コロリーのソギラ</td><td>┌ 1圧/圧りし</td><td>_ 0</td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td>	Щ					いい コロリーのソギラ	┌ 1圧/圧 りし	_ 0							
 最終評価 経済 (本) (本)<td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td>,</td><td></td><td></td><td></td><td>,</td><td></td><td></td><td></td><td></td>							,				,				
最											С				
評			最終評価		D 事業の抜本	的見直しの検討	\Rightarrow	廃止	統合	縮小		凍結	新たな	事業への転担	奥
価 ▲ 次・二次評価を念頭にさらに事務・事業を推進されたい	終	Г		, l	説										
			A		一次・二次	欠評価を念頭に	こさらに事	■務•	事業を推進さ	されたい					
		L		ן ע	明										

令和		7 年	8 J	月 15 €	日 作成		担	当課			生	涯学習係	
事	務事	業名	少年	教育費			=						
	基本	本方向	04	学び合い	、たくましい人	を育てる(教育・文化	上)	施策	コード		33232131	2
施策	項	目	38	社会教育	、青少年の育成	ţ			法	H J	法 令	条 例	○ その他
の	財	務名称		少年教育	費				根拠	等社	t会教育:	长等	
体 系										施〇	直営	委 託	その他
									方	法			
事業概要	小「	中高生を	対象とし	た青少年の	の主張大会、少年	年対象各種講	季座(プログラ	ラミング	講座など)ほた),			
	(1) 対	付象 (誰	を、何を	対象として	いるのか)			(3)手	段(どのよう	が手法、	手順で行っ	(ているのか)	
事業の	(2))少年対	象講座	児童及び				中であ	っるべき姿にく け、青少年のf	ついて感じ 健全育成・	たことを言	高校生が、日常で 主張大会で発表し の理解を深める。 など)の開催。	
目的				とうな状態 を目指した	にしたいのか) 車業			1					
		<i>></i> •>	-L H ///	E H JB 07C	* ***********************************								
	(1)⊞	订関与の	根拠(町	「が行う必要	がある事業か)	計	2 点						
		①法令等	い 実施な	ぶ義務付けら	れている事業。		1点	0	⑥産業振興及	び地域活性	化のために	工重要な事業	1点
			環境の確保		活に直結した事業	で、当然の責務	^{務とし} 1点	;	※内部管理·運	営等の事業	、 (点数效	象外)	
					 維持・安定のため!	こ不可欠な事業	纟。 1点	(説明		心に関し、	内容を具体	 がいに記入します。	
	0				取り組みなど、戦略		1点	·行政	として青少年の			る、学習環境を整備	するための事業が
1	\vdash				るが、サービスの確		A PT	少安で	ある。				
必	/a> /	が先導・	補完する	事業。									
要性				ニーズの すこや社会環	変化等 境の変化によって		2 点	1 1:	※法会等で宝力	協内 宏や手	法筌が定る	うられて、町の創意	T 未が入ろ全
'-	0	充が求め					1点		地はない。(点		12 (1 10 AL **	> > 10 C(. 1 +> 10 110: -	_
					など、町民ニーズカ							記入します。	
	0			固定化を避 きている。	けるため、種々の改	女善を行い、事 身	業の効 1点				,	E張する大切な機 ・年の健全育成に	会である。 必要不可欠であ
		④限られ	た財源の	中にあって	ら、実施の緊急性、	優先性は高い。	. 1点	る。 ・学校	開放事業は	希望があっ	た場合者	『度対応することと	:する。
	(1) <u>F</u>	成果・協	働に対	する事業の	D有効性	計	2 点						
2		①施策を	達成する	うえで、当該	(事業の貢献度は高	高い。	1点	(説明	有効性に関	し、内容	を具体的に	記入します。	
有	0	②事業の	継続によ	り、成果目標	票(事業の意図)の[向上が期待でき	きる。 1点		年の主張大	会は、学校	で教諭の指	4導や助言を得て	弁論の力を身に
効性		③類似し	た事業と	の統合や連	携を図る余地はない	/ \` ₀	1点	1	00				
	0	④町民参	≩加と自治	お意識の向上	:が図られている。		1点						
	(1) 遺	達成度の	測定			計	1 点	=					
		区分			指標(算式	t)	単位	: R	84実績	R53	尾績	R6実績	R 6 当初計画
	ナギ	11- 1 2-		指標①	青少年の主張大会			6)	、46人	7人・	54人	8人・49人	10人・50人
	※具	指標 体的な活	動の内	(算式)	聴衆50人を指標と	ニする						•	
3	容			指標② (算式)				1					
				指標①	50人を100%とした	た場合の聴衆率	<u> </u>	 					
達成	成果	指標		(算式)	実数/50人		73	1	92%	108	3%	98%	100%
度	※どれ れたカ	れだけのF か	成果が現	指標②									1
				(算式)				1					
	0	①期待し	た通りの	成果があった	上。(達成度80%以	上)	1点	(説明])成果・効果	見や達成度	に関し、内	日容を具体的に記 <i>入</i>	します。
		②概ね其	月待した 通	りの成果がる	あった。(50%以上:	80%未満)	0点		手の主張大会を のに学校開始。				実績を踏まえ、今後
		③成果が	ぶ少なく今	後も向上する	 る見込みがない。({	50%未満)	-1点	も利用	の見込みがない	#来で指標 いと判断し、	削除した。	ン(マ゙イにルザ、延平のシ	大順で晒まん、写像

	(1) 🛚	事業費の推移			計	1	点									
	[2	区 分	単位	R4決算額	R5決算額	R6決算	算額	R6事	業費の内	訳及びst	金額		単位コスト	0	一般財源額	Į
		事 業 費	千円	2, 220	2, 289		2, 222	(金額	額の上位	2 費用	也)	0	達成度を下げ	ずに低下	させた	1点
	対	国・道費	千円					区	分	金	額		変わりない・上昇し 説明できる	ている理由を明	用確かつ具体的に	0点
4	源	地方債	千円					委詞	モ料		2, 200		上昇している)		-1点
☆ Ь	内訳	その他	千円					報代	賞費		22	-v				
効 果)	一般財源	千円	2, 220	2, 289		2, 222					記明	事業費はおお	むね横はい	で推移している。	
性	(2) =	<u>-</u> 手法の効率化			計	2	点	(説明)	手法の変	効率化に	関し、	内容	を具体的に言	己入します		
	0				して事業費を削減	できる余地	1点	- + //				、出来	そる限り経費	を縮減し	て、コスト面に	こ考
	0	がないほどのオ ②現在の手法			益者に対するサー	ビス満足度	1点		対応がな	2717	いる。					
		の高い水準に			対象範囲を変えずに	・車業弗た										
		削減する余地は			可多配四で交んすい	ニザ木貝で	1点									
項目				項目別点		\neg			低 0 1	1 2	<u>必要1</u>	生十年 4	す効性 │ 5 │ 6 │	<u>高</u> 7 8~	一高	
別		項目別点数に	_	1	頁目 点数	_									達	
点数		よる評価結果	Į	1 必	要性 4 6				С	,			0	A	5 成 度	
に		Ι Λ		2 有	効性 2	´ [+	
よる				3 達	成度 1	7		,							1 効果	
評					4	1								В	1 性	
価				4 🔀	果性 3										-2 低	
<u> </u>		担当課評価														
		担当旅計111	1	※上記の結	果を参考に、事業	単担 当 課 と	1.7	他施策と	の関係等	生を会∦	総合的	祖占:	から評価しま	₹.		
		A			次のA~Dにより		00.	EEERC	. V) (A) (A) 4	7 C D V.	7 NO 11 H	יייייייייייייייייייייייייייייייייייייי	がら 計画 C 9	. 7 0		
				次計画16、	WA DICK	7670										
	Α	現状にて事業	能を総	<u>└</u> 送続または拡充												
		現状のままで事						事	業を拡充	して継続	ŧ					
	В	事業の進めフ	ちのさ	(善により継続												
		事業の簡素化	、効率	化による改善				執	行体制の	見直し(外部委	託等)	による改善			
次		事業手法の見	直しに	よる改善				住	民参加等	の推進	による改	善				
評価		事業内容の一	部見直	しによる改善				そ	の他効果	:的•効率	的手法	の検討	付による改善			
	С	1		の見直しの検討												
担当				面的な見直しを検討	*								の見直し・導入	を検討		
課				事業規模、計画等 業費平準化等を検					の事業、3 の他	類似爭身	色~(0)前	で合・転	:換を検討			
評価	D	事業の抜本的			L)			-C	グロビ							
$\overline{}$		廃止	1961	統合	縮	小		凍	 結			新たた	な事業への転			
	※ I	T	能性	 や廃止することに			可能	ļ	件が整え	ば廃止		J	廃止に		その他	
		1			え方を具体的に記	 !入します。	·		大善策等						I	
		/			表することにより								童数が年々 を	咸少してい	いるが、弁論	の力
	説	につけている	少年	の王張大会は、	今後も継続する必	公安かめ む	0		5上で重 9学習ニ				ハる。 魅力ある学習	機会の打	是供を推進	する
	明							必要が	ある。							
						-										
					業を継続または排		T	の進め方				С	事業規模、	1.		
=		庁内委員会 		D 事業の抜本	的見直しの検討	⇒	廃止		統合	糸	宿小		凍結	新たな	事業への転換	9
次評		評 価	1	=H												
一価		Δ		説 一次評価(の内容により事業	集推進のこ	٤.									
		_ ′ `		明												
_				A 担体にマキ	**************************************	_{t + -}	古业	の半ょ士	のみぎ	t☆=↓ ↓°	心亜	_	車業担性	中央の日	51 48.27 ==	
_					業を継続または排 		事業(の進め方	の改善・統合		必要 宿小	C	事業規模、	1.	亘しが必要 事業への転担	
最終		最終評価		- -			ست نادر		ם פעוי	I I''		<u> </u>	-ZD-TH	ישו וכים		
評		Λ		説 一次・一)	欠評価を念頭に	ーナムニョ	[終₌]	直業たが	έ准さか	<i>†-</i> 1\						
一価					八叶岬で必頭い	ここのに言	- 1 カ * =	ҥѫҼӀӀ	こだこれ	,,_u,						

令和		7 年	8 J	∄ 15	日 作成			担当	当課				生	涯学習係				
事	務事	業名	芸術	・文化費			•			•								
	基本	卜 方向	04	学び合い	、たくましい人	を育てる	(教育・)	文化	;)		施策コー	- ド		3323	23313			
施策	項	目	40	芸術文化	、文化財						法的	0	法 令	条	例	0	そのイ	他
の	財務	务名称		芸術・文	化費						根拠等	社	会教育法	法等				
体系											実施	0	直 営	委	託		そのイ	他
"											方 法							
事業概要	•芸術	所鑑賞事	業、文化	之 団体組織	育成事業													
	(1) 対	対象 (誰:	を、何を	対象として	こいるのか)				(3)手	段(と	のような	=法、=	手順で行っ	ているのか)				
事業の目的	·幼児 (2)意	1. 小学生 1. 小学生 1. 小学生 1. 小学生	生(芸術 象をどの	鑑賞) ブ oような状態	文化団体協議会 まにしたいのか) 日体加盟組織の活				鑑行【○ 日本	等の開 いる。 (6年は) (6年は) (16年は) (17年) (17e) (催や、町民 実施事業 鑑賞会いさ 課鑑賞 団風の子非	文化 り火 福 海道	奈を主催 [*] 語島YOSA	監賞(小学生) する文化団体 「KOIソーラン	本協議			
											5鑑賞事業 式会社 笑			(本本)				
	(1)田	丁関与の	根拠(町	「が行う必要	がある事業か)	計	2	—— 点	Шів	1/1/1	XXII. X	<i>У</i> эш (7	V) /(U)	/ 目 未 /				
		①法令等	で実施な	ぶ義務付けら	っれている事業。			1点	0	6産業	振興及び地	域活性	化のために	工重要な事業				1点
		②生活環	境の確保	呆等、町民生	三活に直結した事業	で、当然の責	務とし	1点		.v. d→ →π./	100 THE 100 AND A	· 小中*	6 () = \frac{1}{2} \frac{1}{2} \frac{1}{2}	LÆ (1)				
		て町が行	うべき事	業。				一只	,	※[刊部]	管理•運営等	が手弟	そ。(家外)				
		③社会的	J·経済的	弱者の生活	維持・安定のため	に不可欠な事業	業。	1点	1,000					的に記入しる				
1	0	④町の特性や魅力を生かした取り組みなど、戦略的な事業。⑤民間等による実施が望まれるが、サービスの確保が困難なたと									に対する語 織の育成語			提供や、町屋	民文化	祭を3	主催す	つる
		⑤民間等 が先導・神		め、町	1点													
必要	(2) 社	t会情勢	1	点														
性		①国の制 充が求め			環境の変化によって	、サービス内容	容の拡	1点			等で実施内		法等が定め	られて、町の	創意工	夫が入	る余	_
					など、町民ニーズカ	が高まっている	lo.	1点				*** * * *	・ 具体的に					
					けるため、種々のご	* *	業の効							ざまな事業の		生が高	iまって	てい
	0	_		きている。				1点	る。									
		④限られ	た財源の	中にあって	も、実施の緊急性、	優先性は高い	,°	1点										
	(1) 瓦	は果・協	働に対	する事業の	の有効性	計	2	点										
2		①施策を	達成する	うえで、当ま	亥事業の貢献度は	高い。		1点	(説明	1)有效	性に関し、	内容	を具体的に	記入します。	,			
有	0	②事業の	継続によ	り、成果目	標(事業の意図)の	向上が期待で	きる。	1点						化面の醸成 い連携が図				2 11 11
効性		③類似し	た事業と	の統合や連	携を図る余地はな	い。		1点	されて		加成云川血	.v / т <u>п</u> т)	/ //٧-	かり生物が区	1940	, 1口 3	9) // TX	נולן
	0	④町民参	加と自治	お意識の向上	上が図られている。			1点										
	(1) 這	産成度の	測定			計	1	—— 点										
		区分			指標(算式	t)	当	单位	R	R4実績	į	R 5 身		R6実績	Ī	R 6	当初計	一画
				指標①	町民文化祭入場	者数		人		cco I		700	ı	000 1		-	001	
	活動指標 ※具体的な活動の内	*AH	(算式)	計画=人口×30	%				663人		790	^	928人		1,	001人		
3	容			指標②														
				(算式)														
達成	+=	+6.4需		指標①	入場者数達成率			%		61%		75	%	93%			100%	
度		れだけの原	大果が現	(算式)	実績/人口×0.3	3												
	れたた),		指標② (算式)														
	0	①期待1	た通りの		 た。(達成度80%以	. F.)		1点	(詳田	1) 成里	・効果や	を成度!	こ関1. 広	容を具体的	こ記 入口	/ます		
											の入場者類						-	
		②概ね期待した通りの成果があった。(50%以上80%未満) ③成果が少なく今後も向上する見込みがない。(50%未満)																

	(1) =	事業費の推移			計		1 点	į								
	[2	☑ 分	単位	R 4 決算額	R5決算額	R	6決算額	T	R6事業費の内	記乃八全苑		単位コ	スト	0	一般財源	原額
		事業費	千円	78	1 60	0	59	96	(金額の上位		0	達成度	を下げずり	こ低下さ	けた	1点
		国・道費	千円		1 00			+	区分	金額	╁	変わりない	・・上昇している	,_, ,		
	財源							+				説明できる				-
4	源内	地方债	千円					1	報償費	47	-	上昇し	(1/2)			-1点
効	訳)	その他	千円					1	使用料及び賃借料	11		事業費は	はおおむね柞	黄ばいで	推移してい	いる。
果性		一般財源	千円	78	1 60	0	59	_								
1	(2) =	手法の効率化			計		2 点		(説明)手法の対							
	0	①業務等の見がないほどのオ			慮して事業費を削	咸できる	5余地 1		児童の芸術鑑賞 いる。	賞事業は、近	隣4町	の連携	によって	コスト轁	経減が区	られて
		②現在の手法	は効率	的な事務執行と	受益者に対するサ	ービス派	満足度 1	点 点	<i>"</i> ∂₀							
		の高い水準に			対象範囲を変えす	『に事業	を連す、									
	0	削減する余地の	は全くな	:V),	// 3/40 <u>E</u> EE 2/6 /	1-3.7	1	点								
項				項目別点					低 0 1		性十二	<u>有効性</u> │ 5 │	6 7	高 8~	7	高
目別		項目別点数に	-		項目点数	攵										
点		よる評価結果		ي 1	必要性 3				—-с	,		0	A		5 4	達 戓
数に			1	2 -	有効性 2	5		_/							3	芰 十
ょ		A						7/			+				1 3	効
る 評				3	達成度 1	4			В				В		ار ا	果 生
価				4 3	効率性 3						+				'	氐
				<u> </u>					<u> </u>			1				-3
	A O	担当課評価 A 現状にて事業 現状のままで事		※評価は	結果を参考に、事 、次のA~Dによ			、他	也施策との関係等 事業を拡充		的視点	から評値	西します。			
	В	事業の進めて	ちの改	善により継続	Ē											
		事業の簡素化	、効率化	とによる改善					執行体制の	見直し(外部	委託等)	による改	善			
次		事業手法の見	直しによ	よる改善					住民参加等	の推進による	改善					
評価		事業内容の一	部見直	しによる改善					その他効果	的·効率的手	生の検	討による	改善			
~	С	事業規模・内	内容等	の見直しの検	討											
担当		制度·事業内容	マの全面 かんりゅう アイア アイア アイア アイア アイア アイア アイア アイア アイア アイ	n的な見直しを検	討				対象範囲の	見直し、受益	者負担	の見直し	・導入を検	討		
課		必要性等を再	検証し	事業規模、計画等	等の見直しを検討				他の事業、舞	類似事業への	統合·輔	伝換を検	討			
評価		計画期間の延	伸、事業	業費平準化等を	倹討				その他							
(D	事業の抜本的	勺見直	しを検討				'								
		廃止		統合	á	宿小			凍結		新た	な事業へ	の転換			
	※ I	事業廃止の可	能性や	P廃止すること	による影響 ⇨		廃止可能		条件が整え	ば廃止検討す	能	Į.	廃止は困難	É	そのイ	他
		一次評価(担	当課評	価)の内容やす	ーーー 号え方を具体的に	記入し	.ます。	4	 今後の改善策等る	を具体的に記	入しま	す。				
	説明				数が増加してい 会は、町民文化祭	-	日に開催し		幼児、児童をX や中学生等の生							
		•		A 現状にて	事業を継続または	拡充	B 事	業の	進め方の改善・	検討が必要	С	事業規	模、内容	の見直	しが必要	———— 要
_		庁内委員会	ļ	D 事業の抜	本的見直しの検討	; ⇒	廃.	Ŀ	統合	縮小		凍結	新	たな事	業への	転換
次		評 価	_				1		<u> </u>	'						
評価		Α		説 一次評価明	もの内容により事	業推進	進のこと 。									
				A 現状にて	事業を継続または	拡充	B 事	業の	進め方の改善・	検討が必要	С	事業規	.模、内容	の見直	しが必要	要
最		最終評価		D 事業の抜	本的見直しの検討	⇒	廃.	止	統合	縮小		凍結	新	たな事	業への	転換
終評価		A		説ー次・二明	次評価を念頭	にさら	らに事務	•事	業を推進され	<i>.</i> ナ_い						

令和	和	7 年	8)	∃ 15 [日 作成		担	当課	生涯学	學				
事	務事	業名	友好	町交流事業	 業									
	基	本方向	04	学び合い	、たくましい人を	を育てる(教育	・文化	5)	施策=	コード		33131104	1	
施	項	目	37	幼児教育	、学校教育				法的	η	法 令	条例	○ その他	也
策の	財	務名称		友好町交	 流事業費				根拠等		善友好提	 是携の証」の締結	<u></u>	
体系									 実 が	i 0	直営	委 託	その他	也
773									方法	_				
事					島町)、長崎県松	浦市(旧福島町	丁)と地	也元中学生。	との派遣	量と受入3	を流を行	い、貴重な体験	を通して人	づ
業概	くりす	形成の一	一助とす	る。										
要														
	(1)	対象(誰	を、何を	対象として	こいるのか)			(3)手段(8	どのよう	な手法、手	順で行っ	(ているのか)		
	福	島町内	中学校	生徒及び	小学生							瓦(各市町隔年)		
事								(2) 両市町	「への中	学生徒の	の派遣ダ	₹流(各市町隔年	≡)	
業														
の	(2)	意図(対	象をどの	ような状態	誤にしたいのか)									
的					成を図る。									
	(2)	他地域	の気候・	風土を体	、競し、視野向上	を図る。								
	(1)	町関与の	根拠(町	が行う必要	がある事業か)	計 1	点							
		①法令等	節で実施が	ぶ義務付けら	っれている事業。	•	1点	⑥産業	振興及び	*地域活性	とのために	工重要な事業		1点
					ご活に直結した事業で	で、当然の責務とし	1点	※内部	管理·運	営等の事業	. (点数划			_
			うべき事		W.H	T = 1 . 1. + 216								
		③任会出	月•栓곍的	物者の生活	維持・安定のために	个 引 欠 な 争 業。 	1点					な的に記入します。 是携の証 を締結し	かまいの	,-t
	0				取り組みなど、戦略的		1点	流促進を約					ハね互いの	X
1			による実 補完する		るが、サービスの確保	Rが困難なため、町	1点							
必要	(2)			ニーズの図		計 1	点							
性					環境の変化によって、	サービス内容の拡	1点				去等が定め	られて、町の創意コ	[夫が入る余	_
	_		られてい				-	地はな	い。(点数					
	0				など、町民ニーズが		1点	/= → /→ #				記入します。	는 분 1 to 는 X	26. II.
				固定化を避っ きている。	けるため、種々の改善	雪を付い、 事業の第	1点)中で、昭和63 ⁴ が行われても三		
		④限られ	た財源の	中にあって	も、実施の緊急性、優	憂先性は高い。	1点	必要である			• H DI.		.,. , , , , , , , , , , , , , , , , , ,	.,
								=						
	(1)	世 . 松	価ルーが	する事業の	カ右効性	計 2	点	ļ						
2	. , ,	1					+	(=V==) ±-1						
	0				核事業の貢献度は高		1点	(1.64)=1				記入します。	フーナム 立い	<i>-</i> -
有効	0	②事業の	継続によ	り、成果目標	票(事業の意図)の向	上が期待できる。	1点					【候風土に接する とともに、同世代		
性		③類似し	た事業と	の統合や連	携を図る余地はない	0	1点	る貴重な体	体験や平			人間形成に寄		
		④町民参	*加と自治	意識の向上	上が図られている。		1点	有効性を持	守つ。					
	(1)	達成度の	測定			計 1	点							
		区分			指標(算式)	単位	R 4 実糸	責	R5実	績	R6実績	R 6 当初計	画
				指標①	中学生派遣人数		人	4人		5人		7人	6人	
		指標 体的な活	動の内	(算式)	毎年6人			170			,		0,7	
	容	11.H J.Q./口;	J ~ > F 3	指標②	中学生受入人数		人	3人		8人		8人	8人	
3				(算式)	毎年8人			0,7						
達				指標①	派遣人数の達成率		%	66%		83%	5	117%	100%	
		!指標 れだけのF	成果が現	(算式)	実績/活動指標		1,0	33,0						
戊	れた			指標②	中学生受入人数の	達成率	%	37%		1009	_%	100%	100%	
	<u> </u>			(算式)	実数/活動指標		, ,	5.70		100		==-/*		
	0	①期待し	た通りの	成果があった	た。(達成度80%以上	:)	1点					容を具体的に記入		
		②概ね其	 待した通	りの成果が	あった。(50%以上80)%未満)	0点	・松浦市へ	、7名派	遣、木曽	町から8	名受入を行った	-0	
		③成果か	ジ少なく今	後も向上する	る見込みがない。(50)%未満)	-1点	1						

	(1) }	事業費の推移	;			計	0	点										
	[区 分	単位	R4	決算額	R5決算額	R6:	決算額	R	6事業費の内	内訳及	び金額	0	単位コ	スト	-	·般財源額	頁
		事 業 費	千円		853	842		1, 21	1	(金額の上位						で低下させ		1点
	<u> </u>	国・道費	千円						[区 分	金	額	0	変わりない	・・上昇してい	る理由を明確か	つ具体的に	0点
4	財源	地方債	千円						教育問	関係団体等助成金	È	1, 211		上昇し				-1点
	内訳	その他	千円															1
効果)	一般財源	千円		853	842		1, 21					説明	交流生	と増によ	る旅費等	の増	
性	(2)	⊥ 手法の効率化				計	2	点	(説	明)手法の	効率化	とに関し、	内容	を具体的	的に記入	します。		
	0					ンて事業費を削減 [、]	できるタ		•事	業費の大	半を	占めるダ	で通費	と関し	て、で	きるだけ	安価な	運賃
		がないほどのオ				<u> </u>	ビッ法	見座	を影	定するよ								
		の高い水準に			r4分刊(10文1	正石 (こと) りつり		上 1点	i									
	0	③外部委託や 削減する余地/	執行力	i法のI	こ夫により、対	象範囲を変えずに	事業	^{費を} 1点	i									
		111947 0311-01	, s, <u>, , , , , , , , , , , , , , , , , </u>	S. 1														
項					項目別点数	技表				低			生十年	有効性		高		
目					項	[目 点数				0	1	2 3	4	5	6 7	8~	一高	
別点		項目別点数に よる評価結果			1 必	要性 2	7								A		<u></u> 達 成	
数			` 1	-		4			7		Ť		0				隻 度	
によ		ΙA			2 有刻	効性 2	_		$\sqrt{}$				Ŭ				2 分	
る			J		3 達月	成度 1					D				В		 果	
評価					4 効!												-1 性	
Т				L	7 2012	*II 2											-2 低	
		+D 1// ====== /==																
		担当課評価	7															
		Α				果を参考に、事業	-		他施	策との関係	等を含	含め総合的]視点	から評値	曲します	•		
		/ \			※評価は、	欠のA~Dにより	ります。	•										
	Α	現状にて事業	業を維	継続ま ∶	たは拡充													
	0	現状のままで	事業を	継続						事業を拡充	ごして斜	迷続						
	В	事業の進める	方の改	(善に、	より継続													
		事業の簡素化	、効率	化による	る改善					執行体制の	り見直	し(外部委	託等)	による改	(善			
一 次		事業手法の見	直しに	よる改善	善					住民参加等	等の推:	進による改	善					
評		事業内容の一	部見直	こしによ	る改善					その他効果	具的・	加率的手法	の検討	対によるi	改善			
価	С	 事業規模・P	内容等	の見i	直しの検討	†												
担		制度·事業内容	学の全	面的な	見直しを検討					対象範囲の	り見直	し、受益者	負担の	の見直し	導入を	検討		
当課		必要性等を再	検証し	事業規	模、計画等の)見直しを検討				他の事業、	類似事	事業への紛	た合・車	伝換を検	計			
評		計画期間の延	伸、事	業費平	準化等を検討	\				その他								
価	D	事業の抜本的				•				5 1,2								
	Ĕ	廃止	U E		統合	縮り	ıls			凍結			新たっ	な事業へ	の影協			
	. *	^{廃业} 事業廃止の可	"北小	<u></u>				廃止可能		条件が整え	げ成	나檢화하		·,	発出は困	並 作	その他	
	- X-	1			-				△※			541.4	-	<u> </u>	元止『よ四』	大庄	しくノ世	
						L方を具体的に記 永遣、長野県オ				の改善策等 流生徒に					1グラム	の給針も	込み	ぶあ
	説	受入を実施			mini •∨24/	1、10元 10元 10元 10元 10元 10元 10元 10元 10元 10元	·⊟ ⊩1	14 1007	る。	NIII T DE C	ر ي (ハム又	. DIL フ ト	114	~ / 1火日11 //	心女人	. W)
	明																	
							,						1					
						業を継続または拡				か方の改善・	• 検討		С			学の見直し		
_		庁内委員会 ***		D	事業の抜本的	的見直しの検討	\Rightarrow	廃止		統合		縮小		凍結		新たな事業	きへの転換	奂
次		評 価	7															
評価				説	一次証価の)内容により事業	生推准.	のこと										
ΙЩ]	明	火山川川 り	· ・ 1 ロ 1 C の ソ 尹 オ	1E/E	-, - <u>-</u> .										
	L		_				_		_		_							
				Α	現状にて事	業を継続または拡	抗充	B 事業	の進め	か方の改善	・検討	が必要	С	事業規	模、内容	字の見直し	が必要	
最		最終評価		D	事業の抜本的	的見直しの検討	\Rightarrow	廃止		統合		縮小		凍結	}	新たな事業	きへの転打	奐
終		2012 H I IM	71	説														
評価		A			一次・二次	マ評価を念頭に	さら	に事務・	事業	を推進され	たし	١						
			IJ	明														

令		7 年	1 8 <i>)</i>	月 15 E	日 作成		担	当課								
	務事			<u>.</u> 財保護費				1								
		本方向	04	学び合い.	 、たくましい人を育て _・	る(教育・	文化)	施策	コート	:		3323	24317		
施	項	目	40	芸術文化、				_				法令	O 条		その	佃
策の		路名称		文化財保証					法 根拠		I.		 蒦法/文化財			
体	741.	121 121		X 10 % 1 K .	1X 94				— ·	- /-		直営	委		その	 (H)
系									実力	施上法	0		<u> </u>	пь	(0)	.E
	•女/	L 財調査	委員会記	 義の開催。(伝統文化の保存・伝承、	文化財保護	思想の	の普及等								
事業概要			XXXII	20 · > 713 12-1		~ D/13 P NIIQ	,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,									
	(1) 🕏	対象 (誰	を、何を	対象として	いるのか)			(3)手段(6	どのよう	な手法	、手川	順で行っ	ているのか)			
事業の				【化財保存[(1)歴史講 (2)埋蔵文((3)文化財((4)文化財(化財の例 の保存と	R存と原 :公開	啓蒙 展示	日機会の)提供			
目					にしたいのか)		-100									
的				形、氏俗、江る意識の向	遺跡その他の文化財の伢]上を図る。	・ 存店用を図										
	(1) ⊞	丁関与の	根拠(町	が行う必要な	がある事業か) 計	2	点	1								
	0	①法令等	で実施か	ぶ義務付けられ	れている事業。		1点	⑥産業	を振興及び	バ地域流	舌性化	のために	工重要な事業			1点
			環の確保 でき事業。		活に直結した事業で、当然の	う責務として	1点	※内部	『管理·運	営等の	事業。	(点数対	象外)			_
		③社会的	〕•経済的	弱者の生活網	維持・安定のために不可欠な	事業。	1点	(説明) 関土	与の根拠	に関し	、内容	字を具体	的に記入しま	す。		
	0	④町の特	性や魅力	フを生かした耳	取り組みなど、戦略的な事業	0	1点					としてま	地域住民の文	化財份	R護思想の	 野及
1					が、サービスの確保が困難	なため、町が	1点	啓発するた	めに必	岁じめ	る 。					
必	(O) +	先導・補完する事業。 1会情勢や町民ニーズの変化等 ①国の制度の見直しや社会環境の変化に が求められている。 ②対象者、利用者が増加するなど、町民			= 11 a fate = = 1	-	****									
要性						内容の扩充	点	※ 注今	* 笙で宝が	市内宏々	う壬注	生が定と	られて、町の倉	音干	こが 入 ろ 全	
'-	0				元·/ 及 Line	L 141.451/27)	1点		·い。(点数			477 VL v.	2.54 0 C (P1 v 2/H	1165 II.	Chrom	_
		②対象者	广、利用者	が増加するな	など、町民ニーズが高まってい	いる。	1点	(説明)妥論	当性に関	し、内	容を見	具体的に	記入します。			
				固定化を避け	けるため、種々の改善を行い	、事業の効	1点						Eが高くなって O保存活用対		かられてい	
					、実施の緊急性、優先性は	高い。	1点			/成人	다살1 다	1 17 HH v	> NC [1-10] (13/1)	,C,12,-5],	(W) 5) 4 U C V	<i>°</i> √₀
_							1									
	(1) 万	丈果・協	働に対す	する事業の)有効性 計	2	点	1								
2		①施策を	達成する	うえで、当該	事業の貢献度は高い。		1点						記入します。			
有効	0	②事業の	継続によ	り、成果目標	原(事業の意図)の向上が期待	寺できる。	1点	・町民に対 [*] である。	する、町	の歴史	や文	化財に	ついての啓蒙	要普及	活動として有	₹効
性	0	③類似し	た事業と	の統合や連携	携を図る余地はない。		1点									
		④町民参	かと自治	意識の向上	が図られている。		1点									
	(1)	達成度の	測定		計	0	点									
		区分			指標(算式)	•	単位	R 4 実績	績	F	85実績	責	R6実績	i	R 6 当初計	画
				指標①	文化財保存団体助成件数。	/金額	件	2件/509	4 III	り/件	/509	4 III	2件/659千	<u>.</u> m	3件/695刊	£.III
		指標		(算式)	3件助成を指標とする			217/309	1 17	217	7 309	1 17	217/0091	L1	317/093	. [7]
	※具	体的な活動	かの内容	指標②	保存団体公演回数		回	9回			11回		12回		25回	
3				(算式)	25回公演を指標とする			• □								
達	##	+6.4m		指標①	3件を100%とした割合		%	66%	,		66%		67%		100%	
成度		れだけの原	 大果が現	(算式)	実数/3件		0/									
'×	れた	5 \		指標②	25回を100%とした割合		%	36%	,		44%		48%		100%	
		① 베/共)	た涌りの「	(算式)	実数/25回 :。(達成度80%以上)		1点	(部用) 中	里,热田	わきご		ЯI +		記えり	+ #	
	0			-	。(達成度80%以上) 5った。(50%以上80%未満)		0点						 容を具体的に 歴史や文化並			この
					5月込みがない。(50%未満)		-1点	啓蒙普及活動 ・令和6年度の	動が図られ	た。			祭礼行列3回、松			

	(1) 耳	事業費の推移			計		1	点							
	[2	ヹ 分	単位	R4決算額	R5決算額	R	6決算	額	R6車業費のD	カ訳及び金額		単位コスト	0	一般財源	額
		事業費	千円	753	2, 993	3	1	, 015		位2費用他)	0	達成度を下げす	に低下	させた	1点
	_	国・道費	千円		_, -,			,	区分	金 額	_	変わりない・上昇してい	る理由を明	月確かつ具体的	
	財源	地方債	千円						負担金・補助及び交付金		666	説明できる 上昇している			-1点
4	内	その他	千円						報償費		.70	埋蔵文化保管施設	1丁申他	アルトス油	' //m
効果	訳			750	0.000	,	1	015	取貝貝	1		明 松前神楽国指定記			る負担金
性	/O) =	一般財源	千円	753	2, 993	_		, 015	/空間) エはの	\ \ \ \ \ \ \ \ \ \ \ \ \ \ \ \ \ \ \		の増 ** ** ** ** ** ** ** ** ** ** ** ** **			
		手法の効率化 ①業務等の目	古した	より、経済性を考慮し	ア東業豊を削減		2 全地が	点				ドを具体的に記入 ト面に考慮した対			z
	0	ないほどの水準 ②現在の手法は の高い水準にな	きになっ は効率 よってい	っている。 的な事務執行と受弃 る。	益者に対するサー	ビス満	足度	1点	山水切成为胜。		.,/-	田でう感じた	1 // 1/3 - 7 - 6		J o
		③外部委託や		法の工夫により、対 、。	家範囲を変えする	事業?	費を削	1点							
項				項目別点数	效表	_			低 0			有効性	高 8~	, ÷	
目別		ᅚᅙᄆᆔᆂᄽᆉ	_	I I	直目 点数	Į.			0	1 2	3 4	5 6 7	8~] 	
点		項目別点数に よる評価結果		1 必	要性 3					¢		A		│ 。	;
数に			1	2 有	効性 2	5						0		3 及	
ょ		A				_			/		_			対 効	l
る評			J	3 達	成度 0	3						В		1 果	
価				4 効	果性 3					9				-1 任	
														,	
		担当課評価			果を参考に、事 次のA~Dによ			.て、1	也施策との関係等	等を含め総合	的視点が	から評価します。			
	Α	現状にて事業	きを継	続または拡充											
	0	現状のままで事	業を維						事業を拡え	充して継続					
	В	事業の進めた	の改	善により継続											
		事業の簡素化、	, 効率(上による改善					執行体制の	の見直し(外部	委託等))による改善			
		事業手法の見し	直しに。	 よる改善					住民参加等	等の推進による	6改善				
次		事業内容の一部		しによる改善					その他効果	 果的·効率的手	法の検	計による改善			
評	С			の見直しの検討					1 12/			.,,			
価(1		前的な見直しを検討	·				対象節囲の	の見直し 受益	者負担	の見直し・導入を枯	計		
担				事業規模、計画等の						類似事業への					
当課				と					その他	ARDTA -	>//G Ц Т	AIX 6 1X 11 1			
評	D	事業の抜本的			1				CONE						
価	<u> </u>	事来の扱本 in 廃止	ノル巴	統合	927	小			凍結		空に た	な事業への転換			
	. .		- - - - - - - - - - - - - - - - - - -	一		_.	廃止す	可 台上		 えば廃止検討 ⁻			##	201h	
	**			一角 の内容や考え				-1 旧	今後の改善策等			廃止は困	天社	その他	
	明	・松前神楽につけ、令和6年度 保存会が参加い・祭礼行列は、 の総合学習の時 術祭にて生徒の	いては に松前 ンた。 福島大 時間に の演舞	、H30. 3.8付けで 神楽国指定記念札 神宮例大祭に奴行 四ヶ散米行列の体験	国の重要無形民俗 ・幌公演を実施し、 ・列のみ参加。また ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ 、 ・ 、 ・ 、 ・ 、 ・ 、 ・ 、	文化則 福島岬 八小学 富島中	材の指定 打松前神 対校や中 学校で	申楽 学校 は芸	・各保存団体の意 ・文化財の定期的 により町民に啓蒙 ・福島町松前神等 の事業を行い、医	意向を把握し、 的な公開や福」 豪普及を図る。 楽保存会との選 団体活動の更か	保存伝え 島町史研 連携を深 なる推進	承活動の推進に努 f究会と共催による め、状況に応じた ¹	歴史講师 事業の推	進並びにな	公開等
		•		A 現状にて事	業を継続または	広充	В	事業の	の進め方の改善	・検討が必要	С	事業規模、内容	学の見直	[しが必要	
_		庁内委員会		D 事業の抜本	的見直しの検討	⇒		廃止	統合	縮小		凍結	新たな	事業への転	 換
次評価		評 価 人		説 一次評価の	D内容により事業	業推進	≜のこと	: 。							
				A 現状にて事	業を継続または	広充	В	事業は	の進め方の改善	・検討が必要	С	事業規模、内容	字の見直	[しが必要	
最		最終評価		D 事業の抜本	的見直しの検討	⇒		廃止	統合	縮小		凍結	新たな	事業への転	換
終評価		Α		説 一次·二》	欠評価を念頭(こさら	に事	務∙事	業を推進され	たい					

令和		7 年	8)	∃ 15 [日 作成		担	当課			生涯	圭学習係			
事	務事	業名	保健	体育総務	貴	•		•							
	基本	本方向	04	学び合い	、たくましい人	.を育てる(教育	育・文化	5)	施策コー	-ド		3323	322319)	
	項	目	39	スポーツ					法的	0	法令	条	例	0	その他
	財利	务名称		保健体育	総務費				根拠等	スホ	_ ピーツ基本	法等		1	
									実施	0	直営	委	託		その他
									方法		I				
_	•スホ	パーツ推済	生委員 会	議の開催	、各種社会体育	事業、各種団体・	への運営	营費助成		ļ.					
事業概要															
	(1) 対	寸象 (誰	を、何を	対象として	いるのか)			(3)手段(どのような手	法、非	₣順で行って	(いるのか)			
	スホ	『一ツ推演	進委員、	社会体育	団体、町民				ポーツ大会	の開催	量など、スポ	ーツの機会	会を町	民に提	供し、体
事									曽進を図る。 「育団体、ス	ポーツ	少年団の	育成のため	の助尿	₹。	
業															
の目	(2) 意	意図 (対	象をどの	ような状態	にしたいのか)			1							
的				·ツへの参加 の意識向_	µ機会を提供し、	体力の維持増進	性を図る								
	CC6	ルー、仕ュ	7件月~	Ⅵ思誠門_	Lを促り。										
	(1)田	丁関与の	根拠(町	「が行う必要	がある事業か)	計 1	点	,							
	0	①法令等	い 実施が	ぶ義務付けら	れている事業。		1点	⑥産業	美振興及び地	域活性	化のために』	重要な事業			1点
		_			活に直結した事業	で、当然の責務とし	て 1点	※内音	『管理・運営等	の事業	生。(点数対象	9外)			_
			べき事業	-	維持・安定のために	不可欠か重業	1点	(前田) 関	与の根拠に関	l d	1灾を目休め	に記えしま	- 		
								スポーツ其	本法において					嘱する	ことを定め
1					取り組みなど、戦略		1点	(v . 2)°	て、行政として	・ スポー	-ツに対する	燃合の提供	を行い	町屋の	休力増准
必			がによる実 補完する		るが、サービスの確分	保か困難なため、 ¹¹	1点	に努めるため	りに必要である	5.	> (CX) 9 '21	成五 少 庭 庆 。	711v.	m] L(v)	件刀相匹
要性	(2) 社	土会情勢	や町民	ニーズの変	变化等	計 1	点								
'-			度の見画 れている		境の変化によって、	サービス内容の拡	^充 1点		う等で実施内? さい。(点数対		法等が定め	られて、町の	創意工	夫が入	る余
					など、町民ニーズが	高まっている。	1点		当性に関し、		具体的に記	己入します。			
	0				けるため、種々の改	善を行い、事業の	効 1点	町民のニ	ーズに合わ	せたス	ポーツの扱	長興普及に	努める	ことが	必要であ
				きている。 中にあっても	、実施の緊急性、	優先性は高い。	1点	. る。							
		0,23,1		,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,	51 7 44	27212101117	- 7								
	(1) F	t里。ta	働に対	する事業の	 カ右効性	計 2	点								
	(1) 13							/=¥ nn > +	÷		· = /_ /				
2		①施束を	(達成する	りえで、当該	(事業の貢献度は高	1 v ,°	1点		効性に関し、 して、スポー				حرارا حـ:	⊦n <i>F</i>	F - 1 - 1 - 1 - 1 - 1 - 1 - 1 - 1 - 1 -
有効	0	②事業の	継続によ	り、成果目標	票(事業の意図)の向	り上が期待できる。	1点	に繋げる。	·					ムソ、 ∤	⋫ル月世
性		③類似し	た事業と	の統合や連	携を図る余地はない) 0	1点	・スポーツク	少年団活動	を推進	するために	こ必要であ	る。		
	0	④町民参	≩加と自治	意識の向上	が図られている。		1点								
	(1) 這	達成度の	測定			計 1	点								
		区分			指標(算式	t)	単位	R4実紀	漬	R5実	績	R6実績	Ī	R6≟	当初計画
				指標①	各種スポーツ大会(青	f少年)参加者/回数		200 1 /	- F	201 [/0[=]	464 1 /7	П	25) I /0년
	活動	指標		(算式)	計画=小中高生数	数×2(回数は8回)		229人/	5년	381人	/ 9回	464人/7	ш	330	8人/8回
	※具体	本的な活	動の内容	指標②	各種スポーツ大会	(成人)参加者/回	数	351人/	5回	454人	/7回	405人/6	同	834	人/16回
3				(算式)	計画=人口×25%	《(回数は16回)		001)()	ош	101/	, , ,	100/1/0		001	, , , , , , , , , , , , , , , , , , ,
達	<u> </u>	↓ ₽.↓==		指標①		『子の年』参加数の達成	率 %	73%		118	3%	130%			100%
成度	成果 ※ど∤	指標 ぃだけのฅ	 大果が現	(算式)	実績/小中高生数										
 	れたた			指標②	参加者(成人)の月		%	39%		52	%	49%			100%
	_	T#1/4.	J- 1710 -	(算式)	参加者数/人口の		4 =	/=-pm/ -"	B # B !! !!	: _++ -·- ·	. BI	* P L L L L .	-=77'		
	0				_。(達成度80%以_		1点		果・効果や達む教室など						苗レナュニア
		②概ね其	#待した通	りの成果があ	あった。(50%以上8	80%未満)	0点	相撲に親し いる。	ンび牧王など	マノ†予防	mにより、八	・十土ツ多	川天神	(女人/)・『	日により(
		③成果か	ジ少なく今	後も向上する	5見込みがない。(5	0%未満)	-1点								

	(1) =	事業費の推移	;			計		1	点												
		区 分	単位	R4決算客	₹ R5⅓	··· ·算額	R	6決算額	_	Do-	***		n - * ^ +T	Т		単位:	コスト		0	一般財源	5額
			-						-				及び金額 費用他)	F	0	-			低下さ		1点
		事業費	千円	ა,	134	3, 354		<u> </u>	, 257					_						確かつ具体	44.
	財	国・道費	千円							区	分		金額	į į		に説明	できる	-C (V %)	性田を明	催か・フ央や	0点
4	源	地方債	千円							負担金・補	助及び交付	寸金	1, 8	97		上昇l	してい	5			-1点
<u>.</u>	内訳	その他	千円							報	償費		8	96							
効果	<u> </u>	一般財源	千円	3	134	3, 354		3	, 257					-1	説明	事業費	けおお	むね横	ばいで	推移してい	る。
性	(2) =			0,	101	計		2	点	/=H 00)	工 ::://	ひかず	・ 化に関し		h 🗫 ≠	- B /+	661- =	17.1.	++		
	(2) -	手法の効率化		トル タンケルトナ	、老庫)で車業								等の開作							禾昌 公	n th th
	0	①業務等の見がないほどの力			(有思して事業	賃で削減	(69)	汞地	1点				寺の用作 で、コスト								ノ(肋ノ)
	0	②現在の手法			テと受益者に対	けするサー	ビス満	足度	1点	11 11.7 C		-,				214	۵,۰۰۰,			. 20	
	_	の高い水準に3外部委託や			- 5 分角祭田	ナボンボリ	ァ宙光流	車ナ、													
		削減する余地は			、ソ、刈 涿靼四	と 及んりり	□尹未:	貫化	1点												
		•																			
項				<u>項目</u> 2	引点数表						低			要性		効性			高		
目					項目	点数					0	1	2 ;	3	4	5	6	7	8~		高
別		項目別点数に			N 1d		-														
点数		よる評価結果	₽	1	必要性	2	4					С			0			A		4 E	戊 €
15		l 🔥		2	有効性	2	`													3 2	- +
よる		^			法代告	1	\dashv		\neg	/	\vdash		\vdash	+	-					<u> </u>	
評		-		3	達成度	1	4					-D-		1				В		ds ds	果 生
価				4	効果性	3	.														氐
																	1			- 1	24
		担当課評価																			
		担当妹計卿	a																		
		Δ		※上記	₿の結果を参≉	きに、事業	Ě担当	課とし	て、化	也施策と	の関係	等を含	含め総合的	内視.	点から	ら評価	iします	手 。			
			<u>]</u>	※評価	iは、次のA~	- Dにより	ります。	0													
			_																		
	Α	現状にて事業	業を継	続または拮	広充																
	0	現状のままで	事業を終	迷続						事	業を拡	充して	て継続								
	В	事業の進める	方の改	善により終	坐続 迷続					l											
		事業の簡素化	、効率	化による改善						執	行体制	lの見i	直し(外部	委託	等)/	こよるi	沙善				
_		事業手法の見											推進による								
次評		事業内容の一	-										· 効率的手			-1 1-z	公本等				
一価										1-0	/ 四次/	, CH 7	グリナーリナ	140	~ 1火口\	11-00	ル以音				
$\overline{}$	С	事業規模・四								1_	+ 名 ※ DT	IN F	古) 恋女	-±./	5 +o ~	(B.±)	1 . 洋-	1 2.44=	9-1		
担当		制度・事業内容			_ 540.4	プ- TV = 1							直し、受益					で使	<u>1</u> 7		
課		必要性等を再				を検討					- • //-	:、類化	以事業への	う統合	子・転	換を核	討				
評		計画期間の延			を検討					そ	の他										
価	D	事業の抜本的	的見直	しを検討										_							
		廃止		統合		縮	小			凍	[結			Ř	新たた	事業	への転	:換			
	*	事業廃止の可	能性	や廃止する	ことによる影響	響 ⇨		廃止。	可能	条	:件が整	えば	廃止検討	可能			廃止に	は困難		その作	<u>t</u>
		一次評価(担	当課評	価)の内容	や考え方を具	体的に記	入しま	す。		今後の	改善策等	等を具	体的に記	入L	ノます					•	
		・町民に対し	て、体	力の増強と	健康増進を	図るため	に、各	子種ス ズ	ポー	各施	設の利	用者	数が増力	1傾	向に	ある。	これが	からも	利用	団体及び	学校
	説	ツ機会を提供					-	g .)-	V	等と連	携を図	りなか	がら、利月	目者	のニ	ーズに	こ対点	ふした.	取り組	みを進る	める。
	ш	・スポーツ推を展開し、町								・スボー	ーツ指導	身者を	と対象とし	ンた、 ・	、指책	拿力店	可上に	係る	事業を	だ検討す	る。
	明	制を整えてい		小 テンスム・	41C401 C1	7.用.11.4	(CAST)	, נענען עם	/ J FT												
	L	<u> </u>																			
				A 現状に	て事業を継続	売または抗	太充	В	事業(の進め方	の改善	・検討	討が必要	T	С	事業	規模、	内容(り見直	しが必要	
		庁内委員会		D 事業 <i>0</i> .	抜本的見直し	の検討	⇒		廃止		統合		縮小			凍結		新	たな事	業への軸	云換
二次		評 価						1			1										
評			1	説																	
価		Α		一次	評価の内容(こより事	業推進	≝のこ。	Ŀ。												
]	明																	
				A 現状に	て事業を継続	売または打	太充	В	事業(の進め方	の改善	・検	対が必要		С	事業	規模、	内容(り見直	しが必要	
最		最終評価		D 事業σ	抜本的見直し	_の検討	\Rightarrow		廃止		統合		縮小			凍結		新	たな事	業への軸	云換
終		AX小くロT IⅢ				_							_	_						_	_
評		Λ		説	. – ∕⊬≕⊯	た合語!	-+>	1-声	数. 1	= ** 	<i>4</i>	h+	.1.								
一価		A		明	•二次評価	で忍頭	- さり	ハー手	7万 * 寻	≠未で!	止進る	16/5	٠٠,								
		L *	1																		

令和		7 年	8)	∄ 15	日 作成		担:	当課			生》	厓学習係			
事	務事	業名	総合	体育館運	営費	!		•							
	基本	卜 方向	04	学び合い	、たくましい人	を育てる(教	育・文化	٤)	施策コー	-ド		33232	22321		
施	項	目	39	スポーツ					 法 的		法 令	O 条	例	その他	
策の	財利	8名称		総合体育	館運営費				根拠等	総合	体育館条	 :例			
体系									 実 施		直営	O 委	託	その他	_
术									方法			-1 - 1			_
	・町月	そのスポ・	ーツに親	しむ機会の	の提供の充実を図	図るため、総合体	て育館を	整備し施設の	の管理を行う	0					_
事業															
概要															
Ĺ															
				対象として	(いるのか)							ているのか)			
	•利月	月者(町戸	勺外)					・施設の管:	理を民間に	委託し	ている。				
事															
業の															
目					(にしたいのか)										
的				ーツを親しむ も向上を促	3機会を提供し、 す。	体力の維持増進	≝を図る								
		, - X_	. > 70,449	A) 122 PC	, 0										
							_								
	(1)田	丁関与の	根拠(町	が行う必要	がある事業か)	計 1	点							T	
		①法令等	で実施が	ぶ義務付けら	っれている事業。		1点	⑥産業	を振興及び地域 しんかんしん かいかい かいかい かいかい かいかい かいかい かいかい かい	或活性	化のために	重要な事業		1 5	点
	0		環境の確保 うべき事		活に直結した事業	で、当然の責務と	1点	※内部	『管理・運営等	の事業	を。(点数対	象外)		_	-
		③社会的	的•経済的	弱者の生活	維持・安定のために	二不可欠な事業。	1点	(説明) 関	与の根拠に関	ll.F	内容を具体	的に記入しま	す。	<u>'</u>	
		④町の特	f性や魅力	りを生かした	取り組みなど、戦略	的な事業。	1点							て必要である。 難所などにも	
1		⑤民間等が先導・			るが、サービスの確	保が困難なため、	町 1点	N 100 4 145 35		, , ,	/ · 1/2 II		(· - XII)	(E/) GC (- 0	
必要	(2) 社			ェーズの変	 变化等	計 2	点	!							_
性	0	①国の制充が求め			環境の変化によって、	、サービス内容の打	拉 1点		う等で実施内?		法等が定め	られて、町の倉	削意工夫	が入る余 -	-
		②対象者	f、利用者	が増加する	など、町民ニーズが	ぶ高まっている。	1点	(説明) 妥	当性に関し、	内容る	と具体的に	記入します。			
	0			固定化を避 きている。	けるため、種々の改	(善を行い、事業の)効 1点		して、日常的 持増進を図り				場を提	供することで、	`
		_			も、実施の緊急性、	優先性は高い。	1点	1	140ECD)	(年34)	4 > 100 libril	112/12/0			
								-							
	(1) F	お 申・ 校	価に対	する事業の	 D 右 効 性	計 2	点	<u>l</u>							_
2	0				グラメリエ 変事業の貢献度は高		1点	(普明) 友	☆ ト トトト / - 月月	巾宓2	た日休めに	<u></u> 記入します。			-
	_							左//\ \ \					to 総合:	を提供するこ	_
有効	0	②事業の)継続によ	り、成果目標	票(事業の意図)の向	句上が期待できる。 	1点	とができる。		V (V) F	117/10/10	· У (САЛЕСУ	3 1XX Z	CIERY OC	
性		③類似し	た事業と	の統合や連	携を図る余地はない) °	1点								
		④町民参	除加と自治	意識の向上	上が図られている。		1点								
	(1)设	権成度の	測定			計 1	点								
		区分			指標(算式	t)	単位	R4実糸	責	R5実	績	R6実績		R6当初計画	
	マニ	15 II		指標①	利用者数		人	11, 62	25	15, 8	87	13, 865		13, 348	
		活動指標 ※具体的な活動の内 容		(算式)	計画=人口×4										
3	容			指標②											
				(算式)	ALITH TANK A TOTAL										_
達成	成果			指標①	利用者数の人口対	7比		80%		113	%	104%		100%	
度	※ど オ	たけの原	成果が現	(算式) 指標②	実績/人口×4								\dashv		
	れただ),		(算式)				1							
	0	①期待1	た通りの	1511 17	 こ。(達成度80%以_	F)	1点	(最田) 時	里・効里や塔	成度!	- 関 内	容を具体的に	·記入 I	<u></u>	_
	\vdash				こ。(建成及80 %以上8 あった。(50%以上8			体育館の利用	用者数につい	て、令				るが、当初計画	画
					。 		-1点	以上の実績を	を維持している	5.					

	(1)事	事業費の推移			計	1	点										
	×	分	単位	R4決算額	R5決算額	R6決	算額	R6事業	業費の内	訳及び	金額		単位コスト	-	0 -	·般財源額	į
		事 業 費	千円	13, 952	18, 662		17, 947			2費用		0	達成度を下	げずに低	たされ	せた	1点
	。 財	国・道費	千円					区	分	金	額		変わりない・上昇 説明できる	している理由	を明確か	つ具体的に	0点
4	源	地方債	千円					委託	壬料		9, 785		上昇してい	る			-1点
쓨	内訳	その他	千円					需月	月費		6, 836	= 4 00				4 All 6 4 - 1 1 1 1	
効果	$\overline{}$	一般財源	千円	13, 952	18, 662		17, 947					訳明	小体育館ワッ	クス塗布等	- 委託事	来終」によ	る源
性	(2) 手	≒法の効率化			計	2	点	(説明)	手法の	効率化(こ関し、	内容	を具体的に	記入しま	す。		
	0	がないほどのか ②現在の手法! の高い水準に	<準にな は効率に なってい 執行方	さっている。 的な事務執行と受 いる。 法の工夫により、5	はして事業費を削減 ・益者に対するサー 対象範囲を変えずに	ビス満足	¹ 点	・施設管的な運				よっ゛	てコストの削	減を図り	りなが	ら、より効	率
項目別点数による評価		項目別点数に よる評価結果		1 必 2 有 3 達	項目 点数 要性 3	5 [>		1 2 C	必要1	生十7	自効性 5 6			高達成度+効果性 低	
		担当課評価		※評価は、	ま果を参考に、事 次のA~Dにより		として、			等を含め]視点	から評価し	ます。			
				************************************				7	*************************************)L						
一次		事業の簡素化						劫:	行休制 σ	り目直し	(外郭季	 ()	による改善				
評		事業手法の見								学の推進			1000000				
価		事業内容の一											計による改善				
担	С			の見直しの検討					-> 100/992	CH J /93-1	- 11 1 12	(*/ 1)()	111-2-29-1				
当課				前的な見直しを検討				対	象範囲の	り見直し、	受益者	負担の		入を検討			
評価		必要性等を再	検証し	事業規模、計画等	の見直しを検討			他	の事業、	類似事	業への紛	合・車	云換を検討				
픨)				業費平準化等を検					の他								
	D	事業の抜本的	9見直	 しを検討													
		廃止		統合	縮	小		凍	結			新た	な事業への輔	伝換			
	※ Ę	事業廃止の可	能性や	P廃止することに	よる影響 🕏	廃.	止可能	条	件が整え	にば廃止	検討可能	岜	廃止	は困難		その他	
		新型コロナリ	ウイルン	スの規制が緩和	え方を具体的に記され、各体育団(はやや減少した。	本の活動		今後の改 ・各団体な事業原	の活動	活性化	公町民			り組む意	識向	上を促す	よう
			J	A 現状にて事	業を継続または	広充 E	3 事業(の進め方の	の改善・	・検討が	必要	С	事業規模、	内容の	見直し	が必要	
<u> </u>		庁内委員会		D 事業の抜本	的見直しの検討	⇒	廃止		統合	á	宿小		凍結	新た	な事業	きへの転換	Ď.
次評価		評 A		説 一次評価(明	の内容により事業	業推進の	 こと。	_									
				A 現状にて事	事業を継続または	広充 E	3 事業(の進め方	の改善・	・検討が	必要	С	事業規模、	内容の	見直し	が必要	
最		最終評価		D 事業の抜本	的見直しの検討	⇒	廃止		統合	á	縮小		凍結	新た	な事業	美への転 換	A
終評価		A Axes at a		説 一次·二次 明	次評価を念頭に	こさらに	事務∙⋾	事業を推	進され	<i>₁たい</i>							

令和		7 年	8 F	15 €	日 作成			担旨	当課			4	生涯学習係	:		
事	務事	業名	町民	プール運営	営費		•									
	基	本方向	04	学び合い	、たくましい.	人を育てる	(教育・:	文化	;)	施策=	コード		33	32322328	3	
施策	項	目	39	スポーツ						法的	5	法令	s O 第	€ 例	その他	也
の	財	務名称		町民プー	ル運営費					根拠等	1	- 富島町民	プール条例	列		
体系										実施	i	直営	S 0 3	き託	その他	也
713										方法		1	1 1			
_	・町月	ミプール	を気軽に	こ利用し、フ	kに親しむスポ [、]	ーツの機会提	供の充乳	ミを	図るため、加	施設の管理	星を行う。					
事業概要																
	(1) \$	対象 (誰:	 を、何を	対象として	(いるのか)				(3)手段	(どのようた	な手法、	手順で行	っているの	か)		
		用者(町内									委託し、	社会体	育事業及び	小中学校	交水泳授業の)利
事業									用に供して	<i>て</i> いる。						
の目	(2) 預	意図(対象	象をどの	ような状態	にしたいのか)											
					会を提供し、体	力の維持増進	生を図りた	こが								
	ら運!	動への意	識向上	を促す。												
	(1) E	町関与の	根拠(町	が行う必要	がある事業か)	計	3	点								
		①注令签	で宝施力	ぶ義務付けら	れている事業。			1点	0 6産	単振 圃 及び		‡化のたみ	に重要な事	<u></u>		1点
	_				活に直結した事	堂で 当然の青	: 弥レ)	-						~		- ////
	0	て町が行			.111 (- 123,4 0 / 2 1 /	, C C - J M - 5 X	.,,,,,,	1点	※内	部管理·運営	営等の事	業。(点数	対象外)			_
		③社会的	•経済的	弱者の生活	維持・安定のため	に不可欠な事	業。	1点	(説明)関	与の根拠	こ関し、	内容を具	体的に記入	します。		
	0	④町の特	性や魅力	力を生かした	取り組みなど、戦	略的な事業。		1点							・ルを利用した	
1		⑤民間等	による実	施が望まれ	るが、サービスのな	確保が困難なた	上め、町	1点	体刀同上。 ・学校プー				F る 他 設 と し	(业要/	下可欠である	0
必	(O) ±	が先導・神			F 11 . Adv	=1		****								
要性	(2) 7			ニーズの変	と化等 !境の変化によっ [~]	ナービス内2	交の世	点	※注。	今 空 不 宝 歯	内突める	- 法学ぶ号	マめたわて 町	の創音工	夫が入る余	
'-		充が求め			・光ジタ ににより	C. 9 Corria	Fr 6 2 1/2	1点		ない。(点数		-14 +11-V	-07540 C . M.	▽/石1心ユ	-)C//-/C/J/K	_
		②対象者	、利用者	が増加する	など、町民ニーズ	が高まっている	o _o	1点	(説明)妥	当性に関し	し、内容	を具体的	に記入しま	す。		
	0				けるため、種々の	改善を行い、事	業の効	1点							を提供するこ	ح
		果が顕著			ら、実施の緊急性	原 生狀() (古)	,	1点	で、体力の)維持増進	を図り』	重動への	意識向上を	促す。		
		(4)KO41	/二州 (赤(*)	中にめつて	5、天旭の茶芯注	、後元注は同り	'0	- I								
	(1) <u>F</u>	成果・協	働に対	する事業の	D有効性	計	2	点								
2	0	①施策を	達成する	うえで、当該	(事業の貢献度は	高い。		1点	(説明)有	効性に関し	し、内容	を具体的	に記入しま	す。		
有	0	②事業の	継続によ	り、成果目標	票(事業の意図)の)向上が期待で	きる。	1点		別を問わっ	ず多くの	町民にス	k泳に親しむ	『機会を	提供すること	が
効性		③類似し	た事業と	の統合や連	携を図る余地はな	:V \ ₀		1点	できる。							
'-		④町民参	:加と自治	意識の向 F	:が図られている。			1点								
	(1) i	産成度の				計		点								
	(17.2	区分	,,,, <u>,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,</u>		指標(算			並	R4実	績	R5	 実績	R6実	:績	R6当初計	画
				指標①	利用者数	,		人								
		指標		(算式)	計画=人口×70)%			1, 338	3人	1,	950	1, 7	71	2, 336	
	※具 容	体的な活動	刃の内	指標②												
3				(算式)												
١				指標①	利用者数の人口	対比		%	539		7	9%	76	0/2	100%	
達成		:指標 れだけの _月	カラ が印	(算式)	利用者数/人口	1070%			53%	U		J /0	16	/U	100%	
	れた		·不 <i>以</i> ·坎	指標②							_				[Ī
				(算式)												
		①期待し	た通りの	成果があった	上。(達成度80%)	以上)		1点					内容を具体			
	0	②概ね期	 待した通	iりの成果がる	あった。(50%以」	上80%未満)		0点	·令和5年度	も開館及び	が閉館時	間を短縮し	利用しやすv った。 減少傾向にあ		りをしている。	
		③成果が	少なく今	後も向上する	る見込みがない。	(50%未満)	-	1点								

	(1) 📱	事業費の推移	;		計	0)	点							
	[2	区 分	単位	R4決算額	R5決算額	R6	決算額	Į	R6事業費の内			単位コスト	0	一般財源額	Ą
		事 業 費	千円	33, 396	7, 871		8,	676	(金額の上位	2費用他)		達成度を下げずり	.低下	させた	1点
	。 財	国・道費	千円						区 分	金 額	0	変わりない・上昇している 説明できる	理由を明	確かつ具体的に	0点
4	源	地方債	千円						委託料	4, 518		上昇している			-1点
効	内 訳	その他	千円						需用費	3, 612	= 4 00	1 (小事光/江)	店)ァト	フチシャルの	_ 17 5 7
果	$\overline{}$	一般財源	千円	33, 396	7, 871		8,	676			說明	人件費単価増額	貝によ	る安託科の)瑁
性	(2) =	手法の効率化	;		計	2	2	点	(説明) 手法の	効率化に関し、	内容	を具体的に記入し	ます	0	
	0	①業務等の見 がないほどの7		い、経済性を考慮	して事業費を削減	或できる?	余地	1点			、経費	骨の節減を図りな	がら、	より効率的	な運
	0	②現在の手法	は効率	的な事務執行と受	益者に対するサー	ービス満	足度	1点	営管理が進めら	のないている。					
		の高い水準に		る。 法の工夫により、タ	+象節囲を変うず	に重業	費を								
		削減する余地			1 外型四と交ん)	(-77)	ĄC	1点							
										N 1					
項目				項目別点数					0	<u>必要作</u> 1 2 3	生十年 4	<u>∮効性</u> │ 5 │ 6 │ 7	局8~	高	
別	;	項目別点数に	Ξ.	4	点對 点数									達	
点数		よる評価結果	₹	1 必	要性 4	6			\ 			A		4 度	
に		Δ		2 有	効性 2	٠			\rightarrow			0		+	
よる]	3 達	成度 0									1 効果	
評				4 効	果性 2	2			E	- 		В		0 性	
価				4 🗡	未住									-2 低	
		10 W === == 1m													
		担当課評価	a							± ,					
		Δ						て、	他施策との関係等	等を含め総合的	視点	から評価します。			
			<u>]</u>]	※評価は、	次のA~Dによ	ります。	٥								
		TD 10 1 + 2	414 - 4 - 4114	/ + / / / / 											
		現状のままで		続または拡充					事業を拡充	して処生					
				^{上が、} 善により継続					ず未で1仏儿	して州本が正					
<u>-</u>		事業の簡素化							執行体制の	見直し(外部委	託等)	による改善			
次評		事業手法の見								の推進による改					
価		事業内容の一	部見直	しによる改善					その他効果	的•効率的手法	の検討	対による改善			
担	С	事業規模・Γ	内容等	の見直しの検討	†										
当課		制度·事業内容	字の全面	前的な見直しを検討	†				対象範囲の	見直し、受益者	負担(の見直し・導入を検	討		
評		必要性等を再	検証し	事業規模、計画等の	の見直しを検討				他の事業、	類似事業への統	· 南	E換を検討			
価		計画期間の延	伸、事業	養子準化等を検	討				その他						
	D	事業の抜本的	的見直												
		廃止		統合		小			凍結			な事業への転換			
	*	1		P廃止することに			廃止可 	能	.,,,,	ば廃止検討可能		廃止は困難		その他	
	説			価)の内容や考え に民間委託の手法				£17	今後の改善策等			す。 につながるような	中米	カ 屋 間 ナ 松	.⇒.l
	пJL	努めるとともい	こ、接i	禺面・安全面に お	おいて改善を図	った。			る。						•
	明					の不調	など、		・利用者の安全 たい。	面に考慮して	、塩素	景調整設備の更	新を優	を 先的に実力	施し
\vdash		NIII / / / /			 業を継続または	忙 本	г,		^{/こヾ・} 。 <u> </u>	松計が必要	^	事業規模、内容	ກ ⊟ ≠	11 松心亜	
			-							線小	C				#.
=		庁内委員会 評 価	-	ひ 事未の扱本	的見直しの検討	7	,	廃止	統合	柳白小、		凍結 新	になる	事業への転換	哭
次評			a	説											
価		A		一次評価の	の内容により事:	業推進	のこと								
			<u> </u>	明											
\vdash				A 現状にて車	業を継続または	_{址 夲} 「	p 1	車 坐 /	の進め方の改善・	給計が必 亜		事業規模、内容	の目は	1 が必亜	
			ŀ		果を継続または 的見直しの検討			事 来 に 廃止	が進め方の改善・ 統合	検討が必要縮小	U			しい必安 事業への転換	——— 奂
最終		最終評価	_ 			,			17.0 H	1 100 4				ТИЛ	-
終評		Λ]	説	ケ証価を合語し	-+0	- 声3	來 ₌ □	■業を推進され	t-1 \					
価				明一次,一次	人計画で必與!	こころり	i~ 事 7	カ "	*未で批准され	し/こし・					

令	1	 7 年	8 J	月 15 日	日 作成			担当	当課			生	涯学習係			
事	務事	業名	ファ	ミリ―スオ	ポーツ公園管理	費			<u> </u>							
	基本	本方向	04	学び合い.	、たくましい。	人を育てる	 る(教育・	文化) 施	策コー	ド		3323	22330		
施	項	目	39	スポーツ					注	的		法令	O 条	例	その	他
策の	財利	 务名称		ファミリ-	 ―スポーツ公[1-1	拠等	\vdash		ポーツ公園		 €例	
体系									-	 施	<u> </u>	直営	O 委		その	他
系										法						
	利用	者が気	軽に楽し	_ く健康的に	ニプレーできるノ	ペークゴルフ	フを推進す	るため	り、施設の維持管	理を行う	j.,					
事業概要																
	(1) 🕏	対象 (誰	を、何を	対象として	いるのか)				(3)手段(どのよ	うな手	法、手	順で行っ	ているのか)			
事業の目的	(2) 意		象をどの		にしたいのか) 、パークゴルフ\	こ親しむ場	を提供する	<u>.</u>	・施設の管理を見	で 道 パー多	そ 計 に に に に に に に に に に に に に	i via.				
	(1) 田	丁関与の	根拠(町	が行う必要が	がある事業か)	計	2	点								
		①法令等	で実施が	ぶ義務付けら	れている事業。			1点	⑥産業振興	ひてが批词	活性化	のために	重要な事業			1点
					活に直結した事業	で、当然の	責務として									. 7111
		町が行う						1点	※内部管理	連宮等	か 事業。	(点数对	家外)			_
		③社会的	·経済的	弱者の生活	維持・安定のため	に不可欠な	事業。	1点	(説明)関与の根	拠に関	し、内	容を具体	的に記入しま	す。		
	0	④町の特	性や魅力]を生かした!	取り組みなど、戦闘	各的な事業。		1点	スポーツに親しむ	β機会を	提供し	ている。				
1					が、サービスの確	E保が困難な	ため、町が	1点								
必	(2) 2 -	先導·補第		^{業。} ニーズの変	・	計	1	点								
要性	(Z) f				に す 境の変化によって			1	※法令等で	実施内容	や手法	等が定め	られて、町の倉	意工夫	が入る余	
		が求めら	れている。					1点	地はない。(点数対象	8外)					_
		②対象者	、利用者	が増加するな	など、町民ニーズ	が高まってレ	る。	1点								
	0	③事業の 果が顕著			けるため、種々のは	女善を行い、	事業の効	1点	日常的にスポー				するとともに、	町民0	の健康維持	•増
					、実施の緊急性、	優先性は高	話しい。	1点		大/よ/旭月	X (a)	م/د				
		912340		11-09 2 00	, , , , , , , , , , , , , , , , , , ,	(Z) [121(3)]		. 711								
							1									
	(1) 反			する事業の		計	2	点	ı							
2	0	①施策を	達成する	うえで、当該	事業の貢献度は	高い。		1点								
有	0	②事業の	継続によ	り、成果目標	(事業の意図)の	向上が期待	できる。	1点	年代・性別を問え 会を与えることが			者に対し	って 、健康的	にスポ	ーツを親し	む機
効 性		③類似し	た事業と	の統合や連抜	携を図る余地はな	۱,°		1点		_ = 0						
		④町民参	加と自治	意識の向上	が図られている。			1点								
	(1) 這	産成度の	測定			計	-1	点								
		区分			指標(算	式)		単位	R4実績		R5実	責	R6実績		R6当初計	画
				指標①	利用者数			人	2,035人		9990	Į.	9 951 J		4,672	
	活動			(算式)	計画=人口×1.	4			2, 0357		2, 328	Д	2, 251 <i>)</i>		4, 072)	
	※具体	本的な活動	かの内容	指標②												
3				(算式)												
達	<u>_</u>	11-1-		指標①	利用者数の達成			%	40%		47%		48%		100%	
成度	成果 ※どネ	指標 いだけの月	まが現	(算式)	実績/人口×1.	4			= - /*		/-		10,0		_ 0 0 / 0	
艮	れたな			指標②												
1				(算式)							_					
1		①期待し	た通りの月	成果があった	。(達成度80%以	.上)		1点					容を具体的に	記入し	ます。	
1		②概ね期	待した通	りの成果があ	っった。(50%以上	.80%未満)		0点	・利用者数は概念	は横ばい	いである	٥.				
1	0	③成果が	少なく今	後も向上する	見込みがない。(50%未満)		-1点								

	(1) =	事業費の推移		計 0 点																	
	[区 分	単位	R4決算額	R5決算額		R6決算額		R6事業費の内		内訳	訳及び金額		単位コスト	0	一般財源額	į				
		事業費 千円		7, 411	8, 9	85	9	, 702	②(金額の上位		位 2			達成度を下げ	達成度を下げずに低下		1点				
	<u> </u>	国・道費	千円						区	区 分		金 額	0	変わりない・上昇し 説明できる	ている理由を	明確かつ具体的に	0点				
4	財 源	地方債	千円						3	託料		6, 456		上昇している			-1点				
	内 訳	その他	千円	170	2	11		178	常	需用費 3,093						'					
効果	<u> </u>	一般財源	千円	7, 241	8, 7	74	9, 524			,			説明	・芝管理業務委	・芝管理業務委託料、肥料購入などによる増						
性	(2) =	│ 手法の効率化			,	+	1	点	(電学 日本)手法(の効落	を化に関し	内容	<u>│</u> を具体的に記』	入します。						
	0	①業務等の見記ないほどの水準 ②現在の手法にの高い水準にな	は効率的なっている執行方	りな事務執行と受 る。 去の工夫により、※	して事業費を削 益者に対するサ	減できる 一ビス流	る余地が 満足度	1点 1点	・民間		理委	託によって、		での節減を図り			2運				
項				項目別点	数表					低				有効性	高						
目]]	項目 点	数				0	1	2 3	4	5 6	7 8~	高					
別点		項目別点数による評価結果		1 1/2	要性 3						С				A	五 選 成					
数			ìl			- 5									^	 4 度					
によ		ΙB		2 有	効性 2											2 対					
る 評			,	3 達	成度 -1						_	Ð		0		1 果					
価				4 対	果性 1						D				В	-1 任					
				<u> </u>						<u> </u>			!			1 2 12					
	Α	担当課評価 ※上記の結果を参考に、事業担当課として、他施策との関係等を含め総合的視点から評価します。 ※評価は、次のA~Dによります。 現状にて事業を継続または拡充																			
	現状のままで事業を継続								1	事業を拡充して継続											
	B 事業の進め方の改善により継続 事業の簡素化、効率化による改善																				
_									執行体制の見直し(外部委託等)による改善												
次	事業手法の見直しによる改善									住民参加等の推進による改善											
評価	0										その他効果的・効率的手法の検討による改善										
~	C 事業規模・内容等の見直しの検討 制度・事業内容の全面的な見直しを検討																				
担当				事業規模、計画等の見直しを検討						対象範囲の見直し、受益者負担の見直し・導入を検討 他の事業、類似事業への統合・転換を検討											
課評				* 果	7					他の事業、類似事業への就合・転換を検討 その他											
価	D	事業の抜本的			1,1				てツ他												
		廃止	37010	統合		縮小				東結			新た	な事業への転換	独						
	*		*能性や		⇒	廃止。	 可能			えば	 廃止検討可能			上は困難との他							
	. • \			価)の内容や考え		今後の改善策等を具体的に記入します。															
	説明	ほか、パーク おり、快適なた ・高齢化等に	ゴルフ 施設利 より、ノ	して、町内外の愛好者に積極的に利用されている 7協会が場内整備や各種大会の運営に協力して 利用の提供が行われている。 パークゴルフ協会員が減少傾向にある。 きが大きく枯れてしまった。																	
		<u> </u>		A 現状にて事	事業/	の進めて	での改善	- 焓	計が必要	C	C 事業規模、内容の見直しが必要										
		ᆣᇝᅎᄝᄼ	ŀ	D 事業の抜本				廃止		統合	17	縮小		凍結		事業への転換	<u> </u>				
=		庁内委員会 評 価	-	- +~VIA		7				יישטי בו		AND 1		-ALTH	1711-05	, , , · · · · · · · · · · · · · · · · ·	`				
次評価		В		説 コース芝など施設の維持管理に努めるとともに、近年の利用実績をふまえた計画数値とす 明									画数値とする	らこと。							
				A 現状にて事					の進める		・検	討が必要	С	事業規模、内							
最		最終評価		D 事業の抜本	的見直しの検討	it □	>	廃止		統合		縮小		凍結	新たな	事業への転換	ŧ				
終評価		В		説 一次・二次評価を念頭にさらに事務・事業を推進されたい 明																	

令和 7 年 8 月 15 日 作成								担当	生涯学習係											
事	務事	業名	福祉セ	ンター運	営費					•										
	基本方向 04 学び合い、たくましい人を育てる(教育・								;)	施策	コード			44141211	9	9				
施策の体系	項	項 目 36 生涯学習(推進体制)								法	的	法	令 O	条例	その)他				
	財務名称 福祉センター運営費									根拠	等福	祉セン	ター条例							
											施	直	営	委託	その)他				
										方:	法									
事業概																				
要	(4)	11.6						Tax ===												
		対象(誰 町民	を、何を	対象として	(いるのか)				(3) 手段(どのような手法、手順で行っているのか) ・施設の管理を社会福祉協議会に委託している。											
	*土	4) []							・旭奴♡ノ	日生亿江	マ 1田 1111. 15	成云(こ	安心して	·⁄o.						
事業																				
の	(2)	意図(対	象をどの		************************************															
目的		4-1-1-1	施設とし	て社会教	育活動の場の提	供を図るた	めの、施設	党の												
	維持	f運営。																		
	(1)	町関与の	根拠(町	「が行う必要	がある事業か)	計	3	点												
	0	①法令等	節で実施だ	ぶ義務付けら	っれている事業。	-		1点	O ⑥産	毛業振興及 で	び地域活	性化のた	めに重要な	事業		1点				
	0	②生活環 て町が行			E活に直結した事業	芝で、当然の 責	養務とし	1点	※内部管理・運営等の事業。(点数対象外)											
				水。 弱者の生活	業。	1点														
	④町の特性や魅力を生かした取り組みなど、戦略的な事業。								・福島町福祉センター条例による公民館施設の提供。											
1	⑤民間等による実施が望まれるが、サービスの確保が困難なため、町								・・ 大規模イベントをはじめ多様な事業が行われ町の中核的な文化施設と 1点なっている。											
必	が先導・補完する事業。							T IX												
要性	(2) 社会情勢や町民ニーズの変化等 計 1							点	※注合竿で宇旋内突や毛注竿が定められて 町の創音工士が入る全											
			ず求められている。						然広り寺(天旭内谷で子広寺かたのりれて、町の削息工大が八つホー地はない。(点数対象外)											
					など、町民ニーズ			1点		(説明) 妥当性に関し、内容を具体的に記入します。										
	○ ③事業の硬直化・固定化を避けるため、種々の改善を行い、事業の効果が顕著になってきている。							1点	町民の文化活動の場として必要な施設である。											
	④限られた財源の中にあっても、実施の緊急性、優先性は高い。								抗											
	(1)成果・協働に対する事業の有効性 計 2							—— 点												
2	0	①施策を	達成する	うえで、当該	亥事業の貢献度は	高い。		1点	i (説明) 有効性に関し、内容を具体的に記入します。											
有	②事業の継続により、成果目標(事業の意図)の向上が期待できる。							1点	・社会教育や社会福祉等の諸活動に限定せず、幅広い分野に活用され											
効性	③類似した事業との統合や連携を図る余地はない。								── ている。 点											
	④町民参加と自治意識の向上が図られている。																			
	(1)達成度の測定 計 1							点												
		区分			指標(算:	式)	Ĺ	単位	R49	実績	R	実績	R	6実績	R6当初記	計画				
				指標①	利用者数			人	13 7	'01人	11	514人	13	,627人	15, 01	17				
		指標 体的な活動	動の内	(算式)	計画=人口×4.5	5			10, 1	01/0	11,	011/	10	, 021/0	10, 01					
	容	1143000		指標②																
3				(算式)																
達成度	ct: ==	1 + ヒ + 西		指標①	利用者数の人口			%	84	4%		73%		91%	100%	6				
	※ど	成果指標 ※どれだけの成果が現		(算式) 実績/人口×4.5 果が現 ***																
	れたか		指標② (算式)				_													
	0	①期待〕	た诵りの	(算式) D成果があった。(達成度80%以上)				1点	(証券用目)	成里・効里	も存成し	まに関し	内容を目	体的に記入	<u> </u> . ≢ す					
]	②概ね期待した通りの成果があった。(50%以上80%未満)							0点	文化団体	広議会 加					利用者は増	加傾				
	③成果が少なく今後も向上する見込みがない。(50%未満)							-1点												

	(1) 事	事業費の推移		計 0 点				<u></u>												
	Þ	Ӡ 分	単位	R4決算額 R5決算額 R6決算額			10事業員の内訳及び並領							〇一般	財源額	į				
		事 業 費	千円	13, 516	14, 258	1	6, 118	(金	金額の上位2費用他)			達成度を下	・げずに仏	氐下させた	Fさせた					
	。 財	国・道費	千円					区	分	金	額	0	変わりない・上昇 に説明できる	由を明確かつ	具体的	0点				
4	源	地方債	千円					委	託料	1	0,082		上昇してい	る			-1点			
払	内訳	その他	千円	186	129		122	需	票用費 5,730				6-0136 dest		e dul -					
効果)	一般財源	千円	13, 330	14, 129	1	5, 996					説明	人件費単	価増額	による委	託料の)増			
性	(2) 月	 F法の効率化			計	2	点	(説明)手法σ	D効率化に	こ関し、	内容	を具体的に	記入しる	ます。					
	0				して事業費を削減、	できる余地	1点				するこ	とがて	きる施設の	の管理道	営を進る	かるたδ	めに			
	_	がないほどのオ ②現在の手法		いた。 いたすな対象しの光光に対すて中、ビッ港口序					要な経費である。											
	0	の高い水準に	なってい	「点																
		③外部委託や 削減する余地		方法の工夫により、対象範囲を変えずに事業費を ない。																
項				項目別点数		_			低 0	1 2	必要 ¹	生十 才 4	7効性 5 6		<u>高</u> 8~ 】	高				
目別	١,	項目別点数に	-	Į	[目 点数				0	1 2	3	7	3 0	,		達				
点		よる評価結果 よる評価結果		1 必	要性 4					С				Α	5 4	成				
数に				2 有		`		\searrow					0			3				
ょ		A			達成度 1 3			V							1	· 効 果				
る評	'		1	3 连						D			В	B	· ·					
価				4 効:	果性 2					D					-2 但					
		担当課評価	.																	
※上記の結果を参考に、事業担当課として、他施策との関係等を含め総												視点	から評価し	ます。						
		τ		※評価は、	次のA~Dにより	ります。														
	Α	現状にて事業	業を継	続または拡充																
	0	現状のままで事	H	事業を拡充して継続																
	В	事業の進めた	ちの改	善により継続																
_		事業の簡素化	、効率化	どによる改善			幸	执行体制 (の見直し(見直し(外部委託等)による改善										
次評		事業手法の見	直しによ	る改善				ſ	住民参加等の推進による改善											
価	事業内容の一部見直しによる改善								その他効果的・効率的手法の検討による改善											
担	С	事業規模・内	内容等	の見直しの検討																
当		制度·事業内容	学の全面	i的な見直しを検討		7	対象範囲の見直し、受益者負担の見直し・導入を検討													
課評		必要性等を再	検証し事	¥規模、計画等6	り見直しを検討			ſ	他の事業、類似事業への統合・転換を検討											
価)		計画期間の延	伸、事業	養平準化等を検	討			Ä	その他											
	D	事業の抜本的	内見直	しを検討																
		廃止		統合	縮/	小		凍結 新たな事業への転換												
		事業廃止の可	能性や	廃止することに	よる影響 🕏	廃止	可能	条件が整えば廃止検討可能 廃止は困難 その他												
					え方を具体的に記	入します。	,			等を具体的										
	説			i切に行われてい i払等の諸活動	いる。 に限定せず、幅点	広い分野*	で活						を促進する そあり方を	-	た修繕σ	心公理	性を			
	明			の利用頻度が増		4.74	VIII		る必要		(40)	. 10	(20))))	. /	7019/10	2021	1.0			
	97																			
				A TP.15	** + 44 4+ - 1	<u> </u>	- →	┃												
			F		業を継続または扱		1	の進めて				С	1	- T.			<u> </u>			
=		庁内委員会 評 価	F	D 事業の抜本 	-	廃止		統合	A1	宿小		凍結	新75	:な事業^	の転扱	<u> </u>				
次評	ſ	n m	a l	説																
価		ΙΑΙ		一次評価の	D内容により事業	(推進のこ	اح.													
			<u> </u>	明																
\vdash			\dashv	事業,	の進めっ	もの改善	・検討が	必要	C	事業規模、	内容の	見直しが	必要	_						
最終評					業を継続または拡 ———— 的見直しの検討		廃止		統合	1 1	必安 宿小		凍結		元直しか 		<u> </u>			
		最終評価	ŀ			-	1.75.22		1.55 H	1 14		<u> </u>		791 / 5	^-	· 1-417				
	評																			
価		A		明	欠評価を念頭に	念頭にさらに事務・事業を推進されたい														
			<u>"</u>																	
	-																			